

【語彙】

2018年4月9日～2018年9月12日

子音には、さまざまな種類がある。むろん、今日では、母音も数が多いが、そのことは、さておく。われわれは、言葉を考える時、母音や子音が、互いを差別するように、同時に発生したと考え勝ちである。ところが、実際に発音してみればよく分かるが、最もたやすいのは母音であり、ついで、[s] [p] である。これらは、ほぼ自然状態で、発音することができるからである。舌や喉を使うことがない。じっさい、身の回りの動物には、子音がない。舌をもつ犬や猫でも、子音はない。そう考えると、舌を使った発音は、たとえば [d] や [k] 音は、遅れて登場したとも考えられる。ただし、これは、語頭の場合であって、動物であっても、たとえば唸るにしても、複雑な発音になる。その複雑な発音の中には、舌を使った子音が混じっているかも知れない。極端に言えば、語頭に [s] [p] 以外の子音がない時代の発音でも、[s t] や [s n] と発音していた可能性もある。そういう語頭が [s] [p] だけの世界では、その語群に、一つの言語の世界が集約されていると看做せなくもない。[s] や [p] の語彙が多く、なおかつ、他の多くの発音の語群と意味が似ているのは、語頭の [s] 音が外れたせいである可能性がある訳である。

少なくとも、すべての子音や母音が、同時に生まれたと考えることには、無理がある。さらに、この語群には、時代をかなり遡らしいグループがあり、その点でも、突出して古い語群であるような気がする。この語群から他の語群が派生し、この語群は自身でも、変化を遂げている。そんな感じである。(2018年7月27日)

もし、[s] 音の語群が、いわば言語全体の集約であれば、[s n] や [s p] などの中にも含まれる原観念から、[n] 音の語群や [p] 音の語群の、もっと原始的な観念が導き出されるのではないか。もっとも、[n] 音の語群や [p] 音の語群が、[s] 音の語群からだけ、派生したとは考えない。そういった考察以前に、現在、われわれに残されている音が、そもそもそのままの形で太古まで遡ることができるとは考えられないことに、注意すべきである。ただ、それでも、より古い基幹観念を探り出すことにより、言語の歴史の変遷を推測することが、可能になるかも知れない。たぶん、それは、重層的、あるいはフラクタル的で、様々な音に、似た観念が含まれているような気がするのである。さればこそ、ある観念に、出自を異にする語彙が含まれて射るような、錯覚を覚えるのかもしれない。もちろん、それが、錯覚かどうか、分からない。「石 [s e k i]」と「s t o n e」が同じ概念を表すとしても、共通しているのは、語頭音だけである。以下の音が、なぜ異なっているのか、説明は困難である。ただし、たとえば、[s n] の語群には、[n] の語群と似た語が多い。それは、他の音の語群にも言えるのであろうし、単なる偶然ではないだろう。消失した語彙もあるはずだし、原観念がどのように変わってきたのかは、正確には分かるまい。ただ、その探求の過程で、[s] 音の基幹観念も明らかになってくるのではないのか。それはそれで、面白い研究に違いない。(2018年7月29日)

語は物の名にはならない。ある恒常的な現象、行為に対して、それを指し示す観念である。たとえば、鼻。それは、現在のわれわれが思いなすような、身体の部位を表す意味ではないはずである。荒くなったり穏やかになったりする鼻息。寒かったり、泣いたりすると鼻水を垂れる。そういう何かの因果を表す現象だから、言葉で表す意味がある。しかし、眉のようなものには、そういう現象がない。あるとすれば、日差しを遮る程度の意義。だから、鼻ほどの重要性はない。また、鼻は、感情を表す重要な手段でもある。(眉もそうだが。)そして、そういう表情には、常に決まった意味がある。それを表すのが、言葉である。――

とりあえず、ここでは、太古では、最も発音し易い子音である [s] が、すべての語頭について、たとえば、「スギヤー」「スニユル」「スピオン」などという、おそらく、アルファベットの字母では捉えにくい、鳥や、動物の鳴き声に近い発音が原初にはあつことを、とどめていと看做している。元来、言語には、同音異語というものは、存在しないはずである。ある発音は、必ず一つの観念 (概念) を指し示さねばならない。一つの音が、いくつもの観念を指し示したならば、言葉の用を果たさない。逆に言うと、観念の数だけ、発音がなければならぬということである。太古には、辞書はない。すべて、記憶するしかない。それはそれで、大変な知能が必要ではなからうか。もし、ここでみるようなことが、実際にあつたとすれば、途方もない知力の所産である。(2018年8月3日)

【s】【th】【z】太陽と月、心臓と心；太陽と影、月と汐、；惹く・惹かれるの因果関係：知：その具象としての魚・蛇；[出 [s h] [z u]；天体が東から昇る]

〔漢字〕日 [z i t s u]：西 [s e i]

[太陽と影、月と海水(汐)、太陽と月、心臓と心には、合理的(科学的)な因果関係がある。しかし、可視光線も引力も、まして心臓と感情を結び付けるものなど、目には見えない。今日(2018年)においてさえ、たとえば今、私の目の前にある黄色い机や灰褐色のパソコン、『動物の心』という猫の写真を表紙にあしらった雑誌にしても、われわれは、<色>というものは、物体の性質であって、可視光線がそれらの物体の上でその性質によって独特に反射されるものとは、考えてはいない。ましてや、それらが、われわれの網膜を刺激して、われわれはその網細胞の電気的な感興の量を知覚しているに過ぎないなどとは、つゆ、考えないだろう。色は物体の性質であるから、物体と切り離しては取り扱えない。カントでさえ、そのようにみなしていた(『純粋理性批判』)。実際、われわれは、<色>を、空間を飛び越えて、物体の表面に<知覚>する。そのことによって、われわれは、空間を、立体的に認識していると、思い為すのである。私は、これを、<最も合理的な錯誤>と呼んでいる。科学的な訓練を十分に受けているはずのわれわれでさえ、可視光線も、引力も、知覚できないのである。むしろ、それは動物としての人間には当然であり、われわれは、教育において科学的な知識を教授するだけでなく、人間であるわれわれが、なぜ非科学的なのかを、説く必要があるのではないだろうか。今日のわれわれは、どこかで、この食い違いを、無視してしまっている。その上で、相も変わらず、感覚的な<空間>や<時間>を論ずる(アインシュタインの相対性理論や量子力学)。しかし、素朴に、われわれの感覚に立ち戻れば、もっと違った形で、知の体形が見えてくるのではないだろうか。太陽と影との間にあるのは、可視光線であるが、そのような何かの存在に気付いたのは、古代ギリシャの哲学者ではない。月と汐との間にも、やはり見えない何か、存在する。その何かに気付いたのは、ニュートンが最初ではなかった。はるか数十年前に、すでに、ホモ・サピエンスは、その存在に気付いていた。その何かを、「知 [c h i]」と呼んだようである。太陽と影の間にあるもの、月と海水のあいたにあるもの、目には見えないが、たしかな実体。それが、「知」であった。この二者の関係を取り結ぶものが、「知」である。それは、目には見えない。ところが、あたかも、それが「見える」と思われる現象がある。それが、魚の泳ぎであり、蛇の進みであった。二者間を結びつけるもの自体、それが、魚であり、蛇であった。今日でこそ、それらの進行は、科学的に解析されるが、それでも、誰もが、上手く説明できる訳ではない。魚は、水中で、鱗や体ひれをくねらせるだけだが、実に、敏捷に動き回る。蛇の進みについては、今日でさえ、上手く説明できるものは、少ないであろう。そして、今日、魚や蛇が「知」の具現に他ならないとは、誰も考えない。他方で、今日でも、すべてのホモ・サピエンスの末裔が、蛇を気味悪がる。しかし、その理由については、誰も考えようとはしない。まして、その気味悪さが、「知」そのものだとは、知りもしない。まさに、このことこそが、今日のわれわれの、いわば、歪んだ<知の体形>だとは、まるで気付かないのである。]

I. 自然中心；森と海(森が優位)；採集と狩猟(採集が優位)

II. 人間中心 (共同 (集団) 生活); 森と海・湖沼 (海・湖沼が優位); 狩猟と採集; 太陰曆 (月; 汐が中心 [月が真上にある時と真裏にある時の二度汐が満ちる]) =>心臓と肺の関係が成り立つ (心臓が下から肺を制御する); この語群の期間観念に心臓が入った



シャチ



【猪（メス）の家畜化】 （猪）

〔古くから狩猟の対象とされてきた動物の一つであるが、非常に神経質で警戒心の強い動物である。普段より見慣れないものなどを見かけると、それをできるだけ避けようとする習性がある。〕

非常に突進力が強く、ねぐらなどに不用意に接近した人間を襲うケースも多い。イノシシの成獣は70kgかそれ以上の体重がある上、時速45kmで走る事も可能であり、イノシシの全力の突撃を受けると、大人でも跳ね飛ばされて大けがを負う危険がある。オスの場合には牙も生えているため、たとえ立ち止まっている場合でもオスの場合は鼻先をしゃくり上げるようにして牙を用いた攻撃を行う。オスの牙は非常に鋭く、訓練された猟犬であっても縫合が必要な大きな裂傷や深い刺傷を負う場合があり、作業服程度の厚さの布も容易に切り裂いてしまうという。この**牙による攻撃はちょうど成人の太ももの高さに当たる**ため、人間が攻撃された場合、大腿動脈を破られて失血死するケースが多く、非常に危険である。

多くの匂いに誘引性を示し、ダニ等の外部寄生虫を落としたり体温調節をするために、よく泥浴を行う。

生息域は低山帯から平地にかけての雑草が繁茂する森林から草原であり、**水場が近い場所**を好む。食性は基本的に山林に生えている植物の根や地下茎（芋など）・果実（ドングリなど）・タケノコ・キノコなどを食べる、草食に非常に偏った雑食性（植物質：動物質≒9：1）である。

野生下での寿命は長くて10年であり、一年半で性成熟に達する。幼少期にはシマウリ（縞瓜）に似た縞模様の体毛が体に沿って縦に生えており、成体よりも薄く**黄褐色**をしている。イノシシの幼少期は天敵が多く、この縞模様は春の木漏れ日の下では保護色を成す。この縞模様は授乳期を過ぎた生後約4か月程度で消える。

繁殖期は12月頃から約2か月間続く。繁殖期の雄は食欲を減退させ、発情した雌を捜して活発に徘徊する。発情雌に出会うと、その雌に寄り添って他の雄を近づけまいとし、最終的にはより体の大きな強い雄が雌を獲得する。雌の発情は約3日で終わり、交尾を終えた雄は次の発情雌を捜して再び移動していく。強い雄は複数の雌を獲得できるため、イノシシの婚姻システムは一種の一夫多妻であるとも言える。雄は長い繁殖期間中ほとんど餌を摂らずに奔走するため、春が来る頃にはかなりやせ細る。

巣は窪地に落ち葉などを敷いて作り、出産前や冬期には枯枝などで屋根のある巣を作る。通常4月から5月頃に年1回、平均4.5頭ほどの子を出産する。秋にも出産することがあるが、春の繁殖に失敗した個体によるものが多い。妊娠期間は約4か月。雄は単独で行動するが**雌はひと腹の子と共に暮らし、定住性が高い**。子を持たない数頭の雌がグループを形成することもある。

短い足とずん胴な体に見合わない優れた運動能力を持ち、最高では人間の短距離走世界記録保持者（100mを約9秒台後半～10秒、時速36km強）をも凌ぐ約45km/hの速さで走ることが可能である。近畿中国四国農業研究センターの実験によると、70kgの成獣が121cmの高さのバーを助走もなしに跳び越えることができた。立体感のあるものは苦手で、斜めに立てられた柵は越えることができない。扁平になった鼻の力（実際には首～上肢の力）はかなり強く、雄で70kg以上、雌でも50-60kgもある石を動かすことができる。

基本的には水を嫌い泳ぐことはないが、追い立てられたりして止むを得ず泳ぐこともある。犬かきで時速4km程度を出せ、30kmを泳ぐことも不可能ではないという。瀬戸内海では島の間を渡る猪がたびたび目撃されている。

積極的に前進することや向こう見ずに進むことを「猪突猛進」といい、これはイノシシが真っすぐにしか進めないところからきていると言われていたが、イノシシは他の動物と同様前進している際、目の前に危険が迫った時や危険物を発見した時は急停止するなどして方向転換することができ、真っすぐにしか進めないという認識は誤りである。（ウィキペディアより）

Ⅲ. 人間中心（共同（集団）生活）；サバンナ（狩猟と農耕（狩猟優位））；太陽暦（太陽が中心；上から引くだけ）=>心臓そのもの

〔肺と心臓の（生物・動物）関係から感情（思考・人間性）への移行〕；ネアンデルタール人種中心へ

（たとえば、以下のようなことが推測される。——定住での集団生活が進み、居住地の外部に、糞便の場所が決められる。最初は、そこは、ただ、汚らしい場所に過ぎなかった（κ α κ κ η（人糞）。ところが、次第に、そこに草が繁りだした。そうすると、糞便と草の繁茂とは、因果関係があると、看做される。つまり、より進んだ部族生活では、同じことが、全く違って見えてくる訳である。つまり、この子音の語群には、本来、語頭が[k]音であった語彙が、語頭音を消失した形で、紛れ込んでいるのではないか。すなわち、因果関係の、原因と結果という、二面を表す語彙群として、入り込んでいるのではないのか。従って、他の語群と、似た意味の語が含まれているが、それらは、より因果関係を含んだ語として、この語群に、新たに付け加えられたと思われる。語頭が[g]音の場合でも、同じことが言えるのではないだろうか。例えば、「ξ」や「φ」の語頭から[k]や[p]がはずれ、この語群に入ってきた。同様のことは、「χ」でもいえるのではないだろうか。語頭の[k]が取れて[h]になった。そういう風にして、語音は、変化してきた。おそらく、森での生活は、遙か昔の記憶として、語彙の中に姿をとどめるに過ぎなくなっていた。言葉（語音）が崩れていく一方、知性は、より発達しているようにも、見える。この[s]音の語群が、あまりに多いのは、そうしう事情があるからではないか。種子を蒔くような、農耕に近いことを行っていたのは、間違いない。ただ、主食となるような、植物を見つけられないだけではなかったのか。漢字にも「幻[g e n]」があることから、われわれの祖先が、アフリカを出る時に、芥子の種子を持っていたことは、想像に難くない。犬のように、物理的に困難を伴うものは、途中で消失したかも知れない。しかし、種は、高張らない。進出した先で、土地が許せば、持っていた種[s h u]を栽[s a i]培したかも知れないのである。漢字には「植[s h o k u]」もある。もし、以上のようにことが、たしかならば、また、次のようなことも言えるだろう。語頭音を外すことで、似たようではあるが、より観念的な意味を付加することができるならば、同程度の知能によって、ある語の頭や尻にべつの語をつけ加えることによって、似たような、べつの、より抽象的な観念を作り上げることが、可能ではないか。構造主義が流行った頃、当時未開と呼ばれていた部族が、植物や人間の種族などに、とても複雑な知識を持っていることに驚かされた。それが、構造主義を流行らせた源でもあった。同時に、かれらが操る言語が、たとえば、一つの語が、かなり複雑な文の意味を表していることも、明らかになった（レヴィ・ストロース『野生の思考』などを参照せよ）。日本語も、ひとつの語は、まるで、文のようにして、出来上がっている。一方、日本語には、「手」「木」「葉」「戸」など、一音の語が多数存在している。おそらく、原初の言語は、ただ一音で成り立ち、いわば感嘆語のように用いられたと考えられる。それだけに、発音は、かなり複雑で、数も多かったのではないだろうか。先ほどの、「ξ」や「φ」にしても、[k s] [p s]という二つの子音の構成である。これらの頭がとれて、二つとも[s]になった訳である。このような過程を経て、今日のような、ギリシャ語にしてもラテン語にしても、たかだか20程度の子音に纏められたのではないだろうか。そうして、片方では、接頭辞や接尾辞をつける。おそらく、世界中の言語で、接頭語や接尾辞をもたないものはあるまい。語の終りの形で、それが動詞なのか形容詞のか、副詞なのかといった品詞が、区別される。つまり、文法の根源が、語頭音を外すところから、生まれたと考えてよい訳である。文明にしても、言語にしても、ある日突然に生まれたと考えることには、無理がある。変化の原因が何だったのかは分からない。しかし、森を出て草原に出たら、新たな環境が待っているはずである。そこに適応し、あるいは、新たな発見をして、さらなる適応の循環を進んだ。それは、長い年月をかけて、緩やかに行われたことであろう。言語は、そもそも、「驚き」に対する表明であった。象徴的なことであるが、声帯は、感情のみを表出する器官である。そこに立ち返れば、言語がどのようにして生まれ、複雑になってきたかが、連続的に、そして、合理的、科学的に背詰めてされるだろう。文化も同じである。以上のことは、英語の[s]音の語彙を拾い出す作業を終え、同様のことをラテン語で行っている時、「stercorarius（糞便の、肥料の）」という語を見たときに、ふと考えたものである。／最新の動物学の研究では、昆虫から魚、インコ、オオカミ、イルカ、クジラ、ウシ、ニワトリ、オオカミ、カラスなど、多くの動物が高度な知能を持ち、声帯を持たない種類でも、コミュニケーションを取り合っていることが、分かっている。感情さえ持っているとは推測される行動も珍しくない。中でも、バンドウイルカは、噴気孔から出すシグネチャー・ホイッスルによって会話を行い、「自己」の名前さえ持っている（他のイルカが自分を固有の鳴き声で呼ぶ）らしいのである（『動物の心』ナショナルジオグラフィック（2018年4月）；筆者推薦の本。読めば世界観が変わります）。話しを戻すが、われわれの祖先がアフリカにいる時にすでに農耕を行っていたとすれば、それに纏わる語を、子孫であるわれわれが持っているはずである。漢字には、そのような意味の語が残されている。しかし、ギリシャ語やラテン語の間にさえ明確な体系の区別があり、同じ印欧語でも、英語も違っている。これらの事実は、べつのあることを想像させる。われわれの祖先は、必ずしも、同じ言語、同じ文化に集約されていたのではないのではないのかという、疑いである。一つの大きな集団も、いくつかの小集団（家族単位のような）から構成され、アフリカを

出た後も、そのような小単位で、分散していったのではないかという、推測である。小集団には、血縁的・古来の生活で距離の近いものもあれば、遠いものもある。そういった集団ごとに、世界中に散っていったのではなかっただろうか。さらに、定着した場所は、持参した文化（植物の種など）を必ずしも受け入れなかった。それが、今日の物的な差異を齎したに過ぎなかったのではあるまいか。（2018年5月15日）

昨今、ホモ・サピエンスとネアンデルタール人との関係には、遺伝子学的な論拠によって、画期的な考え方が明らかになってきたようだ。それによれば、もともと両者は70万年前のアフリカに由来するが、その後も、両者には、混血があったらしいというのである。考古学的な見地からは、ネアンデルタール人が、現代人よりも大きな脳を持っていたとされる（男性大人：1600cc/1450cc）。単純に考えれば、ネアンデルタール人は、優れた知能を有していたと看做される訳である。ネアンデルタール人は、ヨーロッパ大陸に住んでおり、当然、アフリカよりは、寒冷な地で暮らしていた。ホモ・サピエンスとネアンデルタール人が袂を和歌たつた後、ドナウⅠ、ドナウⅡ、ギュンツ、ミンデル、リス、そして最後にヴェンツ氷期が訪れている。遺伝子学（分子生物学）的、考古学的な方面から、ホモ・サピエンスがアフリカを出たという説は、何度も書き換えられているらしいが、いずれ、アフリカを出たのは確かであるし、アフリカ以外の現代人のDNAの中には、ネアンデルタール人と共通のものがあるということも事実である。もし、科学的な見地をそのまま受け入れるならば、ネアンデルタール人がホモ・サピエンスよりも発達した「文化」をもっており、彼らの方が、ホモ・サピエンスに侵入してきたと考える方が自然である。つまり、何度かの氷期に、ネアンデルタール人が南下して、ホモ・サピエンスと混交した。ただし、ホモ・サピエンスと、雑駁に交わったのではなく、たとえば、優位者のネアンデルタール人は、ホモ・サピエンスの有力者として、接しなかった。一方、ホモ・サピエンスもまた、森からサバンナへと、移り行き、その度に、新たな「文化」を築いてきた。ホモ・サピエンスにしてみれば、北方に優れた民族がおり、彼らに近づこうとして、アフリカを出たのではないかと、推測しても不思議ではない。むしろ、その方が、自然である。北方の優れた文化に惹かれるようにして、アフリカを出た。なぜ知能の優れたネアンデルタール人が滅び、劣ったホモ・サピエンスが地球を制覇したのかは、よく分からない。ただ、一つ明らかなのは、ホモ・サピエンスとネアンデルタール人の文化志向を比べた場合、ネアンデルタール人が自己求心的であるらしいのに比べ、ホモ・サピエンスは、強い遠心力を持っていたらしいことが挙げられるのではないだろうか。その「遺伝子」は、現代人にも脈々と受け継がれているようだ。われわれの「遺伝子」の中にも、それは強く作用しているらしく、いわば、弁証法的に、「他者」を、吸収して、膨張を続けるようである。そう考えてみれば、われわれの「文化」や言語の中にも、ネアンデルタール人由来のものが、存在するのかも知れない。あるいは、もっと詳しく、「われわれの言語」を、分析できるのかも、知れない。たとえば、歴史時代において、中国やフランスのような優れた文化をもつ中華思想は、自己求心的である。他方で、アングロサクソンのような文化性行は、遠心的である。今日、世界の共通語は、英語である。しかし、イギリスやアメリカが優れた文化を持っているからではない。言語としては、簡単で、インドやアメリカ大陸に進出するような、ある意味、ノーテンキな性格の故に、どこへでも進出してゆき、世界席卷してしまう。その両者の差異は、ネアンデルタール人とホモ・サピエンスの遺伝子の違いに基づくのかも知れない。（2018年5月24日）

たとえば、こういう事例がある。――

日本列島には、弥生時代以前には、縄文人が住んでいた。彼らの特徴は、背が低く、顔は彫りが深く、髭が濃い。こういった遺伝的な性質を典型的にもつのは、アイヌ人と沖縄人である。弥生時代には、稲作文化もつた朝鮮半島人が、一気に日本列島に押し寄せ、本州では、縄文人を駆逐し、周縁部へと追いやった。渡来人の特徴は、縄文人とはうって代わって、背がやや高く、顔は、のっぺりとしている。現代でも、日本人の中には、彫りの深い人がいる一方で、朝鮮人や中国人と見分けのつき難い人が多数である。では、日本列島では、文化、その象徴として言語を挙げて見ると、本州で話される言葉と、琉球語とは、極めて近いことが明らかになっている。残念ながら、アイヌ語については、よく分からない。しかし、成人T細胞白血病（ATL）のキャリアの分布をみると、身体的な特徴とその濃度は、完全に一致している。つまり、たしかに、遺伝的には恰も駆逐したかに見える現実がありながら、言語では、旧来の言葉を、ほぼそのまま受け継いできたという訳である。

その根底には、稲作という高等な文化といえども、一朝一夕にしては、根付かず、それが開花するまでの数世代の間は、依然として、旧来の生活を強いられたという現実があったからではないかと推測する。また、縄文人と渡来人との知能を比較することは、現代では、無意味である。脳容量は、同じであったことだろう。

この事例を、そのままホモ・サピエンスに当てはめることは、慎むべきではある。ネアンデルタール人は、ホモ・サピエンスよりも、大きな脳をもっていたのである。かれらの方が、優れた「文化」を持っていたと考えてよいだろう。

ただ、縄文人をネアンデルタール人、渡来人をホモ・サピエンスと仮定すると、実によく似た現実であるかのように、思われるのである。たしかに、遺伝子上では、ホモ・サピエンスがネアンデルタール人を駆逐した。ところが、文化、とりわけ言語が、ホモ・サピエンスに受け継がれたとすれば、どういうことが類推されるだろうか。――

どうやら、われわれに残された言語上の痕跡から見れば、東方に、劣った人種、もしくは旧来の文化を受け継ぐ人々がいたようである。東とは、エチオピアあたりのことではなかっただろうか。とすれば、森や湖沼・海を捨てた人々の中には、ネアンデルタール人の血が混じていたのかもしれない。そうして、自分たちのことを、高貴だということである。自分たちのことを、直径と呼ぶのである。

一方で、東方に残された人々、つまり傍系と呼ばれる人々は、彼等を、上辺だけの、見せ掛けだと言う訳である。現代のわれわれの血の現実においてそうであるように、われわれは、この、両者の、アンビバレントな血統を受け継いでいることになる。

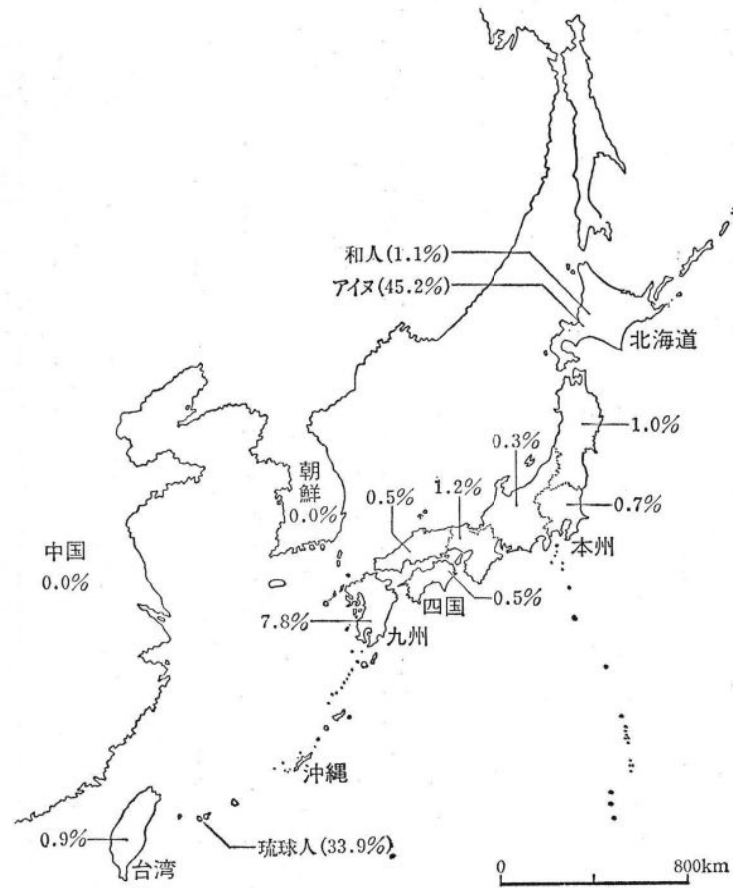
なぜエジプトにスフィンクスやピラミッドが築かれたかといえば、彼らの血統の中には、「残されたものの文化」を尊び、懐かしむ遺伝子があつからではないだろうか。むしろ、かれらの中にも、若干のネアンデルタール人の血は混じている。

他方、では、アフリカを出て行った人たちが、遺伝的に純粋であったかと言えば、そうではない。ネアンデルタール人とホモ・サピエンスの混血である。自分たちこそ、直径だと言いつ張ってきた一方、混血であることも、たしかな事実である。アフリカを出ながらも、アラビア半島で「迷っていた」のは、そういう矛盾した感情のせいではなかっただろうか。北方には、純潔のネアンデルタール人がいるのである。ここから、ネアンデルタール人を慕う一派と、それを嫌う派閥とに、分かれることになるのである。

では、なぜ、知能では劣っていたホモ・サピエンスが、優れたネアンデルタール人を「駆逐」してしまったのか。その理由は、よく分からない。ただ、われわれの中にも、求心的な中華思想と、それと反対の遠心的な植民地思想が混じているのは、確かである。そして、中華文化は、ギリシャやローマがそうであったように、必ず、滅びる。滅ぼされるのではなく、自滅する。盛者必衰。――

このような仮説は、無理があるかも知れない。しかし、そう考えなければ、説明が難しいこともあるようにも、思われるのである。とりあえず、こういう考えを、仮説として、持ち出す。(下図は、ATLウィルスのキャリアの分布図である。世界的に見ても、縄文人の濃度は、著しく高い。) (2018年5月25日)

【ラテン語】supra (I. 1. (空間的) 上に、上部に、越えて、より高く、上流に、**北方へ**、(文書などで) より先に、上に、2. (時間的) 以前に、かつて、すでに、3. より以上に、さらに、4. より高い地位に、5. II. 1. (空間的) ~の上に、上方(上部)に、~を越えて、~の上流に、**~の北方に**、2. (時間的) ~より以前に、3. (数量・程度) ~以上に、~より多く、~を越えて、4. ~を監督(管理)して) という語が出てきた。北アフリカに居住していれば、川の上流は、南方である。ここでは上流という概念が、北方に転用されているのである。北方が、つまり北方にあるものが、より高い地位にあった。もしくは、アフリカではなく、出アフリカ後に作られた言葉かも知れない。いずれにしろ、北方に優れたものがあつた。(2018年5月26日)



第6図

[惹く・惹かれるの因果関係；与える・生まれる]

[惹く・惹かれるの因果関係；進む：その構え]

〔人が〕（這う・座る（飛び跳ねる）・）（立つ）（重力に反発する）

[たとえば、ライオン。たいてい、寛いでいるとき、ライオンは、横になって、腹ばっている。立っているだけでも、労力が要るのである。事情は人間でも同じで、獲物を追ったり、移動したりすると、労力を使う。そして、疲れると、座ったり、横になる。なぜか——。重力が働いているからである。物は、放っておけば、倒れるし、石は坂を転がり落ち、水は低い方へ流れる。この原理を、人間も、身体を通して知っていた訳である。つまり、重力というものは、動物が、ほぼ、本能的に知っている自然の要素なのだが、人間は、それを、意識に載せたのである。そして、重力は、大地と身体という二者間に働く見えない「知」である。そして、木や草などの茎は、その重力に対して、反発する力を持っている。今日、背地性と呼ばれる植物の性質である。それもまた、蛇のような、「知」そのもの。古代のホモ・サピエンスは、それも承知していた。]

おそらく、ホモ・サピエンスという概念は、崩れ去るのではないだろうか。言語の上から見ても、その起源などというものは、ない。他の動物と同じように、感情や意思の伝達手段の一つにすぎなかったからだ。同様に、生活のありようや、骨格においても、いつからホモ・サピエンスと呼んでいいのか、判断できなくなるだろう。

どうやら、われわれの祖先は、樹木と地面とを生活に取り込みながら、次第に、地面や沼、海へと進出していった頃から、ヒトらしい思考を発達させたようである。チンパンジーにも、「驚（だ、気を付けろ）！」とか、「ライオン（だ、木に登れ）！」といった言葉がある。開けた地面には、それなりに、注意が喚起される。沼や海を利用すれば、さらにべつの事柄に気をつけなければ、生きてゆけない。新たな環境は、何も、常に恩恵を齎す訳ではないだろう。それは、常に、なんらかの、知恵を求めるはずである。考古学的な考え方は逆で、二足歩行するから、両手が使えるようになり、諸々の文化を生み出したのではないのではないだろうか。むしろ、地面へ進出するようになれば、立たざるを得なくなったのではないか。新しい環境が、ヒトに変化を求めたのではないのか。なぜ、わざわざ危険な地上へ降り立つようになったのかは、分からない。ただ、われわれの言語から窺がえるのは、常に、不思議なこと、あるいは、ある種の合理性を意識にのぼらせてコミュニケーションを図り（その程度のことは他の動物でも日常茶飯事に行っている）、それをもとに、積極的に、自らの外に世界を構築しようとしたことである。

海を日常的に利用しようとするれば、汐の満退を知らなければならない。それを心得ていれば、溺れることもなく、海の幸を手に入れことも可能である。さらに、汐の干満が、一日に二度あり、それが、どうやら、月との動きと関係があると分かれば、行動に計画が立つ。——

そうようにして、ヒトは、災いを福に転じて、さらなる、危険に挑むという、展開を遂げてきたのではないだろうか。最初の切欠は、些細なことに違いなかっただろう。しかし、そのことから、何かを学び（そのこともヒトに特別なことではない：学習は他の動物でも日常の能力である）、過剰に意識し、自らの世界をこじ開けた。モグラの穴が、堤防を決壊させるように、そこから、次第に、何かが大きく突破されていく。意識の過剰と欠いたが、何か、他の自然の圧力があつたのかも知れない。しかし、そのことじたいを、あまりに強調すべきではないのかも知れない。良いとか劣っているといった観念も、何もヒトに特有のものではない。ただ、理由はよく分からないが、自らを環境に合わせるのではなく、新たな環境を作り出すような方法を探ってきたことは、確かなようである。

そのことはさて置くとして、ヒトは、その適応の歴史を覚えているらしい。なぜだかは分からないが、どういうように、適応してきたのかを、記憶に刻んできたのである。ヒトは、ある日、突然に立って、二足歩行をするようになったのではなかった。どのようにして適応してきたのか。そのことも、明確に記憶されていたとしても、当然である。（2018年5月27日）

* [蛇]

(ξ・グシイに相当；陸)

(脈；呪文・蛇は一脈に相当する)

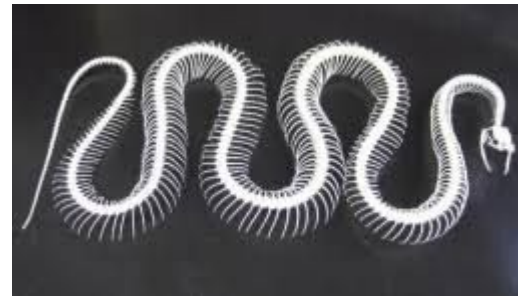
(1) 進み方

[蛇は地面を「蹴って」進む。今日では、田畑の整備された田舎でさえ、見かけることが少なくなりました。だから、蛇が、どのようにして進むかは、知らない人も多いかも知れない。蛇は、まず、頭で、進行方向を決める。身体の一部には、必ず、S字様の部分がある。そこで、地面を「蹴る」からである。ところが、どの部分もS字様なのではない。部分的には、棒のように生っている所もある。しかし、一旦、頭によって身体の形が決まると、それ以下の部分は、その頭の位置をなぞるだけである。だから、蛇の進行を見ていると、最初から決定されている曲線を、頭からなぞっていくようなのである。それは、何か、決定されている未知の道程を、その体が辿っているだけのようにも、見える。むしろ、蛇は、自分の目的に向かって、自分の意思で進んでいる。だから、その曲がった体は、極めて「知的」に見える一方で、「魔物」にも思われてしまうのである。今日でも、われわれが蛇を嫌うのは、まさに、そのS字様の動きにある。ギリシャ語の「γύρ」の語群には、まさに、これらの事情を反映した意味が籠められている。「知」とは、まさに、二者間を取り結ぶ因果そのものであった。]



(2) 獲物の捕らえ方

[ホモ・サピエンスが糸や紐を撚ることは、蛇が大きな獲物を絞め殺す様子を、真似たのではなかつただろうか。獲物に巻きついて絞め殺すには、獲物に力を加え、圧迫しなければならぬ。この場合、蛇と獲物との間には、見えない<力>が働いている。]



[I. 自然中心]

[[s] 音は、もともとは吐息という呼吸の因果律の擬態音であった。その音の対象が血液の流れに拡張され、更には、汐、太陽光にまでアナロジーが膨らんだ。また、射精にまで達すると、人間じしんを対象にすえることになる。これらの展開は、時間軸にそったものだろう。(2018年8月20日)]

I. 太陽

[太陽]

太陽

【ラテン語】

s o l (1.太陽、2.日光、太陽の熱、3.一日、4. 輝かしい存在、傑出した人物、5. [神話] ソール (太陽神；ギリシャ神話の **Herios** に当たる)), s o l s t i t i u m (1. (夏・冬の) 至 (し)、2.夏至、3.夏 (の暑さ)),

【英語】

S o l (1 [ローマ神話] ソル (太陽神；ギリシャ神話の **Helios** に相当)、2. [文学] 太陽), s o l a r [「太陽の」が原義] (太陽の、太陽に関する、太陽から生じる、太陽光線 (熱) を利用した、太陽の運行を基準にした),

【漢字】

聖、

月

【ラテン語】

S a t a n [ギリシャ語・ヘブライ語] (サタン、悪魔),

【英語】

S a t a n [「敵」が原義] ((ユダヤ教・キリスト教で) 悪魔、魔王),

【漢字】

邪、

[軌道]

太陽

【ラテン語】

s e v e r e (1.厳格に、厳しく、2.真面目に、真剣に), s e v e r u s (1.厳格な、厳しい、2.厳粛な、真面目な、3. (表情が) 厳 (いかめ) しい、難しい、4. (文体・建築様式などが) 簡素厳正な、5. (場所・状況が) 近づき難い、人を寄せ付けない),

【英語】

月

【ラテン語】

se・vehor (外れる、はみ出る), setius (1.別な風に、異なって、2.より少なく、より悪く), sevoco (1. (他から離して) 脇へ呼ぶ、2.引き離す、遠ざける、(べつの用途に) 流用する), soloecismus [ギリシャ語] (1.語法の誤り、文法違反、破格、2.誤り、過誤), solox ((羊毛が) 粗い、ざらざらした),

【英語】

solecism (1. [文法] 文法違反、2.無作法、3.不適切、不調和),

【太陽と影】

太陽

【ラテン語】

【英語】

south (1.南 (太陽・光・火などの象徴)、南方、南部、2.南部地方), source [「発生する起点」が原義] (1. (物事の) 源、源泉、根源、(植物・鉱物などの) 産地、2.水源 (地)、3. (情報などの) 出所、拠り所、原典、典拠),

影

【ラテン語】

sepia [ギリシャ語] (1. [動物] イカ、2.イカの墨、インク),

【英語】

sable (1. [動物] クロテン (毛皮が珍重される)、その皮、2.クロテンの絵の具筆、3.クロテンの服、喪服、4. [詩] 黒色、濃い褐色), somber (1.薄暗い、暗く陰気な、2. (人・性格・気分・表情などが) 陰気な、憂鬱な、深刻な、(見通しなどが) 暗い、暗澹たる、3. (色彩・服装などが) 黒ずんだ、地味な), solemn (1. (音楽・場所などが) 厳粛な、荘厳な、荘重な (感じを与える)、(時・真理などが) 重大な、重要な、厳粛な、2. (人柄・態度・表情・気分などが) 真面目な、謹厳な、重々しい、くそ真面目な、しかつめらしい、もったいぶった、(約束・保証などが) 真面目な、心からの、真剣な、3.宗教上の、神聖な、4. (色彩・服装などが) くすんだ、地味な), silhouette (1.影絵、シルエット、2. (人・物の) 輪郭、全体の形、3. (衣服などの) シルエット), singe (1. (~の表面を) 軽く焼く、~を焦がす、2. (理髪で髪などの) 先を焼く、3. (鳥・ブタなどを) 毛焼きする、(布の) 毛羽を焼く、4. (名声などを少し) 傷つける), secret (~をこっそり隠す),

不吉

【ラテン語】

sinister (1.左の、左側の、2.あべこべの、逆の、3.邪な、邪悪な、4.有害な、不都合な、5. (南を向いて占いをするローマ人の場合左の東側で見られる現象について) 吉兆の、縁起のよい、6. (北を向いて占いをするギリシャ人の場合左手の西側の現象について) 凶兆の、縁起の悪い), sinistra (1.左手、2.左側、左方), sinistre (1.不利に、不都合に、2.片意地に、ひねくれて),

【英語】

seldom [「起こる確率が2割くらい」が原義] (滅多に~ない、~の場合はほとんどない), sin [「神の掟に背くこと」が原義] (1.罪、罪悪、2.~に対する過失、無作法、3.ばかげたこと、常識はずれのこと), sinister (1.悪意のある、邪悪な、2.不吉な、縁起の悪い、3. [古語] 不運な、災いとなる、4. [紋章] (盾の紋地が) 左側の), southpaw (左利きの人),

II. 月

満月

【ラテン語】

setania [ギリシャ語] (1. [植物] セイヨウカリン、2. タマネギの一種), selenion [ギリシャ語] ([植物] 芍薬 (しゃくやく)), selenitis [ギリシャ語] (透明石膏),

satiabilis (1. 満足 (満腹) させる、2. 満足 (満腹) させられる), satias (1. 十分、豊富、2. 放漫、飽き飽きすること、夥しく), satio (1. 満腹させる、渴きを癒す、2. 一杯にする、3. (人・欲望などを) 満足させる、4. 飽き飽きさせる、うんざりさせる), satio (1. 種蒔き、植え付け、2. 種を蒔いた畑、耕作地), satis (I. 十分、II. 十分に、全く、確かに), satisdo (保証 (担保) をつける), satisfacio (1. 満足させる、十分である、2. 弁済する、償う、3. 謝る、弁解する、4. 保証する、確信 (納得) させる), satius (よりよく、望ましく), saturitas (1. 満腹、飽満、2. 豊富、充滿、3. (鳥の) 糞), Saturnius (土星), Saturnus (1. [神話] サトウルヌス (農耕の神、Jupiter の父、; Jupiter 以前の黄金時代の主神; ギリシャ神話の Cronos に当たる)、2. [天文学] 土星), saturo (1. 満腹 (飽食) させる、2. 満足させる、飽き飽きさせる、3. 浸す、染み込ませる、染める、4. (川などが土地を) 潤す),

【ギリシャ語】

σεληνη (①月、月光、②暦月、③月の女神),

【英語】

satisfy [「十分にする」が原義] (1. 満たす、充足させる、2. 満足させる、3. 納得させる、確信させる、(疑念・心配などを) 晴らす、(異論・疑問などに) 十分に答える、4. 果たす、履行する、(借金を) 返済する、5. (不正・損害などを) 償う、倍賞する、6. (基準・規則などに) 合致する、当てはまる), selenite (透明石膏),

【漢字】

三、

それ以外の月

満月以外の月 (石)

【ラテン語】

saxatilis (岩間に住む), saxatilis (岩間に生息する魚), saxetum (石ころだらけの土地), saxeus (1. 石の、岩の、2. 岩の多い、3. 岩のような、4. 無情な、冷酷な), saxicola (石を拝む者、偶像崇拜者), saxitas ([医学] 硬石、硬化), silex (1. 燧石 (すいせき)、火打ち石、2. (舗装・建造物に用いるような) 硬い石、3. [詩] 岩、石灰岩、4. 無情、冷酷), sabiletum (砂地、砂利採集場), sabulo (砂利、礫),

【英語】

疵

【ラテン語】

【ギリシャ語】

σάθροζ (腐った、完全でない、罅の入った、欠陥のある、点のある),

【英語】

【漢字】

瑕疵 [kashi (玉の傷); 疵 (欠点)], 石、

半月

【ラテン語】

【英語】

semi- (1.半~, 2.いくぶん~, やや~, 3.2回),

欠けていく月 (下弦の月)

【ラテン語】

sario (鋤を入れる、除草する), sartor ((鋤で) 除草する人), sarculatio (鋤による除草), sartorius ((鋤による) 除草の), sarpo (刈り込む、剪定する), sartura ((鋤による) 除草), segmen ((爪・髪の毛) 切ったもの、欠け落ちたもの), segmentum (1.切り取った部分、切片、2.区域、地域、3.縁飾り),

【英語】

sector (1. (産業などの) 部門、分野、2. [幾何学] 扇形、関数尺、尺規、3.区域、地域、4. [機械] 扇形歯輪、セクター、5. [軍隊] 扇形戦区), segment (1. (自然にできた境目で分かれた) 部分、区分、切片、2. [幾何学] 線分、(円の) 弧、弓形、3. [生理] 体節、環節、4. [言語学] 分節),

【漢字】

削、掃、鋤、

占、選、

【日本語】

剃る、削る、鋤、

満ちていく月 (上弦の月)

【ラテン語】

saburro (1.底荷を積む、砂 (葡萄酒) で満たす、2.腹いっぱい詰り込む), sine (~がなく、~なしに), sinuatio (湾曲), sinum (大きな酒盃), sinuo (1.曲げる、湾曲させる、2. (円・弧を) 作る、(風が帆・衣服を) 膨らませる、3.虚ろにする、削りぬく), sinus (1.曲がりくねっていること (部分)、湾曲、2. (衣服の) 襞、衣服、3.ふところ、財布、4.胸、心配り、5.中心部、内奥、6.碗、入り江、7.窪み、空洞、8.音韻の変化、抑揚、9.本棚、10. [解剖学] 洞、11. [病] 瘻 (ろう・せむし)),

【英語】

半月

【ラテン語】

sigma [ギリシャ語] (1.シグマ・ Σ ・ σ 、2.半円形の食事臥台、3.半円形の浴槽),

【英語】

月の軌道

【ラテン語】

selectio (選択), selenomantia [ギリシャ語] (月による占い), seligo (1.雑草(無用物)を除く、2.選ぶ、選択する), selinon [ギリシャ語] ([植物] パセリ、セロリ),

【英語】

select 「多数の中からよく吟味して選ぶこと」が原義 ((人・物・事を多くの中から) 選び出す),

【漢字】

選、

【日本語】

選(すぐ)る、

[月と汐]

月

【ラテン語】

signaculum (1.印章、2.しるし、表象), signalis (目印として役立つ), signate (明確に), signatus (1.刻印された、鑄造された、2.明確な、明瞭な), signifer (1. (艦船が) 軍旗を掲げた、(陶器が) 図像の描かれた、2.星をちりばめた、星座をもっている), signifer (1.軍旗手、2.主導者、指揮者), significatio (1.合図、報知、伝達、2.しるし、現れ、3.徴候、予兆、4. (身振り・表情による賛意の) 表明、5.ほのめかし、暗示、6. (語・表現の) 意味、意義、7. [修辭学] 強勢法), significo (1.表す、示す、合図する、2.予告する、3.意味する、4.ほのめかす、暗示する), signo (1.印をつける、刻む、記す、2.封印(捺印)する、調印する、3.刻印する、鑄造する、4. (指し) 示す、表す、5.目立たせる、6.気付く、注目する), signum (1.しるし、目印、2.封印、捺印、印章(付き指輪)、3.前兆、兆候、4.跡、痕跡、5.合図、信号、合言葉、6.軍旗、7.像、彫像、8.証拠、論拠、9.象徴、シンボル、10.星座、十二宮、11.奇跡),

【英語】

光るもの・ポジティブなもの(月・星)

【ラテン語】

sabaoth [ギリシャ語・ヘブライ語] ([聖書] 万軍、天軍), sideralis (星の、星座の), sidereus (1.星の、星の多い、2.太陽の、3. (星のように) 輝く、煌く、4.神々しい),

【英語】

sample (1.見本、標本、実例、2.商品見本、試供品、3. [統計] 標本、抽出標本), sateen (綿縞子、サテン), satin (縞子、サテン、1.縞子のような、滑らかな、光沢のある、2.縞子製の、縞子で覆われた), sequin (1.スパンコール(装飾品として衣服・スカーフなどに縫い付ける丸い小金属片)、2. [歴史] トルコ・ベネチアなどの金貨),

ネガティブなもの(汐)

【ラテン語】

saurix ([動物] フクロウの一種), sideratio (1.星によって起こると考えられた病気、2. [占星] 星位、星運),

【英語】

sambo (貶して) サンボ (黒人とインディオ、または黒人と白人の混血中南米人)、(一般に) 黒人, samizdat ([ロシア] 地下出版物), saucer (1. (茶碗の) 受け皿、2. (縁がせり上った丸い) 小皿、小皿状のもの、3.空飛ぶ円盤), sepia (セピア (烏賊の墨から作る暗褐色の絵の具)、セピア色),

誘うもの (月)

【ラテン語】

【英語】

seduce (1. (貶して人を) 唆す、誘惑する、墮落させる、(人を) 唆して (～) させる (させない)、2. (若い経験の少ない主に女を) 誘惑する、たらし込む、口説く、3. (褒めて) ～を魅惑する、惹きつける),

誘われるもの (汐)

【ラテン語】

【英語】

sebaceous ([生理] 脂肪 (質) の、脂肪を分泌する), secret ([生理] (器官が～を) 分泌する), seep ((液体・情報・勢力が～から) 染み出る、漏れる、次第になくなる),

一度目の汐

【ラテン語】

【英語】

sur- (上、超過), sure [「心配のない」が原義] (1.確信する、2.3.きっと～する、～するのは確実である、4.～するように気をつけよう、注意する、5.信頼できる、頼りになる、6. (証拠などが) 疑いの余地のない、確かな、7. (信念・足取りなどが) ぐらつかない、しっかりした、8.必ず起こる、避けられない、必然的な、9. (腕前・方策などが) 失敗しない、誤りのない、安全な), super- (上位、超過、過度、余分、以上、超越), superb [「誇らしい」が原義] (1.すばらしい、見事な、極上の、2. (建物・装飾などが) 荘厳 (壮麗) な、華美を極めた、3. (食事などが) 豪華な), super- (pの前で=sub), super (1. (アパート・事務所などの) 管理人、監督者、2. (映画の) 端役、補助員、3.警視、警察署長、4. [商] 特上品、優等品), sur- (rの前で=sub), surface [「顔 face の上 sur」] (1. (物体の) 表面、表、外面、2. (液体の) 3表面、水面、4.外見、外観、上辺、見かけ), surge (1. (海が) 波となって打ち寄せる、(群集などが) 波のようになって押し寄せる、2. (感情が) 湧き上がる), surprise [「上から sur 捕まえる prise」] [(1. (人・動物を不意に) 驚かす、びっくりさせる、あきれさせる、～に意外に思わせる、驚く、あきれ、2.～を不意に襲う、奇襲して占領する), survive [「越えて sur 生きる vive」] (長生きする、切り抜けて生き残る),

二度目の汐

【ラテン語】

salaco [ギリシャ語] (気取り屋、自惚れ屋), salar ([魚] マスの一種), Salarianus (粟の一種), secundae (1.脇役、代役、2. [医学] 後産), secundanus (1. [碑] 順風を吹き送る、2.第二位の), secunde (有利に、好都合に), secundo (味方する、助ける、成功させる), secundum (I. 1. 後に、2.第二に、次に、II. 3.~の後に、4. ~に沿って、~に並んで、5.~の後に、~が終わって、6.~の次に、~に次いで、7.~に従って、~と一致して、8.~に味方した、~に有利に),

【英語】

sus (疑惑、疑念), sus- (c, p, tの前で=sub), suspect [「好ましくないことが起こるのではないかと疑う」が原義] (1.~を怪しいと思う、~に容疑をかける、~がしたのではないかと疑う、(悪事・犯罪などの) 嫌疑をかける、2~だと思ふ、3~をうすうす感じる、4.~を怪しいと思う、疑う、信用しない), suspend [「下にsus吊るすpend」] (1.吊るす、懸ける、ぶら提げる、2. (権利・法の効力・機能・事業・活動などを) 一時停止する、3. (不正・非行などの罰として) 停職(休職) させる、4. (決定・承認などを) 保留する、決めずにおく、5. (空中・液体中に塵などが) 浮く、浮遊する), sustain [「下からsus保持するtain」] (1. (建造物を) 支える、(重さに) 耐える、2. (困難・被害・衝撃など) に耐える、屈しない、3. (家族などの生命を) 維持する、扶養する、4. (行動・努力・興味) を持続させる、(施設など) を維持する、5. (希望などが人・心) を元気づける、激励する、6. (人・物が損害などを) 被る、7. [法律] (発言などを) 確認する、認める), supply [「足りないものを十分にsup満たすply」] (1.供給する、配給する、2.補充する、埋め合わせする), support [「下supから支えるport」] (1.支える、2.扶養する、3.~を我慢(心棒) する、4. [演劇] ~を十分に勤める、助演する、脇役を務める), second [「次に続く」が原義] (1.第二の、2.もう一つの、別の、他の、3.最高のものに次ぐ、二流の), second [「秒は分に続く二番目の細分化できることから」] (1 (時間・角度の) .秒、2.ちよつとの時間), sub- (1.下、2.副、補欠、3.分割、細分、4.亜、類), subject [「下へsub投げるject」が原義] (I. 1.題目、主題、話題、課題、2.学科、科目、教科、3. [文法] 主語、主部、4.臣民、(君主国の) 国民、5. (賞賛・苦情などの) 原因、対象、6. (医学・心理学などの) 実験材料になる人(動物)、~の被験者、患者、7. [論理学] 主辞、[哲学] 主観、自我、実体、II. ~に従属している、服従している、~に掛かりやすい、~を受けやすい、~に左右される、(同意などを) 条件とする、必要とする), subjunctive [「接続する」が原義] ([文法] 仮定法の), sublime [「まぐさlinteの下に届くくらい高い」が原義] (1.荘厳な、崇高な、雄大な、すばらしい、2.卓越した、抜群の、高尚な、3. (貶して) (無知・無関心などが) 酷い、途方もない、4. [詩] 高慢な、尊大な、5. [解剖学] 筋肉が表面に近い), succeed [「事が次にsuc来るceed」が原義] (1.成功する、立身出世する、(事が人に) うまくいく、2. (人が) 後を継ぐ、後任となる、継承する、相続する、(財産などが~に) 遺贈される、3.~に続く、~の後に来る), succinct (1.簡潔な、すばりの、2. [文語] 服が体にぴったりの), succor (1. [文語] 援助、支援、2. [古語] 増授(教授) 物資(部隊)), succubus (1. (睡眠中の男と性交する) 魔女、2.悪魔、売春婦), succulence (1.多汁、多液、2.多趣), succumb (1.~に負ける、屈する、2.死ぬ、倒れる),

【漢字】

拙、

【日本語】

助、

水面

反射(映像)

【ラテン語】

【英語】

see [「目に見える」から「見て知る」「頭の中で考える、理解する」などの意味が派生] (1.見える、目に入る、~などを(夢などで) 見る、~かを見る、2. (人に) 会う、(人を) 訪問する、3. (人を) 見送る、送る、4. (場所を) 見物する、(映画・行事などを) 見る、5. (~を) 調べる、(本のページを) 参照する、よく見る、6. (新聞で) 知る、(事が~だと

いうことを) 見て知る、7. (事・時代を) 経験する、[文語] (時代が事を) 目撃する、8. (人が事が) 分かる、～を理解する、悟る、～に気付く、～を理解する、9. (人が人・事・物を) ～のように考える、(ある見方で) 見る、～と想像する、考える、10.～を予測する、予知する、11. (人が～) するのを黙って見ている、～なのを黙認する、12.～するように気をつける、配慮する、13 (人の) 面倒を見る、(物が人) に (場所・時間まで) もたせる)、 see ([カトリック] 1.司教の地位 (権限)、2.司教管区、3.司教座)、 survey [「上から sur 見る vey」] (1.～をざっと見渡す、見晴らす、2.概観する、概説する、概括的に見る、3. (綿密に) 調査する、観察する、4. (土地などを) 測量する、5. (家屋・土地・船などを) 検分する)、 sight [「見ること」が原義] (1.見ること、見えること、一見、一目、観察、2.視力、視覚、3.見える範囲、視界、視野、4. (目に入る) 景色、光景、眺め、5.見もの、物笑い (の種)、6. [文語] 考え、見解、意見、7.多数の～、8.狙い、照準、(銃の) 照星、照準器)、

【漢字】

視、写、

水 (海水面像 (波の両側にできる))

【ラテン語】

ses·quatus (3:2の比の)、ses·qui (もう半分だけ多く、1倍半)、simo ((鼻・出っ張りを) 潰す、平にする)、simpla (正味の金額)、simplaris ([軍隊] 定量の糧食を支給される)、simplarius ([法律] 単純な、無条件の)、simplex (1.一重の、単一の、2.単純な、簡単な、込み入っていない、3.簡素な、飾りのない、4.純真な、素朴な、率直な、5.無条件の、6. [文法] 原級の)、simpulatrix (神事に携わる女性)、simpulum ((神酒を注ぐ) ひしゃく)、simul (一緒に、同時に)、simulacrum (1.似たもの、2.似姿、像、肖像、3.まぼろし、亡霊、4.贗物、見せかけ)、simulatio (1.模倣、2.振りをする、見せかけ、3.口実、言い訳)、simulo (1.まねる、模倣する、2.似せる、変装する、3.描く、4.振りをする、見せかける)、sima [ギリシャ語] ([植物] 断面が反曲線なす削形 (くりかた)、反曲 (ペディメントの上端、水切り底の上に置かれる))、simia (1. [動物] サル、2.人まねをする者)、simila (小麦粉)、similis (似ている、類似した、同様の)、similitudo (1.似ていること、類似、2.よく似たもの、類例、3.絵、肖像、彫像、4.類比、比較、比喩、5.単調、一様)、similitu (同時に、一緒に)、simultas (不和、敵対)、

【英語】

sesqui- (一倍半)、simple [「1つの倍」] (1.単純な、簡単な、分かりやすい、～するのが容易な、2.質素な、簡素な、飾り気のない、3.無邪気な、気取らない、純真な、4.お人よしの、騙されやすい、おめでたい、5.全くの、純然たる、6.単一の、単独の、7. (地位・身分などが) 普通の、低い)、solitary (1.一人だけの、お供のいない、2. (人・気質が) 孤独な、孤独好きの、寂しい、3. (場所が) めったに人が訪れない、寂しい、4.唯一の、たった一つの (～でさえない))、

【漢字】

水、

波

【ラテン語】

salum [ギリシャ語] (1.大波、うねり、2.大海、外海、海)、

【英語】

sea (1.海、海洋、2.うねり、波、(ある状態の) 海、3.海辺、4.～海、5.たくさんの、～の海)、seethe (1. [文語] (波・水面などが) 泡立つ、逆巻く、2. (人が～に対して) 腹を立てる、(人・国などが不満などで) 騒然とする、(場所が人で) ごった返す、3. [古語] 沸騰する)、seismograph (地震計、地動計)、

塩

【ラテン語】

sal (1.塩、2.塩水、3. [詩] 海、4.風味、雅趣、5.機知、冗談、しゃれ), salsus (1.塩漬けた、塩味をつけた、2.塩辛い、塩気のある、3.機知のある、当意即妙な、滑稽な), sararium (塩を買うために兵士に与える給金、俸給、給料),

【英語】

塩の精製

【ラテン語】

sedens (1. (植物が) 丈の低い、2.沈殿する), solide (1.強固に、しっかりと、2.徹底的に、3.確実に), solidesco (1.丈夫 (強固) になる、2.傷口が固まる、癒着する), solido (1.固める、固くする、強固にする、2.凝固 (凝結) させる、固体化する、3. (半田付けして) 結合する、4. (傷口を) 癒着させる), solidum (全く、徹底的に), solidus (1.固い、強固な、頑丈な、2 (液体に対して) 固体の、3.ぎっしり詰まった、隙間のない、4.混ぜ物のない、本物の、5.全体の、全部の、6.実質的な、長続きのする),

【英語】

sediment (1. (液体中の) 沈殿物、おり、かす、カップの底に溜まった茶色の沈殿物、2. [地理] 堆積物), solder (1.半田、しろめ、蠟、2.結合するもの、絆), silt (沈殿), sinter (1. [地理] (鉱泉の) 沈殿物、珪華、湯の花、2. [冶金] 焼結物), solid [「かたい」が本義] (1.固体の、固形の、2.硬質の、硬い、(雲などが) 濃密な、濃い、3. (物体・家具・体格などが) 頑丈な、堅固な、がっしりした、4. (人・仕事などが) 堅実な、信頼できる、5 (中身が) 詰まっている、中空でない、6 (学問・書きもの・食事などが) 中身の充実した、(理由・議論・事実などが) 根拠のある、確固たる、信頼できる、(感情などが) 完全な、7. (時間が) 連続した、切れ目なしの、まるまる、(列・番組・壁などが) 中断のない、8. (金・銀などが) 中まで同質の、鍍金でない、(色彩が) 同一の、一様な、無地の、9. (人などが~に賛成・反対して) 団結した、満場一致の、10. [数学・物理] 立体の、3次元の), souvenir (旅・出来事などの) 記念品、土産、([化学] ゼル、コロイド溶液),

III. 太陽と月

日食

【ラテン語】

solo ((地域・家の) 住民 (住人) を絶やす、荒廃させる),

【英語】

sadism ([精神医学] サディズム、加虐趣味), sabotage [フランス語] (1.サボタージュ (労働者が故意に機械設備を損傷して生産を妨害すること)、破壊工作、2. (一般に) 妨害行為), sanguinary [文語・古文] (1. (戦いなどが) 血腥い、血みどろの、2.血に飢えた、残忍な、(法律が) むやみに死刑を科する、3. (言葉が) 下劣な、口汚い), saturate (1.完全に浸される、2~を~で一杯にする、満たす、3~を染み込ませる、4. [経済] 市場に商品を過剰供給する、5. [化学] ~を飽和 (中和) させる、6. [軍隊] ~に集中攻撃を加える), sedition (1. (反政府的な) 扇動、扇動的な言行、治安妨害、2.騒乱、反乱、暴動),

月食

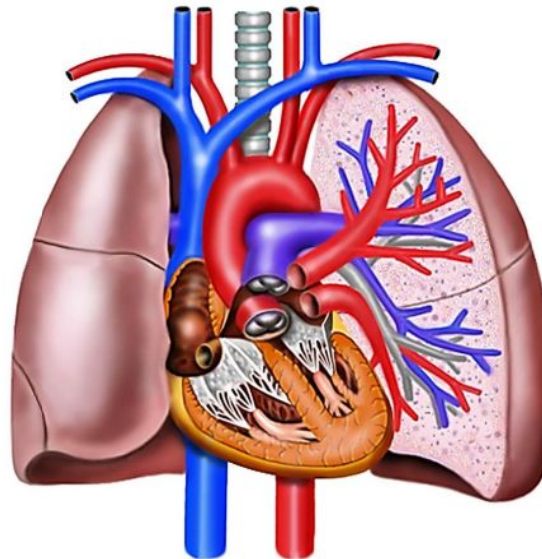
【ラテン語】

Sodoma [ギリシャ語・ヘブライ語] ([聖書] ソドマ、ソドム (死海沿岸にあった Palestina の都市; 邪悪な住民のため天からの火に滅ぼされたという)),

【英語】

Sodom ([旧約聖書] ソドム (死海南岸の古代都市: 住民の悪徳のため隣町の G.morrah と共に天の火で焼き滅ぼされたという)),

IV. 心臓



心臓 ([s y])

【ラテン語】

Sybaris [ギリシャ語] (シュバリス (Magna Graecia の Tarentum 湾に面したギリシャ人の殖民市; 富と奢侈で有名)), Sybariticus (1.Sybaris の、2.猥褻な), sybotes [ギリシャ語] (豚飼い), sycaminos [ギリシャ語] ([植物] 1.桑 (クワ)、2.エジプトイチジク), syce [ギリシャ語] (1.松脂、2. [植物] トウダイグサの一種 (=papilis)), sycites [ギリシャ語] (イチジク酒), syconium [植物] (イチジク状果), sycophanta [ギリシャ語] (1.告発者、密告者、中傷者、2.詐欺師、ペテン師、3.ごますり、おべっか使い), sycophantia [ギリシャ語] (悪巧み、ペテン), Syene [ギリシャ語] (シュエーネー (上エジプト南部の町)), Syenites (シュエーネーで切り出された赤色の花崗岩), syllaba [ギリシャ語] (1.音節、シラブル、2.詩行、韻文、3.手紙、書簡), syllabus (1.要覧、一覧表、2. [カトリック] 誤謬表), syllepsis [ギリシャ語] ([修辞学] 兼用法), sylloge [ギリシャ語] (収集、集成), syllogismus [ギリシ

ャ語] (三段論法), *Symaethis* (*Symaethus* 河神の娘であるニンフ), *symaethus* [ギリシャ語] (シュマエトウス (*Sicilia* 島東岸の川)), *symbiosis* [ギリシャ語] ([生物] 共生 (異種の生物が一緒に生活している様式)), *symbola* [ギリシャ語] ((宴会の) 費用の割り前、会費、割り勘), *symbolicus* [ギリシャ語] (象徴的な、比喩的な), *symbolis* [ギリシャ語] (1. (取引などなどの相手を確認するための) 割符、(印章の) 印影、2. 印章付き指輪), *symmetria* [ギリシャ語] (均整、釣り合い、対称), *symmystes* [ギリシャ語] (1. [碑] 同じ密議 (秘儀) を授かった者、2. 仲間、同僚), *sympasma* [ギリシャ語] ((身体に) 振りかける粉薬), *sympatheticus* [ギリシャ語] ([解剖学・生理学] 交感性の), *sympathia* [ギリシャ語] (共鳴、共感), *symphonia* [ギリシャ語] (1. 音の調和、協和音、2. 楽隊、合唱団、その演奏 (合唱)), *symphysis* [ギリシャ語] (1. [解剖学・生理学] (骨の) 結合 (部)、2. [植物] 合着), *Symplegades* [ギリシャ語] ((伝説) 打ち合い岩 (黒海の入りの *Bosphorus* 海峡両岸にそそり立っていた二つの岩; その間を通過しようとする船を両側から動いて破壊したという)), *symplegas* [ギリシャ語] (結合、癒着), *symposium* [ギリシャ語] (宴会、饗宴), *symptoma* [ギリシャ語] (1. (多数が) 同時に倒れること、2. [病] 徴候、症状), *synaeresis* [ギリシャ語] ([文法] 合音 (2母音が連続する際の二重母音化・約音・先行母音の子音化などの現象)), *synagoga* [ギリシャ語] (1. ユダヤ教徒の集会所、シナゴーク、2. ユダヤ教、ユダヤ人、3. 集まり、会衆), *synallagmaticus* [ギリシャ語] ([法律] 双務的な), *synanche* [ギリシャ語] ([病] 咽喉炎), *synangium* [ギリシャ語] ([植物] 聚囊 (シダ類一部に見られる合着し房室に入った胞子囊群)), *synapsis* ([生物] シナプシス、対合), *synaxis* [ギリシャ語] (礼拝 (集会)、聖餐 (式)), *synchrisma* [ギリシャ語] (香油を塗ること、塗油), *synchronus* [ギリシャ語] (同時代の), *synchrosis* [ギリシャ語] ([文法] 構文の乱れ、破格), *syncopa* (1. 失神、卒倒、2. [文法] (語中の) 文字 (音質) の消失、語中音消失), *syncrasis* [ギリシャ語] (混合、融合), *syndesmosis* [ギリシャ語] ([解剖学] 靭帯結合), *synemptosis* [ギリシャ語] ([文法] (格の) 一致), *syngrapha* [ギリシャ語] (支払い誓約書、信用証書), *sunnavus* [ギリシャ語] ([碑] 同じ神殿に祀られた), *synochitis* [ギリシャ語] (宝石の一種 (未詳)), *synodia* [ギリシャ語] (斉唱), *synodicus* [ギリシャ語] (1. [カトリック] 協会 (司教) 会議の教令に叶った、2. [天文学] (惑星が) 太陽と同じ方向にあるときの、合の), *synoecium* [ギリシャ語] (共同住宅、下宿屋), *synonymum* [ギリシャ語] (同義語), *synopsis* [ギリシャ語] (1. 概観、実測 (図)、2. 明細目録), *synostosis* ([解剖学] 骨融合、骨質結合), *syntaxis* [ギリシャ語] ([文法] 語の結合、統語法、構文法), *syntecticus* [ギリシャ語] ((体力を) 消耗させる、消耗性の), *syntexis* [ギリシャ語] (消耗、衰弱), *synthesina* [ギリシャ語] (食事着、部屋着), *synthesis* [ギリシャ語] (1. (食器・皿などの) 一揃い (一式)、2. (食事着・普段着・寝間着などの) 一揃いのゆったりした衣服、3. (薬の) 調合), *syphilis* ([医学] 梅毒), *Syricus* (*Syria* の、果皮の黒い), *syringa* (1. [医学] 浣腸器、浣腸、2. [解剖学] 瘻、瘻孔), *syringias* ([植物] (笛の材料となる) 葦), *syrinx* [ギリシャ語] (1. 葦、2. 葦笛、3. 洞穴、地下道、4. [解剖学] 瘻、瘻孔、5. [鳥] 鳴管), *Syrinx* [ギリシャ語] ([神話] シュリンクス (葦に変身した *Arcadia* の川の精; *Pan* がこれで葦笛を作った)), *syрма* [ギリシャ語] (1. 喪裾のついた衣服 (特に悲劇役者の長衣)、2. 悲劇), *syron* ([植物] ニンニク的一种), *Syrtis* [ギリシャ語] (シユルティス、シルテス (*Carthago* から *Cyrene* にかけての地中海沿岸にある二つの浅瀬 (流砂地帯); 航海の難所)), *Syrus* (*Syria* 人 (特に奴隷)), *systema* [ギリシャ語] (1. 組み合わせ、集積、2. [音楽] 音階), *systematicus* (体系的な), *syzygia* [ギリシャ語] (1. 結合、組み合わせ、2. [詩] 複数脚混用),

【英語】

sybarite ([文語] 快楽主義者、遊蕩に耽る人), *sycamore* ([植物] アメリカスズカケノ木、プラタナス), *sycophant* (貶して) おべっか使い、ごまをする人), *syenite* ([鉱山] 閃長岩), *syllable* (1. [音声] 音節、シラブル、音節を表す綴り (文字)、2. (否定文で) 一言、一語), *syllabus* (1. (講義などの) 摘要、概要、要旨、教授細目、時間割り、2. [法律] (判例集中の) 判決の頭柱、(学生用の) 判例要覧), *syllipsis* (1. [文法] 兼用法、くびき語法、2. [修辞] 双叙法 (同一語を同時に文字通りの意味と比喩的な意味とに使う表現; *He lost his son and his sence.*)), *syllogism* (1. [論理学] 三段論法、演繹法、2. 手の込んだ議論、詭弁), *symbiosis* ([生物] 共生), *symbol* (1. 象徴、表象、2. ~の記号、符号、3. [神学] 信条), *symmetry* (1. (左右の) 対称、2. 釣り合い、調和、均整、調和表、3. [数学] 対称変換、[植物] 相称、[物理学] 等方性), *sympathy* [「感情を共にすること」] (1. 同情、思いやり、2. 共感、共鳴、同意、支持、3. [生理学] 交感、[物理学] 共鳴、共振), *sympton* [「共に *sym* 落ちる *pton*」] (1. 徴候、兆し、しるし、2. [医学] 徴候、症候 (状)), *syn-* ((ギリシャ語系の語について) 共に、同時に、類似), *synagogue* (ユダヤ教の礼拝堂、シナゴーク), *synapse* ([生理学] シナプス (神経細胞の接合部)), *sync・synch=synchronization* (1. 同

時に起こること、2. (数個の時計が) 標準時を示すこと), syncopate (1. [文法] (中間を省略して) 語を短縮する、2. [音楽] ~を切分する), syphilis ([医学] 梅毒), syringe (1.注射器、洗浄器、洗腸器、2.注入器、スポイド、水鉄砲), syrinx (牧神パンの笛、草笛、[鳥] 鳴管), system [[共にsyn組み立てるものstem] (1.制度、組織、体制、社会秩序、2.体系、系統、学説、装置、3.体系的方法、方式、4.整然とした手段、秩序、5.身体、体), systole ([生理学] 心臓収縮期),

【漢字】

心、出、始、初、終、

【日本語オノマトペ】

シュツシュツ、

心臓 ([s i] <= [s y])

【ラテン語】

【英語】

semblance (1.外見、外観、うわべ、見せかけ、2.類似、似通い), similar [[「似た」のような]が原義] (1.~とよく似た、類似した、同類の、2. [数学] 相似の), simile ([修辞] 直喩), similitude [文学] (1.類似、2.外見、似姿、3.たとえ話し、比喩), simoniacal (聖職売買の), simoon (シムーム (アラビア地方の砂漠の砂嵐)), simulate (1~の振りをする、~を装う、2.~をまねる、~に擬態する、3.~の模擬実験をする), simultaneous (1.~と同時の、同時に起こる、2. [数学] 連立の), sill (1.敷居、窓敷居、2. (建物の外観などの) 土台、3. [地理] 貫入岩床), sillily (愚かにも), silly [[「幸せな」が原義] (1. 人がバカな、愚かな、思慮のない、(考えなどが) バカバカかしい、馬鹿げた、2.気絶して、頭がぼうっとして、3. [古語] 白痴の、4. [古語] 単純な、無邪気な), since (1. ~して以来、~してから (今まで)、2.~だから、~なので、~なので言うが), sincere [[「きれいな」が原義] (1. (人が心かこ) 誠実な、真面目な、2. (言動感情などが) 偽りのない、心からの、真剣な), sinecure (1. (収入だけで実務のない) 閑職、2.名目だけの牧師職), sinew (1.腱、2.筋肉、体力、精力、3. (根源としての) 力、資力),

【漢字】

颯、爽、

色

【ラテン語】

sandaraca [ギリシャ語] (1. [鉱石] 鶏冠石、2.蜂バシ、3. [薬] サンダラック (樹脂の一種)), sibi ([植物] トウゴマ、ヒマ),

【英語】

【漢字】

赤、朱、

形

【ラテン語】

sarca [ギリシャ語] ([碑] 肉、肉体), sarcamos [ギリシャ語] (嘲り、皮肉), sarcoma [ギリシャ語] ([病] 肉腫), sarcophagus [ギリシャ語] (石灰岩 (死体を分解すると考えられ石棺に用いられた)), sarcophagus (石棺、墓石), sarda ([鉱物] 紅玉髓), Sardanapalus (サルダナーパールス)

(Assyria 最後の王: 巨富と淫蕩で有名), sardius [ギリシャ語] ([鉱物] 紅玉髓), sardonius [ギリシャ語] ([鉱物] 紅縞瑪瑙), sargus [ギリシャ語] ([魚] タイ科の魚), sartago (1.フライパン、2.寄せ集め、ごた混ぜ), satillum (少量), satum [ギリシャ語] ((ユダヤ人の) 乾量単位), satur (1.満腹した、2.肥沃な、実り豊かな、3.湿った、4.濃い(深い)色の、濃い(深い)色に染められた、5. (話題が) 内容豊富な), satireia ([植物] キダチハッカ), saturnismus ([病] 鉛中毒),

【ギリシャ語】

σαρξ (肉、肉体)

【英語】

動き

【ラテン語】

saepes・seper (垣、塀、囲い), saepicula (しばしば、頻繁に), saepio (1.生垣をめぐらす、囲いをする、2.取り囲む、包囲する、3.閉じ込める、封鎖する、4. (防壁で) 囲む、防御する、5.包む、覆う), saeptulum ([静物・解剖学] (小) 中隔), saeptum (1.囲い(地)、2. (Campus Martius にあった) 投票所、3. 塀、柵、4. [静物・解剖学] 中隔、隔壁), saporago [ギリシャ語] (いかもの食いをする),

【英語】

sash (窓枠、サッシュ、すべり枠、(温室などの) 明り窓),

中央

【ラテン語】

【英語】

【漢字】

心、

【機能】

形

【ラテン語】

sappinus ([植物] トウヒ), sarcimen (縫い目), sarcina (1. (運ぶための) 包み、束、2. (土地・家屋以外の) 所有物、家財、3. 荷、荷物、重荷、責任、負担), sarcinator ((服の) 修繕屋), sarcinator (荷物番), sarcio (1.つくろう、修繕する、2.埋め合わせをする、償なう), sarcion [ギリシャ語] (エメラルドの瑕疵),

【英語】

機能

【ラテン語】

sandyx (朱、紅), sanguinalis (血の), sanguinarius (1.血の、2.血に飢えた、残忍な), sanguinolentus (1. 血に汚れた、血まみれの、2. 血のように赤い、深紅色の、3.血に飢えた、惨酷な), sanguis (1.血、血液、2.流血、3.活力、血気、4.血統、生まれ、家系、血縁、子、子孫),

【英語】

【左右と対称性】

左右 (動脈血・静脈血)

左右の独立

【ラテン語】

se (なしに), se- (1~なしに、2. (動詞について) 離れて), secretarius (1. (宮廷の) 秘書 (書記) 官、2. (教会の) 宝物の管理人), secreto (1.離れて、別れて、2.個々に、別々に、3.密かに、こっそり), secta (1.道路、路線、方針、2.学派、党派), secus ((男女の) 性 (別)、(その性に属する者の) 集団), secus (1. ~に沿って、~と並んで、2. [碑] ~に従って、~と一致して、3.~に続いて、~の後に), -secus (~の側に), secubitus (独り寝),

【英語】

対称性・動き

【ラテン語】

samara (1.榎、2. [植物] 翼果), Sithon [ギリシャ語] (シートーン (両性具有者の名)), siquidem (1.もし本当に~ならば、2.たとえ~でも、3.~だから), sirempus (全く同じように、よく似た),

【英語】

samara ([植物] 翅果、翼果), same [「共に」が原義] (1.同じの、同様な、2.同一の、まさにその、3.変わらない、同じ、4.今言ったばかりの、前述の、例の、5.単調な、一定の、不変の),

【漢字】

心、称、

【左と右 (右→左)】

(右→左)

【ラテン語】

secutio (追求), secutor (1.随行者、従者、2. (retarius と闘う) 軽装剣闘士), sector (1.切る人、2. (戦利品・没収財産の競売における) 落札者), sector (1.同行 (随行) する、2.追いかける、追跡する、3.追求する、狙う、目指す、4. (洗礼・習慣などに) 倣う、従う、5.しばしば訪れる),

【英語】

左→肺=>右 (動き) (三段論法)

【ラテン語】

Seres [ギリシャ語] (東方の住民、中国人), seria (陶製の壺), serica (絹地、絹織物), Sericus (1..Seres 人の、2.絹 (製) の), series (1.一続き、連続、2.血統、系統), serius (1.重大な、重要な、2.真面目な、真剣な), sermo (1.話し、言葉、2.対話、会話、話し合い、3.噂話し、雑談、4.話題、5.話し方、言い回し、6.話し言葉、散文、7. (特定の集団 (時代) の) 言語、方言), sero (1.絡み (編み) 合わせる、2.結合 (連結) する), sero (1. (種を) 蒔く、(木を) 植える、2.撒き散らす、広める、3.産ませる、子をもうける、4.生じさせる、引き起こす), sero (門で閉ざす), sero (1.遅く、遅れて、2.遅すぎて), serosa ([解剖学・動物] 漿膜), serotinus (1.遅れた、晩成の、2.夕方の), serpyllum [ギリシャ語] ([植物] イブキジャコウソウ属の植物), serracum (1.荷馬車、2. [天体] 北斗七星), sertā (花輪、花綱), serum (遅い時刻), serus (1.遅い、遅れた、遅咲きの、晩成の、2.後の、3.遅すぎる、時期を失した、4.遅い時刻の),

【英語】

saunter (ぶらつく、のんびり散歩する), serious [「真面目な、厳かな」が原義] (1. (人・性格が) 生真面目な、(陽気さ・快活さがなく) 考え込んだ、(行事・状況などが) 厳肅な、2.本気の、その気になって、(冗談でなく) 真面目な、3.重大な、危険を孕んだ、4.芸術本位の、堅い), saga (1.サガ (北欧中世の散文による英雄伝説)、2. (退屈な) 苦労話、経験談), sermon [「結ぶもの」→「話し」] (1. (教会の) 説教、2. (長くて退屈な) お説教、小言), siege (1. (都市・砦などに対する) 包囲攻撃、包囲期間、2. (病気などの) 長く苦しい期間、3.執拗な努力 (説得)), side [「長く延びる」が原義] (1.側、面、2.側面、わき、横、そば、[幾何学] 三角形などの辺、立方体の面、3.横腹、脇腹、(動物の) 脇肉、山腹、(丘などの) 斜面、[海事] 船ばた、4.~の味方の、~の敵の、5.面、局面、6. (血統の) 関係、系、~方、7.気取り、厚かましさ、8.横の、側面の、主ではない、副次的な、9. (本の) ページ), sidle (こっそりと横に歩く、~におそろおそろにじり寄る),

左→肺⇒右 (血液の浄化)

【ラテン語】

selologia ([医学] 血清学) serum (乳漿、漿液),

【英語】

serology (血清学), serous (1.漿液の、漿液を生じる、2. (液体が) 漿液状の水のような、希薄な), serum ([医学] 血清), siccative (乾燥力のある),

動き

【ラテン語】

satago (1.手いっぱいである、2.じたばたする、大騒ぎする、3.難儀する、切羽詰っている、4.借金を払う), sed (1. (否定の後で~ではなく) ~で、2.しかし、けれども、3. (話題の転換) ところで、それはさておき、4. (強調・敷衍) しかもその上に、そればかりか), sedecim (16の), sera (遅く、遅れて), sicunde (もしどこかで~ならば、どこからでも~ならば), sicut (1.ちょうど~のように、~と同様に、~のように、そのように、2.いわば、3.あたかも~のように、4.たとえば), sin (しかしもし), si (もし~ならば), sive (1. (先行する si と共にまたは単独で) あるいはもし、2.あるいは~か (にせよ) あるいは~か (にせよ)、3.あるいは、否むしろ), singltim (すすり泣きながら、途切れ途切れに), singultio (1.しゃっくりする、あえぐ、しゃくりあげる、むせぶ、2. (雌鳥が) コッコッと啼く、3.脈動する、脈打つ), singulto (1.息を切らせて言う、すすり泣く、2. (喉から血が) どくどく流れる、3. (しゃくり上げるような鳴き声を) 発する、(喘ぎながら息を) 吐き出す (=息が絶える)),

【英語】

【漢字】

騒、

【日本語】

騒ぐ、

詰め込む

【ラテン語】

【ギリシャ語】

σ α τ τ ω (①一杯にする、～に～を詰め込む、②荷を負わせる、～に～を積む、～に～を供給する、装わせる、装備させる、③押し固める、城壁を固める)、

【英語】

【右と左】

左 (肺静脈)

【ラテン語】

s i p h o [ギリシャ語] (1.サイフォン、吸い上げ管、2.消火ポンプ、3.噴流), s o r b e o (1.飲み込む (下す)、吸い込む、2. (感情などを) 抑える、堪える), s o r b i l o (ちびりちびり、少しずつ)、

【ギリシャ語】

σ ι κ κ υ α (①瓢箪、②吸いふくべ、③吸い玉 (瀉血用具)), σ ι φ ω ν (①酒をくみ出すためのサイフォン、②管、吸入管、吸うもの、③男根), σ ε ι ω (①振り動かす、振り回す、揺り動かす、揺さぶる、振動させる、(髪を) 靡かせる、②強請る)、

【英語】

s a c k ((都市など) の財貨を略奪する), s a c k (サック酒 (16、7世紀にスペインやカナリア諸島から英国に輸入したシェリー酒・白葡萄酒)), s e i z a b l e (1.掴める、捕らえられる、2.押収できる), s e i z e [「手で捕らえる」が原義] (1.急にぐいと掴む、～を～から掴み取る、2. (犯人を) 捕らえる、逮捕する、3. [法律] (物件・財産を) 押収 (没収) する、差し押さえる、4. (敵地・鍊力を) 奪い取る、5. (病気・苦痛・恐怖が人を) 襲う、6. (意趣を) 理解する、(ポイントを) 飲み込む、7. (機会・チャンス) をつかまえる、とらえる), s i p ((茶・酒などを) 少しずつ飲む、ちびちび飲む), s i p h o n (1.サイフォン、吸い上げ管、2. (炭酸水を入れる) サイフォン瓶、3. (貝などの) 吸管、吸管), s u c k (1. (液体を) 吸う、啜る、(果物など) の汁を吸う、(果物などを) ～にまるまで吸う、2. (飴・指などを) しゃぶる、嘗める、3.～を吸い込む、(渦巻き・沼地などが) ～を呑み込む、4. (知識などを) 吸収する、(利益などを) ～から得る、5. [卑語] (人に) 性器接吻する)、

【日本語】

吸う、

右 (肺動脈)

【ラテン語】

s a l i e n s (噴き出る、迸る), s a l i e n t e s (噴水、泉), s i l a n u s [ギリシャ語] ((Silenus 像の頭部から出る仕組みの) 噴水), s i t i c e n (葬儀用の特殊なラッパを吹く人)、

【ギリシャ語】

σ α λ π ι γ ξ (喇叭、喇叭の信号)、

【英語】

salable (売するのに適した、よく売れる), sale (1.販売、売却、2.売上高、3.需要、売れるチャンス、市場、4.特売、大安売り、特売の、5.競売、せり市), sally (1 (包囲している敵へ向けての) 突撃、出撃、2. (行動・表現の) 突出、迸り、3.小旅行、ちょっとした遠出、4. (悪意のない) 気の利いた言葉), sax (ストレートハンマー (zax)), sax (サクソフォン), sennet (〔歴史〕 ラッパ信号、ファンファーレ (エリザベス朝演劇での俳優の登場・退場の合図)), send [「行かせる」が原義] (1.発送する、発信する、2.行かせる、派遣する、3.送り出す、飛ばす、4.放出する、発散する、(草木が枝・葉・芽などを) 出す、5.~を~の状態にする、6. [文語] (神が人に) 授けたもう、7. [古語] (おどけて、皮肉に) (人を) 興奮させる), soar [「外を飛ぶ」が原義] (1. (鳥・飛行機、ボール・スキーヤーなどが空高く) 舞い上がる、2. (鳥が羽ばたかず翼広げたま) 空高く舞う、3.急に上る、(温度などが~まで) 急上昇する、4.聳え立つ、高く聳える、5. (希望・野心・意気などが) 膨れ上がる),

【動きの神秘さ】

神秘さ (神聖さ)

【ラテン語】

sacellum (礼拝所、聖堂、祠 (ほこら)、社 (やしろ)), sacena ((いけにえ用の) 斧), sacer (1. (捧げ物が) 清められた、聖別された、2.呪う、忌む、3. 神聖な、聖なる、4.尊敬すべき、崇高な), sacerdos (祭司、神官), sacoma [ギリシャ語] (平衡錘、釣り合い錘), sacra (1.神聖なもの (道具、場所)、2.宗教儀式、祭儀、崇拜、3. [詩] (Muse に捧げられたものとしての) 詩歌), sacralis ([解剖学] 仙骨の), sacramentum (1. [法律] 誓約供託金、2.訴訟、3.誓約、宣誓、4. [教会] 秘跡), sacrate (1.信心深く、敬虔に、2.神秘的に), sacrifico (1.犠牲を捧げる、2.犠牲として捧げる), sacrilegus (1.聖物窃盗の、2.神聖を汚す、瀆神の), sacro (1.神に捧げる、聖別する、2. (神・武器に委ねて) 破滅させる、3.神聖 (不可侵) なものにする、4.神格化する、神として祭る), sancio (1. (宗教上の諸式にのっとって法律・条約・協定などを) 承認する、批准する、2.是認する、同意する、裁可する、3. (法を) 制定する、立法化する、4. (法によって) 定める、規定する、5.罰する), sancte (1.神聖不可侵なものとして、厳粛に、2.敬虔に、信心深く、3.高潔に、誠実に),

【英語】

sacrament (1. [カトリック] 秘跡、サクラメント (洗礼・聖信・聖体・悔悛・終油・叙階・婚姻の7つがある)、[プロテスタント] 聖礼典 (洗礼・聖餐の2つがある)、2. 聖餐 (式)、(聖餐用の) パンと葡萄酒、聖体、3.神聖なもの、神秘的なもの、神聖な儀式、4.誓約、宣誓), sacred (1.神聖な、聖なる、(動物地が) 神聖視される、2.厳粛な、履行されるべき、尊ばれる、尊敬に値する、犯されることのない、3. (神などを) 祭った、(人などに) 捧げられた、(~を) 記念する、4.宗教的な、宗教に関する), sacrifice (1.生贄、捧げもの、2. (~のために) 犠牲 (になったもの)、3.キリストの犠牲 (はりつけ)、4.投売り、捨て売り), sanctify (1. (神を) 神聖にする、~を聖別する、2. (行為・誓約などが) 正当化される、是認される、3. (人を罪などから) 清める), sanction (1. (~に対する公的権力による法的) 認可、裁可、承認、許可、2. (伝統・習慣による) 是認、容認、支持、3. (悪事をさせないための道徳的・社会的) 拘束、4. (違法者に対する) 制裁、処罰), sanctuary (1.神聖な場所、聖域、2.至聖所、内陣 (教会・神殿の中の尤も神聖な所、祭壇の前など)、3. (中世時代犯罪者などが逃げ込んだ) 聖域、駆け込み寺、4.禁猟区、5.安らぎの場所 (心の中など)),

平静さ

【ラテン語】

securus (1.心配していない、安心している、平静な、2. (状況が) 平穏な、平和な、3.確信している、4.無頓着な、無関心な、5.安全な、無事な),

【英語】

【日本語】

裁く、定める、統べる、

[音]

律動

【ラテン語】

【英語】

音

【ラテン語】

【ギリシャ語】

σικω (①じゅっと音を発てる、②(犬に対し) ~するようにけしかける),

【英語】

[弁]

形

【ラテン語】

secespita ((生費用の) 包丁、小刀), securis (1.斧、まさかり、2.束棹の斧、3.打撃、損害、4.権力、権威), secula (鎌), sera (門、横木), smilla [ギリシャ語] ((外科用) メス、小刀), sica (短剣、短刀), sicilicula ((小さな) 鎌), sicilicis (鎌), sicubi (もしどこかで~ならば、どこであれ~ならば), sicula (短剣、短刀、陰茎),

【英語】

sickle (小鎌、鎌),

動き

【ラテン語】

seco (1.切る、切断する、2.切り分ける、切り刻む、3.分類する、4.切り取る、去勢する、5.切り込みを入れる、傷をつける、切開する、6.酷評する、諷刺する、7.掻き分けて進む、突き進む、8. (道を) 切り開く、9.解決する、決着をつける), sectio (1.切断、切開、2. (没収財産・戦利品の) 競売、(競売に付される) 戦利品),

【英語】

sever (1. (物を力ずくで) 切る、(部分を本体から) 切断する、2. (関係などを) 断つ、(人を) 引き離す、3~を分かち、(場所を~から) 隔てる),

[血管]

幹脈

【ラテン語】

sarabara [ギリシャ語] ((東方で用いられた) 広いズボン), sarisa [ギリシャ語] ((Macedonia の) 長い槍),

【英語】

sabar (1. (騎兵の) サーベル、軍刀),

細脈

【ラテン語】

salix (〔植物〕ヤナギ), salictum (ヤナギの林 (茂み)), se・duco (1.脇に連れて行く、救い出す、2.引き離す、分かち、3.誘惑する、正道を踏み外させる), seductus (1.遠く離れた、2.人里離れた、人目につかない、隠遁した、引籠もった), se・gredior (遠ざかる、離れる), se・grego (1.引き離す、分離する、隔離する、2.分割する、分断する), segrex (1.孤立した、関わりのない、2.ばらばらの、分散した), sejugis (6頭立ての), sejugis (ばらばらの、別々の), sejugo (引き離す、分離する), se junctio (1.直前の話題から反れること、切り離す、2.区別する),

【英語】

sunder (切断する、分ける、隔てる),

【漢字】

細、

【日本語】

裂く、

血管 (血管と脈)

血管

【ラテン語】

sarcolemma (〔解剖学〕筋繊維鞘), siliqua (1. [植物] (豆の) さや、2.イナゴマメ (の木)、3.シリク銀貨、4.重量単位、5. [植物] 長角果), silicula (1. (小さな) さや、2 [植物] 短角果), sphenena (〔解剖学〕伏在静脈),

【英語】

sock [「低い踵の靴」が原義] (靴下、ソックス), socket (1. (物を差し込む) 穴、受け口、軸受け、2. (電球の) ソケット、3. [解剖] (眼などの) 窩),

【日本語】

鞘、すっぽり、

脈

【ラテン語】

sesama [ギリシャ語] (1. [植物] 胡麻 (ごま) 2.胡麻の実、ごま油),

【ギリシャ語】

σὺρρυξ (①牧人の笛、ヒューヒューという音、非難の声、② (一般に) 管状のもの、槍の鞘、車輪の轂の孔、血管など),

【英語】

sesam ([植物] ゴマ), sock (~を拳などで強打する),

〔静脈と静脈〕

静脈

【ラテン語】

Sapphismus ((女性間の) 同性愛), supraemia ([病] 腐敗血症), Sarranus (1.2.3.紫色の、Tyros の紫で染めた), sibilo (1.シューシューいう、2. (非難・軽蔑して) シーと言う、(シーと言って) 排斥する、やじる), sibina [ギリシャ語] (槍の一種), Sibylla [ギリシャ語] (女預言者、巫女),

【英語】

sib ((~と) 血縁の、同様の), sibilate (~をシューシューと言って表す), sibilant ((男女の別な) きょうだい), sibyl ((古代ローマ・エジプト・ギリシャの) 巫女、女予言者、女占い師、女の魔法使い), siskin ([鳥] マヒワ), sissy (1. (貶して) 女々しい男子、少年、弱虫、意気地なし、2.3.ホモ), sister (1.姉妹、2.異父(異母) 姉妹、3. (姉妹のように) 親しい女性、親友、4. (特に社会主義・女権運動の) 団体に属する女子、同僚、同級生、同業者、仲間、同志、同胞、5. (女の) 宗徒、信者仲間、修道女、シスター、6.看護婦長、看護主任、7.姉妹的關係にある、同系(同類・同型) の、8. (呼びかけ) お嬢さん、奥さん),

動脈

【ラテン語】

sarda ([魚] イワシの類), satus (~から生まれた), satus (1.種蒔き、植え付け、2.種、苗、3.生まれ、素性), Satyriscus [ギリシャ語] (幼い),

【英語】

sirocco (シロッコ (北アフリカから南欧に吹く熱風、鬱陶しい熱風), size [[assize (法律・条文) の語頭音消失]] (1. (人・物などの) 大きさ、寸法、2.サイズ、寸法、型、番、判、3.数量、規模、器量、力量、4. (事件などの) 実情、真相), size (サイズ、のり (紙・織物の滲み止めの材料)), sizzle [擬声語] (1.シューシュー (ジュージュー) いう (油で揚げるときのような音)、2. (場所・天候などが) じりじりしそうに暑い、かんかん怒る、深い恨みを抱く、じりじり暑い), soon (1. (ある時間を基準に) すぐに、まもなく、そのうちに、近いうちに、2. (予定より) 早く),

【漢字】

速、

【日本語】

すぐ、速やか、

〔脈〕

血管

【ラテン語】

【英語】

V. 肺音

【ラテン語】

【ギリシャ語】

$\sigma\iota\gamma\alpha$ (①沈黙して、静かに、微かに、密かに、こっそりと、②静かに! しっ!), $\sigma\iota\gamma\alpha\omega$ (秘密にしておく、黙秘する), $\sigma\iota\omega\pi\alpha\omega$ (沈黙する、黙っている、静かにしている),

【英語】

silent [「声や音がまったくしない」か原義] (1.静かな、音かしない、2.無言の、沈黙した、声を立てない、音信不通の、3. (人・聞くらなどが〜に) 言及しない、(人に) 口を利かない、4.活動していない、5. [音楽] 発音されない、黙音の),

【漢字】

静、

【日本語】

静か、

機能

【ラテン語】

【英語】

sigh [擬声語] (1. (哀しみ・安堵・疲れ・満足のために) 溜息をつく、吐息をつく、2. [文語] (風などが) そよぐ、溜息のような音を立てる、3. [文語] ~を慕う、~に憧れる、4 [文語] 溜息をついて悲しむ、後悔する), *simmer* [擬声語] (1. (シチューなどがとろ火で) とろとろ煮える、(葉缶などが) 静かにちんちんと鳴る、2. (人が怒りなどで) 爆発寸前である),

形

【ラテン語】

sandalium [ギリシャ語] ((爪先が覆われた) サンドル), *solea* (1. サンドル、2. 足枷、3. (家畜に履かせる) 一種の靴、蹄鉄、4. [魚] カレイ、ヒラメ),

sebacium (獣脂蠟燭), *sebo* ((蠟燭を) 獣脂に浸す), *sebum* (1. 獣の固い脂肪、獣脂、2. [生理学] 皮脂),

【英語】

器官

【ラテン語】

secessus (1.退出、引退、隠遁、2.奥まった場所、隠棲地),

【英語】

sepsis ([医学] 敗血症), sepulture (1. [文語] 埋葬、2. [古語] 墓所), sequester [文語] (1.隠退させる、隠退する、(人)を隔離する、2. [法律] (財産)を仮差押する、3. [国際法] (敵の財産)を接収する、没収する), sere ([詩] 干からびた、萎れた),

【濾過(血液)】

機能

【ラテン語】

sacco (濾す、濾過する), sitona [ギリシャ語] (穀物調査官), smecticus [ギリシャ語] (洗浄力のある),

【ギリシャ語】

σακκεω (濾す), σιτωνα (篩う、篩い分ける、簸る),

【英語】

sieve (1.篩、こしき、うろこしき、2.口の軽い人), sift (1. (人が粉・砂などを) 篩にかける、~をふるい分ける、より分ける、2. (粉・砂糖などを篩で) 振りかける、3. (証拠などを) 厳密に調べる、吟味する),

【呼吸とは靈魂の表徴。それは身体に安らぎを齎すものと考えられた(英語spirit(呼吸:魂))。その安らぎの精は、空中にある。心身を静めるハーブの効果をもつサフランのような植物に、その意義を見出し、トリカブトのような毒性に、その反対の、呼吸を止める精を見出したのかもしれない。そして、そのサフランのような植物は、3出複葉だったかもしれない。】

呼吸

平静

【ラテン語】

sabbata [ギリシャ語・ヘブライ語] ((ユダヤ教の)安息日), salutatio (1.挨拶、2. (朝の) 表敬訪問、伺候), saltifer (1.健康を齎す、病気を治す、2.安全(幸福)を齎す), salvatio (救い、救済、救世), salve (健康で、具合よく), salve (1.こんにちは、ご機嫌いかが、2.さようなら、ご機嫌よう), salvia ([植物] サルビア), salvo (1.癒す、2.救う、救済する、救霊する), salvus (1.安全な、無事な、生き残っている、2.申し分ない、よい具合の、3.健康な、4.損なわれていない、無傷の), sane (1.理性的に、冷静に、2.確かに、本当に、3.非常に、全く、4. (返答で) もちろん、いいとも、5. (譲歩的に) なるほど、いかにも、とは言い), sanabilis (1. (肉体的・精神的に) 治療できる、癒すことのできる、2.ためになる、有益な), sanatio (治癒、回復), sanatorium ([医学] サナトリウム、治療所), saltuariussalubris (1.健康によい、2.有益な、健全な、3.健康な、壮健な), Samaria [ギリシャ語・ヘブライ語] (サマリーア(パレスチナ北部)), sano (1. (病人・病氣・傷などを) 治療する、治す、健康にする、2. (心の痛手・苦しみなどを) 癒す、3. (好ましくない状況を) 正す、直す、(損害を) 埋め合わせる), santonium ([薬] サントニン(駆虫薬・ミブヨモギから得られる)), sospes (1.無事な、無疵の、2.幸運な、順調な), sospito (安全にする、守る、保護する), Soter [ギリシャ語] (1. (特に支配者の称号として) 救済者、2.救い主、救世主(=キリスト)), silentium (1.音のないこと、静寂、2.沈黙、無言、静粛、3.言及しないこと、4.無視、黙殺、無名、5.平穩(無事)、平静、6.何もしないこと), sileo (1.音を発てない、静かである、2.黙っている、沈黙を守る、口外しない、3.言及しない、無視する、4.黙認する、不本意ながら従う、5.活動しない), silenda (黙秘すべき事柄、秘密), silens (1.音を発てない、静かな、2.物を言わない、3. (月が) 輝いていない), silenter (黙って、密かに), sincere (1.健全に、正常に、2.誠実に、正直に), sinceris (1.混じりけのない、純粋な、2.発熱のない), sincerus (1.健全な、無傷の、2.澄んだ、透き通った、3.純粋な、混じりけのない、4.正直な、誠実な), solacium (1.慰め、慰安、慰めとなるもの(人)、2. [法律]

倍賞、補償), *solor* (慰める、(苦痛・不安などを)和らげる、静める),

【ギリシャ語】

σαββατον (安息日、週、一週間),

【英語】

siesta [スペイン語] (シエスタ (スペイン・イタリア・ラテンアメリカ諸国の昼寝)), *Sabbath* (1.安息日 (キリスト教では通例日曜日・ユダヤ教一部のキリスト教では土曜日、イスラム教では金曜日) 2.休息の時), *safe* [「健康な」「無傷の」が原義] (1. (人・ものが) 安全な、(～の) 危険 (危害・恐れ) のない、2.無事な、無傷な、危機を脱した、3. (場所・行為などが) 安全な、危険のない、安全を保証する、4.慎重な、信頼できる、危なげがない、5.危険を引き起こさない、危害を及ぼさない、6.きつと (確かに) (～する)), *salubrious* ((おどけて気候などが) 健康によい、(道徳的に) 安全な、心身のためにな), *salutation* (1.あいさつ、2. (手紙や演説の出だしの) 挨拶の文句), *salute* [「人の健康を祈る」が原義] (1.挨拶する、会釈する、2. (挙手・捧げ銃・札などで) 敬礼する、表敬する、3. (笑み・歓声などで) 迎える、(罵りの言葉・一斉射撃・石つぶてなどを) 浴びせる、4. (光景・叫びなどが目や耳に) 入る、聞こえてくる), *salvable* [「神」(人が) 救われ得る、(船・積荷が) 引き揚げられる), *salvage* (1.海難救助、遭難船貨物救助、(沈没船の) 引き揚げ、2.海難救助料、3. (火災・水難・難破船からの) 財産救出、4.救出財貨 (価格)、5.救出、救済、6.不用品回収), *salve* (1.軟膏、膏薬、2.心の傷 (疚しい気持ち) を直すもの), *sanative* (癒す力のある), *sanatorium* (1.保養地、療養所、2. (寄宿学校の) 隔離病室), *salver* ((金属製で円形の) 盆 (召使が飲食物・手紙・名刺を正式に渡すのに使う)), *sanitary* [「健康な」] (1. (公衆) 衛生の、2.衛生的な、清潔な), *sanity* ((思想・判断などの) 健全さ、穏健), *save* [「人や物を危険・損失から救う、守る」が原義] (1. (危険・害・困難などから) 救う、救援する、2.蓄える、貯蓄する、3.守る、保護する、4.省く、節約する、5. (列車・時間などに) 間に合う), *save* (～を除いて、～の他は), *serene* [「乾く」が原義] (1. [文語] (空・待機・天候などが) 晴れた、澄んだ、うららかな、2. (海などが) 穏やかな、泡立たない、3. (表情・態度・生活が) 落ち着いた、平静な、4.やんごとなき), *sempiternal* ((特に詩) 永遠に), *sedate* ((人・行動などが) 平静な、落ち着いた、(貶して) くそ真面目な), *sedation* (1.鎮静剤での治療法、2.鎮静作用 (状態)), *semplice* [イタリア語] ([音楽] 単純な、純粋な、単音の), *solace* ((悲しみなどに対する・～から離れるための) 慰め、慰安、安堵), *spare* [「使うのを控える」が原義] (1. (人・物・事などを) なしで済ませる、～を取っておく、与える、2. (物・事を惜しんで) 使わない、節約する、3. (苦労などを) かけないように気を配る、4. [文語] (人・命を) 助ける、助命する、容赦する、～に気を配る), *sound* (1.音、音響、響き、物音、2. (声・言葉・手紙などの) 調子、感じ、聞こえ、3.4.騒音、騒ぎ、ざわめき), *sound* (1.健全な、健康な、2. (物が) 痛んでいない、傷のない、腐っていない、3. (土台などが) しっかりした、(財政的に) 堅実な、安全な、確かな、信用できる、4. (睡眠が) 十分な、(打撃などが) 徹底的な、したたかな、5. (権利などが) 有効な), *sound* (1. (測鉛で海などの) 水深を測る、2. (人の意見などを) 打診する (探る)、3. (クジラなどが) 潜る), *sound* (1.海峡、瀬戸、2.入り江), *soothe* [「本来の状態に戻る」が原義] (1.宥める、落ち着かせる、2. (痛みを) 和らげる、楽にする、取り除く), *soluble* (1. (物体が～に) 溶ける、溶け易い、2. (問題などが) 解決できる), *solve* [「ゆるめる、解く」が原義] (1. (問題などを) 解く、解明する、(困難などを) 解決する、打開する、2. [古語] (結び目など) 解く), *solvent* (1. [法律] (負債などの) 支払い能力のある、2～を溶かす、溶解力のある、3. (迷信などを) 弱める),

【漢字】

静、

【日本語】

静か、

心を鎮める

【ラテン語】

safranum ([植物] サフラン), *sapidus* (1.美味しい、風味のよい、2.分別のある、賢明な), *sapor* (1.味、風味、2.趣、特色、3.味覚、4.匂い、香り), *silphium* [ギリシャ語] ([植物] オオウイキョウの類), *sphagnos* [ギリシャ語] (芳香性の地衣類), *sedo* (1.静める、落ち着かせる、2.和らげる、軽くする、3. (風が) 静まる、止む), *sudus* ((雨の後の空が) 晴れ上った、雲一つない),

【英語】

saffron (1. [植物] サフラン (クロッカスの一種)、2. サフラン (サフランの黄色い柱頭を乾燥させた香辛料・食品着色剤)), sonsy (1. 幸運を齎す、2. (女性が) まるぼちゃの、放漫な、3. (女性が) 快活な、快活でかわいらしい), soft [[「快い」が原義] (1. (物が押せば形が変わるほど) 柔らかい、(金属などが同種の中では) 柔らかい、2. (色・光などが) 穏やかな、柔らかい、(声・音が) 穏やかな、静かな、3. 手触りの柔らかい、滑らかな、すべすべした、4. (気候・風などが) 穏やかな、心地よい、(天候が) 雨の、湿気ある、雪解けの、5. (性格などが) 優しい、情け深い、(人・行動・処分などが) 厳しくない、寛大な、甘い、6. (体・筋肉などが) 弱い、軟弱な、女々しい、7. (仕事などが) 楽な、8. (人・考えなどが) バカな、まぬけな、説得されやすい、騙されやすい、9. (飲み物が) アルコール分を含まない、(食物が) 味の薄い、10. [文語] (輪郭などが) ぼんやりした、11. (水が) 軟性の), suave (1. (時に貶して) (人が) 温厚 (温和) な、(態度などが) 柔らかい、(表面上) 丁寧な、上品な、2. (酒などが) 口当たりのよい、まろやかな、(薬などが) 苦くない), summon [[「密かに思い出させる」が原義] (1. (人が人を) 呼び出す、呼びつける、2. 召喚する、3. (会議などを) 召集する、4. (人に~するように) 知らせる、勧める、5. (敵に) 降伏を迫る、勧める、6. (勇気・力などを) 奮い立たせる), sylph (1. 空気の精 (→nymph)、2. ほっそりとした優美な女性、3. [鳥] シルフ (ハチスズメの一種)), secure [[「心配のない」] (1. (場所が危害などに対して) 安全な、2. 確保された、確実な、揺るぎのない、(人が~に大して) 不安のない、安心して、確信して、3. (ドアなどが) きちんと閉まった、(基礎などが) しっかりした、(物が) 厳重に保管されて、(人が) 逃亡できないように監禁されて、

【漢字】

鎮、



サフラン

呪う

【ラテン語】

salpuga ([昆虫] 有毒の蟻), salamandra [ギリシャ語] ([魚] サンショウウオ (有毒と信じられた)), sanies (1. (傷口から滲み出る) 膿、腐敗した血、血糊、2. (蛇の) 毒液、(犬の) よだれ、(焼肉の) 肉汁、(ソースにする) 魚汁などの液汁、

【英語】

sorry [[「痛い」が原義] (1. 気の毒で、可哀想で、気の毒に思う、2. すまなく思って、後悔して、3. 残念に思って、遺憾に思って、4. 惨めな、哀れな、気の毒な、下手な、くだらない、5. すみません), sue (1. ~を~で訴える、~に倍賞請求訴訟を起こす、2. [文語] ~を請願 (嘆願) する), suet (スエツト (牛・羊などの腎臓の堅い脂肪; 料理用)), suf- (fの前で=sub), suffer [[「~の下で suf 支える (耐える) fer」] (1. (苦痛などを) 経験する、(損害など) 被る、受ける、2. [文語] (否定文・疑問文で) ~を容赦 (黙認) する、3. [文語] ~に~するのを許す), suffice [[「下に suf 置く fice」] ((ものごとが~にとって~するのに) 十分である), suffix ([言語] 接尾辞), suffocate (1~を窒息 (死) させる、2. ~の息を詰まらせる、息苦しくさせる、3. ~を抑圧する、押さえる), suffrage (1. 選挙 (参政) 権、選挙、2. 投票、賛成票、

3. (礼拝式での) とりなしの祈り,

【漢字】

呪、痛、

VI. 心臓と肺

【ラテン語】

sicarius (刺客、暗殺者),

【ギリシャ語】

σικαριος (暗殺者、刺客),

【英語】

【日本語】

捌く、

肺動脈・肺静脈

【ラテン語】

【英語】

大動脈弓

【ラテン語】

【英語】

sausage (1.ソーセージ、腸詰め、2.ソーセージ型のもの、3. (貶して) ドイツ人),

動きが速い

【ラテン語】

saltatio (踊ること、踊り), saltim (1.いずれにしても、とにかく、2.~さえも決して~ない), salto (1.踊る、踊りを学ぶ、2.踊り (身振り) で表現する),

salaputium (こびと、一寸法師), sicilicus (1. 4分の1unica (=48分の1as)、2.48分の1), sicinnium (Phrygia 起源の) 踊り,

【ギリシャ語】

σαυλος (よちよち歩き、(女のように)尻をしゃなりしゃなり振って歩く、(馬が) 踊るように歩く), σκιρταω (飛び跳ねる、踊る),

【英語】

salsa (サルサ (ラテンアメリカ系の音楽・踊り)), saltation (踊り、跳躍、激変), salvo (1. (礼砲・戦争での) 一斉射撃、爆弾の一斉投下、一斉投下された

爆弾、2.一斉に起こる拍手(喝采・歓呼)、samba(サンバ(ブラジル起源の軽快なダンス・曲))、sashay(1.滑るように進む、気取って歩く、2.(ダンスで)サッセで踊る)、

【漢字】

速、

【日本語】

急く、速やか、

動きが鈍い

【ラテン語】

segnis(1.活動的でない、無気力な、だれた、2.緩慢な、のろい、動きの鈍い)、saucius(1.傷ついた、負傷した、2.傷心の、打ちひしがれた、3.ほろ酔いの、一杯機嫌の)、sino(1.放っておく、なるに任せる、2.(〜の状態に)しておく、残す、3.許す、〜させておく)、

【英語】

VII. 人間

盛衰

[夏・冬]

(夏) [夏が人間の発情期だったという意味ではない。焦がれる感情が夏の季節を呼び覚ましたのだろう。]

【ラテン語】

salax(1.多淫の、好色な、2.性欲を起こさせる、催淫性の)、salio(1.跳ぶ、跳ねる、2.痙攣する、3.噴き出る、迸る、4.(雄が雌に)乗る、交尾する)、saliva(1.唾液、つば、2.ぬるぬる(ねばねば)した物質、3.(特に葡萄酒の)風味(人間の女性が分泌するフェロモン:膣液)、salitio((馬が)跳びはねること)、seni(=sex)(1.6つずつの、2.6の(=sex))、semenstris[sex・mensis](1.六ヶ月間の、半年の、2.六ヶ月(半年)ごとの、3.生後6ヶ月の)、semi(半分の、半~)、sex(6の)、sexus(1.性、性別、2.[文法]性、3.(集合的に)男性、女性)、salacitas((鳥・魚の)発情)、sollicitatio(1.心配、不安、2.教唆、そそのかし)、sollicito(1.激しく動かす、ゆすぶる、2.悩ます、苦しめる、3.唆す、扇動する、4.(感情などを)刺激する、掻き立てる、5.誘惑する、得ようとする)、

【英語】

seraph(1.[神]熾天使(9階級中最高位の天使)、2.[旧約聖書]セラフィム(神に仕える6枚の翼をもつ天使))、sex[「性別に分けられる」が原義](1.性、性別、男女(雌雄)の別、2.(一方の)性、3.性的要素、性行動、性欲、性衝動、4.性交、5.性器、外陰部)、sex- (6の)、sexfoil(6葉の植物)、sext([教会](聖務日課の)6時課(正午の祈り))、sextant(1.6分儀(航海・測量用)、2.(円周の)6分の1)、sextate([音楽]6重奏)、sextile([天文学]60度離れた2惑星の位置)、sexton(寺男(教会の使用人))、six(6)、summer[「半年」が原義](1.夏、夏季、2.[古語・詩]1年、3.[文語](人生などの)盛り、全盛期)、sun(1.太陽、日、2.日光、陽光、日なた、3.(惑星の中心となる)恒星、4.太陽の図案(紋章)、5.[詩]年、日、日の出、日没、6.[古語]全盛、権勢)、slime(1.(川底などの)ねば土、軟泥、2.(カタツムリ・魚などの)粘液、3.いやなもの、悪臭のするもの、汚い粘液物)、solstice(1.[天文学]至(太陽が赤道から北または南に最も遠く離れる時)、2.絶頂点、分岐点)、solicit(1.(人・店などが愛顧・援助・金銭など)を請い求める、懇願する、せがむ、2.(売春婦が)客を引く、(人)を悪事に誘う、3.(状況などが注

意・行動などを) 要求する), sultry (1. (貶して) 蒸し暑い、うだるような、焼けつくような、2.燃えるような、情熱的な、官能的な、なまめかしい),

【漢字】

盛 (<=>衰)、燦、性、請、
春、
情、

【日本語】

さが、盛り (盛んなこと・発情)、栄える、
じれる、せがむ、じりじり、

【日本語オノマトペ】

じりじり (ゼンマイなどを巻いたりベルなどのやかましく鳴り響く音、蟬など昆虫のやかましく鳴く声、ものが少しずつ焼けてゆく音・さま、太陽が焼け付くように強く照り付けるさま、体の一部が焼き焦がされるように酷く熱く感じられるさま、時間をかけて少しずつ確実に進んだり退き続けるさま、じわじわ、心が苛立ち続けるさま、汗や涙が少しずつ滲み出てくるさま)、[進む・退く] => th (清音; 汐の擬態語か)

(冬)

【ラテン語】

senator (1. (ローマの) 元老院議員、2. (他民族の) 同種の団体の構成員), senecio (1.老人、2. [植物] キク科セネシオ属の植物), senectus (1.老年期、2.老人、3.白髪、4.ヘビの抜け殻), senesco (1.老いる、年をとる、2.衰える、弱くなる、3. (月が) 欠ける、4. (時期が) 終わりに近づく), senix (1.老人、2.家長、主人、3.長老), silicernium (1.葬式後の宴、2. (罵りの言葉として) おいぼれ),

【ギリシャ語】

【英語】

senior [「より老いた」が原義] (1. (人が) 年上の、年長の、2. (学年が) 上級の、3. (高校・大学の) 最上級 (学年) の、4. (役職・地位などが) 前任の、先輩の、古参の), senate [「元老」が原義] (1. (米国・カナダ・オーストラリアなど二院制議会の) 上院、2.上院議事堂、上院議場、(国・州の) 議会、立法府、3. (大学の) 評議会、理事会、4. [ローマ史] 元老院), senile (1.老年の、老齢による、2. 老衰した、耄碌した、3. [地理] (地形が) 老年期の),

【漢字】

衰、秋、

【日本語】

冷める、寒い、

発情期 (雌の性器が赤くなる)

兆候

【ラテン語】

semanticus (意味を表す), sensa (考え、意見、見解), sensim (1.少しずつ、徐々に、2.慎重に、用心深く),

【英語】

seem [「~のように見える」が本義] (1.~のように思われる、~のように見える、~であるらしい、2.~は~するように思われる、~するらしい、3.~であるように思われる、~

であるらしい、~のようだ), semantic (1.意味に関する、意味論の), sign [「情報を伝える有形無形の印」が本義] (1.符号、記号、2. (~という) 表れ、徴候、証拠、3. (~という) 身振り、手まね、合図、信号、暗号、サイン、4.標識、標示、看板、5.宮 (きゅう) (zodiacの12区分の1つ)、(神の) お告げ、奇跡), significant (1. 重大な、重要な、2.意味のある、意味ありげな、3.魅力的な、4.示唆的な),

雌の性器が赤い

【ラテン語】

【英語】

salacious (好色な、淫らな), sanguine (1.快活な、陽気な、楽天的な、(成功を) 信じている、当てにしている、2. [古生理学] 多血質の (赤ら顔で、勇敢・陽気・好色)、(顔の色などが) 血色のよい、3.紅色の、血の), safflower ([植物] ベニバナ、その乾燥花、ベニバナ染料 (口紅・頬紅用)), salmon (1. [魚] 鮭、2. 鮭肉), satyr (1. [ギリシャ神話] サテュロス、2. [文語] 好色、色情狂、3. [昆虫] ジャノメチョウ), satyriasis ([医学] 男性の異常性欲), seraglio (1. (イスラム教国の) 後宮、2. [歴史] トルコ君主の宮城、3. (イスラム教徒の) 妻妾),

感じる

【ラテン語】

sensus (1.感覚、知覚、2.意識、自覚、3.理解力、判断力、心、4.感情、気持ち、5.意見、考え、6.意味、意義、7. [修辞学] 完全文、掉尾文), sententia (1.見解、意見、2.意向、意図、3.投票、票決、4.判決、5.思想、考え、6.格言、警句、7.意味、内容、8.文章), sentio (1.知覚する、感じる、気付く、2.経験する、味わう、3.考える、意見をもつ、4.意味する、意図する),

【英語】

sensation [「感じること」が原義] (1. (痛み・熱などの) 感覚、感じ、2.~のような感じ、3.センセーション、物議、物議をかもし要素), sence [「感じる」が原義] (1.感覚、(五感の各) 感覚、2.認識力、判断力、センス、自覚、観念、3.良識、思慮分別、4.~という感じ、感触、5.正気、意識、6. (語・文などの) 意味、意図、趣旨、7.価値、意義、効果、8. (集団・会などの) 意向、見解), sentence [「感じ方・意見」が原義] (1. [文法] 文、2. [法律] (人に対する刑罰の) 宣告、判決), sentiment [「感じるもの」] (1.心情、心証、2.意見、感想、3.感傷、涙もろさ、情味、4.簡単な挨拶文句), suppose [「下にsup置くpose」] (1.~だと思ふ、考える、2. ~であると想像する、推測する、3.もし~だとしたら、~したらどうか、4.~を前提とる),

【漢字】

思、想、識 ([shiki]) 1.知る、悟る、認める、2.見分ける、識別する、交際する、3.知ること、考え、意見、見解、4.知り合い、5.標す、覚える、記憶する、表示する、目印をする、目標、旗しるし),

【日本語】

知る、悟る、

神聖さ

神聖さ

【ラテン語】

【英語】

儀式

【ラテン語】

【英語】

息

【ラテン語】

【英語】

唾液

【ラテン語】

【英語】

発情期

【ラテン語】

semel (1.一度、一回、最初に (は)、2.今度限り、これを最後に、3.かつて、いつか、4.一度に、同時に), semen (1.蒔かれるもの、種、2.苗、刺し枝、3.精液、4.血統、生まれ、素性、5.子、子孫、6.元素、原子、7.根源、萌芽), sementis (1.種まき、2.種まき時、3. (蒔かれた) 種), seminalis (種の、種まきの), seminarium (1.苗床、2.育成所、温床、源、3.神学校), seminatio (繁殖), seminex (死に掛かっている、半死半生の), seminiferus (1. [解剖学] 精液を生じる (運ぶ)、輪精の、2. [植物] 種子を生じる), semino (1. (種を) 蒔く、(木を) 植える、2.産む、生じる、3.広める、行き渡らせる), sollemnis (1.年一回の、毎年行われる、2.宗教上の、厳粛な、3.形式にこだわった、正式の、4.通常の、習慣的な),

【英語】

season (1.季節、2. (ある気候の) 季節、(活動・行事・仕事などの) 時期、季節、(野菜・魚などの) 季節、乾季・雨季、3.期間、頃、時期), seasoned (1.味付けした、2. (木材が) よく乾燥した、3. (人が) よく馴れた、ベテランの), seasoning (1.調味料、味付けするもの、2. (話しなどに添えられる) 面白味、3.木材の乾燥、(風土への) 順応),

【漢字】

種、春、節、

性交の常態化

【ラテン語】

sato ((いつも) 種を蒔く), semper (常に、いつでも), soleo (1.~する習慣である、~するのを常とする、~しがちである、2. (~と) 性交する), solitaneus (日常の、普通の), solitus (いつもの、通常の), sueo (~する習慣である、~するのを常とする), suesco (1.慣れる、習慣となる、2.慣らす),

【英語】

【漢字】

習、常、

生まれる

【ラテン語】

【英語】

son [「生まれた人」が原義] (1.息子、せがれ、男の子、2.義理の息子、養子、3.子孫、人類、4. [文学] (団体などの) 男性構成員、住民、国民、(時代・風潮・作用などの) 生み出した男子、落とし子、産物、結果), sonny ((年長者が親しみを込めた呼びかけ) 坊や、お若いの),

【漢字】

生、産、新、

育つ (体毛が生える)

【ラテン語】

【英語】

衰える (冷たい (もの))

【ラテン語】

【英語】

子宮

【ラテン語】

sirus [ギリシャ語] (地下貯蔵庫), siser [ギリシャ語] ([植物] ホタルブクロ), sistrum [ギリシャ語] (崇拝に用いられるガラガラに似た祭器), sitella ((投票の順を決めるための) 籤が入った壺 (口が小さくなっている)),

【英語】

腔

【ラテン語】

specus (1.洞穴、洞窟、2.空洞、穴、割れ目、3.溝、暗渠、水道、4.地下道、坑道), suffodio (1.下に穴を掘る、トンネルを掘る、掘り崩す、2.下から突き刺す),
【英語】

陣痛

【ラテン語】

Sisyphus [ギリシャ語] ([伝説] シーシュプス (Corinthus の狡猾な王；死後地獄に落ち大石を山に押し上げる刑に処せられたが石は山頂に近づくたびにまた転がり落ちたという)),
【英語】

胎盤

【ラテン語】

【英語】

痛む (恥じる)

【ラテン語】

【英語】

命令する

【ラテン語】

【英語】

隷従する

【ラテン語】

【英語】

2足歩行

【ラテン語】

solitarius (1.孤独な、孤立した、2.独特の、唯一の), solitas (一人でいること、孤独), solitudo (一人でいること、孤独、2. (友人・子供などの) 不在、欠如、3.寂しい場所、荒野), solum (1.低部、最下部、土台、2.足の裏、靴底、3.床、4.地面、耕地、5.土地、国), solum (ただ、～だけ、(単に) ～だけでなく～もまた), solus (1.一人の、単独の、2.孤独の、一人ぼっちの、3.人気のない、寂しい),

【英語】

self (1.自己、自分自身、それ自体、2.私利、私欲、私心、利己心、3. (人・物の) 本質、個性、性格の一面、本性、4. [哲学] 自我), sole [「ひとりだけの」が原義] (1.唯一の、ただ一人の、2. (権利などが) 一人 (一つの団体) だけに所属する、独占的な、3.単独の、独力の), sole (1.足の裏、2. 足裏上のもの、靴底、(そり・スキーの) 底面), sole ([魚] シタビラメ、シタガレイ), servomechanism ([機械] サーボ機構、自動制御装置),

【漢字】

自 ([j i・s i] みずから、自分で、自身で、自分、自己、本人、ひとりでに、自分の属する),

性交

【ラテン語】

【英語】

よがり声 (雌の性的快楽)

【ラテン語】

saga (女預言者、女占い師), sagacitas (1. (嗅覚・感覚の) 鋭さ、鋭敏、2.直観力、洞察力), sagatus (外套を着た), sagena (1.引き綱、大綱、2.誘惑、罨), sagma [ギリシャ語] (荷鞍), sagmen (聖なる草 (ローマ市の城砦から土をつけたまま引き抜いたこの草の束を身につけていると外交担当神官団の身柄は外地で神聖不可侵なものとされた)), sagram [ガリア語] ((軍用の) 外套 (粗織りのウールのマント)), sagus (1.予言する、予知する、2.魔法を使う), Siren [ギリシャ語] ([神話] セイレーン),

【英語】

sing [「声を出す」が原義] (1.歌う、2. (虫・鳥などが) 鳴く、3. [文語] (湯沸し・小川などが) 音を立てる、(風・弾丸などが) うなる、(耳が) 鳴る、(胸が喜びで) 高鳴る、4. [文語] 歌 (詩) を作る、(話しなどが) 歌になる、賛美する、5.自白する、裏切る、タレ込む), siren (1.サイレン、警笛、2. [ギリシャ神話] セイレーン、3. (貶して) 魅力的な美女、妖婦、4.美声の女性歌手、5. [動物] サイレン科のサンショウウオ), sirra ([古語] おい、こら), sob [「擬声語」] (1.むせび泣く、泣きじゃくる、しゃくり上げる、嗚咽する、2. (人が運動の後などで) あえぐ、荒い息遣いをする、3. [文語] (鐘・波・風などが) むせび泣くような音を発てる), sonans (1.鳴り響く、やかましい、2.朗々とした、3.母音の), sono (I. 1.音がする、鳴る、2. (場所が) 鳴り響く、反響する、II. 1.音を出す、鳴らす、2 (歌・言葉で) 賛美 (称揚) する、3.意味する、表す),

sonora (子音), sons (罪を犯した、有罪の), sons (悪人、悪党), sonticus (危険な、深刻な、重大な), sonus (1.音、2.声、言葉、3.調子、語調),
分別 (雄の性的快楽)

【ラテン語】

sophia [ギリシャ語] (知恵、分別), sophisma [ギリシャ語] (詭弁、屁理屈、こじつけ), sophistes [ギリシャ語] (1.ソフィスト (哲学・修辞学の教師)、
2. (Babylonia の) 夢占い師), sophos [ギリシャ語] (上手い! 見事! でかした!), sopina (葡萄の一種), sopio (1.眠らせらる、眠る、2.麻痺させる、無感
覚にする、失神させる、3.和らげる、静める), sopio (ペニス、陰茎), sopitus (1.眠らされた、眠っている、2.麻痺した、感覚を失った), sopor (1.眠り、(特に)
熟睡、2.無気力、怠惰、3.麻痺、無感覚、4.催眠薬、5.永眠、死),

【英語】

【漢字】

飲酒

酒

【ラテン語】

sapphirus [ギリシャ語] (サファイア、青玉), siccera [ギリシャ語] (濃い酒), smaragdinus [ギリシャ語] ([鉱物] エメラルドグリーン (鮮緑色) の),
sirium ([植物] ヨモギ), sirups [アラビア語] ([薬] シロップ),

【英語】

sour [「酸味を帯びた」が本義] (1. (果物などが) 酸っぱい、2. (牛乳などが) 酸っぱくなった、酸敗した、醜えた臭い (味) がする、3. (人・気質・表情・言葉などが)
不機嫌な、気難しい、意地悪な、(ものごとが) 不愉快な、4.~を嫌って、5. [農業] (土地が) 酸性の、不毛な),

【漢字】

唆、扇、酸、

【日本語】

そそのかす、誘う、

糖分・澱粉

【ラテン語】

saccharon [ギリシャ語] (甘蔗糖), saccharinum (サッカリン),

【英語】

saccharine (1.糖分の (ような)、糖分過多の、2. (貶して) (言葉態度などが) 甘ったるい、気味悪いほど丁寧な), sangria [スペイン語] (サングリア (赤葡萄
酒を薄め甘味を加えて冷やして飲むスペインの飲料)), sago (サゴ (サゴ椰子の木髄からとる澱粉)、サゴヤシ), samp ([植物] 粗びきトウモロコシ、その粥), sawde
r (お世辞、甘言), sugar [「砂粒」が原義] (1.砂糖、2.砂糖スプーン一杯、角砂糖一個、3. [化学] 糖、4.甘言、お世辞、5.金銭、6. (呼びかけ:好きな人に対して) あなた、
おまえ), syrup (シロップ (砂糖・果汁を煮詰めた汁)),

【漢字】

糖、澱粉、

酒 (辛いもの)

【ラテン語】

sairion [ギリシャ語] (芥子 (からし)), sinapi [ギリシャ語] ([植物] シロカラシ), sinapismus ([薬] からし泥 (軟膏)), sisymbrium [ギリシャ語] ([植物] ハッカ (Venusに捧げられた)),

【ギリシャ語】

σικηρα (強い酒の一種),

【英語】

sage ([植物] サルビア、セージ (シソ科の葉草・香辛料にする)), salvia ([植物] サルビア), sarcasm (1.皮肉、嫌味、当てこすり、2.皮肉の言葉、当てこすり), sarcoma (肉腫), sarcophagus ((精巧な装飾・彫刻のある) 石棺), sass (生意気な口答え), saliva (唾液、つば), satire [「寄せ集め」が原義] (1.風刺、皮肉、当てこすり、2.~の風刺文), sauce [「塩漬けにされた食べ物」が原義] (1.ソース、2.興味を添える物、刺激、3.果物のシチュー煮、(肉料理の) 付け合せ野菜、4.生意気な態度、5.アルコール、酒), saucy (1.小生意気な、こしゃくな、2.気の利いた、しゃれた), sal ([化学・薬品] 塩), salary [「汐に関する」より、古代ローマでは塩を買うために兵士に金が与えられた] (給料、サラリー), salify ([化学] ~を塩化する), salt (1.塩、食塩、2. [化学] 塩、塩類、3.4.刺激・興味を添えるもの、機知、「わさび」、痛快さ、5.老練な水夫 (船乗り)), salsify ([植物] パラモンジン (菊科の2年草で食用・牡蠣の味がする)), savor (1.味、風味、2.面白味、興味、持ち味、3.~の気味、いくぶん~のところ), savory (1.味のよい、食欲をそそる、薬味がほどよく効いた、2.健全な、快い、3.ためになる、4.辛口の), savory (1. [植物] キダチハッカ、2.セイボリー (キダチハッカの葉で作る香辛料)), sec [フランス語] (葡萄酒が辛口の),

【漢字】

酢、酒、

【日本語】

塩、酢、酒、

酔っていく

【ラテン語】

sanna [ギリシャ語] (嘲笑い、冷笑), sannio (おどけ者、道化師),

【英語】

simp (まぬけ、ばか), simpatico (1.気性の合った、2.魅力のある、人好きのする), simper (にたにた笑う、間の抜けた、作り笑いを浮かべる), smile [「声を出さずに笑う」が原義] (1.微笑む、微小する、にっこり笑う、苦笑する、冷笑する、2. (運などが) 開く、向く、[文語] (幸運が) 微笑む、3. [文語] (風景などが) 晴れ晴れとしている、朗らかである), serenade ([音楽] セレナーデ、小夜曲 (夜、男が恋人の窓の下で歌う甘美な旋律の曲)), serendipity (掘り出し物を見つける才能、掘り出し上手),

【漢字】

笑、

【日本語】

せせら・笑う、

醒めていく

【ラテン語】

socordia (1.愚かさ、愚鈍、2.怠惰、無気力、無為), socors (1.バカな、愚かな、2.怠惰な、不活発な、3.無関心な),

【英語】

sad [「十分な」「うんざりした」が原義] (1. (人が) 悲しい、悲しむ、2. (ものごとが) 悲しみを誘う、悲しむべき、3. (表情などが) 悲しそうな、4. (貶して・おどけて) ひどく悪い、嘆かわしい、惨めな、始末におえない、5. (色路が) くすんだ、暗い、6. (パンなどが) 生焼けの)、sick [「気が沈む」が原義] (1. 病気の、2. ~でむかつく、吐き気がする、(臭いが) むかつくような、3. (おどけて) うんざりして、嫌になって、4. ~が癪に障って、~を悲観して、5. (おどけて) ~を恋しがって、待ち焦がれて、麻薬を欲しがって、6. 病人用の、病的な、悪趣味の、困り果てた、7. (市場などが) 不況 (不振) の)、

【漢字】

醒、寂、

【日本語】

醒める、冷める、淋しい、

酔っている

【ラテン語】

somnialis (夢を齎す、夢の)、somnifer (眠りを齎す、催眠性の)、somnia (1. 夢を見る、夢に見る、2. 夢想する、空想に耽る、3. (否定文で) 夢にも思わない)、somnus (1. 睡眠、眠り、2. 眠気、眠いこと、3. 永眠、死、4. 夜、5. 惰眠、怠惰、6. [神話] ソムヌス (眠りの神))、

【英語】

soporific (1. (ときに貶して話し・天気・薬などが) 眠気を催させる、眠くなるような、催眠性の、2. (人が) 眠い、眠そうな)、sot ([古語] 大酒のみ (のんだくれて) 頭のぼけた人)、

【漢字】

酔、

醒めている

【ラテン語】

sobrius (1. 素面の、酔っていない、2. 節度ある、慎ましい、3. 分別のある)、sobrie (1. 酔わずに、素面で、2. 節制して、慎ましく、3. 慎重に、分別をもって)、

【英語】

sober [「酔いから醒めている」が原義] (1. 酔っていない、素面の、2. (生活・習慣などが) 節度のある、地味な、(人が) 節制している、(特に) 節酒 (禁酒) している、3. (生活・人・態度・表情などが) 真面目な、謹厳な、4. (判断・考え・表現などが) 冷静な、穏健な、均衡のとれた、5. (色彩・服装などが) 地味な、落ち着いた、控えめな)、

水を渴望する

【ラテン語】

siticulosus (1. 喉が渴いた、乾き引き起こす、2. 乾いた、乾燥した)、sitians (1. 喉が渴いた、乾きを引き起こす、2. 渴望している、3. 乾いた、乾燥している)、sitio (1. 喉が渴いている、2. 乾いて (乾燥して) いる、3. (飲み物を) 求める、飲みたがる、4. 渴望する、頻りに求める)、sitologia [ギリシャ語] ([医学] 食品学、栄養学)、

【英語】

sitology (栄養学、食品学)、

直系・傍系

直系

【ラテン語】

【英語】

傍系

【ラテン語】

【英語】

姻戚関係

【ラテン語】

sobrina (従姉妹), sobrinus (従兄弟), socer (配偶者の父、舅), socera (配偶者の母、姑), socerio ([碑] 配偶者の兄弟), socrus (1. 配偶者の母、姑、2. 配偶者の父、舅), soror (1. 姉妹、2. 従姉妹、3. 女友達、4. [カトリック] 修道女), sororius ([碑] 姉妹の夫、義兄弟),

【英語】

【漢字】

親、戚

仲間

【ラテン語】

socia (1. 仲間、同僚 (女性)、2. 妻), socialis (1. 仲間の、社交的な、2. 婚姻の、夫婦の、3. 同盟の), societas (1. 仲間関係、共同、提携、2. 団体、結社、組合、3. 同盟、4. 密接な関係、5. [カトリック] 修道会), socio (1. 結合する、連合 (提携) させる、2. 結婚させる、3. 共有する、共にする), sodaricium (1. 友誼、親交、2. (宗教的・社会的) 団体、結社、3. (選挙のために組織された買収と暴力行為を事とする) 一味、徒党),

【英語】

【漢字】

組、織

狩猟

狩

【ラテン語】

【英語】

【漢字】

狩、

探す

【ラテン語】

【英語】

s a f a r i [アラビア語] ((探検) 旅行、(特に東アフリカでの) 狩猟旅行、狩猟旅行隊), s e e k [「熱心に見詰める」が原義] (1. (物・場所などを) 探し求める、探す、得ようとする、～を探し出す、2. [文語] ～しようと努める、3. (忠告などを～に) 求める、要求する、4. ～へ自然に動く、行く), s l e u t h (警察犬、刑事、探偵), s p y [「隠れたものを見つける」が原義] (スパイ、密偵、間諜、(私立) 探偵、スパイ行為), s o r c e r e r ((悪霊の助けを借りた) 魔法使い、魔術師、妖術師), s e a r c h [「ぐるぐると動き回る」が原義] (1. 探す、(～を探ろうと顔) を窺がう、(～を思い出そうとして記憶) を辿る、2. [文語] (光・風・寒さなど) が場所に入り込む、3. [軍隊] (場所を) 機銃で掃射する),

【漢字】

捜、索、

【日本語】

探す、

隠れる

【ラテン語】

【英語】

痕跡

【ラテン語】

【英語】

【漢字】

跡、

臭い (嗅ぎ分ける)

【ラテン語】

sapiens (1.分別のある人、2.賢人、哲人), sapientia (1.知恵、分別、2.英知), sapio (1.味がする、臭いがする、2.味が分かる、3.分別 (判断力) がある),
【英語】

【漢字】

臭、
残、

【日本語】

賢し、悟る、

知らせる

【ラテン語】

【漢字】

喋、

【日本語】

喋る、

心臓のアナロジー

形 (心室・心房)

【ラテン語】

saccarius (袋の、袋を積んだ), sacculus ((小さな) 袋), sacciformis ([解剖学] 嚢状の), sacciperium ((大きな) 財布), sacco (金袋、お大尽), sacculus (1. (小さな) 袋、財布、2.漉し袋、3. [解剖学] (内耳迷路の) 球形嚢、小嚢), saccus (1. (大きな) 袋、財布、2.漉し袋、3.粗布、4. [解剖学] 嚢), sitarchia [ギリシャ語] (1.旅行用の糧食、2.ずた袋、合切袋),

【ギリシャ語】

σακκος (小嚢), σακτος (袋),

【英語】

sac ([動物・植物] 嚢、液嚢、気嚢), sachet (1. (臭い袋の) 香粉、2. (シャンプーなどの) 少量入りの袋), satchel ((特に肩から下げる教科書などを入れる) 学生カバン、小型カバン), sack [[「失業者が道具・衣類などを入れた袋」が原義] (1. (穀物・小麦・石炭などを入れる粗布の) 大袋、その1袋分の量、2. (丈夫な) 袋、3. (女性・子供用の) ゆったりした上着、女性用ガウン、4.解雇、くび、拒絶、ひじ鉄) sally [フランス語] (広間、ホール、室、部屋), salon (1. (服飾・美容の) 店、2.サロン、3. (サロンに用いた大邸宅の) 客間、大広間), saloon (1.酒場、2.~用の広い場所 (部屋)、3. (客船・ホテルなどの) 談話室、社交室、大広間), surround [「上に sur 水が流れる ound」] ((物を四方から) 囲む、取り巻く、包囲する), sortie (1. [軍隊] (包囲陣地からの) 突撃、出撃、急襲、2 [軍隊] 単機 (爆撃) 作戦任務、3.未知

の土地への小旅行、小探検旅行),

血液

【ラテン語】

【英語】

sojourn (〔文語〕 (一時的に) 滞在する、逗留する、住む),

心房・心室

【ラテン語】

【英語】

secede ((政党・教会・同盟などからの) 脱退、分離), seclude (1. (～を～から) 引き離す、遮断する、閉じ込める、2. (人などを～から) 引籠もらせる、隠遁させる), sect (1. (宗教上の) 分派、宗派、(特に英国国教から分離した) 教派、2. (しばしばけなして) 学派、党派、派閥、セクト), section [「切られること」が原義] (1. 切断された部分、2. 切断面、断面図、3. (竹などの) 節間、(蜜柑などの) 袋、室、房、組み立て部品、4. (旅行などの) 区間、5. 会社の部門 (課、部)、社会階級 (階層)、党派、派閥、6. (都市の) 区域、7. 切断、切開、8. (書物の) 節、項、(法令文などの) 項、(新聞などの) ～欄、(音楽) 楽節、9. [鉄道] 保線区),

右と左

【ラテン語】

【英語】

separate [「離れて置く」が原義] (1. 引き離す、分ける、2. 分離する、～から隔てる、～と～の間を仕切る、3. (グループなどに) 分ける、区分する、4. 別居する、別れる、5. 除隊になる、退学させられる、解雇される),

右

【ラテン語】

【英語】

soup [「啜る汁」が原義] (1. スープ、2. 濃霧、3 [写真] 現像液、4. ニトログリセリン (金庫破りが用いた隠語)),

動き (律動)

【ラテン語】

salpinx [ギリシャ語] (1. ラッパ、2. [解剖学] 卵管、耳管), suf (sub)・flo (1. 膨らむ、ほらを吹く、2. 膨らませる、3. 息を吹きかける、4. (急に) 怒り出す、5. (魂・命を) 吹き込む), sufflammo (1. 燃え上らせる、掻き立てる、2. (人) を焼き殺す), suf・fundo (1. そそぐ、注ぐ、2. (血・涙などで) 満たす、一杯にする、3. (光・色・熱などで) 溢れさせる、染み込ませる、4. 赤面させる、恥じ入らせる), suf・furo (こっそり盗む、くすねる), sollers (1. 巧妙な、上手な、熟練した、2. 巧みに工夫された),

【ギリシャ語】

σ α τ ρ ο ω (掃く、掃き清める、掃き捨てる),

【英語】

sedulity (勤勉、精励), sempre [イタリア語] ([音楽] 常に、絶えず), sort [「運」が原義] (1.種類、タイプ、性質、品質、2. (修飾語を伴って) 人、3 [古語] 方法、やり方),

神秘さのアナロジー

【ラテン語】

【英語】

secret [「離れて分ける」] (1.秘密の、内緒の、2. (場所が人目につかないように) 隠された (隠れた)、3.神秘的な、4. (人が〜について) 秘密を守る、5. (人が) 公表されていない), secretary [「秘密事を取り扱う人」] (1.秘書、(団体の) 秘書官、(官公庁の) 書記官、2. (各省の) 長官), soul [「魂」が原義] (1.魂、靈魂、霊、2.精神、心、3. (知性・知力に対して情と道徳性の総合としての) 魂、心の温かさと高潔さ、熱情、真情、生气、気迫、4. (事物の) 本質的部分、精髓、生命、5. (運動・規格などの) 中心人物、指導者、6. (徳性の) 典型、権化、化身、7.〜な人、1人も (〜しない)、誰も (〜ない)),

心臓の音のアナロジー

【ラテン語】

【英語】

sough ([文語] (風が) ヒューヒューと鳴る、ザワザワ音を発てる),

脈のアナロジー

【ラテン語】

saltus (跳躍),

【英語】

soldier [「給料のために働く人」が原義] ((陸軍の) 軍人、2.兵士、兵卒、兵、下士官、3.将軍、指揮官、歴戦の勇士、4 (主義・主張のために戦う) 闘士、戦士、闘将),

動き (左右の独立)

【ラテン語】

se·ditio (1.不和、内紛、軋轢、2.暴動、動乱、反乱),

【英語】

se z ((ときにおどけて) 君の考えではそうだろうが (私は反対だ)),

左→肺→右のアナロジー

【ライン語】

【英語】

solatium ([法律] (侮蔑に対する) 慰謝料、賠償金), suation ((特に道義上の) 説得、勧告)

全体の組織性

【ラテン語】

【英語】

society [「仲間 companion」が原義] (1. (人間をぜんたいで捉えた) 社会、世間の人々、2. (共通の文化・利害を有する) 社会、共同体、3. (共通の目的・関心などで作られた) 協会、会、クラブ、団体、4. (社会の一部としての) 社会層、～界、5. 交際、付き合い、(人々との) 同席、6. [生態] 生物社会), soviet [ロシア語] (1. (ソ連などの) 評議会、会議、ソビエト、2. ソ連の国民、ソ連政府),

組織性のアナロジー

【ラテン語】

【ギリシャ語】

σ υ (あなた), σ υ - (共に), σ υ γ - (一緒に、共に、同じ—、傍らの), σ υ κ α ζ ω (無花果の実を摘み取る), σ υ λ - (一緒にする), σ υ μ - (一緒にする、一つにする), σ υ ν (①～と一緒に、～と共に、②～の助けにより、③傍らに、④～を身に付けた、⑤(手段、方法など)～で、⑥～に従って、～となるように、⑦～を含めて、～を併せて), σ υ ν - (①一緒に、同時に、②終わりまで、完全に、③一緒に、～ずつ), σ υ ρ μ α (後に長く引くもの、裾を長く引いた衣裳), σ υ ρ - (一緒にする),

【英語】

suit [「従うもの」が原義] (1. スーツ、2. (ある目的のための) 衣服、～着、3. (馬具・鎧などの) 一揃い、1組、4. [法律] (通例民事の) 訴訟、5. 養成、請願、懇願、6 [古語] 求婚、求愛), suitable (適した、相応しい、～向きの),

律動

【ラテン語】

【英語】

sophism (詭弁を弄すること、こじつけ、屁理屈、謬論), sophisticate (1. (褒めて人を) 世慣れさせる、(都会風に) 洗練させる、(貶して人を) 世間ずれさせる、2. (機械・装置・技術などを) 複雑(高度)化する、精巧にする、3. (意味などを) ゆがめる、(理解などを) 誤らせる、4. (人を) 詭弁に巻き込む、詭弁で惑わせる、5. (原文などを) 勝手に変える、(酒などに) 混ぜ物をする),

弁のアナロジー

【ラテン語】

【英語】

seam (1. (布・革などの) 縫い目、(板などの) 継ぎ目、綴じ目、(裏編みの) 編み目、2. 傷痕、(顔などの) 深い皺、(岩などの) 割れ目、(話しなどの) 途切れ、3. [医学] 縫合(線)、4. [地理] (二つの地層間の岩石などの) 薄層、鉱脈), suture (1. [医学] (傷口などの) 縫合、その糸、2. [解剖学] (頭骸骨の) 縫合線、3. [動物・植物] (二枚貝・マメのさやなどの) 縫い目、縫合線),

血液量のアナロジー

【ラテン語】

【英語】

several 「[分割された]が原義」(1. (少ない感じで) いくつかの、(多い感じで) いくつもの、かなり多くの、2. それぞれの、各自の、様々な)、some (1. いくらかの、多少の、2. なかには～(もある)、3. ある、何かの、4. およそ、約～、5. 相当な、大した、なかなかの),

心臓と肺のアナロジー

【ラテン語】

【英語】

脈のアナロジー

【ラテン語】

sarmentum (1. (特に葡萄の) 若枝、2. 切り枝、柴),

【英語】

saltire ([紋章] X型十字),

肺のアナロジー

【ラテン語】

saccellatio (罨法), semotus (1. 遠ざけられた、切り離された、遠く離れた、2. 内密の、内輪の),

【英語】

sulk (貶して) (拗ねる、ふくれる), sulky (一人乗りの (二輪馬車・農耕機)),

呼吸のアナロジー

【ラテン語】

suffocabilis (息が詰まりそうな、息苦しい), suffocatio (呼吸困難 (女性のヒステリーとも関連すると考えられた)), suffoco [sub・faus

ces] (1.窒息させる、絞殺する、溺死させる、2. (活動を) 抑えつける、抑圧する),

【英語】

sullen [「ひとりの」が原義] (1. (貶して) むっつりした、拗ねた、不機嫌な、2. [文語] (空・天気) 鬱陶しい、重々しい、3. [文語] 音が鈍い、哀調を帯びた、(色が) くすんだ、4. (流れ・歩みが) ゆったりした、緩慢な),

肺のアナロジー

漉す

【ラテン語】

【ギリシャ語】

σ α γ η ν ε υ τ η ρ (曳網で魚をとる、比喩的に櫛), σ α γ η ν ε υ ω (曳網で魚を獲る、一掃する), σ α γ η ν η (曳網、網),

【英語】

seine (-net: 曳き網), Seine (セーヌ川),

肋骨のアナロジー

【ラテン語】

semuncia (1. (全体の) 24分の1、2.重量単位、3.通貨単位、4.地積単位),

【英語】

よがり声のアナロジー

【ラテン語】

【英語】

song [「歌う」が原義] (1.歌、歌曲、2.歌うこと、3.詩歌、詩文、4. (鳥・虫などの) 鳴き声、囀り、(小川などの) せせらぎ、(沸騰する薬缶などの) 鳴る音), sonance (響き、響くこと), soprano [音楽] (ソプラノ、ソプラノ歌手、ソプラノ声域), sol [音楽] ソ (ドレミファソ),

農耕 (<=月・汐)

満月

【ラテン語】

【英語】

silver (1.銀、(銀のように) 輝いている、2.銀貨、金銭、3.銀器、(一般に) 食器類、4.銀色、銀白)

満月以外の月

【ラテン語】

sarta ((建造物の) 修繕、補修、良好な状態), sartor ((服の) 修繕屋), sartorius ([解剖学] 縫工筋), sartura (修繕した(縫った)部分),

【英語】

減っていく月 (下弦の月)

【ラテン語】

selinas (縮葉キャベツ),

【英語】

増えていく月 (上弦の月)

【ラテン語】

【英語】

sinus (1. [解剖] 洞、静脈洞、2. [病理] 瘻 (ロウ・せむし)、3. 湾曲、湾曲部、4. [植物] 列欠),

汐

汐 (量)

【ラテン語】

【英語】

such (1. そのような、このような、こんな、あんな、2. とても～な、それほどの、こんなによい (酷い・悪い)、大変な、3. [法律] 上記の、前述の),

汐 (タイミング)

【ラテン語】

【英語】

sudden [「そっと来る」が原義] (突然の、思いがけない、急な),

汐

【ラテン語】

seges (1. 耕地、畑、2.刈っていない穀物、収穫、3. (一般に) 栽培、作物), Segesta (セゲスタ (収穫を司る女神)), segetalis ((雑草が) 穀物の間に生えた),

segestre ((寝椅子の) カバー、包み紙), sata (1. 作物、2. (一般に) 植物、草木、3. [詩] 子孫),

【英語】

二度目の汐

【ラテン語】

setanion [ギリシャ語] (春蒔き小麦), setaria ([植物] エノコログサ),
【英語】

森とサバンナのアナロジー

森

【ラテン語】

【英語】

sod (1.芝生 (地)、2.四角に剥ぎ取った移動用の芝 (土)),

サバンナ

【ラテン語】

【英語】

森 (糞尿の肥料)

【ラテン語】

saccatum (尿、小便), sapo ((髪を染めるのに用いられる) シャボン), saponatum ((泡立った) 石鹸水),

【英語】

soap [「獣脂」が原義] (1.石鹸、2. [化学] 脂肪酸のアルカリ金属塩、3 金、賄賂), soil (1. (衣服・手などを〜で少しまたは表面だけ) 汚す、〜に〜で染みをつける、〜を大便で汚す、2. (家名などを) 傷つける、けがす、3. (心などを) 墮落させる), saponify (〜を石鹸化する), soda (1.ソーダ、2.3. (味つき) ソーダ水、炭酸清涼飲料), suds (1.石鹸の泡、2.ビールの泡),

サバンナ

【ラテン語】

silaceus (黄土の、黄土色の), sil (黄土の一種),

【英語】

soil [「植物が育つ地殻上層の土」が原義] (1.土、土地、土壌、2. [文語] 土地、国 (土)、地、3. (農民が働く) 大地、農業、4. (ものごとが発生しやすい〜の) 環境、温床、生育地),

農耕

【ラテン語】

【英語】

Saturday [「ローマ神話農耕の神サトゥルヌスの Saturn's 日」] (土曜日), Saturn (1.ローマ神話サトゥルヌス (農耕の神)、2. [天体] 土星、3. [古語・化学] 鉛、4.

サターンロケット), saturnine (1. [文語] 陰気な、暗い、むっつりした、2. [古語・化学] 鉛の、鉛中毒の)、

種子

【ラテン語】

【英語】

semen (精液), seed [「種を蒔く」が原義] (1.種、種子、種に相当する部分 (イチゴの実など)、新しく成長する部分 (球根、鱗茎など)、2.~の種、元、根源、3.精液、魚精、白子、4. [聖] 子孫)、

【漢字】

種、植、

VIII. 哺乳動物

頸骨

【ラテン語】

September (9月 (7番目の月)), septenary (7の、7からなる), septi- (7の), septum ([医学] 隔壁、隔膜)、

【英語】

salebra (1. (道路の) でこぼこ、2. (文体・話し方が) ごつごつしていること), se·orsus (離れた、別個の), separ (別個の、異なった), separatio (分離), se·pono (1.捨てる、放棄する、2.無視する、忘れる、3.引き離す、隔離する、4.別にしておく、取っておく、5.区別する、識別する), seps [ギリシャ語] (1.毒蛇の一種 (噛まれると腐敗を起こすと考えられた)、2.毒トカゲ), sepsis [ギリシャ語] ([病] 敗血症), septem (1.7の、2. (ギリシャの) 七賢人), September ((ローマ古歴の) 7月、(前153年以降) 9月の), seplcrum (1.墓、墳墓、塚、2.墓碑、墓標、3. (火葬用の) 薪を積み重ねたもの、4.死者たち), seven (7), si ([音楽] シ (ドリミファ音の7音)),

神経

【ラテン語】

saeta (1.剛毛、2. (馬の毛で作った) 釣り糸、3. (剛毛で作った) 刷毛), stamen (1.縦糸、2. (糸巻き棒の) 織り糸、3. (運命の3女神 Parcae が紡ぎ、長さを定め、断ち切る) 人間の寿命の糸、4. (一般に) 糸、(楽器の) 弦、5. (神官の) 神紐、6. [植物] 雄蕊 (ゆうすい)、おしべ、),

【英語】

sew (1.縫う、(布地などを) 縫い合わせる、(靴・シャツなどを) 縫って作る (繕う)、2. (物) に縫い付ける、3.縫い合わせる、縫合する、4. [製本] (本を) 綴じる), sewage (下水 (汚物、汚水)), sewer ((地下の) 下水道、下水管), sewer (縫う人、お針子), silk (1.絹、絹糸、生糸、絹織物、絹布、2.絹の衣服、絹物、3.騎手服、4.蜘蛛の分泌する絹糸状のもの、5.トウモロコシの毛、6.絹の、絹のような)、

【漢字】

糸、索 ([s a k] ①繩、綱、②糸、楽器の糸、③求める、探し求める、④一人、⑤寂しい、⑥尽くす、⑦散る、⑧燃る、燃って繩を作る、繩を綯う、⑨法律、法度、⑩涙が流れる様子)、

【日本語】

筋、

IX. 蛇

【ラテン語】

saura [ギリシャ語] (動物) トカゲの一種), saurian (トカゲ類の (動物)), serpens (1. [動物] 蛇、2. [天文学] 竜座、蛇座、3.ウジ虫), serpo (1. 這う、(這うように) ゆっくり進む、2.曲がりくねる、巻き付く、3.徐々に (知らぬ間に) 広がる),

【英語】

serpent [「這う」が原義] (1 [古語] 蛇 (snake より大型の蛇)、2. [古語] (人を悪に誘い込む) 邪悪な人、(蛇のように) 陰険な人、3. [古語] 悪魔), sinuate (1. 曲がりくねった、2. [植物] (葉の縁が) 波状の), sinuous (1.動きのしなやかな、2.遠まわしの、3.ひねくれた),

【漢字】

蛇、邪、

蛇の通った痕

【ラテン語】

semita (1.小道、わき道、(舗装した) 歩道、2. (舟などの) 通った跡、(流れ星の) 尾), sigillaria (粘土製の小さな人形), sigillo (1.刻印する、2.彫刻する、3 (蛇の前で) 十字を切って追い払う), sigillum (1. (小振りの) 彫像、2.塑像、人形、3.画像、絵姿、4. (印象の) 図柄、印章、5.しるし、痕跡), sigmoideus ([解剖学] S字状の),

頭

【ラテン語】

sagitta (1.矢、2. [天文学] 矢座), sinciput (1. (食材としての動物の) 頭の半分、頬肉、2.頭脳、頭), singularis (1.特別の、独特の、2.たった一つの、単一の、3.個々の、別々の、稀な、並外れた、4. [文法] 単数の),

【英語】

single [「一つの」が原義] (1.たった一つの、たった一人の、ただの一つも、2.一つ一つの、各々の、3.独身の、4.一人用の、5.単一の、単式の、(花などが) 一重の、6.片道の、7.正直な、誠実な), singular (1.並外れた、非凡な、珍しい、まれに見る、2.奇妙な、風変わりな、3.一つだけ、別々の、各自の、4. [文法] 単数の),

【漢字】

頭、矢、先、

【日本語】

先、

胴体

【ラテン語】

sequaciter (当然のなりゆきとして), sequax (1.追いかける、付いてゆく、2.従順な、扱いやすい) sequela (1.従者、2.結果), sequens (1.次にくる、後に続く、2.必然の結果の), sequor (1.後から行く、付いてゆく、2.追う、追跡する、3. (時間的に) 続く、続いて起こる、4. (順として) 次に来る、5.当然の結果として ~になる、6.従う、倣う、手本とする、7.同行 (随行) する、8.味方する、追隨する、支持する、9.付随する、同時に起こる、10. (ある人の) 所有に帰する、帰属する、11. (ある場所へ) 向かう、進む、12.沿って進む、辿る、(人生を) 送る、13.一面に広がる、行き渡る、14.得ようとする、求める、狙う、15.従事する、遂行する), selas [ギリシャ語] (流星),

【英語】

背骨

【ラテン語】

【英語】

sequence [「後に従うもの」が原義] (1.続いて起こること、連続、連続順、2.連続するもの、一連の、3. (～に従う) 結果), serial (1. (番号などが) 連続的な、通しの、2. (小説などが) 続き物の、連載の、逐次刊行の、3. [音楽] 12音の), series [「同種のもが並んでいること」が原義] (1.連続、ひと続き、2.続きもの、シリーズもの、(切手・貨幣などの) 一組、ひとそろい、(野球などの) シリーズ、連続試合、3. [電気] 直列、4. [数学] 級数、[化学] 系列、系、[地学] 統), sepal ([植物] 萼 (がく)), sere ([生態] 遷移系列), selvage (1. (織物などの) 耳、織り端、2. (布切れなどの) へり、(一般に) 端、3. (錠の) 受け金), sequoia ([植物] セコイア (スギ科、3大巨木の一つ)),

肋骨

【ラテン語】

saecularis (1.一世紀に一度の、100年ごとの、2.世俗の、俗人の、3.異教の), saeculum (1.世代、同世代の人々、2.種族、人種、3.今の世、当節、時代、4.一生、生涯、5.一世紀、百年、6.後代、後世、7.長期間), sentus (1.棘のある、2.ごつごつした、荒れ果てた), sillybus [ギリシャ語] ([植物] アザミの一種), silurus [ギリシャ語] ([魚] ナマズの類),

【英語】

secular (1.非宗教的な、宗教に関係のない、2. [カトリック] 修道院外の、修道院に住まない、3.一時代 (世紀) に一度の、4. (名声・変化などが) 永年 (何世紀) も続く),

頸骨

【ラテン語】

【英語】

鱗

真皮

【ラテン語】

【英語】

鱗

【ラテン語】

【英語】

X. シャチ シャチ

【ラテン語】

【英語】

獯猛さ

【ラテン語】

saevus (惨酷に、獯猛に), saevitia (1. (動物が) 獯猛さ、2. (人の性格・行為の) 厳しさ、冷酷、3. (天候・海などの) 激しさ、激烈),

【英語】

歯 (鋸状のもの)

【ラテン語】

serra (1. のこぎり、2. [魚] ノコギリエイ、3. [軍隊] 鋸歯状隊形), serratus (1. ぎざぎざの (ある)、2. [静物・解剖学] 鋸歯状の),

【英語】

saw [「切る」が原義] (鋸、のこぎりのような道具), sierra (1. (スペイン・中南米の) 鋸状の連山、山脈、2. [魚] サワラ), serrate ((葉などが) 鋸歯状の、ぎざぎざの),

【漢字】

歯、

背ひれ

形

【ラテン語】

sambuca [ギリシャ語] (1. (東洋起源の) 三角琴、2. [軍隊] (攻城用の) 跳ね橋), siparum [ギリシャ語] (帆柱の上部に掲げる小さな帆),

【英語】

secant [数学] (1. 割線、2. (三角関数の) セカント、3. 切る、分ける、交差する),

象徴

【ラテン語】

s u g g e s t i o (1. [修辞学] 予駁、論法、2.追加、付言、3.示唆、提案、4.告知、報告、宣言、5.請願 (書)), s u g g e s t u m (1.高くなった場所、2.演壇),

【英語】

s a i l [「切り取られた布」が原義] (1.帆 (豊穰・欲望・冒険・権力などの象徴)、2.帆船、3.帆走、帆船での航海、舟遊び、航程、4.帆形のもの、(風車の) 翼、風受け、(鳥の) 翼、(バショウカジキの) 背びれ、(オウムガイの) 触手), s u g g e s t [「～の下へsug持ち出すgest.】 (1. (物・事を) それとなく示す (言う)、暗示 (示唆) する、2.提案する、勧める、3～を連想させる、思い起こさせる), s u m [「最も高いところ」が原義] (1.合計、総計、総額、和、2.大意、概要、3. (ある) 金額、4.算数問題、計算、算数),, s u m m i t [「最も高い」が原義] (1.頂上、頂、極致、頂点、2.首脳 (陣)), s u m p t u o u s (1.高価な、2.豪華な、贅沢な),

【漢字】

最、上、丈 ([j o u] 1.長さの単位、10 尺、2.たけ、身長、高さ、長さ、3.ある限り、4.限定、5.比例、6.程度を表す、7.目上の人に対する尊称、8.友人に対する敬称、9.役者などの芸名の下に添える尊称、

浮く

【ラテン語】

【英語】

沈む

【ラテン語】

【英語】

s i n k [「人が倒れる」が原義] (1. (物などが水面下に) 沈む、沈没する、没する、2. (土地・建物などが～の方向に) 落ち込む、沈下する、傾く、3. (人・体が～に) 崩れ落ちる、倒れる、4. (人・体力・気力などが) 衰える、萎える、(目・頬などが) 落ち込む、(腕・首などが) 垂れ下がる、(目が) 下を向く、5. (音・声・勢い・程度・数量などが) 弱まる、減る、(地位・名声・価値などが～に) 落ちぶれる、6. (～に) 陥る、落ち込む、熱中する、7. (場所・心などに) 染み込む、入り込む、理解される), s u f f u g i o (1. (～の下へ) 逃げる、逃れる、避難する、2.逃れる、免れる、避ける),

【漢字】

染、浸、

【日本語】

染まる、

(沈む)

沈、

【日本語】

沈む、

アイパッチ

【ラテン語】

【英語】

腹ひれ

【ラテン語】

【英語】

11. 猪

猪

【ラテン語】

saetiger (〔動物〕イノシシ), silus (しし鼻の), simus [ギリシャ語] (1.鼻の低い、しし鼻の、2.平たい、平らな),

【英語】

sow [「蒔く」が原義] (1. (種を〜に) 蒔く、(植物の種を〜に) 蒔く、2. ギコウの種を蒔く、植える、〜を誘発する、3. 〜で鏝められる), sow (1. 雌ブタ、(熊などの) 雌、2. (貶して) ふとっちょ女、だらしのない女、3. [冶金] 大型鑄鉄、大鑄型),

飼う

【ラテン語】

sagina (1. 家畜などを太らせること、肥育、2. 飼料、餌、3. (剣闘士・競技者向けの) 飲食物),

【ギリシャ語】

σαρκωω (肉をつける、太らせる), σιαλοζ (肥えた豚), σιτιζω (食物を与えて養う、飼う),

【英語】

【漢字】

飼、

殺す

【ラテン語】

【英語】

【漢字】

殺、
巢

【ラテン語】

【英語】

泥浴

【ラテン語】

【英語】

soak [「吸う」が原義] (1. (液体に) 浸す、浸ける、(物を液体で) 十分に湿らせる (濡らす)、(液体に) たっぷり浸す、～でいっぱいである、満ちている、2. びしょ濡れにする、3. (人が、衣服の汚れ・染みなどを水に浸して) 落とす、抜く、消す、4. (人に) 法外な料金を吹っかける、～に重税を課す、5. (人が) 酔っ払う、酔っ払っている、(酒を) 浴びるほど飲む、6. (人を) 酷く罰する (殴る)、7. (物を) 買い入れる), sodden (1. びしょ濡れの、水浸しの、2. (パン・ケキなどが) 生焼けの、3. (酔い・疲労などで人・顔つきなどが) ぼんやりした、ぼけた、(人・精神などが) 不活発な、想像力のない、無気力な、(酒で顔が) むくんだ), soggy (1. (地面などが) 水浸しの、びしょ濡れの、2. (生焼けパンなどが) べとべとした、ふやけた、3. (天気・空気が) じめじめした、蒸し暑い、4. (文体・会話などが) 重々しく退屈な、生气 (活気) のない), souse (1. ～を水浸しにする、2. (魚などを) 塩 (酢) 漬けにする、3. 酔っ払う), sop (1. ソップ (牛乳・スープなどに浸して食べるパンの切れ端など)、2. ～の機嫌をとるためのもの、鼻薬、甘言、賄賂、3. まぬけ、弱虫), sopping (1. びしょ濡れの、ずぶ濡れの、2. びしょびしょに), sordid (1. ((貶して場所・環境などが) 汚い、不潔な、むさ苦しい、2. (人・行為などが) 下劣な、卑しむべき、浅ましい、強欲な、利己的な),

巢

【ラテン語】

【英語】

12. 犬
犬

【ラテン語】

【英語】

servant (1. (通例住み込みの) 召使、使用人、2. [文学] (神・芸術・民衆への) 奉仕者、3. [文学] 役に立つもの・動物), serve [「人に仕える」が原義] (1. 仕える、～のために尽くす、2. (必要物を) 供給する、(客に商品を) 見せる、3. (食べ物などを～の状態) で出す、(人に) 食事を出す、4. (職務・任務・刑期を) 努める、5. (物・施設などが目

的に) 叶う、役立つ、6. (人を) 遇する、扱う), *serviette* ((遠まわしに) 食卓用ナブキン), *servile* ((貶して) 1.奴隷の(ような)、2.卑屈な、こびへつらう、追従的な、自主性のない),

人

【ラテン語】

【英語】

人と犬

主従関係 (人と人・人と犬<=心臓と肺の関係)

命令する

【ラテン語】

【英語】

sake [「訴訟」が原義] (～の利益のために、～を目的として), *say* [「内容を伝える」が原義] (1.言う、述べる、話す、2.～と述べる、～という趣旨のことを言う、～と主張する、3.～と言う、噂する、伝える、4.～と書いてある、(ラジオ・天気予報が) ～だと言う、(顔などが～であることを) 表す、5.～と仮定する、仮に～としたら、およそ、約、6. (祈りなど) を唱える、(做ったことなど) を暗唱する、7.～せよと言う、命じる), *severe* [「人に規律・忍耐・一定の水準を要求する」が原義] (1.厳格な、容赦しない、2. (天候・状況・病気・痛みなどが) 厳しい、耐え難い、3. (競争・審査などが人に) 能力を要求する、厳しい、4. (趣味・文体などが) 簡素な、地味好みの), *sic* (1.～を攻撃する、かかれ、2. (犬などを) けしかける),

答える (従う)

【ラテン語】

sic (1.この(その) ように、～と同じように～、2.この条件で、この限りで、3.それゆえ、だから、4.その程度まで、5. (肯定の返答として) その通り、はい),

【英語】

satellite (1.衛星、2.人工衛星、3.4.従者、取り巻き、5.人工衛星のような、二次的な、同盟した), *segeant* [「仕える人」が原義] ([軍隊] 軍曹), *seneschal* (1. (中世王侯貴族の) 執事、家令、2.大聖堂の職員), *so* (I. 1.そのように、このように、そう、そんな風に、次のように、II. 2.それほど、そんなに、3.この程度まで、これくらいまで、4.とても、非常に、III. 5.そのように、そう、6.7.そのようで、そうで、8.9.その通りです),

【漢字】

主、従、

主 (高貴・ネアンデルタール人? (その血筋?))

【ラテン語】

satrapes [ギリシャ語・ペルシャ語] ((ペルシャ地方の) 総督、太守), *se·dulus* (勤勉な、熱心な、せっせと働く), *seraphim* ([聖書] セラフィム、熾天使), *serapias* ([植物] ラン (蘭の一種)), *serarius* (乳漿で育てられた), *serene* (はっきりと、明瞭に), *serenus* (1.晴れ渡った、晴朗な、晴天

を齎す、2.明るい、澄んだ、3.平静な、落ち着いた、穏やかな、4. (皇帝への尊称) 閣下、servabillis (1.救うことのできる、2.保存できる)、servans ((法・正義を) 遵守する)、servator (1.救済者、保護者、2.監視者、見張り人、3.遵奉(遵守)者)、servo (1.世話をする、番をする、2.観察する、監視する、3. (ある活動・状態を) 続ける、保つ、留まる、4.維持する、保持する、5.取っておく、6.救助する、保護する、7. [法律] (貸し金を) 回収する)、soliar (王座の覆い)、soliaris ([碑] 浴槽のある)、solium (1.肘掛け椅子、2.玉座、王座、3.王位、王権、統治、支配、4.湯船、浴槽、5.石棺)、soracus [ギリシャ語] (詰め籠、籠)、sors (1.籤(札)、籤引き、2.運命、めぐり合わせ、事情、状況、3.神託、予言、4.割り当て、分け前、5.職務、任務、6.種類、部類、7.元本、元金)、

【英語】

seigneur [フランス語] (封建時代の) 君主、領主、Selene ([ギリシャ神話] セレネー (月の女神 (ローマ神話のLunaに相当))), selenology (月学 (月の天文学的研究))、Sabine (1.サビニ人 (の) (イタリア中部の古代人))、sabra (本国生まれのイスラエル人)、sacerdotal (1.聖職の、司祭の、2.聖職 (司祭) 尊重 (主義) の)、sachem (1. (北米インディアン)の) 首長、2. (政界の) 主導者、3.大物)、sahib ([インド・パキスタン] 閣下・先生・様・殿、旦那)、saint [「神聖な」が原義] (1.聖人、聖者、聖徒、死者、天国に行った人、2.聖〜、3.聖人のような人、高德な人、清浄な人、慈悲深い人)、salaam (イスラム教徒の額手礼、イスラム教徒の敬礼、挨拶、敬意)、salience (1.卓抜、顕著 (な点、特徴)、2.突出 (物))、salient (1.顕著な、目立つ、2.突き出た、突出した)、satrap (1. [歴史] (古代ペルシャ)の) 地方総督、2. (一般に専制的な植民地) 支配者)、senor [スペイン語] (1. (呼びかけ) あなた、旦那様、〜様、〜氏、2 (スペイン)の) 紳士)、sir [sireの短縮形] (1. [男性の呼びかけ・敬称で] (目上の人・店の客・見知らぬ人に) あなた様、だんな、2.拝啓、3.卿、サー、4. (貶して目下の者に) おい、こら)、sire (1. (家畜、特にシマウマ)の) 雄親、種ウマ、父獣、2. [呼びかけ] 陛下、3. [古語] 父、父祖)、sovereign [「主要な・第一の」が原義] (1.君主、主権者、統治者、支配者、2.王者)、suzerain (1. (属国に対する) 宗主、宗主国、2. [歴史] (封建時代の) 領主、藩主、宗主)、sultan (サルタン、回教国の君主)、

隷属

【ラテン語】

sordes (1.汚い、汚れ、2.喪服、3.身分の低いこと、下賤、4.卑しさ、あさましさ、5.下層民、人間のくず)、sentina (1.滄 (あか; 船底に溜まる污水)、2.船底の滄溝、3.最下層民、社会のクズ)、sentino (1. 滄 (あか) を汲み出す、2.窮地 (危険) にある)、

【英語】

serf (1. (土地と共に売り買いされた中世の) 農奴、2.奴隷 (のような人))、serva (女奴隷)、servilis (1.奴隷の、2.卑しい、卑屈な)、servio (1.奴隷である、奉公する、仕える、2.従属する、服従する、3.尽力する、骨折る、4.役立つ、要求を満たす、5. [法律] (土地・建物が) 他人の何らかの権利下にある)、satelles (1.護衛、親衛 (兵)、2.侍従、従者、3.仲間、支持者、4.共犯者)、soldulii (1.従者、家臣)、sodomia (男色、獣姦)、siparium (1. (舞台の両袖を隠す) 引き幕、脇幕、2.喜劇、3.日よけ幕)、sump (1.汚水 (下水) だめ、腐敗槽、2. (内燃機関)の) 油貯め、3. [鉱山] (鉱底)の) 水貯め)、sumpter (荷馬 (ラバ))、sumptuary ((法で) 倹約を課す、贅沢規制の)、

【漢字】

拙、
醜、
罪、憎、惨、

犬に見張らせる (番犬)

座って見張らせる (夜間)

【ラテン語】

sedecula ((小さな) 椅子)、sedeo (1.座る、座っている、(馬などに) 乗る、2. (鳥が木などに) 留まる、3. (政務官・裁判官などとして) 臨席する、4.滞在する、留まる、(ある場所・状態に) いる、ある、5. (軍隊が行動を起こさないで) じっとしている、6. (武器などが突き) 刺さる、当たる、7. (方針が) 決まる、固まる、8.鎮まる、衰える、9.固定する、定着する、10.沈下する、陥没する、11. (司教座などを) 占める)、sedes (1.席、座席、椅子、(鳥の) 止まり木、2.尻、臀部、3.住居、住まい、居所、町、都、4.

神域、神殿、5. (死者の) 休息所、墓、6.活動の場 (中心)、7.宿る場所、ありか、8.位置、9.土台、基礎), siderites [ギリシャ語] (1.種々の葉草の名、2.種々の鉱石の名 (天然磁石など)), sidero ((星が) 麻痺を起こさせる), sidō (1.座る、腰を下ろす、2.くつつく、(地面などに) 届く、3. (船が) 浅瀬に乗り上げる、座礁する、4.沈む、沈下する、5.静まる、治まる), sidus (1.星、天体、2.星座、3.地帯、地域、4.季節、5.天気、天候、6. [占星] (人間の健康や農作物に影響を及ぼすと考えられた) 星、7.天、天空、8.栄光、誉れ), sessibulum (椅子、腰掛), sessilis (1.騎乗に適した、2. (植物が) 地を這う、3. (底が) 平べったい、4. [生物] 固着の、[植物] 無柄の), sessio (1.座る (座っている) こと、着席、2.集まり、会合、3.座席、椅子), sessor (1.座る人、着席者、2.騎乗者、3.居住者、住民), sella (1.座席、腰掛、椅子、2.高官椅子、3.坐輿、4.便器、5.鞍), sellaria (1.居間、閨房、2.娼婦、売春婦), sellula ((小さな) 椅子),

【英語】

saddle [「座る場所」が原義] (1. (乗馬用の) 鞍、(自転車などの) サドル、2. (馬具の) 鞍部、3.鞍に似たもの、(二つの峰の) 鞍部、[機械] 軸鞍、(家禽の) 背の後部、4. (羊・鹿の) 鞍下肉), seat [「sit」と同じ語源] (1.座席、席、観客席、席に着く権利、着席権、2. (椅子・ブランコなどの) 座部、器械の台、尻、3. (ある活動・機関の) 所在地、中心地、府、病巣、4.議席、会員権、(国会の) 選挙区、5. (馬などの) 乗り方、6.田舎の屋敷), sedentary (1. (人などが) いつも座っている、座りがちな、ほとんど体を動かさない、(仕事などが) 座ってできる、座業の、2. (鳥などが) 移住しない、定住性の), sentinel (1. [古語] 番人、見張り、歩哨、哨兵、番兵、2. [電算] センチネル、監視文字), session [「座ること」が原義] (1. (会議・議会などの) 開会、(裁判所の) 開廷、(取引の) 立会い、2.会議、会合、3.会期、開廷期間、4. (大学の) 学年、5. (ある活動の) 集まり、集団活動、その期間、6. [宗教] (長老派教会の) 管理機関), sessile (1. [植物] 無柄の、2. [動物] 定着の、着生の、固着性の (フジツボなど)), sett (歩道用敷石、アナグマの穴), set [「もと sit」の他動詞「ある状態に置く」が本義] (I. (配置・固定する) 1.配置する、置く、2.定める、設定する、3.~を整える、(罌・爆薬などを) 仕掛ける、(髪を~の状態に) セットする、4. (物を) ~につける、あてがう、調整する、5. (道路などを~に) 向ける、6. (課題・規範などを) 与える、示す、7. (人を) 着席させる、8. (活字を) 組む、活字にする、II. (状態に置く) 11.~を~の状態にする、12.~に~させる、~しようと取りかかる、~するように努める、13. (液体など柔らかいものを) 固まらせる、(表情・筋肉を) 硬直させる、(染色を) 堅牢にする、[自動詞] 1. (太陽・月が) 沈む、衰退する、2.定まる、(液体などが) 固まる、(髪型が) 決まる、(風・流れなどが) ~へ流れる、(心・意見などが) ~へ向かう、傾く、3. (服などが) 体に合う、4. [園芸] (植物が) 果実をつける、(花が) 咲く、5. (雌鳥が) 卵を抱く、[狩猟] (猟犬が) 獲物の方向を鼻で指し示す、6.座る、[名詞] 1ひとまとまり、集合、2仲間、.3. (テレビなどの) 受信機、4.セット、大道具), settee ((背・肘掛つきの) 長椅子、ソファ), setter (1. [動物] セッター犬 (猟犬)、2. (物を) 置く (並べる、はめ込む、整える)、3.扇動者、おとり、4.スパイ、密告者), settle [「流動的な」ものがある一定の場所・状態に落ち着く] (1.置く、2. (土地・職業などに) 落ち着かせる、(人の) 身を固めさせる、移り住む、3. (神経などを) 鎮める、(ほこり・かすを) 静める、(液体を) 澄ませる、4.着席をつける、~を精算する、5. (人が) 決定する、~することに決める、6. (財産などを人に) 譲る、分与する), sit [「座る、座っている」が本義] (1.座る、座っている、~の状態で座っている、2.~のために (ポーズをとって) 座る、肖像を描かせる、(写真家に) 写真を撮らせる、3. (鳥などが~に) とまる、(犬などが) 「お座り」する、(鳥が) 卵を抱く、巣につく、4. (議会・法廷などが) 開かれる、5. [天然学] 位置する、存在する、じっとしている、(風が~から) 吹く、(物が使われずに) 置いてある、6 (委員会・陪審員などの) 一員になる、(役に) ついている、7. (~に) 負担 (責任) となる、8. (衣服・職などが) 合う、似合う、相応しい), site [「場所」が本義] (1. (建物・都市などの) 場所、位置、敷地、用地、(建設) 予定地、2.遺跡、(事件などの) 現場), situate (~を (ある場所に) 置く), situation (1.位置、敷地、用地、立地条件、2.立場、境遇、状態、3.情勢、事態、形勢、4.勤め口、職、5. (物語・劇などの) 急場、際どい場面、大詰め、6. (社会・心理・文法) 場面、状況),

【漢字】

座 (1. 座る場所、座席、2. 座る、3. 集合の席、4. 場所、5. 敷物、6. 座敷、客を通す部屋、7. 金具の下に添える装飾具、8. 星座、9. 安置されたものを数える言葉、10. 寺院などを数える言葉、11. [日] 能楽・芝居・見世物の一団、12. [日] 興行をする場所、13. [日] 劇場の名の下に添える言葉、14. [日] 神社に祭られる神を数える言葉、15. [日] 中世商人の同業組合、16. [日] 江戸時代政府の監督下にある金銀その他特殊品の製造所、金座、銀座)、閨、占、

【日本語】

巢、座る、据える、

立って見張らせる (昼間)

【ラテン語】

s i s t o (1.立たせる、立てる、置く、2.出頭(出廷)させる、3.引き渡す、譲り渡す、4.固定させる、据えつける、5.(ある状態に)おく、6.止める、停止させる、7.終わらせる、やめる、8.立つ、9.出頭(出廷)する、10.しっかりと立つ、11.ゆるがない、12.立ち止まる、13.停止する), s i t u l a (1.バケツ、手桶、2.籤が入った壺), s i t u s (1.蓄えられた、預けられた、2.位置している、置かれた、ある、3.埋葬された、4.建てられた、建設された、5.~に掛かっている、依存する), s i t u s (1.位置、場所、2.配列、配置、3.地域、地勢、地形、4.建築物、5.[解剖学]位置), s i t u s (1.放置、顧みないこと、2.腐敗、黴、錆),

【英語】

【漢字】

嘖 [shou] (見張り)

犬が知っている人に声を発てる

【ギリシャ語】

σ α ι ν ω (①犬が尾を振る、②(一般に)諂う、③喜ぶ),

犬が知らない人に吠える

【ギリシャ語】

拘束

【ラテン語】

【英語】

開放

【ラテン語】

s o l u b i l i s (1.分解(解体)できる、2.分離させる、緩める), s o l u t e (1.緩んで、ばらばらになって、2.流暢に、淀みなく、3.自由に、気楽に、4.無気力に、いゝ加減に), s o l v o (1.解く、ほどく、外す、開く、2.開放する、自由にする、3.緩める、弱める、損なう、4.分解する、ばらばらにする、破壊する、5.散らす、消散させる、6.溶かす、液化する、7.解決する、8.取り消す、無効にする、9.支払う、弁済する、10.(約束・義務などを)果たす、履行する、11.(罰を)受ける、(罪を)贖う), s o m a [ギリシャ語] ([生物]体(たい)),

【英語】

身分

高貴

【ラテン語】

【英語】

卑しい

【ラテン語】

【ラテン語】

【英語】

【英語】

13. 森とサバンナ

森

【ラテン語】

Satyrus [ギリシャ語] (1. [神話] サテュルス (山羊の脚、馬の尾をもつ半人半獣の好色な森の神; Dionysus の従者; ローマ神話の Faunus に当たる)、2. サテュロス劇、3. サルの一種)、saltuarius (山林管理人)、saltuensis (森林に関する)、saltuosus (樹木の繁った、森の多い)、saltus (1. 森、林、(森間の) 草地 (牧場)、2. (山間の) 狭い道、隘路、峡谷)、Sila (Bruttii の森林地帯)、Silanus (Sila の森の)、silva (1. 森、森林、2. 庭園、木立、3. やぶ、茂み、4. 木、樹木、5. 多数、多量、6. 文学作品の素材、折に触れて造った詩の集成、詩集)、silvaticus (1. 森の、2. (動植物が) 野生の)、sentis (イバラの茂み (やぶ))、

【英語】

salad (1. サラダ、2. レタス、サラダ菜、青野菜)、sapphire (1. サファイア、青玉、2. サファイア色、瑠璃色)、sap (1. [植物] (植物の) 樹液、液汁、2. 活気、活力、3. 白木質、4. (呼びかけ) お人好し、まぬけ、5. 短い棍棒)、sapling (1. 若木、苗木、2. 青二才、若者)、sarsaparilla (1. [植物] サルサパリラ (中南米原産のユリ科植物)、2. サルサ根 (香料・強壮薬))、sylvan ([文語] 森の、樹木の繁った、森に住む)、

【漢字】

森、藪、

【日本語】

茂る、

サバンナ

【ラテン語】

siccaneus (1. (土地が) 乾燥した、2. (木が) 乾燥した土地に生える)、siccus (1. 乾かす、乾燥させる、2. 止血する、(傷口を) 塞ぐ、3. 干上がらせる、排水する、干拓する、4. 空にする、飲み干す、5. 乳を搾る、6. 乾く、日照りになる)、siccus (1. 乾いた、湿っていない、2. 涙を浮かべていない、3. 干上がった、空になった、4. 喉が渴いた、酒を飲んでいない、節制している、5. 健康な、壮健な、6. 文体が) 無味乾燥な、飾りのない)、

【英語】

Sahara (サハラ砂漠), sand (1.砂 (不毛・不安定などの象徴)、2.砂地、砂原、砂浜、砂漠、3.砂州、4. (砂時計の) 砂粒、時刻、時間、5.砂色、黄土色、6.勇気、根性), sapless (1.樹液の枯れた、萎れた、2. (土地が) 干からびた、3.活気のない、気の抜けた), sallow ((皮膚などが病的に) 血色の悪い、黄ばんだ), savannah (サバンナ ((亜) 熱帯地方の樹木がまばらな大草原)),

【漢字】

砂、

【日本語】

砂、

14. 火

【ラテン語】

【ギリシャ語】

σ ε λ α ζ (火子仮、光輝、雷光、閃光、火)、

【英語】

sadiron ((炭火を入れた) 火のし), salamander (1.サンショウウオ、2.火トカゲ (火中に住んで焼けないと信じられた)、火の精、3.火・熱に耐えるもの・人、砲火の下をくぐる軍人、4. (料理用の) 焼き鉄板、5. (建物を乾燥させる) 携帯用ストーブ), samovar ([ロシア] サモワール (お茶用湯沸し器)), sauna (サウナ), sear (1.~の表面を~で焦がす、焼く、家畜に焼印を押す、2.~を萎れさせる、枯らす、3. (感情などを) 無感覚にする), searing (焼け付くほどの、身を焦がすような)、

弱まる

【ラテン語】

【英語】

sag (1. (道路などが重みで中央が徐々に) 沈下する、陥没する、(門・橋などが重みで) かしぐ、たわむ、2. (服の裾・ズボンの膝が) 乱れる、垂れる、3. (人が) 気が減入る、がっかりする、(元気などが) 弱まる、4. (物価・相場が) 下落する、(売り上げが) 落ちる、5. (本・劇などが) 途中で面白くなる、中だるみする)、

(語彙)

【ラテン語】

sabanum [ギリシャ語] (サバナム、亜麻布、リンネル製品), sabateum (スリッパの一種), Sabelli (サッベリー (イタリア半島中部にいた Sabini 族と Samnites 族の総称)), Sabinus (1.Sabini 族の人、2.サビヌス (ローマ人の家名、特に Ovidius の友人で詩人・Masurius~第1世紀の法学者・Flavius~Vespasianus 帝の兄)), sabuceus (ニワトコの木), Sacae・Sagae [ギリシャ語] (サカエ (Scythia の1部族)), sacal [エジプト] (琥珀), sampsuchus [ギリシャ語] ([植物] マヨラナ), sandapia ((貧民の) 粗末な棺架), saurus [ギリシャ語] ([魚] マアジ), sedum ([植物] ベンケイソウ科の植物), salinca ([植物] カノコソウの類), salpingitis ([病] 卵管炎、耳管炎), semivir (1.半人半獣、2.ふたなり、3.去勢された男、4.女々しい男), seselis [ギリシャ語] ([植物] セリ科の植物), sidion [ギリシャ語] ([植物] フクロソウ属の植物), sindon [ギリシャ語] (肌理の細かい布地、モスリン), siriasis [ギリシャ語] (子供の日射病), sittibus [ギリシャ語] (著者名・表題を記してパピルス書巻の端に張った羊皮紙の付箋), solen [ギリシャ語] ([貝] マテガイ), soleus ([解剖学] ヒラメ筋の), socculus ((小さな) 踵の低い軽い靴), soccus (1. (ギリシャ人の) 踵の低い軽い靴、2.喜劇 (この靴を喜劇役者が履いたことから)), solanum ([植物] ナス属の植物), soredium ([植物] 粉芽体), sorex ([動物] トガリネズミ), sors [ギリシャ語] ([植物] 孢子囊群).

【英語】

saithe (セーズ ([魚] タラの種類)), sardine (1.鰯、2. (鰯に) 種々の小魚), sandal (サンダル、サンダル靴の留め紐), sari (サリー (ヒンズー教徒の女性が体に巻く絹・綿製の布)), sarong (マレー人の男女が腰に巻く布), sash (1. (女性・子供の腰・肩につける) 飾り帯、サッシュ、2.懸章 (軍人などが肩からかける正装用の肩布)), sabot [フランス語] (木靴、木底の靴), sap (1. [軍隊] (敵陣に接近用の) 坑道、対壕、2. (信仰・決意を) 次第に弱めること), sartorial [文語] (1.仕立て屋の、裁縫師の、2. (おどけて) 男子服の、仕立ての), salmagundi (1.サルマガンディ (ひき肉・アンチョビ・卵・タマネギなどを調味料で混ぜ合わ料理)、2.ごたまぜ、寄せ集め), salmi (サルミ (野鳥類の焼肉入りシチュー)), sapele (サペリ、サペリ材 (家具材)), senna (1. [植物] センナ、センナ葉、2.センナ (下剤)), sedge (スゲ), seim (地質の), semolina (セモリーナ (パスタやブディングなどに使う粗く固い小麦粉)), serape (セラペ (中南米で着用される派手な色・模様の毛布用の肩掛け)), serge (サージ (服地用織物の一種)), serif ([印刷] セリフ (活字のMなどの上下端の細い髭飾り)), serval ([動物] サーバル (脚が長く黒い斑点のあるアフリカ産のヤマネコ)), saguaro (ベンケイチュウ (サボテンの一種)), salmonella (サルモネラ菌), sargasso ([植物] ホンダワラ類の海草), silica ([化学] シリカ、珪土), silicone ([化学] シリコン (珪素合成樹脂の一種)), silo (1.サイロ (飼料用の穀物・牧草を貯蔵するための塔式建築物)、(地下の) むろ、貯蔵庫), sirloin (サーロイン (牛の腰上部の上質な肉)), sofa [「長いベンチ」が原義] (ソファ、(背凭れ・肘つきの) 長椅子), Soho (ソーホー (ロンドン中心部の一画、外国人経営のレストラン・ナイトクラブが多い)), sola ([植物] クサネム (東インド産のママ科の植物)), sorrel ([植物] ギシギシ), sorrel ((馬が) 栗毛色の、淡い赤茶色の), suicide [「自身の sui 殺人 cide」] (1.自殺、2.自殺者、3.自殺 (自滅) 行為), sulfur (=sulf:硫黄), sundry ([古語] 雑多な、種々様々の), sup (~で夕食をとる),

【ギリシャ語】

σ α β α ζ ι ο ζ (壊す者), σ α β α ω θ (軍勢、軍隊), σ α γ η (武具、甲冑、馬具、荷物), σ α γ μ α (①覆う物。②鞍。③積み上げた物), σ α λ ε υ ω (振り動かす、揺さぶる、動揺させる), σ α ν ι ζ (板、板でできたもの、扉、部屋の一部で舞台のように一段高く設えられた場所), σ α π ρ ο ζ (①腐った、萎れた、②古い、使い古した、③悪い), σ α ρ γ α ν η (編み細工、籠), σ α ρ δ α ν ι ο ζ ((笑いについて) 冷ややかな、刺のある), σ α ρ κ α ζ ω (犬のようにががつと肉を喰い裂く), σ α ρ κ ι ζ ω (皮

から肉を剥ぎ取る), σαρωω (掃く、掃き清める), σατιννη (戦車), σατυροζ (剛毛、低い鼻、長い尖った耳で、額に角があり、尾を持った半獣神), σαυλοζ (よちよち歩き、(女のように)尻をしゃなりしゃなり振って歩く、(馬が)踊るように歩く), σαυρωτηρ ((槍の)石突き), σαφα (確かに、はっきりと), σιαγων (顎骨、頬), σιαλον (唾液), σιδηριον (鉄器), σιρραινω (侮蔑する、嘲笑する), σιλφη (①ゴキブリ、②紙魚), σιμβλοζ (蜂の巣、(比喩的に)溜め込んだ物), σιμοζ (①反り鼻の、獅子鼻の、鼻の低い、②登り坂の、③凹んだ、虚ろな), σινομαι (①害する、傷つける、②劫掠する、荒廃させる。破壊する), σιροζ (穀物貯蔵用の縦坑、陥穽), σιτερ (穀物の), συχνοζ (①沢山の、多くの人々、②(程度の)大きな、③(時間的に)長い、④屡見かける), σεβαζ (畏敬の念、尊崇の気持ち、敬う心、畏敬すべきもの), σεβω (尊崇する、崇める、敬う、尊重する、大切にする、よしとする), σειρα (綱、索、縄、投げ網), σεισμοζ (振動、地震、(海上の)暴風雨), σελιζ (①漕ぎ座、②(パピルス上の)文字を書く欄、(一般に)書物), σεμνοζ (①畏敬すべき、畏怖すべき、おそるべき、②思い上がった、勿体ぶった。気難しい), σεμνυνω (威厳をつける、重々しくする、偉そうに見せる、勿体をつける), σευω (①追う、追い立てる、駆り立てる、追い払う、②急激にある場所から移動させる、平野から馬を急がせる、急速に運動させる), σηκαζω ((羊などを)柵の中に囲いこむ、閉じ込める), σημα (①しるし、目印、証拠の印、前兆、②合図、③(墓の印としての)塚、墳丘、墓、④(槍や石の飛距離の)マーク、⑤本人であることを証明する印、⑥盾につけた印、⑦封印この蠟の上の印、⑧星座), σηπω (腐敗する、朽ちる), σηραγξ (①岩に水の穿った洞穴、②スポンジ様の多孔質のもの), ησαμη (胡麻), σοβαρευομαι (気取る、すます、偉そうに振舞う、威張る), σοβαροζ (①激しい、②昂然とした、誇らし気な、堂々たる), σολοικιζω (誤った言い方(書き方)をする、語法を誤る), σοροζ (骨壺、棺、柩), σοφια (技術、巧みさ、聡明さ、知恵), σωζω (①(生命を)救う、救助する、救出する、安全に守る、救済する、②無事に保つ、保護する、保持する、保存する、保管する、無事に(ある場所に)行かせる、遵守する、守る、心に留める、覚えている、忘れない), σωλην (管、桶、溝), σωμα (①体、身体、生命、肉体、②人間、人、③物体、本体、全体、総体、④立体), σωρευω (積み上げる、積み重ねる), σω- (正気の、節度ある),

[II. 集団生活 (I. の暗喩)]

I. 太陽

II. 月 (邪なもの)

III. 太陽と影・月と汐

(汐)

【th】(濁音)

than (1. ~よりも、~に比べて、2. ~よりも、~以上に、3. ~するよりはむしろ、~するくらいならいっそ、4. ~よりほかの、~以外に)、that (1. あの、その、2. 過去の、あの、3. (しばしば貶して) あの、例の)、the (その、この、あの、例の)、their (彼らの)、theism (有神論)、them (彼らを)、then (1. その時、その頃、2. (順序を示して) それからすぐに、そのすぐ後で、次には、今度は、3. それなら、そうすると、4. その上、更にまた、そのほかに、5. それゆえ、従って、してみると、6. 別の時には、そのうち)、there (そこへ、そちらへ)、these (これらの)、they (彼らは)、thine (汝の)、this (この、例の、今日の、現在の)、those (それらの)、thou (汝)、though (~であるけれども)、thus ((「こんな風に、この程度まで」が原義) このように、そのように、従って、だから、この程度まで、例えば、

【日本語】

指す、示す、然(さ)、しかるに、すると、それ、

【漢字】

示、然、

IV. 心臓

V. 肺

VI. 人間

[ホモサピエンスに発情期があったことは疑いがない。そして、ホモサピエンスのメスが分泌するフェロモンが膿液だったことも、同様。とすれば、それを振り返っている時点では、すでに発情期がないということである。それは、過去の話。その時点では、すでに、日常的に発情しているということ。むろん、それには、たとえば群れの共同生活が安定していて、仲間の助けかせ得られて、自然を頼らずに、いつでも出産できるという、環境が整っているはずである。そうすると、メスは、もはや、フェロモンを分泌して、オスを興奮させる必要がなくなる。性行為は、オスのストレス次第という訳である。では、メスの体内では、何の変化もなかったのだろうか。メスがフェロモンを分泌するとき、感覚上の感興があった

かもしれない。それは、未だ、オスを受け入れる以前の出来事である。また、その出来事は、オスとは何の関係もない。メスは、オスを興奮させて、自分の膣内に射精させれば、それでよい。むしろ、膣液が潤滑液の役割を果たしていることは、見過ごしてはならない。ところが、性交が日常的になり、逆に、メスがフェロモンを分泌しなくなると、この潤滑油が欠如するという事態を招く。それでも、さしたる不都合がなければ、それでもかまわないかも知れない。しかし、オスにとっては、ストレスは溜まっても、起爆剤が次落している。

こういった事情から、メスは膣液を分泌するため、またオスを興奮させるために、感覚上の感興を、外に現す必要があったのかも知れない。それが、メスのよがり声ではなかっただろうか。したがって、メスがよがり声を発するようになったのは、性交が常態化するようになってから、つまり、共同生活をするようになって以降のことだと考えられる。しかし、犬や猫も発情期をなくしているが、メスがよがり声をだすことはない。チンパンジーも同じ。ホモサピエンスだけである。そうすると、ただの群れ（犬や猫にとっては人間）という物理的な依存関係ではなく、心理的な相関関係が成立している必要があるかもしれない。いうまでもなく、その手段が、言語である。だからこそ、感覚上の感興が、端的に、心理の表出手段である声帯を用いてなされるようになったのではないか。いずれにしろ、発情期がなくなったことや、よがり声を発するようになったことの背景に、顕著な生理的变化があったことを、見逃してはならない。（二つ付け加えておくと、犬の場合、メスは四六時中フェロモンを発しているかも知れない。避妊手術をすると、そのメスに対して、オスはまったく興味を示さなくなる。もう一つ、人間の膣の周りには、ペニスほど、神経が多くはないらしい。だから、かつては、医者も、人間の女性は、男性ほど性的興奮を覚えるものではないだろうと言ったりしたものである。それに真っ向から異を唱えたのは、ポーボワールであった。女性にもオルガズムがある、と。また、他方、今日ほど、性的平等がなかった時代、女性は、さまざまな意味での策略の手段として嫁ぐことも多かったのであり、そういう女性が、生涯、性的快楽を味わうことがなかったという話も、珍しくはなかった。）（2018年8月17日）

[人間の性行為の平均時間は約20分に対して、人間に最も近いといわれているチンパンジーの性行為の平均時間は約7秒～10秒くらいとみられ、約3回半のピストン運動で射精に至る模様。] (<=th・序数)

(月) = サフラン・呼吸の因果 = (呼吸)

【th】(清音)

—th (1. 動詞・形容詞から抽象名詞を作る、2. (4以上の) 序数を示す、3. 動詞の三人称・単数・直接話法現在形を作る; doth=does), thalamus (1. [解剖学] 視(神経)床、[植物] 花托、2. 古代ギリシャの閨房), thalia [ギリシャ神話] タレイア (1. 喜劇の神; The Muses の一人、2. 美の3女神 The Graces の一人), thallus ([植物学] 葉状体), thane ([歴史] 直臣、従士、封建領主(軍功により王領地を保有; earl と平民の間の地位)), the— (神々の), theme (1. (～の) 主題、テーマ、2. (学校の) 作文、エッセイ、(作文などの) 題、題材、3. [音楽] 主楽想、主旋律), theory (1. 学説、～論、仮説、2. 理論、原理、理屈、空論、3. 推測、憶測、(個人的) 意見、持論), therapeutic (1. 治療法の、治療できる、治癒力のある、2. 健康上の、母体保護上の), thermal (1. 熱の、温度の、2. (湯が) 温かい、温泉の、3. 保温用の), thermo— (熱の), thesaurus (1. シソーラス、分類語彙辞典、(医学などの) 専門用語辞典、2. (知識などの) 宝庫、法典), thesis (1. 主題、論題、題目、2. 論文、修士(博士)論文、3. 措定、命題、4. [音律] 弱音節、5. [音楽] 強拍子(リズム)), thews (筋肉、筋力、体力), thick ((「太った、ふくれた」が原義) 1. (物が) 薄い、(コート・毛布などが) 薄手の、2. (針金・指などが) 細い、細長い、(活字・筆跡などが) 肉細の、3. (人・動物・顔などが病気で) 痩せた、ほっそりした、4. (葉・群集などが) まばらな、(会場・劇場などが) 入りの少ない、(髪などが) 薄い、5. (供給・手当てなどが) 乏しい、(年などが) 不作の、不景気な、6. (気体が) 希薄な、(時に眨して液体が) 薄い、水っぽい、(酒が) 弱い、(土地が) 地味の薄い、7. (色・光などが) 淡い、弱い、(音・調べなどが) か細い、8. (言い訳・話の筋などが) 浅薄な、実質のない、9. つまらない、不快な), thing ((「公の場所で討議されるもの」が原義) (一般に) 物、物体、無生物、2. 生き物、動物、草・木、(軽蔑的に) 人、やつ、こと、仕事、行為、実体、事実、感情、偏見), third (3番目、1/3の), thirst ((「渇きによる不快感」が原義) 1. (～を求める・喉の) 乾き、(体の) 脱水状態、(酒を飲みたい) 願望、2. 渴望、切望、3. 砂漠), thistle ([アザミ] (スコットランドの国花、花言葉は「厳格」「自立」)), thole ((船の) かいろうの) ～そ、カマ受け軸), thong (1. 革紐(端綱・手綱・鞭など)、2. サンドル), thoracic ([解剖学] [動物学] 胸部の、胸郭の), thorn ((「草の葉」が原義) 1. (草木の) 刺、針、刺のある植物、いばら、2. (動物の) 刺、針、

3. (人を苦しめるものとしての) 針、いばら), thorough ((「through の異形」) 1. (創作・知識などが) 徹底的な、完全な、2. (混乱・悪漢などが) 全くの、3. (人が) 几帳面な), thoroughbred (1. 純血種の、2. (馬が) サラブレッド種の、3. (人が) 育ちのよい、教養のある、元気のよい、威勢のいい、4. 優秀な、第一級の), thousand (1000), thousand (1.1000、2.3.4.5.6.何千という、多数の), thumb ((「臍れた指」が原義) 親指 (性の象徴),

throll (奴隷、農奴奴隷の状態、束縛), thrash (1. 脱穀する、2. (体罰として鞭などで子供を) たたく (打つ)、(一般に人を) ぶちのめす、3. ～を叩くように動かす (振る)、4. ～を打ち負かす、完敗させる), threat ((「突き (押し) 出すこと」が原義) 1. 強迫、脅し、2. (悪い物事の) きざし、前兆), thresh (1. 穀物を脱穀する、(脱穀のためから竿で) ～を叩く、2. (激しく・酷く～を) 叩く (殴る・打つ)、～を叩くように動かす), three (3), threnody (哀悼歌、挽歌), threshold ((「踏み thresh 板 old」) 1. (玄関・戸口の) 敷居、鴨居、戸口、玄関口、2. 出発点、とっかかり、3. [心] 関 (刺激が感じ始められる限界点)、4. [心] 関の、初めての、予備的な), throat ((「臍れたもの」が原義) 1. (体の内部から見て) 喉、2. (体の外部から見て) 喉くび、3. (主に啼き鳥の) 声、4. 喉状のもの), throb (1. (心臓が痛いほど) 鼓動する、激しく動悸を打つ、2. (傷・頭などが) ずきずき痛む、3. (震えるほど) 興奮する), throe (1. ひどい苦しみ、激痛、陣痛、2. 苦しみ、苦悩), throne ((「高い位置 (座席) (hight, seat, chair)」が原義) 1. 王座、王位 (神の座・天・権威などの象徴)、教皇聖坐、司教座、2. 王権、君主の地位、王、君主、3.4. (画家のモデルが座る) 少し高い椅子), throng ((「寄り集まり press」が原義) 群集、人だかり、大勢、多数), throttle (1. [機械] (-valve) 絞り弁、スロットル、2. 喉), through ((「あるものを通過すること」が原義) 1. ～を地織り抜けて、～を貫いて、～を通して、(騒音などに) かき消されずに、2. ～のいたる場所を、～のあちこちを、～じゅうを、3. ～の始めから終わりまで、～を終えて、～を切り抜けて、～を経て、4. ～を通じて、～によって、～のお陰で、5. ～のために、6. ～の間中), thrum (織物の) 耳、糸くず、織り端の糸、ほぐれ糸), thrum (1. ～を単調に (下手に) かき鳴らす、2. (～を) こつんこつんと叩く (打つ)、3. (特に大型機械が) ゴーンゴーンという音を出す、4. 物憂げに (単調に) 言う、呟く), thrush (ツグミ (愛・内気・知恵などの象徴)), thrush (1. [医学] 口腔カンジダ症、鷺口瘡、膣炎、2. [獣] 蹄叉化膿症), thrust ((「押す」が原義) 1. (人が突然激しく) ～をぐいと押す、押し付ける、(～を～に) 突っ込む、(押し分けて) 進む、2. (ナイフ・フォークなどを～に) 突き刺す、(人・背中などをナイフなどで) 刺し通す、3. (頭・手・足などを突然) 突き出す、(体・枝などを～に) 伸ばす、4. (決定・責任などを) 無理に押し付ける、(人・状態をある行動・状態に) 追いやる、割り込む、押し入る、5. (言葉・質問などを積極的に) 差し挟む), Thle (1. 極北の地、遙かな目標、2. トゥーレ (グリーンランド北西部; エスキモーの居住地)), thwart ((「計画・目標など」を挫折させる、くじく、(人の～を) 妨げる), thyme (1. タチジャコウソウ (シソ科の草状の低木、花言葉は「活動性」「勇気と行動」、2. タイム), thyroid ([動物・解剖学] 甲状腺の、甲状腺骨の), thyrsus (1. [ギリシャ神話] テュルソス (酒神バッカスの杖) 2. [植物] 蜜蝋花房),

thank ((「思慮深い」が原義) 1. 感謝する、礼を言う、2. (皮肉・非難・強制的依頼を表して～するように) お願いする), think ((「思慮深さ」が原義、思考動詞の中核語) 1. ～を考える、心に抱く、思い描く、想像する、2. (人が) ～と思う、信じる、3. ～だと看做す、4. 思っている、意図する、5. 思い巡らす、熟慮する、6. 分かる、見当がつく、7. 予想する、8. 考え事をして～を忘れる、9. ～のことばかり考える),

thug (1. [インド史] 暗殺団、盗賊、2. 悪党、暴漢、暴力団), thud (ドスンと落ちる (落とす) こと (思いものが固い所に落ちた時などの音) ドスン (ドン・ゴツン) と), thump (擬声語) 1. (～を拳・鈍器で) 強く殴る (打つ)、2. ～に激しく当たる、3. ドシンドシンと歩く、ドキンドキンと鼓動する), thunder ((「稲妻に伴う音」が原義) 1. 雷、雷鳴、2. 雷鳴のような音 (声)、3. 脅かし、非難、(人の) 怒り、かみなり、熱弁), thwack (1. (平たい板などで) バシッ (パタ・ピシャリ) と叩くこと、2. (等分の) 分け前),

【日本語】

ずきずき (痛む)、

ぞっこん、
ぞろぞろ、
(胸が) ドキドキする、

【漢字】

痛、
(-th)、順、序、

【語彙】(汐) = (心臓)・(呼吸)

【ギリシャ語】

θαίροζ (蝶番。) θακεω (座る。), θακοζ (①座ること。席。便所。②集会。会議), θαλαμη (①窪み。洞窟。棲家。巢。②体の腔所。③船倉。), θαλαμοζ (①建物の中の奥まった部屋。婦人の居室。寝室。②部屋。住居。③墓所。④内陣。), θαλαττα (①海。②海水。③塩井。), θαλεια (豊かな。溢れるような。), θαλεροζ (①花盛りの。若々しい。②逞しい。③豊かな。④穏やかな。), θαλλω (①花開く。②盛りである。豊かである。③栄える。幸福である。④病気などが酷くなる。悪くなる。), θαλπω (①暖める。熱する。熱して乾かす。②感情などを燃え立たせる。③慰める。慈しむ。), θαλυροζ (熱い。燃えるような。), θαυβεω (驚く。呆然とする。驚嘆する。), θαμιζω (①屢訪れる。②屢～する。), θαμνοζ (茂み。林。), θανασιμοζ (①致命的な。②死の。③死んだ。), θαπτω (埋葬する。葬る。), θαρρεω (①勇気をもつ。元気をだす。②向こう見ずである。③心配しない。恐れない。④信賴する。確信する。), θαττων (①より早く。②速く。③～するや否や。④～より先に。), θαυμα (①驚くべきもの。不思議なもの。②曲芸。操り人形。③不思議。驚愕。異様さ。), θαυμαζω (①驚く。②尊敬する。③驚いて言う。), θιασοζ (①バックスの密議。バックスの信徒の狂乱の群。②群集。群。仲間。③宴会。), θιγγανω (①触れる。触る。②掴む。捉える。抱く。③達する。獲得する。④手を出す。襲う。), θιξιζ (接触。), θιζ (①堆積。②海浜。③河口の砂州。④海底の砂。⑤海藻。), θυγατηρ (娘。), θυελλα (嵐。暴風雨。), θυηειζ (香りの燻りに満ちた。), θυηλη (供え物。犠牲。燔祭。), θυιαζ (神に憑かれた女。), θυιω (①神に憑かれる。狂乱する。②猛り狂う。), θυλακοζ (①袋。②だぶだぶのズボン。), θυμ- (心で思う。), θυμαινω (怒る。腹を立てる。), θυμελη (火を燃やす場所。炉。祭壇。香炉。舞台。), θυμικοζ (勇敢な。気性の激しい。怒りっぽい。), **θυμοζ (呼吸。生命。生氣。気力。心臓。心。)**, θυνω (①突進する。馳せ巡る。②荒れ狂う。), θυρα (①戸。扉。戸口。門。入り口。②館。宮殿。③木材などを組み合わせて造ったもの。), θυρ- (戸の側。戸の外。), θυριζ (窓。開口部。), θυσανοζ (総(ふさ)。縁飾り。), θυω (①肉を焼いて神々への犠牲とする。犠牲を捧げて神を祀る。②犠牲獣を屠る。屠る。殺す。③犠牲を捧げて祝う。), θυω (激しく動く。突進する。ざわめく。荒れ狂う。暴威を振るう。), θεα (①見ること。②觀照。注視。③見世物。見もの。催し物。出し物。觀覽席。), θειαζω (予言する。占う。), θεινω (打つ。切り付ける。打ち当てる。傷つける。), θειοζ (①神の。神々しい。神的な。神の遣わした。神の授けた。神の造った。②神聖な。聖な。尊い。③神のような。超人間的な。素晴らしい。不思議な。), θειωω (①土硫黄で燻蒸する。清める。②神聖なものとする。), θελυητρον (呪縛。魔力。魅力。), θελγω (①魔法にかける。呪縛する。②目を眩ます。騙す。惑わす。嘆く。③魅惑する。宥める。鎮める。), θελημα (意欲。意思。熱望。欲望。), θεμελιωω (～の基礎をおく。), θεμεροζ (厳かな。尊敬すべき。), θεμιζω (理非曲直を明らかにする。裁く。支配する。), θεμιζ (①習慣として定まっていること。道理。正当性。②正義。罰。決定。裁定。掟。③神託。④貢物。贈り物。), θεο- (神の-。), θεαπειια (①奉仕。世話。②神への奉仕。神を祀ること。③子供の世話。養育。④病人の世話。看護。看病。⑤動物の世話。飼育。栽培。⑥人に取り入ること。ご機嫌を取る。⑦従者。), θεριζω (①借り入れる。収獲する。②切り倒す。滅ぼす。切り取る。針落とす。), θερμαινω (暖める。熱する。), θεροζ (夏。暑熱。夏の収獲物。収穫。), θεσιζ (①置く事。②供託金。担保。支払い。③養子にすること。④排列。配置。位置。立場。状況。⑤主知用。断言。), θεσμιοζ (合法的な。), θεσμοζ (①定まったこと。②定められたこと。定め。掟。法。法律。③規則。規定。予め定められた方式。教え。④しきたり。しきたりとして定まった制度。⑤宝。), θεσπεσιοζ (①神々の。神々しい。崇高な。神託の。②超人間的な。この世のものならぬ。尋常でない。素晴らしい。不思議な。凄まじい。数知れぬ。), θετεοζ (置くべき。仮定・想定すべき。～の人に数えるべき。), θεω (①走る。②飛ぶ。走る。回る。③(血管が)走っているなど。④～と共に。), θεωρεω (①神託を受けに行く。②見る。眺める。見物する。見物にゆく。視察

する。観察する。③考察する。省察する。熟考する。顧慮する。探求する。研究する。判断する。結論する。), $\theta\epsilon\omega\rho\iota\alpha$ (① $\theta\epsilon\omega\rho\omicron\iota$ を派遣すること。②見ること。見物。③考察。④見られるもの。光景。), $\theta\eta\gamma\alpha\lambda\epsilon\omicron\zeta$ (①尖った。鋭い。②研がせる。鋭くする。), $\theta\eta\gamma\omega$ (①研ぐ。磨く。鋭くする。②勇気づける。立腹・憤激させる。), $\theta\eta\kappa\eta$ (容器。箱。剣の鞘。墓。棺。), $\theta\eta\lambda\alpha\zeta\omega$ (①(母親が)乳を吸わせる。哺乳する。②(赤子が)乳を吸う。), $\theta\eta\lambda\upsilon\nu\omega$ (女々しくする。柔弱にする。柔らげる。), $\theta\eta\nu$ (きつと。確かに。実際に。), $\theta\eta\zeta$ (農奴。日雇い人。), $\theta\eta\sigma\alpha\nu\rho\omicron\zeta$ (①貯蔵室。食料品室。宝庫。倉庫。金庫。②貯蔵品。財宝。高価な獲物。), $\theta\eta\sigma\theta\alpha\iota$ (①(乳房を)吸う。②乳を吸わせる。), $\theta\omicron\alpha\zeta\omega$ (素早く動かす。急がせる。), $\theta\omicron\iota\nu\alpha\omega$ (ご馳走。饗応。楽しみ。食べ物。), $\theta\omicron\lambda\epsilon\rho\omicron\zeta$ (①泥だらけの。濁った。②逆上した。狂乱した。), $\theta\omicron\lambda\omicron\zeta$ (①泥。泥水。②烏賊の墨。), $\theta\omicron\rho\omicron\zeta$ (魚の白子。精液。), $\theta\omicron\omicron\zeta$ (敏速な。速い。), $\theta\omicron\omicron\zeta$ (尖った。鋭い。), $\theta\omicron\omicron\omega$ (鋭くする。尖らす。), $\theta\omicron\rho\omicron\zeta$ (魚の白子。精液。), $\theta\omicron\rho\rho\upsilon\beta\epsilon\omega$ (①騒音を発てる。騒ぎ立てる。②不平不満を鳴らす。喝采する。), $\theta\omicron\upsilon\rho\omicron\zeta$ (突進する。激烈な。), $\theta\omega\eta$ (罰。罰金。), $\theta\omega\mu\iota\gamma\acute{\xi}$ (紐。綱。弦。), $\theta\omega\mu\iota\zeta\omega$ (鞭打つ。), $\theta\omega\rho\alpha\kappa\iota\zeta\omega$ (鎧の胸当てをつけさせる。鎧をつけさせる。武装させる。),

狩り

【ギリシャ語】

$\theta\eta\rho$ (猛獣。野獣。), $\theta\eta\rho\alpha$ (①狩猟。追跡。追求。②獵獣。狩りの獲物。), $\theta\eta\rho\alpha\omega$ (①狩る。漁る。捕らえる。②追い求める。追求して見つける。),

犬が知っている人に声を発てる

【ギリシャ語】

$\theta\omega\pi\epsilon\iota\alpha$ (追従。おべつか。諂い。), $\theta\omega\pi\epsilon\upsilon\omega$ (阿る。諂う。機嫌をとる。追従する。(犬が)じゃれる。(馬などを)撫でて可愛がる。),

犬が知らない人に吠える

【ギリシャ語】

$\theta\omega\upsilon\sigma\omicron\omega$ (大声で叫ぶ。喚く。(犬が)吠える。(蚊が)ぶんぶん言う。),

$\theta\rho\alpha\nu\omicron\zeta$ (腰掛け。), $\theta\rho\alpha\sigma\upsilon\nu\omega$ (①激励する。鼓舞する。元気づける。大胆にする。②向かこう見ずにする。③自慢する。), $\theta\rho\alpha\tau\tau\omega$ (①不安にする。騒がせる。②駄目にする。), $\theta\rho\alpha\upsilon\omega$ (①破る。壊す。割る。砕く。破壊する。②勇気を失わせる。落胆させる。弱める。), $\theta\rho\epsilon\mu\mu\alpha$ (育てられるもの。動物の仔。養い子。子供。家畜。動物。生き物。畜生。), $\theta\rho\epsilon\omicron\mu\alpha\iota$ (大声で叫ぶ。鋭い叫び声をあげる。), $\theta\rho\eta\nu\epsilon\omega$ (嘆きの歌を歌う。嘆きの声をあげる。悼む。悲しむ。), $\theta\rho\iota\acute{\xi}$ (体毛。), $\theta\rho\iota\omicron\nu$ (無花果の葉。), $\theta\rho\iota\phi$ (木を喰う蛆虫。), $\theta\rho\omicron\epsilon\omega$ (大声をたてる。叫ぶ。話す。言う。), $\theta\rho\omicron\mu\beta\omicron\zeta$ (大粒の雫。塊り。), $\theta\rho\omicron\nu\alpha$ (①花模様の刺繍。②葉や呪いとして用いられる薬草。), $\theta\rho\omicron\nu\omicron\zeta$ (席。椅子。玉座。予言の神座。先生の椅子。裁判官の席。), $\theta\rho\omicron\omicron\zeta$ (①様々な音・声の入り混じった雑然とした騒音。②噂。風聞。), $\theta\rho\upsilon\lambda\epsilon\omega$ (呟く。口の中でぶつぶつ言う。), $\theta\rho\upsilon\lambda\lambda\iota\sigma\omega$ (打ち砕く。粉碎する。), $\theta\rho\upsilon\pi\tau\iota\kappa\omicron\zeta$ (脆い。女々しい。懦弱な。), $\theta\rho\upsilon\phi\iota\zeta$ (①粉碎。分散。②虚弱。柔弱。③自墮落。放縦。), $\theta\rho\omega\sigma\kappa\omicron\omega$ (①飛ぶ。跳ねる。②急ぐ。突進する。強襲する。攻撃する。交尾する。), $\theta\rho\omega\sigma\mu\omicron\zeta$ (丘。高台。),

$\theta\nu\eta\sigma\kappa\omega$ (①死ぬ。滅びる。腐る。殺される。死刑に処せられる。②消え去る。過ぎ去る。衰える。減退する。), $\theta\nu\eta\tau\omicron\zeta$ (死ぬべき。人間的な。), $\theta\lambda\alpha\omega$ (押しつぶす。打ち砕く。粉碎する。), $\theta\lambda\iota\beta\omega$ (①強く押す。②擦りつける。③苦しめる。),

[III. 「人間性」の獲得 (II. の暗喩)]

ξ 【クシャ I. クサ (ξ)。腐る・崩れる・異なる。】 【II. (クシャ) 乾く・潤れる。、: 時間による変化。】

ξ 【グシャ : I. 水が低い方へ流れる。(重力。大地 (の女神)) 【グサ : II. 草木が垂直に伸びる。(背地性) : 重力】】

=> [s h]

I. 太陽

【英語】

sheen (輝き、絹・髪の毛の) 光沢、つや), sheriff (郡保安官), shine [「発光体が投げ出す」が原義] (1. (太陽・灯りなどが) 輝く、光る、2. (物が光を反射して) 煌く、3. (人・顔・眼などが) 生き生きする、輝く、(人・物が〜として) 優れる、秀でる、威力を発揮する), Shah (シャー (イラン国王、その称号)), sheikh (1. (アラビア人の) 家長、族長、首長、2. (イスラム教の) 教主、3. 色男),

太陽と影

太陽

【英語】

shed [「切り離す」が原義] (1. (血・涙などを) 流す、零す、2. (葉などを) 落とす、(動物が皮・羽根・殻などを) 脱ぐ、脱ぎかえる、(人が衣服を) 脱ぎ捨てる、(車が積み荷を) 過って落とす、3. (布が) 水を弾く、4. (光・熱・香りなどを) 発散する、注ぐ、5. (影響・考えなどを) 与える),

影

【英語】

shad ([魚] シヤド (ニシンの一種)), shade [「暗がり」が原義] (1. 陰、物陰、日陰、2. (光・熱を) 遮るもの、日よけ、(電灯などの) 笠、3. (絵画・写真などの) 陰影、陰、(色の明暗の) 度合い、4. (意味などの) 僅かの違い、ニュアンス、5. ほんの少しの、ごく僅かの、6. 目立たない状態 (場所)、7. (疑い・悲しみなどの) かげり、曇り、8. [文語] 亡霊、幽霊、9. [文学] 闇、10. [文学] 黄泉の国、死者の国、11. 葡萄酒の地下貯蔵室、12. 実体のないもの、幻), shadow (1. 影、影法師、2. 陰、暗がり、夕闇、暮色、3. ごく僅か、気配、4 (絵などの) 陰、黒くなった部分、くま、5. 亡霊、幽霊、6. 影のようなもの、表向き、(鏡などに映る) 映像、7. 腰ぎんちゃく、片腕となる人、親友、信望者、尾行者、探偵、8. (不幸・不信などの) 暗い影、かげり、9. 前触れ、前兆、10. [古語] 保護、庇護、11. 人目につかないこと),

II. 月

【英語】

sham (貶して) (1. 贋物、まがい物、2. 詐欺師、ペテン師、3. 服飾用のカバー、覆い), Sheol (1 [旧約] 死者の国、黄泉、2. 地獄),

軌道

【英語】

shabby [「卑しい」が原義] (1. (衣服・帽子などが) 使い古した、着古した、ぼろぼろの、擦り切れた、痛んだ、2. (人が) みずぼらしい、襤褸を着た、3. (人・行為などが) 卑しい、卑劣な、けちな、けちくさい), shaman (シャーマン、呪術師、呪い師),

月影

【英語】

shape [「形作られたもの」が原義] (1. 形、形式、外形、姿、様子、2. 状態、調子、3. 纏まった形、具体化、実現、4. 種類、状態、5. おぼろな形、まぼろし、6 (ものに形をつける) 型、鋳型、菓子形、(帽子の) 木型、7. 型に入れられて作ったもの、8. 飾りのない帽子),

満月

【英語】

shalot ([植物] シャロット、その小鱗茎 (ネギの一種、野菜・香料として用いる)), shamrock (1. [植物] オランダレンゲ、2. 三つ葉植物の総称),

満月以外の月

【英語】

shrimp ((集会的に) 1. 小エビ、エビジャコ、2. (通例貶して) ちび、取るに足りない人),

半月

【英語】

shell [「堅い外皮」が原義] (1. 貝殻、(貝細工の材料としての) 貝殻、鱉甲 (べっこう)、2. 外観、外形、見せかけ、(建物の) 骨組み、(半円形の) 音楽堂、大要、あらまし、3. (人の心の) 殻、閉ざした心、抜け殻、虚脱状態、4. 砲弾、爆発物、薬莢、5. [解剖学] 外耳、6. (刀剣の) つば、7. [物理] 原子の殻),

欠けていく月

【英語】

shaloon (シャルーン織り (裏地用の薄いあや織りウール)), shallow [「浅瀬」が原義] (1. 浅い、2. (貶して人・考えなどが) 浅墓な、浅薄な、表面的な), shrink (1. (布、衣服などが熱、水で) 縮む、小さくなる、2. (恐ろしいもの、事から) しり込みする、ひるむ、3. (量、価値などが) 減少する、減る),

満ちていく月

【英語】

shoddy (1. 再生羊毛の、再生毛織地の、2. (貶して) 安物の、見掛け倒しの),

汐

【英語】

shill ((競売・行商の) さくら), shilly・shally (躊躇う、ぐずぐずする),

III. 太陽と月

【英語】

日食

【英語】

shambles (1. 大混乱の場、修羅場、2. [古語] 畜殺場、虐殺現場、流血の場), shatter (1. (人・石などがガラスなどを突然の攻撃で) 粉々に割る、粉碎する、2 (夢・希望などを完全に) 打ち砕く、(神経・健康などを) 損なう、だいなしにする、3. 取り乱す、4. (人を) とても疲れさせる), shriek ([鳥] もず),

月食

【英語】

shabang (出来事、事件), shellac (シェラック) shemozzle (大騒ぎ), shenanigan (1.悪戯、おふざけ、2.偽り、ごまかし), shtick (1 (ショーなどの) 滑稽な場面、お決まりの場面、2. 注意を惹くもの (仕掛け)、3. 特徴、特技), shufti (一瞥),

IV. 心臓

心臓の動き

【英語】

shake [「外部の力で物が上下・前後・左右に動く」が本義] (1. (人・行為・風などが物を) 振る、(人・物を) 振り動かす、揺さぶる、2. 振って～の状態にする、3. 物を～から振り落とす、揺すって落とす、4. 物を～に振りかける、5. 人を動揺させる、～の心をかき乱す、6. (人・心・信念などを) ぐらつかせる、乱す、弱める、7. (棒・指などを～に向かって) 振り回す、8. (いやな人と) 手を切る、～から逃れる、(悪い習慣などを) 断ち切る、9. [音楽] トリルで演奏する、10. (ダイスを) ガラガラ振る),

動脈

【英語】

shalop [文語] (1. (帆や櫂で走る) 小船、2. 艦船附属の小型ボート), sheaf (1. (穀物などの) 束、2. (一般に) 一束), shoo (シー! シッシ!), shy ((石などを) 投げつける), -shy (～を怖がる、～嫌いの),

静脈

【英語】

she (彼女), sheila ((オーストラリア・南アフリカ) 娘、女の子), shuffle (1. (足を) 引き摺って歩く、(ダンスを) 摺り足で踊る、2. (物を) 移し替える、～ぞんざいに押しやる、3. ～をめちゃくちゃに混ぜる、4. ～を言いぬける、ごまかす、5. ～をぞんざいにする),

脈

【英語】

shuck (1. (主に米) 豆・粟などの鞘、殻 (牡蠣・ハマグリ) の 殻、外皮、2. (米俗) くだらぬもの (人、いかさま、3. (間投詞的に) ちえっ、くっそー), shroud (1. 死者を包む白布、経かたびら、2. 覆うもの、幕、とばり、3. [海事] シュラウド、横静索 (マストの先から両船側に張る支え索)、4. パラシュートの紐), sheath (1. (刀などの) 鞘、2 (鞞状の) 覆い、入れ物、3. [植物] 葉鞘、[虫] 翅鞘、[解剖] 鞘、4. 体にびったりした服、5. コンドーム), sheathe (1. ～を鞘に収める、和解する、2. ～を覆う、包む、3. (爪を) 引っ込める),

心室・心房

【英語】

share [「分割」および「分割して共有する」が原義] (1. 分け前、取り分、2. (仕事・資金の) 割り当て、分担、負担、3. 役割、参加、貢献、4 (会社の) 株、株式), share (すきの刃), shift [「分ける」が原義] (1. (人・物・視線などを～から) 移す、変える、2. (責任などを人に) 移転する、なすりつける、3～を取り替える、～を変更する、4 (自動車などで) ギヤを変える、5 (～を苦勞して) 取り除く、6. 7. さっと動かす、(食べ物) を平らげる),

弁

【英語】

sharp [「切っ先の鋭く尖った」が原義] (1. (刃物などが) 鋭い、よく切れる、鋭利な、2 (顔・鼻などが) 尖った、角張った、3. (カーブなどが) 急な、(坂などが) 急な、険しい、(落下・旋回などが) 急激な、4. (像・輪郭などが) はっきりした、くっきりした、5. (痛みが) 激しい、(味・臭いが) 刺激臭の、ぴりっとした、6. (人・言葉などが) 厳しい、

痛烈な、7. (眼・耳・感覚などが) 鋭敏な、よく利く、8. (攻撃・競争などが) 強烈な、(欲望などが) 熱烈な、9. (人・行為などが) 素早い、活発な、10. (監視などが) 厳重な、油断のない、11. 抜け目のない、ずる賢い、頭の切れる、利口な、12. (人・服装などが) 粋な、スマートな、きちんとした)、 shut [「声に門をする」が原義] (1. 閉める、閉じる、2. ～を畳む、3. (耳・口・心などを) 閉ざす、4. ～を閉じ込める、挟む、～を～から閉め出す、(店・事業などを) 閉鎖する)、

V. 肺

肺

【英語】

sheep (1. 羊、綿羊、2. 温良な人、気の弱い人、臆病者、3. 他人の真似をする人、4. 羊皮、羊のなめし皮、5. (1つの教会の) 信者)、 shrivel (1. (老齢・乾燥・熱などで) 縮んで皺がよる、萎む、しなびる、(人が恐怖で) 縮こまる、2. だめになる)、 shudder [「ぎくりとする」が原義] (1. (人が～に対して恐怖・嫌悪などで) 身震いする、(体全体が) 震える、2. (建物・船などが) 震える、揺れる)、 shy [「怯える」が原義] (1. 恥ずかしがりの、内気な、人見知りする、はにかんだ、2. 臆病な、物に驚きやすい、3. (人が人に) 用心する、～するのを躊躇う、なかなか～しない、4. ～が不足して、欠けている)、 shirk ((仕事・責任・義務を怠けて怖気づいて) 回避する、責任逃れをする、怠ける)、 shun (～することを避ける、～を遠ざける)、

VI. 心臓と肺

【英語】

shackle (1. 手かせ、足枷、足鎖、2. [文語] 束縛、拘束、3. 連結用金具、(南京錠の) 掛け金)、 shanghai [海事] (1. (酒・暴力・麻薬などで) ～の意識を失わせて船に連れ込んで水夫にする、2～に無理に～させる)、 shunt (1. (鉄道) (車両を) ～に入れ替える、2. (話題などを～に) 切り替える、(責任を人に) 押し付ける、(問題の) 審議棚上げする、回避する、3. (～を人に) 押しやる、追いやる、4. [電気] (電流を) 分路に流す、短絡する、5. [医学] (血液を側路を使って) 別の路へ流す、6. ～を往復させる)、

VII. 人間

息

【英語】

shalom (シャローム (平安を意味するユダヤ人のあいさつ・別れの言葉))、

唾液

【英語】

shampoo (1. 洗髪、2. シャンプー液)、

育つ (体毛が生える)

【英語】

shag (1. むく毛、粗毛、2. (織物の) けば、けば織り、3. 強い (粗悪な) 刻みタバコ、4. [鳥] 鶉 (う)), shaggy (1. 毛深い、毛むくじゃらの、もじゃもじゃの、2. (髪が) 櫛を入れていない、くしゃくしゃの、(外見が) むさくるしい、3. (生地が) 毛羽立った、毛足の長い、4. (土地が) 藪だらけの)、 shako (シャコー (羽毛飾りつきの筒型の軍帽))、

衰える (冷たい (もの))

【英語】

sherbett (シャーベット),

子宮

【英語】

shrine (「遺骨・遺物を納める箱、櫃」が原義) (1. (聖人の遺骨・遺物を祭った) 聖堂、廟、礼拝堂、祭壇、神殿、(日本の) 神社、2. 聖遺物箱、3. (歴史上・想像上神聖視される) 聖地、殿堂),

陣痛

【英語】

痛む (恥じる)

【英語】

shame (1. (～に対する) 恥ずかしさ、羞恥心、2. 恥、恥辱、3. 不名誉、不面目、4. (～にとって恥となる事 (物・人))、5. 残念なこと、遺憾なこと), shrift [古語] ((司祭・牧師に対する) ざんげ、告解、(ざんげによる) 赦罪、(ざんげに対して課す) 苦行), shrug [「頭をひょいと下げる」が原義] (肩をすくめる), shrive (古語) (1. (司祭が) ~の懺悔を聞く、(告解者に) 罪の赦しを与える、~に罪の贖いの苦行を課する、2. 懺悔をして罪を贖う),

命令する

【英語】

shout [「大きな声で喜怒哀楽・警告などを表す」が原義] (1. 叫ぶ、大声で言う (笑う)、(～するように) 叫ぶ、2. おごる), shrewd (1. 抜け目のない、利口な、鋭い、2. [古語] (痛み・寒さなどが) 鋭い、刺すような、3. [古語] いじわるな),

隷従する

【英語】

2足歩行

【英語】

shamble (よろよろ (よたよた) 歩く),

性交

【英語】

shove (1. (人・物を手荒く) 押す、突付く、押しのける、(物を～から) 押す、押しやる、2~を~に置く、つつ込む),

よがり声

【英語】

shrew ([文語] 口やかましい女、気性の粗い女), shriek [擬声語] (1. (人が恐怖・苦痛などで) 悲鳴をあげる、金切り声を出す、2. (楽器・笛・風などが) 甲高い音を出す), shrill [擬声語] (1. (音声) 甲高い、金切り声の、鋭い、2. (言葉などが) 鋭い),

飲酒

【英語】

sherry (1. シェリー酒、2. (シェリー酒に似た) 白葡萄酒),

糞 [くそ・人糞: 肥やし]

【英語】

shit [主に男性語・卑] (1. くそ、大便、2. 排便行為、3. たわごと、4. ぐたらないもの (奴)、5. 麻薬),

畑・農地 (作物の茂る土地) (<=森<=>砂漠)

【英語】

shrub (低木、灌木、),

小便

【英語】

shower [「西南の風」が原義] (1. にわか雨、短期間の雨、2. (涙・弾丸などの) 雨、多量の～、3. (結婚・出産の) お祝い品贈呈パーティー、4. (貶して) 怠惰な (愚かな・だらしない) 人々),

狩り

【英語】

shoot [「人が矢・石・弾丸などの武器を用いて飛ばす」が原義] (1. 撃つ、射る、～の体の部分を撃つ、撃って～の状態にする、発砲しながら進む、2. 発射する、放つ、(銃・大砲などを) 撃つ、3. (質問・返事などを) 矢継ぎ早に出す、浴びせかける、4. (視線・微笑などを) 急に向ける、放つ、5. (場所で) 狩猟する、6. (物を急に) 動かす、(ゴミ・手紙などを) さと入れる、(ゴミなどを) 放り出す、7. (急流・海峡などを) 素早く通る、(橋の下を) さっと通る、(信号を) 無視して突っ走る、8. (光線などを) 発射する、(炎・溶岩などを) 噴出する、9. (芽・葉・枝などを) 出す、10. (門を) はめる、外す),

VIII. 蛇

頭

【英語】

shot (1 (鉄砲・弓などの) 発射、発砲、縫製、2. 弾丸、砲弾、散弾、3. 射手、撃つ手、4. 当てこすり、5. 試み、企て、6. 当て推量、あてずっぽう、(賭けの) 勝ち目、7. 写真、スナップ、一場面、8. 砲丸、9. (鉱山の) 発破),

胴体

【英語】

shall [「義務がある」が原義] (1. ～でしょう、～だろう、2. ～させよう、～することになろう、3. ～させよう、～することになろう、4. (私たちは) ～することになるでしょうか、5. あなたは～するつもりですか、6. ～させましょうか), shot (1 (布地が) 玉虫色の、～に色が変わって見えるような織り方 (染め方)、2. (板の端) が真っ直ぐにきちんと削られた、3. (神経などが) 使い果たした、ぼろぼろになった、4. 酔った), should (I. 1. [義務] すべきである、2. [推量] だぶん～だ、～のはずだ、II. III. 4. ～であろうに、5. ～であれば、6. ～であるように、IV. 9. ～するとは、いったい～),

背骨

【英語】

shank (1. [古語] すねの骨、(牛・羊などの) すね肉、2. 脛状のもの、(錨・釘・匙・釣り針などの) 軸、柄、(靴下の) 脛部、3. 期間の始めの一番よい部分、ものごとの後の部分), shin (1. むこうすね、脛骨、2. 牛の脛肉), shoal (1. 浅瀬、州 (す)、砂州、2. 隠れた危険 (障害)), shoal ((魚の) 群れ、(人・物などの) 多数、多数の～),

肋骨

【英語】

short [「基準に足りない」が原義] (1. (長さ・距離・時間などが) 短い、2. (人・塔・木などが) 背の低い、丈の短い、3. (数量・距離・期間などが) 不足した、足りない、乏しい、(人が〜が) 不足して、4. (話し・文などが) 簡潔な、手短な、5 (人が〜に対して) ぶっきらぼうな、無愛想な、つけんどんな、6. (母音・音節などが) 短音の、短い、強勢のない、7. (菓子などがショートニングが多くて) 壊れやすい、さくさくする、8.9. 気が短い), shortly (1. まもなく、すぐに、やがて、少し、ちょっと、2. 手短に、簡単に、3. 素っ気なく、ぶっきらぼうに), shred (1. (細長い) 切れ端、断片、破片、2. 僅か、少量),

頸骨

【英語】

shale (〔地質〕頁岩、泥板岩), shelf [「仕切り」が原義] (1. 棚、2. 棚の上のもの、3. 棚状のもの、岩棚、砂州、岩礁、4. [鉱物] 岩床),, shelve (1. (本などを) 棚に乗せる、2〜を棚上げる、延期する、3. (人を) 解雇する、退職させる、4. 〜に棚をつける), shelve ((土地などが) 緩やかに傾斜する), shirr (シャーリング、飾りギャザー), shoe (1. 靴、2. (馬の) 蹄鉄、3. 靴に似たもの、(車輪の) 輪留め、(そのの滑走部の) すべり金、(自動車の) タイヤの外皮、(自動車の制御のための) ブレーキシュー、(電車の) 集電靴、4. (車の) 変速装置), shop [「少量」が原義] (1 (通例小さな) 店、商店、2. (物を作ったり修理したする) 仕事場、作業場、工場、3. 職場、4. 事業、商売、職業、5 (学校の) 工作室、(教科の) 工作、6. 仕事の話), shore [「切り立った崖」が原義] (1. (海・潮・河などの) 岸、海岸、湖畔、河岸、2. 国、地方、3. [法律] 海岸 (満潮時と干潮時の間)), shore ((船体・建物・塀などの) 支柱、突っ張り棒), shaft [「矢の軸」が原義] (1. 矢柄、槍の柄、2. [文語] 矢、槍、(矢のような) 鋭い言葉、3. (ハンマーなどの) 柄、取って、4. (光の) 一筋、5. [機械] 軸、シャフト、6. 記念柱、旗ざお、7. [鉱物] 縦坑、換気坑、(エレベータの) シャフト、通路、8. [動物] 羽軸), shifty (1. (貶して) 狡猾な、ずるい、こそこそする、2. 機知にとんだ), shuttle (1. (織物の) 杼 (ひ) (縦糸の間を往復して横糸を通すもの)、(ミシンの) 下糸入れ、(レース編み用の) 糸入れ、2. (2点間を結ぶ通例短い距離の) 折り返し運転、定期往復便), shingle (1. 屋根板、こけら板、2. [魚] 北米産の鯉科の銀色の小魚、(俗用的に) サル、3. [古語] (打たれてできた眼の周りの) 黒いあざ、4. お金), shingle (1. (海岸、河岸の) 小石、砂利、2. (医師・弁護士の) 小看板、3. シングルカット (女性用の短い髪形)), shingles (〔病理〕帯状疱疹),

鱗

真皮

【英語】

sheet (1. シーツ、敷布、2. (主に標準の大きさの) 一枚の紙、(紙の) 一枚、3. (氷・雪・色などの) 薄い広がり、(水・炎などの) 広がり、〜の海、4 (主にタブロイド版の) 新聞、5. (切手の) シート、6 [地理] 岩床), sheet (1. [海事] 帆脚索、2. 帆を帆脚索で一杯に広げる、3. はっきり分からせる),

鱗

shawl (ショール、肩掛け), shield [「身を守る板」が原義] (1. 盾、2. 防御物、保護物 (者)、3. (機械の) 鎧装、(砲の) 防盾、(トンネル工事の) シールド、構盾、4. [動物] (亀の甲などの) 盾状部、5.6. (衣服の) 汗よけ、7. 優勝盾、盾形記章、警官のバッジ),

IX. シャチ

シャチ

【英語】

shark (1. サメ、フカ、2. 高利貸し、強欲な人、3. (〜の) 名人、達人),

獐猛さ

【英語】

shirty (怒った、不機嫌な),

シャチの歯 [鋸状]

【英語】

shiv (武器としての) ナイフ、カミソリ), shiver [「歯をがくがくさせる」が原義] ((人・人の身体が寒さ・恐怖などで一時的に) 震える、ぶるっと身震いする), shiver (粉みじん、破片),

背ひれ

【英語】

sheer [「輝く」が原義] (1. まったくの、真の、混ぜ物のない、2. 切り立った、垂直の、3. (織物が) ごく薄い、透き通った), sheer (1. [海事] 針路から反れる、針路を避ける、2. (嫌いな人・物などを) 避ける), shim ([機械] 詰め木 (金)、くさび), shimmer (1. (反射して) かすかに (ちらちら) 光る、2. (熱などで) 揺らめく),

浮く

【英語】

ship [「木の幹を刳り貫いた」が原義] (1. (大型の、遠洋航路の) 船、2. [海事] シップ (3本マストの大型横帆船)、3. 競漕用ボート、4. (船の) 全乗組員、5. 飛行船), -ship (1. [名詞につけて抽象名詞を作る] 状態、性質、2. 身分、地位、3. 能力、技能),

沈む

【英語】

アイパッチ

【英語】

shire (1. 州、2. イングランド中西部諸州), -shire (～州),

腹ひれ

【英語】

shirt [「短いもの」が原義] (1. ワイシャツ、2. 下着、肌着、シャツ),

X. 猪

猪

【英語】

shock [「ガタガタ揺する」が原義] (1. (強い打撃・衝突・爆発などによる) 衝撃、激しい振動、激突、2. (精神的) 打撃、動揺、ショック、3. 電撃、4. [医学] ショック症), shock (頭髪の) もじゃもじゃの), shock ((乾かすために立て掛けた穀物の) 刈り束の山), shoat (乳離れした子豚),

巢

【英語】

shack (1 (しばしば貶して) 掘っ立て (丸太) 小屋、2. 部屋), shanty ((貶して) 小屋、掘っ立て小屋), shed [「粗末な平屋」が原義] (小屋、物置、車庫、倉庫、格納庫), shelter [「群れの保護」が原義] (1. 避難所、隠れ家、雨宿りの場所、小屋、(雨露を凌ぐ) 宿、住まい、2. (～からの) 保護、非難、3. 収容施設、(動物の) 収容所),

11. 犬

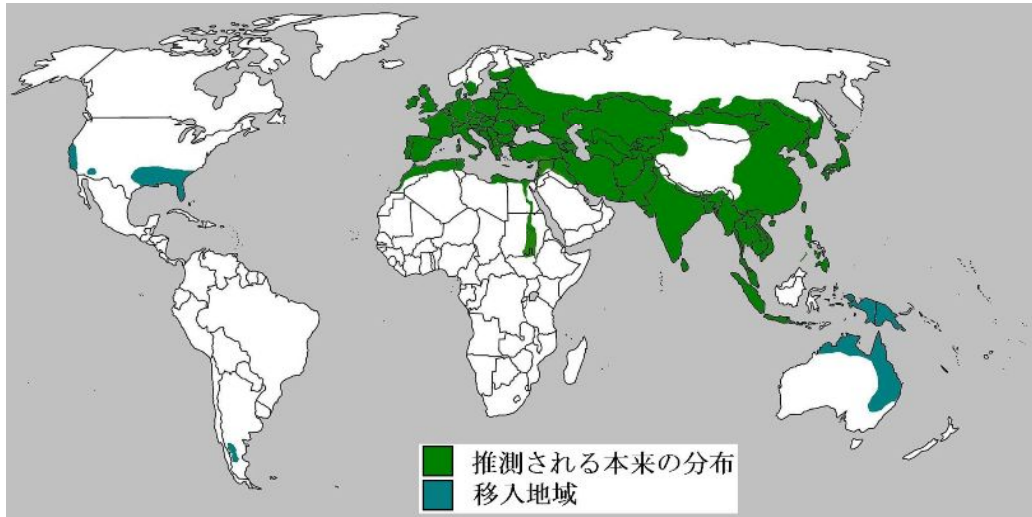
【英語】

shepherd (1.羊飼ひ、牧羊者、2.牧師、指導者、3.シェパード犬 (牧羊犬)), shamus (警官、私立探偵),

【語彙】

【ラテン語】

【s】 2018/04/29～2018/05/29



猪・牙



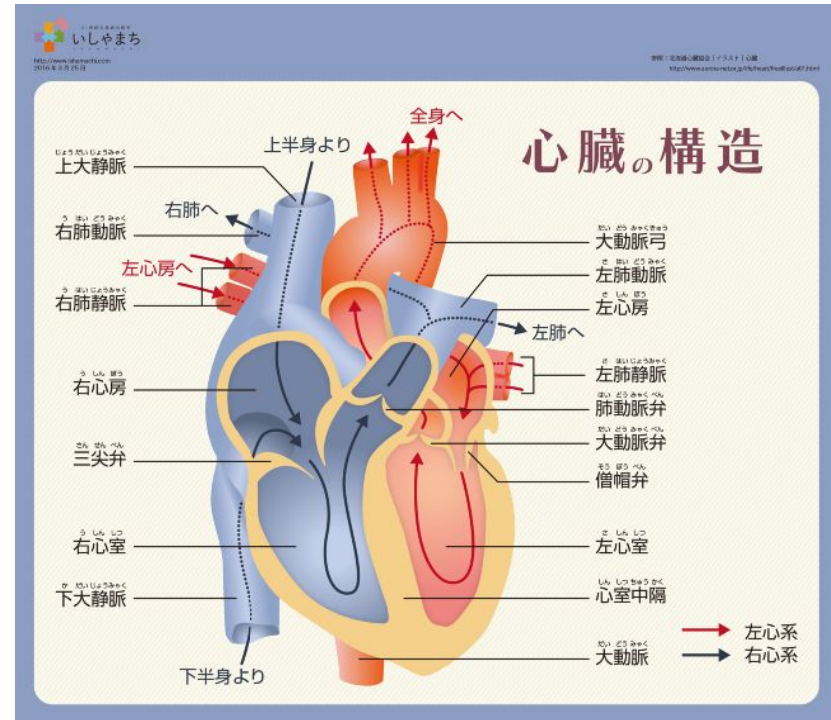
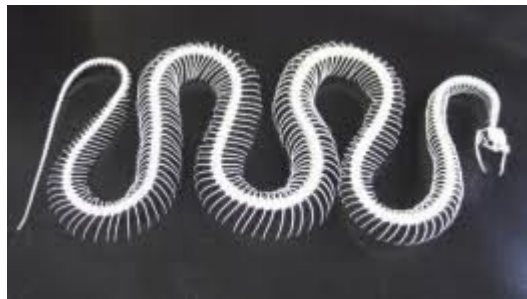
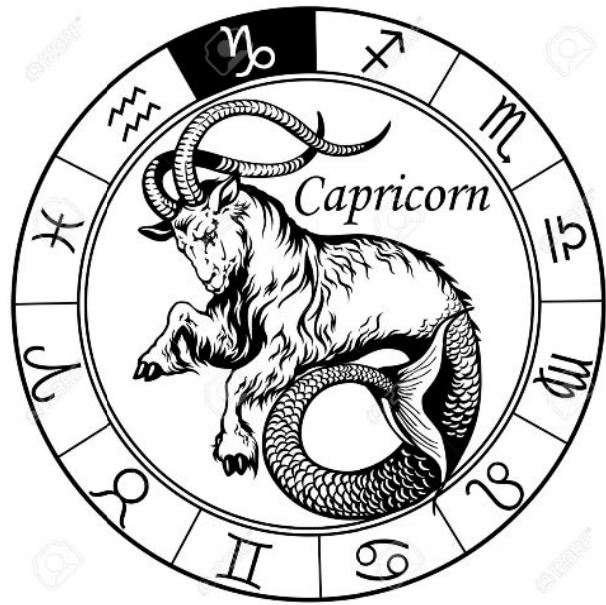
猪・巢



猪・泥浴



猪・幼獣





シャチ



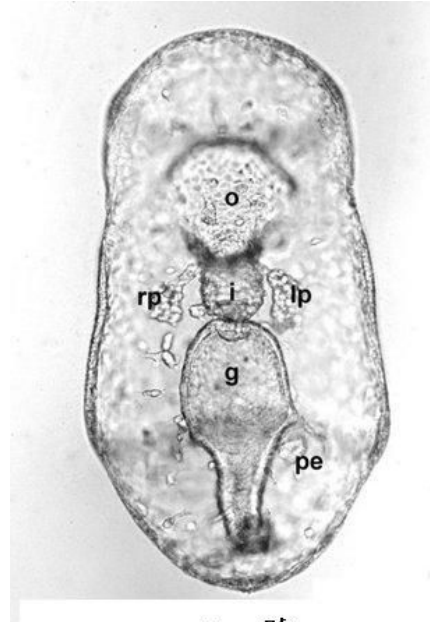
睡蓮の葉



睡蓮 (water lily: Nymphaea)



睡蓮の根 (地下茎)



口 陥



睡蓮の実



カンゾウ (Glycyrrhiza)



レダマ (spartum)



シャチの歯



レダマ (spartum)

[s b] => [b]

【ギリシヤ語】

σ β ε ν ν υ μ ι (①消す、②弱める、鎮める、③干上がらせる、④消える、鎮まる、死ぬ),

[s χ] => [χ]

【ギリシヤ語】

σ χ α ζ ω (①出口をあける、切れ目を入れる、切開する、解放する、自由にする、②やめる、止める、③挫く), σ χ δ η ν (ゆつくりと、静かに), σ χ ε δ ο ν (①(空間的・時間的・関係的に)近くに、傍らに、②(表現を和らげて)凡そ、ほぼ、殆ど、大体のところは、先ず、恐らく、多かれ少なかれ), σ χ ε σ ι ζ (①様子、様相、様式、性質、質、留めること、装着), σ χ ε τ ρ ι ο ζ (①疲れを知らぬ、怯まない、大胆不適な、②冷酷な、酷い、非道な、無法な、無情な、残酷な、残忍な、邪悪な、恥知らずの、③哀れな、惨めな。無残な、酷い、忌まわしい), σ χ η μ α (①姿、形、様子、様相、態度、②外見、格好、見せかけ、体裁、③堂々たる外見、威容、威儀、④あり方、有様、様態、形態、役割、役柄、踊りの型、身振り、姿勢、構え), σ χ ι ζ ω (割る、裂く、分ける、分割する、分岐させる), σ χ ο ι ν ο ζ (①イグサ、トウシンソウの類、それらを縫ったり編んだりしたもの、網、②葦、ヨシの類、それで作ったもの、③エジプトの距離の単位), σ χ ο λ α ζ ω (①暇である、余裕がある、暇なときを過ごす、無為に過ごす、～する時間がある、ぐずぐずする、悠々としている、②(あることから)手を引く、止める、③～に時間を費やす、専念する、④(学校を開いて)講義する、⑤(ある場所が)人がいなくなって空になっている), σ χ α ζ ω (①出口を開ける、切開する、②止める、とめる、③躓く), σ χ ε δ η ν (ゆつくりと、静かに), σ χ η μ α (①姿、形、②威容、③様態、④外見、⑤三段論法の格), σ χ ι σ μ α (①割れ目、裂け目、②分裂), σ χ ο ι ν ι ο ν (紐、縄、(縫ったり編んだりしたもの))

[s φ] => [φ]

【ギリシヤ語】

σ φ η ν ο ω (楔、栓で塞ぐ、閉じる), σ φ α δ α ζ ω (痙攣するようにびくびく動く), σ φ α ι ρ α (①球、②ボクシングのグローブ), σ φ ο δ ρ ο ζ (①激しい、②血気盛んな), σ φ υ γ μ ο ζ (鼓動、脈動),

[s θ] => [θ]

【ギリシヤ語】

σ θ ε ν ο ζ (力、強さ、勇気), σ θ ε ν ο ω (力をつける、強くする),

[s c => [c] 【ラテン語】 centrum, circulus, 【日本語】 くるくる(回る)、車、ころころ、転ぶ、賢い、畏こし、書く、搔く、形、片、肩、傾く、偏る、切る、
【漢字】 賢、傾、
【ラテン語】

scabellum (1. (低い) 腰掛、足台、2. (カスタネットに似た) 足で踏んで音を出す楽器), scaber (1.かさかさした、かさぶただけの、2.でこぼこの、ざらざらし

た), scabies (1.疥癬、かさぶた、2.ざらざらしていること、3.むずむずするようなもの欲しさ), scabio (痒い), scaena [ギリシャ語] (1.舞台、2.背景、3.演技、芝居、4.活動の舞台(領域)、5.わざとらしさ、芝居がかった、6.見せかけ、振り、7.(事件・出来事の)周囲の状況), scaeva (1.左側、2.予兆), scaeva (左利きの人), scaevitas (1.意地の悪いこと、つむじまがり、2.不運), scaevus (1.左の、左側の、2.不運な、不幸な、3.不器用な、へまな), scalae (1.はしご、[軍]攻城はしご、2.階段), scalenus [ギリシャ語] (1.(三角形が)不等辺の、2.[解剖学]斜角筋の), scalmus [ギリシャ語] (樞栓、オール受け), scalpo (1.引っ掻く、掻く、擽る、2.彫る、刻む、彫刻する), scambus [ギリシャ語] (がにまた), scamma (1.格闘競技場、2.格闘競技), scammonia [ギリシャ語] ([植物]スカモニア(ヒルガオ科)), scamnum (1.腰掛、足台、2.(鋤き残した)うね、3.(東西方向に測量した)地所の幅), scandalizo [ギリシャ語] (躓かせる、陥れる), scandalum [ギリシャ語] (1.躓きの石、2.誘惑), scando (1.登る、上る、乗る、2.(詩の)音律を調べる), scandla (屋根板、こけら板), scapha [ギリシャ語] (1.小舟、2.舟状窩), scaphe [ギリシャ語] (お碗型の日時計), scaphium [ギリシャ語] (1.(船形の)容器、碗、杯、鉢、2.しびん、おまる), scapho [ギリシャ語] (帆脚索), scapula (葡萄の1品種), scapulae (1.[解剖学]肩甲骨、2.(一般に)肩、背), scapus (1.茎、軸、2.(織機の)巻棒), scarabaeus [ギリシャ語] ([昆虫]甲虫), scarifo (擦る、引っ掻く、傷をつける), scario (1.夜警員、2.補吏), scariola ([植物]キクヂンヤ), scarlatina ([病理]猩紅熱), scarus [ギリシャ語] ([魚]ブダイ科の魚), scatebra ((水の)逆り、噴出), scateo (1.逆る、噴出する、2.群がる、溢れる、3.(心の)沸き立つ、(胸が)一杯である), scaurus [ギリシャ語] (エビ足の), scazon [ギリシャ語] (跛行短長格詩(短長六歩格の最終脚が長長格となる)), scelerate (非道に、忌むしく), scelero (罪(邪悪な行為)でけがす、汚す), sceletus [ギリシャ語] (骸骨), scelus (1.呪い、不幸、2.犯罪、悪行、悪事、3.悪漢、悪党), Scenitae [ギリシャ語] (天幕居住者たち(遊牧民の呼び名)), scepterifer (1.王笏を持っている、2.王権を有する), schedia [ギリシャ語] (即席で造った)いかだ舟), schdula (小さな紙葉), schema [ギリシャ語] (1.服装、身形、形、形状、2.(修辭的)表現法), schidia [ギリシャ語] (木くず、削りくず), schinus [ギリシャ語] ([解剖学]乳香樹), schisma [ギリシャ語] (分離、分裂), schistosoma ([動物]住血吸虫), schizophrenia ([医学]統合失調症), schoeniculus ((売春婦について)安物の香油を身体に塗った), schoenus [ギリシャ語] (1.[植物](方向のある)トウシンソウ、イグサ(葡萄酒の香りつけ・安価な香油の原料として用いられた)、2.(ペルシア・エジプトの)長さの単位), schola [ギリシャ語] (1.講義、説法、論題、2.学校、学園、3.門弟、信奉者、学派), scholasticus [ギリシャ語] ((修辭)学校の、修辭学の), scholasticus (1.修辭学の教師(生徒)、2.学者), scia ([解剖学]坐骨), sciadeus ([魚]マス的一种), scida [ギリシャ語] (1.紙葉を作るパピルス(植物)の細片、2.(書物の)1葉), sciens (1.(事実を)知っている、2.意識(自覚)している、3.巧みな、精通した), scientia (1.知っていること、2.知識、心得、3.学識、博識), scilicet (1.確かに、明らかに、2.(返答で)もちろん、3.つまり、すなわち), scilla [ギリシャ語] ([植物]カイソウ(地中海地方産ユリ科の球根植物)、2.[動物]エビの一種), scincus [ギリシャ語] ([動物](アジア・アフリカ産の)トカゲの一種), scindo (1.切り離す、割る、2.(道を)切り開く、3.(部分に)分ける、4.中断する、5.引き裂く、引きちぎる), sciniphes [ギリシャ語] (1.[昆虫]南京虫、2.[昆虫]ブヨ), scintilla (1.火花、火の粉、2.兆し、芽生え、3.きらきら光る(斑点)), scintillo (1.火花を発する(散らす)、2.煌く、輝く), scio (1.知っている、2.精通している、心得ている), sciothericon [ギリシャ語] (日時計), scipio (杖(特に儀式用)), scirpeus (イグサで編んだ(作った)), scipus (1.[植物]イグサ、トウシンソウ(灯心草)、2.なぞ、判事物), scirros [ギリシャ語] (固い腫瘍), sciscitor (質問する、尋ねる、調査(探求)する), scisco (1.知るようになる、探知する、確かめる、2.(賛成の)投票をする、可決する、承認する), scissor (1.肉を切り分ける人、2.[碑]剣闘士的一种), scissura (1.割れ目、裂け目、2.(川などの)分岐点、3.裂くこと), scissus (1.裂けた、分かれた、2.(声が)耳障りな), scitulus (きれいな、可愛い、器量のよい), scitus (1.精通(習熟)している、2.巧妙な、見事な、3.賢い、利口な、4.綺麗な、可愛い), scitus (決議), sciurus [ギリシャ語] ([動物]リス), sclera ([解剖学](眼の)強膜), scobis (削りくず、おがくず、擦り(掻き)取られたたもの), scolax (鯛燭), scolex [ギリシャ語] (1.(ミミズの形に似た)緑青、2.[動物](多節条虫類の)頭節), scoliosis [ギリシャ語] ([医学](脊柱)側弯(症)), scolopax [ギリシャ語] ([鳥]シギ), scolopendra [ギリシャ語] ([動物]1.ムカデの一種、2.ゴカイ), scomber [ギリシャ語] ([魚]サバ), scomma [ギリシャ語] (嘲笑、あざけり), scopa [ギリシャ語] (観察), scopae (1.若い枝、小枝、2.箒), scopio ((葡萄の房の)軸、柄), scopio ((箒で)掃く、掃除する), scopio [ギリシャ語] (調べる、吟味する), scopulosus (1.岩(崖)の多い、岩床(暗礁)の多い、2.危険な), scopulus (1.

(海に突き出た) 岩、断崖、岩礁、2. (陸の) 岩、岩塊、崖、3. 難所、危険), *scopus* [ギリシャ語] (標的), *scordalia* (喧嘩), *scordiscus* ((革製の) 鞍), *scoria* [ギリシャ語] (かなくそ、鋸滓), *scorpio* [ギリシャ語] (1. [動物] サソリ、2. [天・占星] さそり座、3. [植物] マオウ属の植物、4. [魚] カサゴ、5. 投矢(投石) 機), *scorpioctonon* [ギリシャ語] ([植物] キダチルリソウ属の植物), *scorpion* [ギリシャ語] ([植物] トリカブト), *scortatus* (女郎買い、女遊び), *scortea* (革製の外套), *scortes* (陰囊), *scorteus* (1. 革の、革製の、2. 革のような、しわくちゃの), *scortillum* ((若い) 娼婦), *scortor* (1. 娼婦を買う、女遊びをする、2. 娼婦のように振舞う), *scortum* (1. 獣皮、2. 娼婦、男娼), *scotia* [ギリシャ語] [建築] (1. (柱礎の深く抉った) 線形(くりかた)、2. 軒蛇腹に刻まれた溝), *scotoma* [ギリシャ語] (1. 眩暈、眩暈、2. [医学] (網膜上の視野) 暗点), *screo* (咳払いをする、(咳払いをして) 痰を出す), *scriba* (1. (線を) 引く、(図を) 描く、2. (文字を) 刻みつける、ル記す、書く、3. 記録する、4. [法律] ある人を告訴する、5. [商売] 約束手形を切る、(元帳に金額・勘定を) 記入する、6. 登録する、7. (文書で) 指名する、8. (文書で) 規定する、9. (法律を) 立案する、(文書を) 作成(起草) する、10. (事実・意見などを文字にして) 述べる、言う、11. 著述(著作) する、12. (手紙を) 書く、書き送る), *scrinium* ((手紙・書類・筆記用具など入れる) 箱、(円筒形の) 書巻入れ), *scriptio* (1. 書くこと、2. 著述、著作), *scriptum* (1. しるし、記号、2. 線、3. 描かれたもの、手紙、4. 成文法、(契約。遺言などの) 文書), *scriptura* (1. 書くこと、2. 描かれたもの、文書、3. 字句、文言、4. 著述、著作、作品、著作物、5. 放牧税、6. 聖書、聖書の文章(一節)), *scripulum* (1. 重量単位、2. ごく僅か、微量), *scrobatio* [碑] ((穴を掘って) 木を植えること), *scrobis* (1. 穴、溝、くぼみ、2. 墓(穴)), *scrofa* ((繁殖用の) 雌ブタ), *scrofula* [病] 腺病、瘰癧), *scrotum* ([解剖学] 陰囊), *scropeus* (1. 岩の多い、ごつごつした、2. 困難な、厄介な), *scrupulosus* (1. 岩の多い、ごつごつした、2. 注意深い、細心な、綿密な), *scrupus* (1. 尖った石、2. 心配事), *scruta* (くず、がらくた), *scrutor* (1. (場所・人を) くまなく調べる、家捜しする、2. 吟味する、探求する、詮索する), *sculpo* (彫る、刻む、彫刻する), *sculponeae* (木靴), *sculptura* (1. 彫刻(術)、2. 彫刻作品、彫像), *scurra* (1. しゃれ者、遊び人、粹人、2. 道化), *scurror* (道化をする、居候をする), *scutale* (投石機の革紐), *scutatus* (盾を持った), *scutatus* (盾を持つ兵), *scutella* (小さな浅い皿(盆)), *scutellum* (1. [昆虫] 小盾板、2. [植物] (稲科植物の) 胚盤), *scutica* ((懲罰用の) 革鞭), *scutra* (浅い皿、平鍋), *scutula* [ギリシャ語] ((木製の) ころ、ローラー), *scutla* (1. (小さな浅い) 平皿、2. 菱形(の物)、眼帯), *scutum* (1. (楕円形の) 盾、2. 防備、保護(手段)), *Scylla* [ギリシャ語] (スキュッラ 1. 渦巻き、2. 神話化された女の怪物、3. Megara の王の娘: 父を裏切り島に変えられた), *scymnus* [ギリシャ語] (獣の子), *scyphus* [ギリシャ語] ((二つの取ってのついた) 大杯), *scytala* [ギリシャ語] (1. スパルタ人が秘密の指示・命令を記す時に用いた棒(それに蒔きつけた革紐に文字を書いてから解いて送ると先方は同じ形状の棒に巻き付けて読み取った)、秘密(暗号) 文書、2. ヘビの一種(頭から尾まで太さが同じ)),

【英語】

scab (1. (傷の) かさぶた、2. [医学] 疥癬、皮癬、[植物] 腐敗病、3. (貶して) 非組合員、スト破り) *scabbard* ((刀剣などの) 鞘), *scabby* (1. かさぶたのできた、疥癬にかかった、2. 卑劣な、汚い), *scabrous* [文語] (1. ざらざらした、2. 厄介な、不愉快な、3. 猥褻な), *scaffold* (1. (建築場の) 足場、足代(あじろ)、2. 絞首台、3. (屋外の) 特設舞台), *scalable* (鱗が落とせる、(計りで) 計れる、(山などが) 登れる), *scalawag* (ならずもの、悪漢、不正直な人), *scald* (1. ~を(熱湯・湯気で) 火傷させる、2. (容器などを) 熱湯消毒する、~に熱湯をかける、~を湯通しする、3. (牛乳を) 沸騰点近くまで熱する), *scale* [「梯子」が原義] (1. 目盛、物差し、2. 段階、等級、階級、(賃金などの) 率、等級表、3. 規模、程度、スケール、4. 縮尺、縮小比、縮尺目盛), *scale* [「皿」が原義] (1. 天秤、2. 天秤の皿), *scale* (1. (魚・蛇などの) うろこ、2. うろこ状のもの、鱗片、皮膚の薄片、かさぶた、3. [植物] 芽鱗(芽・蕾を保護する)、(穀物の) 殻、(豆の) さや、4. 眼のかすみ、くもり、5. 6 (ポイラー・水道などの内側) できる) 湯あか、金ごけ、歯石), *scalene* ([数学] 不等辺の、不等辺三角形、[解剖] 斜角筋), *scallop* (1. ホタテガイ、その貝柱、2. 3. 肉の薄片), *scalp* (1. (頭髪のついた) 頭皮(北米インディアンなどが戦利品として敵の頭から剥ぎ取った)、2. 戦利品、3. (投機による) 利ざや、4. 禿山の頂), *scaly* (1. 鱗に覆われた、うろこ状の、2. うろこのように剥げ落ちる、3. 湯あかのついた、4. 卑しい、卑しむべき), *scam* (取り込み詐欺、ペテン), *scamp* (1. ならずもの、ごろつき、2. 腕白坊主、いたずらっ子), *scamper* (1. (ネズミなどが) すばやく走り去る、2. (子供などが) 駆け回る、跳ね回る), *scan* (1. 細かく(入念に) 調べる、2. (新聞などを) ざっと見る、3. 詩の音律を調べる、~を音脚に分ける、音律的に朗読する、4. (写像を) 走査する), *scandal* [「畏」が原義] (1. スキャンダル、醜聞、醜事、疑獄、汚職事件、2. (~にとって) 恥ずべきこと、不面目、3. 不名誉な行為をする人、4. (醜聞に対する) 反感、憤慨、物議、5. (他人に対する) 中傷、陰口), *scant* (1. 十分でない、

乏しい、～が足りない、2.ちょっと不足の、ぎりぎりの、3.けちけちした), scanty (1.不十分な、乏しい、僅かな、2.狭い、小さい、疎らな), scape (1. [植物] 花茎 (タンポポ・水仙のように直接地中から出るもの)、2. [虫] 柄節、[鳥] 羽の中軸、3. [建築] 柱身), -scape (～の風景), scapula ([解剖学] 肩甲骨), scar [「やけどの傷」が原義] (1.傷痕、火傷の跡、2.心の傷痕), scarab (1.[虫]オタマオシコボネ (古代エジプト人が再生の象徴とした)、2.スカラベ、単虫石 (五体エジプト人の護符・装飾品)), scarce (1.乏しい、不十分な、供給の少ない、不足している、2.稀な、見つきり難い), scare [「臆病な」が原義] (1.～を怯えさせる、怖がらせる、びつくりさせる、2.脅して～させる、3.脅して追い払う), scarf (1.スカーフ、襟巻き、肩掛け、2. (首にゆるく結んで端をふわりと垂らす) 結びネクタイ、3 (箆箭・テーブル・ピアノなどの) 掛け布), scarify (1. [医学] (皮膚を) 乱切りする、2. [文語] 酷評する、3.～を掘り起こす), scarlet [「赤い布」が原義] (1.緋色の、深紅色の、2.罪深い、(女が) ふしだらな), scarp ((外堀の内側の) 傾斜面、急斜面), scary (1.恐ろしい、怖い、2.怯える、怖がる), scat (急いで立ち去る、素早く動く), scat (スキヤットで歌う), scathe (1. [詩] ～を傷つける、害する、2.～を酷評する), scatology (1.糞便学、2.猥褻文学), scatter [「粉みじんにする」が原義] (1.撒き散らす、ばら撒く、一面にばら撒く、2.追い散らす、四散させる、(雲などを) 散らす、(希望などを) 消散させる、3. [物理] (光・粒子などを) 拡散させる、4. (銃が散弾を) 散発する), scatty (まぬけな、当てにならない、少し気が狂った、忘れっぽい), scavenge (1.～を掃除する、2.～をゴミの中から探す), scene [「劇場のテント」が原義] (1. (劇・小説などの) 場面、シーン、2. (事件などの) 現場、場所、3. (小説などの) 舞台、背景、4.眺め、光景、景色、5.大騒ぎ、騒動、口論、6.活動分野、7.興味の分野), scent [「感ずる」が原義] (1.快い臭い、香り、2. (動物の) 臭跡、手懸り、3. (猟犬などの) 嗅覚、(人の) 勘、直感、4.香水), scepter (1. (王のもつ) 笏、2.王権、王位), scedule [「一枚の紙」が原義] (1.予定表、計画表、2.時間表、時刻表、3.表、一覧表、目録、別表), sceme [「形」が原義] (1.計画、案、2.陰謀、たくらみ、3.大綱、図式、計画表、4.組織、機構、(哲学) 体系、配列、配色), scerzo [イタリア語] (スケルツォ), scism ((団体・教会) の分裂、分離、宗派分立罪), schizo (精神分裂症患者の), schlepp (どじなやつ), schlock (安っぽいもの), schmaltz ((文学・音楽の過度の) 感傷主義、(動物の) 脂肪), schmo (うすのろ、ばか), schnapps (オランダジン酒、強い酒), scnook (ばか、まぬけ), scholar (1.学者、2.学のある人、学識者、物知り、3.奨学生、給費生、4.学生、生徒), school (1.学校、授業、2.校舎、3.全校生徒、4.教習所、養成所、各種学校、専門学校、5. 専門学部、大学院、6.流派、学派、～派、～風、7.鍛錬の場), school ((魚・クジラ・イルカなどの) 群れ), scooner (1. [海事] スクナー船 (通例2本マスト以上の縦帆式帆船)、2.大型幌馬車、3. (ビール用) 大ジョッキ), schwa ([音声] あいまい母音), sciatic (坐骨の、坐骨神経痛の), science [「知ること」が原義] (1.科学、科学的知識、2.自然科学、～学、～科学、3.わざ、術), scilicet (すなわち、言い換えれば), scilla ([植物] ユリ科シルボ属の総称), scimitar (三日月刀), scintilla ((通例否定文、疑問文で) 少量、僅か), scintillate (1. [文語] 火花を發する、煌く、2. (褒めて話しなどが) ひらめく), sciolism (みせかけの知識、知ったかぶり), scion (1. (接木の) 若枝、接ぎ穂、2. (名門の) 子、子孫、子弟), scission (切断、分割、分離、分裂), scissor (～を鋏で切る、～を切り抜く), scissors [「切るもの」が原義] (1.鋏、2. [体操] 両脚開閉), sclerosis (([医学] 硬化症), scoff (嘲り、嘲笑), scoff (～をがつつ食べる、平らげる), scold [「下品な言葉を吐く」が原義] ((子供などを～の理由で) 叱る、説教する), sconce ((壁などに取り付けた) 張り出し蝕台、その蝕燭受け装飾のついた電灯), scoop (1.小シャベル、掬い匙、大匙、2. (浚渫機の) 泥掬い、3.掬って出来た穴、窪み、4.掬うこと、一掬い、一掬いの量、5. (新聞の) 特ダネ、スクープ、6.大もうけ、大当たり), scoot (急いで行く、駆け出す), scooter (スクーター), scope [「的・ねらい」が原義] (1. (能力・理解・調査などの) 範囲、2. (活動などの) 機会、余地、自由), scope (1. 観察 (観測) する機械、2.～する機械、～鏡), scorbutic ([医学] 壊血病の), scorch (1. (アイロン・人などが物の表面を) 焦がす、2. (太陽が草木を) 枯らす、萎れさせる、3. (人を) 罵倒する、酷評する), score [「刻み目」が原義] (1.得点、得点記録、得点表、スコア、2.点数、成績、3. [文語] 20、20の一組、4.多数の、5.切り目、刻み目、引っ掛いた傷跡、6.勘定、借金、7 [音楽] スコア、8.現状、進捗状況、真相、9.～に対するうまい遣り方、10.麻薬を手に入れること、一回分の麻薬), scorn [「角を除く」が原義] (1.軽蔑、嘲笑、あざけり、2.軽蔑的、物笑いの種), Scopio ([天文] さそり座), scorpion (1. [動物] さそり、2.蠍のような人・物、3.さそり座、4. [聖] さそり鞭), scot (分相応の税を納める), scotch (1.～を終わらせる、潰す、2. [古語] ～を生殺しにする), Scotch (1.スコットランドの、2. (貶して) けちな、しみつたれの), scoundrel (悪漢、不埒なやつ), scour (1.～を～で擦って磨く、光らせる、ごしごし洗う、2.～を擦り取る、流し去る、3. (水路・パイプなどを) 水を流して掃除する、～の通りをよくする), scour (～を探して駆け巡る、探しまわる), scourge (1. [古語] 鞭、2.苦しみ (損害) を引き起こす人・物、天罰、災難、祟り), scout [「開いて情報を取る人」が原義] (1. [軍隊] 斥候、偵察兵 (機. 艇)、2. [スポーツ・芸能] スカウト、3.ボーイ (ガール) スカウトの一員), scout ((提案・

考えなどをばかにして) 退ける、鼻であしらう), scow ((箱型の) 大型平底船 (貨物・砂利・石炭運搬用はしけ)), scowl ((怒って・不快で考えなどに) 顔をしかめる), scabble (1.~を探して動き回る、掻き回す、2.殴り(走り)書きする), scrag (1.痩せこけた人・物、2.干からびかけた植物、3. (人間の) 首つ玉), scraggly ((毛などが) もじゃもじゃの、不揃いの、疎らな、でこぼこの), scam ((しばしば命令文で) さっさと立ち去る、逃げる), scam (原子炉の緊急停止), scramble (1.攀じ登る、這い登る、這うように進む、急いで~する、2.~を奪い合う、先を争う、3. [軍隊] 緊急発進する), scrap (1. (しばしば好ましくない物質の) 断片、破片、2. (新聞・雑誌などの) 切抜き、スクラップ、3.残飯、脂肪かす、魚かす、4. (鉄などの) くず、スクラップ), scrap ((ちよつとした) いさかい、けんか), scrape [「引っ掻く」が原義] (1. (表面からから) 擦り取る、擦り落とす、2.擦り付けて怪我をする、擦り剥く、擦る、3. (種々の擦る動作を表して) ~を撫でる、(楽器を) 擦って音を出す、(道路を) 地均し機で平にする、4.掻き出す、かき寄せる、5.かき集める), scrappy (断片多岐な、まとまりのつかない、くずの), scrappy (喧嘩鋤な、喧嘩腰の), scratch (1.引っ掻く、掻く、傷をつける、こすり付ける、2.剥がし取る、擦り取る、3.引っ掻いて書く、走り書きする、4.引っ掻いて掘り出す、引っ掻いて掘る、~を筆り取る、5. (書いたものを) 線で引いて消す、抹消する、6.金などをかき集める), scream [擬声語] (1. (驚き・恐怖・苦痛で) 金切り声を出す、きつ々と悲鳴を上げる、(子供が) ぎゃあぎゃあ泣く、(人が喜んで) きゃっきゃっ声を上げる、2.~するように叫ぶ、3. (風が) ビュービュー鳴る、(キの・サイレンが) ビーと鳴る、4.ヒステリックに抗議(要求)する、書き立てる、5. (衣服・色が) けばけばしい、どぎつい), scree (がれ場、(山の) がれ), screech (1. (人が恐怖・苦痛などで) 甲高い声を上げる、金切り声で叫ぶ、2. (サルなどが) 甲高い声で啼く、3. (プレーキなどが) キーと音を発てる、(乗り物などが) 急に止まる), screen [「仕切るもの」が原義] (1.場所を仕切るもの、風などを遮るもの、(教会の) 内陣仕切り、2.遮蔽物、[軍隊] 煙幕、目隠し、3.スクリーン、映写幕、(テレビなどの) 映像、4. (鉱物・穀物用の) ふるい), screw [「螺旋状のものを握ねる」が原義] (1.ねじくぎ、もくねじ、2.螺旋状のもの、ねじり、3.一ひねり、1回転、4.強要、無理強い、威圧、5. (塩・タバコなど) 紙に包んだ一ひねり、6.給料、7.けちんぼう、8. (囚人から観て) 看守), screwy (人が気が変な、(考えが) 奇妙でおかしい、酔っ払った), scribe ((印刷術発明以前の) 写本筆写者、(一般に) 筆記者、書記、(おどけて) 物書き、ジャーナリスト), scrim (1. (目の粗いカーテン用の) 綿布、麻布、2. [演劇] 紗幕), scrimmage (こぜりあい、掴み合い、乱闘), scrimp (1. (金などを) 切り詰める、節約する、2. (人) にけちけちする、僅かしか与えない), scrip (1.受取証、証明書、2.仮証書、仮証券、仮株券、3. (占領軍の) 軍票、臨時紙幣), script (1. (印刷物に対して) 手書き、筆跡、文字、2. [印刷] 書記体、スクリプト体、書体、3. (劇・映画・放送などの) 脚本、台本、4. (試験の) 答案), scripture (1.聖書、2.聖書の一節、3.経典、聖典), scrofula ([病理] 瘰癧), scroll (1. (皮・紙の) 巻物、巻本、2.渦巻き模様、渦巻き形装飾、3. (バイオリン・椅子などの) 渦巻き形をした先端), scrotum ([解剖] 陰囊), scrounge ((しばしば窶して) 手に入れる、くすねる、探しまわる), scrub (1.ごしごし磨く、磨き上げる、2.擦って取り除く、3. (ガスの不純物を) 除く、4. ~を中止する、~を無効にする), scrub (1. (集合的に低木・藪の) 雑木林、2.ちっぽけな人 (人物)、つまらない人、3.二軍チーム人), scruff ((動物・人の) 首の後ろ、(掴む対象としての) 首筋), scruff (汚くてだらしない人), scrum (乗り物・バーゲンなどで殺到する人たち), scrummage ((ラグビー) スクラム), scrumping ((木から) リンゴなどを盗むこと), scrumptious (とても美味しい), scrumpy (スクランピー (強い酒)), scruple (1.良心の咎め、2.スクルーブル (薬量単位、20grain=1.3グラム)), scrutinize ((おどけて) 綿密に調べる、吟味する), scrutiny (1.綿密な調査、吟味、2.じろじろ見ること、監視、3. (開票の) 再調査), scuba (スキューバの (携帯用潜水呼吸装置)), scud (1. (雲などが) 素早く動く (走る)、2. [海軍] (追い風に乘着て) 走る), scuff (1.足を (だらしなく) 引き摺って歩く、2. (靴・床などが) 磨り減る、擦り切れる、(擦って) 傷がつく), scuffle (1.乱闘する、取っ組み合いする、2.慌てふためいて立ち去る、3.足を引き摺って歩く), scull (櫓、スカル (オール)、スカル (競漕用川艇ボート)), scullery ((台所に附属した) 食器洗い場、食器部室), scullion [古語] (1. (台所の) 下働き、皿洗い男、2.げす、卑劣な人), sculpt (~を彫刻する), sculpture [「石に彫る」が原義] (1.彫刻すること、彫刻術、2.彫刻作品、彫像), scum (1. (沸騰・醗酵などで液体表面に生じる) 浮きかす (泡)、あく、皮膜、2. (けなしで人間の) くず、かす), scupper (舷側の) 甲板排水孔、水落とし), scurf (ふけ、あか、(一般に) うろこ状に剥げ落ちるもの), scurrility (1. (特に冗談での) 言葉の下品さ、2.下品な行動 (言葉)), scurry (1. (~を求めて) 慌ててと走る、急ぐ、慌ててする、2. (雪などが) 渦巻く), scurvy ([医学] 壊血病、卑しい、下品な), scutter (ちよこちよこ走ること), scuttle (1. (室内用) 石炭入れ、(石炭運搬用) パケツ、2. (野菜・花・穀物などを運ぶ) 浅い籠), Scylla (1.スキュラ岩 (イタリア南西端 Messina 海峡にある危険な岩)、2. [ギリシャ・ローマ神話] スキュラ (この岩に住み船員を餌食にした6頭12足の女怪物)), scythe ((長柄の) 草刈鎌、大鎌),

【ギリシャ語】

【漢字】

斜、

[sk] => [k] (【英語】 kill, knife, knee, 【漢字】 忌、【日本語】 殺す、)

【ラテン語】

skeleton [ギリシャ語] (【解剖学・動物】 骨格),

【ギリシャ語】

σκαζω (跛を引く), σκαιοζ (①左の、左方の、左手で、不吉な、不幸な、有害な、悪意のある、②西の、西方の、③愚かな、ドジな、見当違いの), σκαληνοζ (①平らでない、でこぼこの、②等しくない), σκαλλω ((火を) 掻き起こす、(鉄などで土を) 掘り起こす), σκανδαλιζω (躓かせる、罪を犯させる), σκαπτω (彫る、掘り返す、掘り起こす), σκαριψησμοζ (表面を引っ掻くこと、くだらないお喋り), σκαφη (①桶、盥、鉢、②揺籃、③軽船), σκεδαννυμι (散らす、撒き散らす、広める、離散させる、分散させる、解散させる、ばらばらにする、打ち砕く), σκελλω (乾涸びさせる、萎びらせる), σκεμμα (考察、考慮、考察・考慮の対象), σκεπαζω (①覆う、保護する、②防ぐ), σκερβολλλω (悪態をつく), σκευαζω (①用意する、準備する、手筈を整える、②提供する、③装わせる、装備させる、身支度を整えさせる、飾り立てる), σκευοζ (①容器、道具、②家財道具一切、農具、聖具、装備、軍用の装具、船具、③荷物、④肉体), σκεφιζ (①知覚、②考察、吟味、穿鑿), σκηναω (露營する、宿営する、覆いのある車に座す、食事をする、宴を催す), σκηπτοζ (雷電、嵐、暴風雨), σκηπτω (①凭せかける、②口実にする、弁解する、弁護する、③ (あるものを目掛けて) 落とす、投げ落とす、投げつける), σκια (影、陰、木陰、亡霊), σκιαζω (①影で覆い包む、翳らせる、②覆い隠す、③ (絵で) 陰影をつける), σκιαζ (①天蓋、②編み細工で作った差し掛け小屋、阿), σκιπων (棒、杖), σκιραφοζ (賽を振り出す筒、壺、いかさま), σκιρταω (飛び跳ねる、踊る), σκληροζ (固い、厳しい、労の多い、過酷な、冷酷な、非情な、強情な、頑固な、頑なな), σκολοφ (①先の尖った杭、柵、逆茂木、②棘、③釣針の先端、④高く聳える樹木), σκοφεω (①注視する、よく見る、見張る、目を配る、見定める、様子を見る、②調べる、調べてみる、吟味する、探す、③考える、考えてみる、考察する、考慮する、熟考する、判断する、心を配る、気遣う、思いを致す、④~を~と考える), σκοτεινοζ (①暗い、闇の、陰の、見えない、盲目の、はっきりしない、影の薄い、不確実な、頼りない), σκυθροζ (怒っている、不機嫌な), σκυλλω (① (肉を) 裂き取る、②苦しめる、煩わす), σκυταλον (棍棒、杖), σκυτοζ (皮 (皮膚)、なめし皮、皮製品、鞭), σκωλοζ (先の尖った棒、棘、針), σκωπτω (嘲笑する、からかう、茶化す、冗談を言う、洒落を飛ばす、笑わせる、ふざける), σκωρ (糞便),

【英語】

skate [「高足 (stilt)」が原義] (1. (アイス) スケート靴、2. ローラースケート (靴)、スケートをする), skate (【魚】 カンギエイ、その身), skadaddle (急いで逃げる), skein (1. (糸の) かせ、2. (比喩的に) 纏れ糸、混乱、3. (飛んでいる鳥の) 群れ), skelton (1. 骨格、骸骨、痩せこけた人、2. 骨格状のもの、(建物などの) 骨組み、焼け残り、【植物】 (葉の) 組織、3. (作品・計画などの) 概略、骨子、4. 骨格 (骸骨) の、骨組みだけの、概略の、最小限度の、小数の), skip (1. (農家で使う) 丸い籠、籠、2. (藁クズで作った) 蜜蜂の巣), skeptic (懐疑論者、疑り深い人、キリスト教不信仰者、無心論者), sketch [「急いで纏める」が原義] (1. スケッチ、写生、下絵、素描、見取り図、略図、2. 下書き、草案、3. 概略、大要、粗筋、点描、4. (小説・随筆などの) 小品、短編、(演芸などの) 寸劇、スキット、5. (言動の) 滑稽 (愉快) な人), skew (斜めの、傾いた、曲がった、【数学】 歪対称の、【統計】 非対称の), skewer (1. (料理用の木・金属の) 串、焼き串、2. 串状のもの), ski [「木片」が原義] (スキー), skid (1. 横滑り、滑り、2. (車輪の) 滑り止め、輪留め、3. (重いものを滑らせる) 滑り材、枕木、ころ、4. 【航空】 (着陸用) そり、5. 【海事】 防舷材), skiff (1. (櫂で漕ぐ) 小船、スキフ、(一本マストで三角帆の) 短艇、2. 小型快速モーターボート), skill [「区別するもの」が原義] (1. 熟練、腕前、2. (特殊な) 技能、技術、わざ), skim [「浮きカス」が原義] (1. (浮遊物を液体から) 掬い取る、2. (液体から) 浮遊物を掬って綺麗にする、3. (水面などを) 掠めて飛ばす、滑るように (すれすれに) 動く、4. (石などを) すれすれに飛ばす、5. (本などを) 飛ばし読みする、6. ざっと読む、7. ~を薄氷で覆う), skimp (食物・金銭などを) ちびちび与える、けちる、~を出し惜しみする、2. (仕事などを) いい加減にやる), skin (1. 皮膚、肌、皮、2. (動物の加工された) 皮、皮革、(敷物用の) 獣皮、3. 皮状のもの、(一般に) 外皮、表皮、(果物・ソー

セージ・穀物などの皮、(真珠の)外被、(船の)外板、外殻、4.けちんぼう、詐欺師、(痩せ)馬、(おどけて)人、奴、skint (文無し)、skip (1. (人・子羊などが)軽く跳ぶ、跳ね回る、2.縄跳びをする、3. (石などが~の表面を)弾みながら飛ぶ、4.拾い読みをする、飛ばして読む、抜かす、5. [教育]飛び進級する、6. ~へ急ぎの旅をする、急いで立ち去る、ずらかる、逃亡する、軽く飛び越す)、skirl ((バグパイプが)ピーピーいう、甲高い声を出す)、skirt [「短いもの」が原義] (1.スカート、(衣服などの)裾、2. (馬の)鞍の垂れ、3. [建築]幅木、4.郊外、周辺、町外れ、5. (性的対象としての)女、6. (機械・車などの)スカート、覆い、[海事]横帆の縦縁、7. (動物の)横隔膜、(牛などの)膈膜肉)、skit (寸劇、スキット、(軽い)風刺文、戯文)、skive (1. (皮などを)削る、(革などを)薄く裂く、2. (義務を)怠る)、skivvy ((男性用)木綿のTシャツ)、skivvy ((貶して)下女)、skoal (乾杯!), skua ([鳥]トウゾクカモメ)、skulk (1.こそこそ隠れる(逃げる)、2. (一目を忍んで)こそこそ動く、こそこそする、3. (仕事・義務を)ずるける、仮病を使う)、skull (1.頭蓋骨、2. 優れた人、知識人、3. (鎧の)兜)、skunk (1. [動物]スカンク、その毛皮、2.卑劣でいやな奴、不親切で軽蔑すべきやつ、3.零敗、完敗、4.未確認船舶)、sky [「雲」が原義] (1.空、天、上空、2. (気象上の)空模様、天候、気候、風土、3.天、天国)、

[s 1] => [1]

【英語】

slab (1. (石・木・金属の)厚板、平板、2. (パン・肉などの)厚切り、3.4. (病院・死体置き場などの)石の死体置き台)、slack (1. (綱などが)緩い、締まっていない、2.不注意の、怠慢な、3.のろい、ぐずぐずした、4. (商売などが)活気のない、不景気な)、slag (1. [冶金]スラッグ、かなくそ、溶滓、2.火山岩滓、3. (貶して)ふしだらな醜い女)、slake (1. (欲望・飢えなどを)満たす、癒す、(恨みを)晴らす、(怒りなどを)和らげる、2. (石灰を)消和する)、slalom (スラローム、回転滑降、回転競技)、slam [擬声語] (1. (戸などを)ピシヤリと閉める、2. (物を物の上に)ドシンと置く、カ一杯投げる、(ドアを)バタンと閉める、(ブレーキなどを)急に踏む、3.~を打つ、4. ~を 酷評する、~に楽勝する、5. (衣服を)急いで身につける)、slander (1.中傷、悪口、誹謗、虚偽の宣伝、2. [法律]口頭誹毀)、slang (1. (~に対する)俗語、スラング、2. (特定の社会や職業の)通用語、専門用語、(盗賊などの)隠語、符丁、合言葉)、slant [「滑る」が原義] (1. (土地・家屋などが左右などに)傾斜する、傾く、2.~の傾向がある)、slat [擬声語] (1.平手打ち、(平たいもので)びしやりと打つこと(音)、2.非難、侮辱、びしやりと打つ、素早く置く、打ち当てる)、slapbang (1.不意に、激しく、2.すぐに、直ちに)、slash (1. (刀・ナイフなどで)~をさっと切る、~を~から切り取る、2. (衣服などが)空き口をつけられる、3. (人・動物などを)鞭打つ、4. (予算などが)大幅に切り下げられる、5.~を酷評する、6. (本の内容などを)削除する、~に大改定を加える)、slat (1. (木・金属などの)細長の薄板、(ブラインドの)羽根板、鎧板、2.肋骨(ヒトの肋骨は左右12本ずつ)、slate (1. スレート、粘板岩、石板(特に屋根葺き用)、スレート色(濃い青味がかった灰色)、2.公認候補者名簿、(試合などの)予定表)、slather (大量、たっぷり)、slattern ([文語]だらしない女)、slaughter (1. (羊・牛などの)畜殺、2.虐殺、大量殺人、大量殺戮、3.完敗)、slave [「中世に奴隷にされたスラブ人」が原義] (1.奴隷、2. (欲望・習慣、仕事などに)捕らわれている人、とりこ、3. (奴隷のように)齷齪働く人、4. (主に自動制御装置に制御される)従属制御装置、予装置)、slaver (1. (~を見て)涎をたらす、2.お世辞を言う、諂う、3. (貶して)~を渴望する)、slay (1. [詩]~を殺す、~を殺害する、2.~を圧倒する、(冗談などで人をひどく)面白がらせる、(異性を)悩殺する)、sleazy ((織物が)薄っぺらな、(貶して)安っぽい、取るに足りない)、sled ((子供用の)小型そり、(雪・氷上をすべる)そり、犬そり)、sleek (1.滑らかな、艶のある、すべすべした、2. (ときに貶して)しゃれた身形の、スマートな、3.栄養のよい、よく太った、4. (ときに貶して)人当たりのよい、口先のうまい)、sleep [「ずり落ちる」が原義] (1. (人・動物が)眠る、睡眠をとる、眠り続ける、2.~に泊まる、寝る、夜を過ごす、3. (昨日・才能などが)活動していない、(町などが)静まりかえった、(人が)ぼんやりしている、(動物が)冬眠する、(独楽が早く回って)静止しているように見える、4.永眠している、5. (異性と)寝る)、sleet (1.曇、雨混じりの雪、2.雨氷(雨が凍った氷の膜))、sleeve [「滑ること」が原義] (1.袖、たもと、2. [機械]スリーブ、軸鞘(車輪などを嵌める金具)、3.レコードのジャケット)、sleigh (馬そり)、sleight (1.手練、早業、巧妙さ、2.策略、ペテン)、slender (1. (柱などが)細長い、(褒めて、人・体格などが)ほっそりした、すらりとした、2. (収入などが)僅かな、乏しい、3. (見込みなどが)薄弱な、(価値・根拠などが)弱い、頼りない、4. (音などが)弱い、か細い)、sleuth (警察犬、刑事、探偵)、slew (沢山、多数)、slewed (酔った)、slice [「裂片splinter」が原義] (1. (パン・肉などの)

薄切り一枚、2.部分、分け前、3.薄刃包丁、食卓用ナイフ、へら、4. (ゴルフ・テニスなどの) スライス (利き腕の方向へ飛ぶ打球), slick (1.滑らかな、すべすべした、(道路などが油・氷などで) つるつる滑る、2. (しばしば貶して) 如才ない、口先のうまい、巧みな、器用な、3.しゃれた、すばらしい、一流の、4. (艶出し上質紙を使っているが内容が平凡な) 豪華雑誌の), slide (1.滑らかに滑る、2. (物が手から) 滑り落ちる、(人が) つりりと滑る、スリップする、3. (人・視線などが人に気付かれずに) そっと動く、こっそり移動する、(責任などを) 逃れる、4. (時が) 知らぬ間に過ぎ去る、5. (人がある状態・習慣などに) 知らず知らず陥る), slight [「なめらかな」が原義] (1. (人が) ほっそりした、痩せた、弱い、2.僅かな、少しの、軽い、弱い、3.つまらない、取るに足りない), slim [「悪い」が原義] (1. (褒めて) すらりとした、ほっそりした、スリムな、2. 僅かな、不十分な、3.薄っぺらな、くだらない、4.ずるい), slime (1. (川底などの) ねば土、軟泥、2. (カタツムリ・魚などの) 粘液、3.いやなもの、悪臭のするもの、汚い粘液物), sling (1.投石器、パチンコ、2. (投石器による) 投石、振り投げ、一撃、3.三角巾、吊り包帯、4. (銃などの) 吊り革、負い革、5. [海事] (帆桁の) 吊り索、6. (うしろ開きの靴の) バックベルト), slink (こっそり歩く (逃げる)、こっそり動く), slip [「滑らかな」が原義] (1. (人・物が過ぎて〜の上で) 滑る、(人が) つりりと滑って転ぶ、2. (人・物が〜から) こっそりと動く、滑るように行過ぎる (進む)、3. (時・機会が) いつの間にか過ぎ去る、4. (記憶などから) 消え去る、(秘密などが) うっかり漏れる、5. (服などを) すりりと着る (脱ぐ)、6.スリッパがスカートの下に出る、7.つまらない間違いをする、8. (質・価値・景気などが) 下がる、低下する、悪化する、衰える、落ちる、(悪い状態に) なる、9. (飛行機などが) 横滑りする), slip (1. (紙・木・土地などの) 細長い一片、紙片、小片、伝票、2.挿し木、接ぎ木 (の切枝)、3.ほっそりした若者、4. (教会の) 細長い座席), slip (陶芸用の) 液状粘土, slippy (1.手早い、抜け目がない、2.滑りやすい), slit (1.〜を細長く切る (裂く、破る)、2.〜を切り開く (離す)、3. (人を) 切り裂く), slither (ずるずる滑る、〜を滑り降りる、(蛇のように) 滑るように進む), slob (だらしない人、がさつ者、まぬけ、でぶ), slober (1. (べちゃべちゃ) 涎を (飲食物) 垂らす、〜を零しながら食べる、2. (もぐもぐ) 感傷的に言う、(むにゃむにゃ) 泣き言を言う、3. (貶して) 〜を溺愛する), sloe ([植物] リンボク、その実), slog (〜を強打する、重い足取りで歩く、苦労して進む、強く打つ), slogan (スローガン、標語、キャッチフレーズ), sloop (スループ型帆船 (1本マストの縦帆式)), slop (1. (液体をぼとぼと) 零す、びちゃびちゃ〜の羽を上げる、〜を零して汚す、〜をぐしゃぐしゃにする、2.家畜に残飯をやる、3. (食物を) 不器用に装う), slop (1. [海事] (水夫に支給される) 衣服、寝具、2.ゆるい作業服、3.4安物の既製服), slope [aslope (斜めに) の語頭音消失] (1. (の方に) 傾斜する、坂になる、斜めに動く、2.逃亡する、(仕事などを) サボる、ぶらつく), sloppy (1.じくじく濡れた、泥んこの、びしょ濡れの、2. (飲食物が) 水っぽい、まずい、3.不注意の、ずさんな、だらしない、4.感傷的な), slosh ((泥水・水中を) パチャパチャ跳ね回る、(液体が) パチャパチャ跳ねる), slot (1.細長い穴 (溝・窪み)、2.スロット (飛行機の主翼の下につけた隙間)、3. (リスト・組織などの中の) 地位、位置、場所、(テレビなどの) 時間帯), sloth (1.怠惰、ものぐさ、不精、2. [動物] ナマケモノ), slouch (1 (貶して) 前屈みになる (座る、立つ、歩く)、うろつく、.2 (帽子の縁が) 垂れる), slouch (1.ぬかるみ、泥深い場所、泥道、2.沼地、湿地、入り江、3. (比喩的に) 泥沼), slouch (1. (蛇などの) 抜け殻、2.脱ぎ捨てた習慣 (偏見)、3.かさぶた), sloven ([文語] だらしない男、無精者、(仕事の) ぞんざいな男), slow [「怠けた」が原義] (1. (速度・動作などが) 遅い、鈍い、緩やかな、〜するのに手間取る、2.緩慢な、悪い、遅い、3.活気のない、不景気な、面白くない、退屈な、(火・力が) 弱い、4. (時計が) 遅れている、(時間の経つのが) 遅い、5. (表面の関係で) 早い動きができない、6. (変化・作用などが) 遅い、[写真] 感光度の低い), slub (〜を始紡する、始紡糸、粗糸、スラブ), slug (1. [動物] ナメクジ、2.怠け者、のらくらもの、のろのろした動物 (人・乗り物)、3. (空気銃などの) ばら弾、弾丸、4.金属の小塊、あら金、5. (自動販売機などに不法投入された金属片)、6. [物理] スラッグ (重力の単位)、7. (ウイスキーなどの) 一杯、一口), slug (〜を酷く打つ、殴る), sluice (1.水門、2.人工水路、放水路、3.堰き水、4. (比喩的に) 捌け口、源、5. [鉱物] (砂金の) 流し樋、(材木を流す) 用水路), slum (1.スラム街、貧民街、2.いかかわしい場所), slumber [文語] (1. (人がすやすや) 眠る、まどろむ、うとうとする、2. (火山などが) 活動を休止している、無活動状態になる), slump (1.〜にドスンと落ちる、(雪・泥地などに) はまり込む、ボタンと倒れる、2.うなだれる、前屈みになる、(気力などが) 衰える、(物価などが) 暴落する), slur (1. (事実などを) あっさり片付ける、見逃す、2. (音・語などを) 不明瞭に発音する、(文字を) 一つに続けて打つ、3.〜と貶す、中傷する、4. [音楽] 〜にスラーをつける、5.〜を汚す), slurp (音を立てながら飲食する), slurry (スラリー、懸濁液), slush (1.半解けの雪、雪解け、ぬかるみ、2.潤滑油、3. (貶して) 安っぽい感傷、感傷的な語・文), slut (1.だらしない女、2.身持ちの悪い女、売春婦、3. (おどけて) おてんば娘、4.雌犬), sly [「相手を打ちのめすことができる」が原義] (1. (貶して) ずるい、悪賢い、2. (貶して) こっそりした、陰険な、3.悪戯な、ちゃめな、ひょうきんな)、

[sm] => [m]

【ギリシャ語】

σ μ α ω (擦る、拭い清める、香油を塗りつける), σ μ ι λ ε υ ω (彫る), σ μ ι λ η (彫刻刀、ナイフ), σ μ ι ν υ η (二股の鋏), σ μ ω χ ω (播り潰す),

[sn] => [n] (英語: nose, north,) (日本語: 臭う、寝る、泣く、萎える、にぶい、のろい、)

(感情が荒い(鼻と口の表情)・気候が荒い)

(鼻: 鼻息(吸う・吐く)・鼻水)

(感情が穏やか・気候が穏やか)

(犬を使つての狩り)

(追跡)

(襲撃)

(性格が穏やか・気候が穏やか)

【ギリシャ語】

【英語】

snall (1 [動物] カタツムリ、2.のろま、無精者、3. (時計の) 渦型カム), snag (1.鋭い(ギザギザした) 突起物(とげ・折残った枝・歯の掛けた残りなど)、2. (航行を妨げる) 沈み木、倒木、隠れ岩、3. (思いがけない) 障害、困難、4. (引掛かっでできる衣服の) 裂け目、破れ、かぎ裂き), snarl (1. (犬などが〜に) 歯を剥いてうなる、2. (人が〜に) がみがみ言う、どなる), snarl (1. (紙・糸などの) もつれ、2.混雑、混乱、紛糾(状帯)), snare ((小動物・鳥などを捕まえる輪縄の) 罠), sneak (1.こそこそ動く、うろろうする、〜からこっそり入る(出る)、密かに立ち去る、2.こそこそ卑劣な振る舞いをする、3.. (貶して他の生徒のことを) 告げ口する), snoop (詮索好きの、こそこそ嗅ぎまわる), snatch [「突然素早く掴む」が原義] (1. (人が物・機会などを) ひつたくる、さつと取る、強奪する、2. (機会をのがさずに食事・眠りなどを) 急いでとる、3. (人を現世などから) 急に運び去る、4. (人を危機などから) 辛うじて救い出す、5.〜を誘拐する), snaffle ((馬のくつわの) はみ), snafu (大混乱、てんやわんや), snuff (1. (香り・空気など) 吸う、2. (動物が) 臭いを嗅ぐ、嗅ぎ分ける、嗅いで調べる), snuff (蝋燭の芯の焦げて黒くなった部分), snack (軽食(間食)、急いでする食事), snake (1.蛇、2.陰険な(冷酷な) 人), snap [擬声語] (1. (物が) ポキンと折れる、プツンと切れる、(比喩的に神経などが) プツンと切れる、参る、2.パチン(ビシッ、カチッ) と音を発てる、パタンと閉る、音を発ててある状態になる、3.バクッと噛み付く、噛み付こうとする、4.素早く動く、5.スナップ写真を撮る), snappy (1.元気の良い、活発な、きびきびした、2.しゃれた、粋な、3.4.ぱちぱち音のする、5.とても寒い(冷たい)、6.びりっとした味の), sneer (1. (人・物・事を) 嘲笑う、冷笑する、2. (言葉・書きもので人・物・事を) あざける、軽蔑する), sneeze (くしゃみ), snell (鉤索), snick (1.ちよつと切る、〜に刻み目を入れる、2. [クリケット] (球を) 斜め打ちする), snide (1. (意見などが) 嫌味な、皮肉な、2.卑劣な、偽の、模造の), sniff (1. (人・物のにおいを) くんくん嗅ぐ、2.鼻をすすする), snifter ((酒類の) ほんの一口、一杯), snip (物を鋏でちよきんと切る、〜をちよきんと切り取る(落とす)、切り落された破片、少量), snipe (1. [鳥] シギ、2.狙い撃ち、狙撃、3.卑劣なやつ、4.タバコの吸い差し), snippy (1. (横柄で) ぶつきらぼうな、口うるさい、2.断片的な、寄せ集め), snit (動揺(苛立ち) 状態), snitch (貶して人を〜に) 告げ口する), snivel (1.鼻を吸る、鼻水をたらす、2. (貶して) すすり泣く、めそめそ泣き言を言う、3.しおらしげな振りをする、空涙を流す), snob (1.スノブ、俗物、2.学問や知識を鼻にかける人), snoot ((人間の) 鼻、顔、軽蔑的(横顔)), snooty (上流ぶつた、排他的な、傲慢無礼な、横

柄な), snooze (居眠りする), snore (鼾をかく), snorkel (シュノーケル, 1.潜水艦の排気・通風装置, 2.潜水者が用いるJ字型呼吸管), snort (1. (馬などが) 鼻息を荒立てる、鼻を鳴らす, 2. (人が〜に) 鼻を鳴らして不満 (怒り・軽蔑・驚き) を表す, 3. (蒸気機関車が) シュツシュツと蒸気を吐く, 4. (軽蔑したように) 軽々しく笑う), snout (1. (ブタなどの) 鼻 (顎・口を含む), 2. (貶して人の) 鼻, 大きな醜い鼻, 3.鼻状のもの, 4. (監獄の) タバコ), snub (1. (人を) 鼻であしらう、わざと無視 (侮辱) する、(申し出などを) すげなくはねつける, 2. (人を) 手厳しく叱りつける、激しく非難する, 3. (馬・船などを) 綱でしっかり括りつける (制御する)、急に止める、(繰り出し中の綱・鎖などを) 急に止める、タバコをもみ消す), snug [「快適な」が原義] (1. (寝て場所などが) 温かく心地よい、気持ちのいい、快適な, 2. (寝て) こざっぱりした、こぎれいな、こぢんまりと整っている, 3. (衣服などが) ぴったり合った、きつい、窮屈な, 4. (収入などが) ささやかながら不自由しないだけの、そこそこの, 5. (場所・動物などが) 隠れて見えない、安全な、(港などが) 安全な), snuggle ((人・動物などが)温かさや愛情を求めて) 心地よく横たわる、心地よく体を丸める (縮こまる)), snow (1.雪, 2. (一回の) 降雪、(ある期間中の) 降雪量, 3.積もった雪、積雪、降雪, 4.雪のように白いもの、雪状の菓子 (料理)),

[sp] => [p] ラテン語】 penis, 【ギリシャ語】 πινυω ①太らせる。②大きくする。③遅くする。【英語】 pretty, 【日本語】 広がる、膨れる、ぱっと、ぱりっと、ぷっくり、ぴくんぴくん、頬、凹む、ぷっと、吹く、ペツ (唾を吐く)、ぺったり、ぺたっと、【漢字】 勃起、膨張、

【ラテン語】

spadix [ギリシャ語] (栗色の、赤褐色の、(馬が) 栗毛の), spadix (1.果実と一緒に折り取られたシュロの枝, 2.弦楽器の一種, 3. [植物] 肉穂花序), spado [ギリシャ語] (1.去勢された男, 2. (植物について) 種のない実), spalax [ギリシャ語] (未詳の植物), spargo (1.ばら撒く、振りかける、撒き散らす, 2.方々に派遣する、分散配置する, 3.追い散らす、配送させる, 4.浪費する, 5.斑点をつける、斑 (まだら) にする, 6. (枝・茎などを) 伸ばす、広げる), sparusus (1.散らばった、疎らな、散在する, 2. (髭が) もじゃもじゃの, 3.雀斑 (そばかす) のある), Spartanus (1.スパルタ (人) の, 2.スパルタ流の、尚武の), Spartanus (1.スパルタ人, 2.スパルタ犬), spartarius (レダマが繁殖している), sparte [ギリシャ語] ([植物] (豆科) レダマ), spartum [ギリシャ語] ([植物] (紐・縄の材料となる2種類の植物名) 1. (豆科) レダマ, 2.アフリカハネガヤ), sparulus ([魚] (小型の) 鯛の一種), sparus [ギリシャ語] (槍の一種), sparus [ギリシャ語] (鯛の一種), spasmus [ギリシャ語] ([医学・生理学] 痙攣、ひきつけ、ひきつき), spatium [ギリシャ語] (腕輪の一種), spatilocinaedus [ギリシャ語] (好色漢), spatangius [ギリシャ語] ([動物] ウニの一種), spatha [ギリシャ語] (1. (織機の) 横糸を打つ道具, 2. (攪拌様の) へら, 3.広刃の長剣, 4. (椰子の房状の実を包む) 仏炎苞 (ぶつえんほう), 5.椰子の一種), spatior (1.ぶらぶら歩く、歩きまわる, 2.広がる、伸びる、(病勢が) 募る), spatium (1.空間、広がり、広さ, 2. 距離、間隔, 3.長さ、大きさ, 4.競走路、コース, 5.空き地、広場, 6. (遊) 歩道、散歩, 7.時間、期間, 8.暇、機会, 9. [音韻] (詩脚の朗誦に要する) 時間、(母音の) 音量), specialis (特別の、特殊な、独特の), species (1.見ること、注視, 2. 見えるもの、光景, 3. 外観、形、様子, 4.美しさ、美しい姿, 5.幻、幻影, 6.像、似姿, 7.見せかけ、上辺、口実, 8.観念、概念, 9. [論理学] (genusの下位区分としての) 種、種類), specillum (1. [医学] 探針、消息子, 2.小さな鏡), specimen (1.しるし、証拠, 2.模範、手本、典型, 3.理想, 4.姿、外観、像), specio (見る、観察する), speciose (1.立派に、見事に、すばらしく、2.もつもらしく、まことしやかに), speciosus (1.美しい、立派な、見事な, 2.見かけだけの、もつもらしい、まことしやかな), spectaculum (1.光景、見もの, septem spectacula (VITR) (古代世界の) 七不思議, 2. (劇場・競技場などの) 見せ物, 3.観覧席、見物席, 4.見ること、視力), spactamen (1.特徴、しるし, 2.光景), spectativus (思弁的な、論理的な), spectatus (1.明白な、確かな, 2.卓越した、立派な, 3.注目すべき、顕著な), specto (1.見る、眺める、注視する, 2.見物 (観覧) する, 3.検査する、吟味する、判断する, 4.頼る、当てにする, 5.考える、考慮する, 6.目論む、目指す, 7. (ある方向に) 向いている、面する, 8.関係する), spectus (1.観察, 2.表情, 3.外的表徴), specula (微かな希望、一縷の望み), specula (1.望楼、見張り台, 2.見張り、監視), specularis (鏡の (ような)), speculatio (1.偵察、監視, 2.観察、考察, 3.眺め), speculativus (純理論的な、思弁的な), speculator (1.斥候、偵察兵, 2.見張り、歩哨, 3.護衛 (兵)、伝令, 4.観察者), speculor (1.監視 (観察) する、見張る, 2.偵察する、探り出す、かぎつける), speculum (姿見、鏡) specus (1.洞穴、洞窟, 2.空洞、穴、割れ

目、3.溝、暗渠、水道、4.地下道、坑道), sperabilis (望みがある), sperata (婚約者、いいなずけ (女性)), sperma [ギリシャ語] (1.種子、2. [生理学] 精液、精子), spernax ((~を) 軽蔑する), sperno (1.遠ざける、離す、2.軽蔑する、一蹴する、無視する), spero (1.希望する、期待する、2 (よくないことを) 予期する、懸念する、危ぶむ、3.信頼する、期待をかける), spes (1.希望、期待、2.期待される (望みを持たせる) 事物 (人)、3.不安、懸念), sphaera [ギリシャ語] (1.球、球体、2.天空、天球層、3.天球儀), sphagitis [ギリシャ語] ([解剖学] 頸動脈), sphagnos [ギリシャ語] (芳香性の地衣類), sphenoidalis ([解剖学] 蝶形 (骨) の), sphincter [ギリシャ語] ([解剖学] 括約筋), Sphinx [ギリシャ語] (1. [神話] スフィンクス (人間の頭とライオンの胴を持った有翼の怪物; Thebae 付近で通行人に謎を掛け解けなかったものを殺した)、2. (Aethiopia にいたといわれる) サルの一種), sphondyle [ギリシャ語] ([昆虫] 甲虫の一種), sphondylion [ギリシャ語] ([植物] ハナウド), sphondylus [ギリシャ語] (1. [解剖学・動物学] 椎骨、2. (二枚貝の) (筋) 肉、3. [貝] イガイの一種), spica (1. (麦の) 穂、2. [植物] 花穂、穂状花序、3. [天文学] スピカ (乙女座の主星)), spico (穂をつける), spicula (1. [植物] 小穂、2.キランソウ属の植物), spiculum (1.槍の穂、矢じり、2. (蜂・サソリなどの) 針、3.投槍、矢), spina (1.とげ、針、2.とげのある低木、3.背骨、背中、4.難問、難事), spinosus (1.棘のある、棘だらけの、2.いばらで覆われた、3. (表現などが) 難解な、分かり難い、4.苦しめる、不安にさせる), spinter [ギリシャ語] (腕輪の一種), spintria (男娼、男色に耽る人), spinturnix [ギリシャ語] (不吉な鳥), spinula (1.小さな背骨、2.小さな棘), spinus ([植物] 棘のある低木), Spio [ギリシャ語] ([神話] スピーオー (Nereus と Doris の娘で海のニンフ)), spionia ([植物] (大粒の実のなる) 葡萄の木), spira [ギリシャ語] (1.渦巻き (螺旋) 状のもの、(蛇の) とぐろ、ねじれた紐、編んだ髪、2. (円柱の) 柱礎), spiraculum (通気孔、空気穴), spirillum (1.ヤギの髭、2. [細菌] 螺旋状菌), spiritus (1.呼吸、2.息、3.命、意識、4.霊、魂、5.靈感、インスピレーション、6.気質、性向、7.元気、熱心、気概、8.傲慢、慢心、9.風、气流、10. [哲学] (四大元素の一つとしての) 空気、11.臭い、香り、12. [キリスト教] 聖霊 (三位一体の第三位格)、13. [薬] 酒精、アルコール、酒精剤), spiro (1.呼吸する、2.生きている、3. (詩的) 靈感を得る、4.香りを発散する、臭いがする、5. (風が) 吹く、6. (息などを) 吐き出す、7. (臭いなどを) 放つ、発散させる、8.~の気質 (精神) を表す (示す)), spissamentum (栓、詰め物), spissatio ((畑の土を) 踏み固めること), spisse (1. 、ぎっしりと、2.ゆっくり), spissesco (厚く (濃く) なる), spisso (1.圧縮 (凝縮) する、濃厚にする、2. (身体・筋肉を) 丈夫にする、3.せきたてる), spisso (ゆつくりと、のろのろと), spissus (1.密な、濃い、厚い、2.のろい、緩慢な、骨の折れる、3.矢継ぎ早の), spithama [ギリシャ語] (ギリシャの長さの単位), splanshna [ギリシャ語] ((生贅の) 内臓), splen [ギリシャ語] ([解剖学] 脾臓), splendeo (1.輝く、光る、2.際立つ、顕著である), splendidus (1.光っている、輝いている、2.目を奪うばかりの、見事な、3.卓越した、際立った、立派な、4. (声が) 澄んだ、よく通る、5.派手な、人目を惹く), splendor (1.輝き、光輝、2. (音の) 明るさ、澄んでいること、3.才気煥発、4.華やかさ、派手、5.卓越、名声、栄光), spreniatus (膏葉を貼られた), sprenicus [ギリシャ語] (脾臓を病んだ), sprenicus (脾臓を病んだ人), splenium [ギリシャ語] (1. [植物] シダの一種、2. [医学] 膏葉), splenius ([解剖学] (首の) 板状筋), splenomegalia ([病] 巨脾腫 (症)), splenophathia ([病] 脾障害), spodiaceus [ギリシャ語] (灰色の), spodium [ギリシャ語] (1.灰、2.金こそ、鉱滓), spoliabilis (剥ぎ取られ得る), spoliarium (1.殺された剣闘士の装備を剥ぎ取る場所、2.盗賊・人殺しの巣窟), spoliatio (略奪、剥奪), spolio (1. (衣服・覆いなどを) 剥ぐ、剥ぎ取る、2.略奪する、奪う), spolium (1. (動物の) 皮、2.略奪品、戦利品), sponda (1. (寝台・寝椅子の) フレーム、2.寝台、寝椅子、棺架), spondalium (犠牲を捧げるときの歌; 縦笛に伴奏される), spondeo (1.宣誓する、(正式に) 約束する、2.保証する、3.婚約させる、4.保証人になる), spondeum [ギリシャ語] ((神への) 献酒用の器), spondeus [ギリシャ語] ([詩] 長長格), spongia [ギリシャ語] (1.海綿、2.アスパラガスの根、3. (薔薇にできる苔に似た) 虫瘤、4. (鎧の) 胸当て), spongiosus (海綿状の、海綿のような、小孔の多い), spons (1. (~の) 意に従って、2.自発的に、自由意志で、3.故意に、わざと、4.独力で、単独で、5.ひとりで、自動的に、6.本質的に、それ自体、7.自分の意思を働かせて、自然に), sponsio (1.誓約、契約、約定、2.保証 (金)、3.賭け (金)), sporangium ([植物] 孢子囊、芽胞囊), sporidium ([植物] 小生子 (前菌糸体にできる孢子)), sporta (籠、バスケット), sportula (1.小さなバスケット、2. (有力な庇護者が庇護民への) 施し物、3. (一般に) 贈り物), spretio (軽蔑、侮辱), spuma (泡、あぶく、浮かす), spumo (1.泡立っている、泡だらけである、2.泡を吹く、3.泡で覆う、泡立たせる), spuuo (唾などを吐く), spurce (1.汚く、不潔に、2.不快感を与えるように、下品に), spurcitia (1.不潔、汚れ、2.糞、汚物、3.下劣), spurius (1.庶出の、2.真正でない、偽の、3. [生物] 擬似の), spurius (父親の知らない子), sputamen (唾、唾液), sputo ((唾などを) 吐く、(厄除けに) 唾を吐き掛ける), s

putum (1.唾、唾液、2. [病] 痰、喀痰)、

【ギリシャ語】

σπαδίζω (剥ぎ取る), σπαδονισμα (柔らかいことぐニヤグニヤしていること), σπαθη (筵状のもの、箒、幅広の剣、椰子の葉柄), σπανίζω (①僅かである、稀である、②〜に欠けている、〜を必要する、窮乏する), σπαραττω (①細かに裂く、筆り取る、粉碎する、②痙攣させる), σπαργαλω (襪襦で包む、布で巻く), σπαργαω (はちきれんばかりに膨らむ、思い上がる、抑制がなくなる), σπασμα (①筋繊維の裂傷、捻挫、②痙攣、③引きちぎられた破片、④剣の刃), σπαταλη (①放埒、多情、②贅沢、ご馳走、③飾り、装身具、腕輪), σπαω (①引く、引っ張る、引き抜く、引き離す、引き攪う、もぎ取る、引きずっていく、②吸い込む、飲み乾す、③ (釣り糸が) 引き上げる、釣上げる、④捻挫させる、⑤痙攣させる), σπειρα (①巻いたり繕ったりしたもの、とぐろ、綱、糸、②ボクサーのグローブの紐), σπειρω (① (種を) 蒔く、②播く、③ (男が) 子供をもうける、④ (種子のように) 散布する), σπενδω (協定を結ぶ、講和を結ぶ), σπερμα (種子、火種、起源、出自、氏素性、氏族、子孫), σπερχω (①急ぐ、②突進する、③短気である、イライラする、怒る), σπηλαιον (洞窟、岩屋), σπιλας (波に洗われている岩、岩礁、平たい岩、敷石), σπινθηρ (火花、閃光), σπλαγχνον (①内臓、②犠牲に伴う宴、③ (感じよの座としての) 内臓、様々の感情), σπλεκοω (性交する), σποδεω (①叩き潰す、打ちつける、叩きつける、ぶん殴る、やっつける、② (隠語として) 性交する、③がつつ喰う), σποδοζ (①灰、燃えさし、②埃、土砂、③灰のように液体を吸収するもの), σπονδη (①灌奠、②協定、条約、休戦協), σπορα (①播種、播種期、②種子、③子供を儲けること、④由来、出自、子、子孫), σπουδαζω (①急いで〜する、急ぐ、熱心に〜する、熱望する、②真面目な関心を示す、心を用いる、③真面目である、本気である、真剣である), σπυρις (大きな籠、魚籠)、

【英語】

space [「何もない空間」が原義] (1.空間、2.宇宙、宇宙空間、3. (〜するための) 場所、座席、余地、余白、紙面、4.間隔、距離、5.時間、期間), spade [「土地を掘る木切れ」が原義] (1.鋤、踏み (手) 鋤、2.鋤の刃だけの深さ、3.鋤の深さの溝、4.鋤に似たもの), spade (1. [トランプ] スペード、2. (貶して) 黒人), spadix ([植物] 肉穂花、肉穂状花房), span [「広げられたもの」が原義] (1. (ある一定の短い) 期間、長さ、範囲、2.全長、差し渡し、全期間 (範囲)、3. [古語] スパン (親指と小指を張った長さ)、4. [建築] 橋の径間), span (1.1くびきの馬 (牛)、二頭立ての馬 (牛)、2.足枷), spangle (1.スパンコール、2.ぴかぴか光るもの), spaniel (1. [動物] スパニエル犬、2.こび〜つらう人), spank [擬声語] (1. (子供の尻などを罰として) 叩く、ピシヤリと打つ、2. (波が舷側を) ひたひたと打つ), spank (船・馬などが速く走る、疾走する), spanner (1.スパナ、レンチ、2.指で測る人), spar (1. [海事] 円材、スパー (boom,gaff,mast,yardなどの総称)、2. [航空] (胴体の) 翼桁), spar ([鉱物] へげ石、スパー (方解石、ホタル石、鉄平石など)), spare [「使うのを控える」が原義] (1. (人・物・事などを) なしで済ませる、〜を取っておく、与える、2. (物・事を惜しんで) 使わない、節約する、3. (苦勞などを) かけないように気を配る、4. [文語] (人・命を) 助ける、助命する、容赦する、〜に気を配る), spark (1.火花、火の粉、2. [電気] 電気火花、3.生氣、活気、4. (才知の) ひらめき、(宝石・眼などの) 輝き、5. (比喩的に) 呼び水、火種、6.少しも (ない)、微塵も (ない)、7.宝石、ダイヤモンド、8. (船の) 無線電気技師、電気技師), sparrow (雀), sparse (1疎らな、(人々の) 少ない、(植物が) 点在する、2.貧弱な、乏しい), spasm (1. [医学] (筋肉の) 痙攣、ひきつけ、2. (感情などの) 発作、激発、(努力などの) 突発敵衝動), spat (1. (ちよつとした) 喧嘩、口論、2.平手打ち、バシッと打つ、3. (泥・水の) はね), spat (1.貝の卵 (特に牡蠣の卵)、2.子牡蠣、幼牡蠣), spate (1.大雨、豪雨、洪水、大水、2.多数、多量、3. (感情などの) 激発、ほとぼしり), spathe ([植物] 仏炎苞), spatter (1. (泥・水などを) はねかける、2. (〜に〜を) 蒔く、〜に降り注ぐ、3. (人に悪口などを) 浴びせる), spatula (へら), spatulate (1. [植物] (葉が) へら状の (もじゃもじゃの)、先広の、2.へら状の、平べったい), spawn (1. (魚・カエル・牡蠣などの) 卵、はらご、2. [植物] 菌糸、3. (うじゃうじゃしている) 子、がきども、所産、結果), speak [「言葉を発する」が原義] (1.話す、しゃべる、物を言う、口をきく、2.演説をする、講演する、3. (事実・感情などを) 物語る、表す、示す、4. (楽器・銃が) 鳴る、(犬が〜を貰うために) 吠える), spear [「投げ矢」が原義] (1. (戦闘用の) 槍、投槍、2. (魚を突く) やす), spear (1. [植物] 長く尖った幼芽 (枝)、2. [詩] とげ、いばら), spec (投機、思惑), special [「種類」が原義] (1. (普通と違って) 特別の、特殊な、格別の、2.特有の、独特の、3 特設の、臨時の、4.専門の、専攻の、5.異例の、例外的な、並外れた、6.特定の), specie ((紙幣に対して) 正金、正貨), species [「見える物・形」が原義] (1. (分類上の) 種、種族、2. (貶して) 種類、3.人類、4. [論理学] 種、種概念、5. [法律] 形式、体裁), spcific [「物・形が見える」が原義] (1.明確な、はっきりとした、具体的な、2.特定の、一定の、3.特有の、独特の、4. [医学] 特効の、特殊な), speck (1.小さな染み (斑点)、汚点、欠点、2. (果物の) 小さな腐り傷、3.ちり、ほこり、4.微塵 (もない)、少し (も

ない)), specs (眼鏡), spectacle [「見るもの」が原義] (1. (大仕掛けの) 見世物、ショー、2. 壯観、見もの、光景、美景、3. (他人の) 惨状、哀れな光景、4.5 観点、色眼鏡、偏見、6. [動物] 眼鏡状の斑点), spectral (1. お化けの、幽霊のような、ぼんやりした、2. [光学] スペクトルの), speculate (1. 投資する、思惑買いする、2. 熟考する、思いを凝らす、(あれこれと) 推測する), speech (1. 話すこと、発言、話し、2. 話す能力、言語能力、3. 話し方、言葉つき、4. 演説、挨拶、5. 話し言葉、言語、6 [文法] 話法、.7. (役者の) せりふ、8. (オルガンなどの) 音色、9. 弁論術、スピーチ研究), speed [「成功 (繁栄) する」が原義] (1. 速いこと、速さ、2. 速度、速力、3. (自動車などの) 変速装置、チェンジギヤ、4.5. [写真] 感光度、シャッタースピード、6. [俗称] アンフェタミン、メシドリン (麻薬の一種)、7. [古語] 成功、繁盛、幸運), spell [「説明する」が原義] (1. ~を綴る、2. (文字が~という語を) 形作る、3. ~を意味する), spell [「話すこと」が原義] (1. 呪文、お呪い、呪いの文句、2. 魔法、魔力、魅力), spell (1. (天候などの) 一続き (の期間)、2. (病気・発作などの) 一時期、一頻り、3. 一仕事、仕事、4. しばらくの間), spencer ([海事] 大きな斜桁の帆), soencer (1. (男性用の) 短いダブルの外套、2. (女性・子供用の) 体にぴったり合ったジャケット), spend [「金を支出する」が原義] (1. (金銭を~に) 使う、2. (時間) 過ごす、~を~に使う、3. (人・物が努力・力などを徐々に) 使い果たす、出し尽くす), sperm (1. 精液、2. 精子、精虫), sperm (1. マッコウクジラ、2. 鯨鯨 (マッコウクジラ脳内の脂: 蝋燭・医薬などに使う)), spew (1. ~を吐く、もどす、~を吐き出す、噴出する、2. (不敬な言葉などを) 吐く、(不満・怒りなどを) ぶちまける), spice [「物の種類」が原義] (1. 薬味、香辛料、2. 趣、面白味、3. ~の味、含意), spicily (ぴりっと辛く、辛らつに), spicule (小突起物、[植物] 小穂、[動物] 針状突起 (骨)), spider [「紡ぐもの」が原義] (1. 蜘蛛、2. 人を陥れる悪者、3. (鍋などを掛ける) 五徳), spiel ((貶して) くだい話し、大げさな演説、客寄せ口上), spiffy (1. スマートな、垢抜けした、しゃれた、小奇麗な、2. 楽しい), spigot (1. (木製の) 樽栓、2. 蛇口、3. (管の) 差込口), spike (1. 大釘、(鉄道レール用) 大釘、忍び返し、先の尖った金属、2. 靴底の釘、3. (大砲の) 火門栓、4. (仔鹿の) 一本角、5. 若サバ), spill [「破壊する」が原義] (1. (液体などを過って~から~に) 零す、2. ~を蒔き散らす、ばらまく、3. [文語] (血などを) 流す、4. (馬などが~を) 振り落とす、投げ出す、5. ~を吐き出す、こぼれさす、6. (秘密などを) もらす、言いふらす、7. [海事] (帆から) 風を抜く、風を受け流す、漏らす), spin [「糸を紡ぐ」が原義] (1. 紡いで~にする、(糸などを~から) 紡いでとる、2. (蜘蛛・蚕などが糸を) 吐く、掛ける、3. (ガラスなどを) 繊維状にする、4. ~を長々と話す、(作り話を) する、5. ~をできるだけ引き伸ばす、(時間・金などを) なんとかもたせる、6. 困惑させる、7. (独楽などを軸を中心に急速に) 回転させる、8. (洗濯機の脱水槽を) 回転させる、9. ~を試験で落とす、欠点をつける), spinach (1. ホウレンソウ、その葉、2. 不要なもの), spinal (1. 背骨の (ある)、脊柱の、脊髄の、2. 棘状の、針状突起の), spindle (1. (手紡ぎ用の) つむ、(紡織機の) 紡錘、スピンドル、2. 軸、心棒、シャフト、(ラジオなどの) つまみダイヤル、3. スピンドル (紡織糸の尺度単位)、.5. [生物] 紡錘体), spindly ((貶して植物が) ひよろ長く伸びた、弱々しい、やせ細った), spine (1. [植物] (サボテンなどの) 棘、針、2. [解剖学] 背骨、脊柱、3. 気骨、負けじ魂、根性、4. 本の背、山の背、尾根、(地面・岩の) 背、突起), spiracle (1. 換気孔、空気孔、2. [動物] クジラの噴気孔), spiral (1. 螺旋状の、渦巻き型の、2. [幾何学] 渦巻き線の), spire (1. 尖頂、(教会などの) 尖塔、2. [植物] 葉身、若芽、若枝、穂、3. 円錐型のもの), spire (1. 渦巻き、螺旋、導線のひねり、2. [動物] (巻貝の) 殻塔、螺塔), spirit [「呼吸」が原義] (1. [文語] 精神、心、2. 霊、靈魂、神霊、聖霊、幽霊、亡霊、3. 気分、精神状態、快活、元気、4. 気力、気迫、勇氣、熱情、気質、気性、心的態度、5. ~の人、6. (時代の) 特質、傾向、真意、意図、7. 慈悲心、8. 酒精剤、エキス、有機溶剤、蒸留酒、火酒), spit [「唾」が原義] (1. 唾を吐く、唾を吐きかける、2. (猫が怒って~に) ふうっと唸る、3. (火が) パチパチいう、(エンジンが) バタバタいう、4. (雨が) しとしと降る、5. (提案などを) ばかりにする), spit (1. (焼肉用の鉄製の) 串、焼き串、2. (主に) 細長く突き出た岬、砂州), spit (踏み鋤の刃だけの深さ、一鍬), spite [「despite 悪意・怨恨の語頭音消失」] (1. 悪意、意地悪、2. 恨み、遺恨), spiv (小悪人、うさんくさいやつ、やみ屋), splash (1. (水・泥などを) ビシッと跳ねかける、(水・泥などを) 飛び散らす、2. (水・泥などが) 跳ねかかる、3. (足・裾などを) ぱちぱちやさせて水を撒き散らす、(道に) 水をぱちぱちや撒き散らしながら進む、4. (物に色などで) 撒き散らし模様をつける、5. (広告などを) 派手に貼る), splay (1. (窓などに) 斜角をつける、隅切りにする、2. (足などを) 広げる、(肘などを) 伸ばす、~を裾広がりにする), spleen (1. [解剖学] 脾臓、2. [文語] 不機嫌、短気、悪意、癩癩、[古語] 憂鬱), splendid [「明るく輝く」が原義] (1. 豪華な、華麗な、贅沢な、2. 立派な、光輝ある、素敵な、すばらしい), splice (1. [海事] (ロープを) 組み (より) 繋ぎする、~の端を結びつける、2. (フィルムなどの端を) 重ねて継ぐ、3. 結婚する), splint (1. [医学] 副木、添え木、2. へぎ板、継ぎ板、細板、破片、3. [軍事] (鉄製の) 肘当て、ござね、革ざね、4. (馬の) 骸骨腫), split (1. ~を~に裂く、割る、2. (党・グループなどを) 分裂させる、3. ~を~に分ける、分割する、(費用・利益などを) 分配する、分け合う、分担する、4. [物理学] (分子・原子などを) 分裂させる), splotch (染み、汚れ、斑点), splurge (誇示する、~に収入以上の金を使う), splutter (1. 興奮して早口でしゃべる、唾を飛ばして言う、2. 液体などを跳ね掛ける), spoi

1 [「動物から剥いだ皮」が原義] (1.~を台無しにする、ダメにする、損なう、2.甘やかす、増長させる、(客などを) 大事にする、3. [古語] (物) 奪う), spoke (1 (車輪の輻 (や) の) スポーク、2 梯子の横棧), sponge (1. [動物] 海綿動物、2. スポンジ、海綿、海綿上のもの (で素早く拭くこと)、清拭), spongy (1. 海綿状の、多孔質の、2. スポンジのような、柔らかい), sponsor (1. ~の引受人、保証人、2. 名づけの親、命名者、3. 番組提供者、スポンサー), spontaneous (1. 自発的な、進んでする、自らの、任意の、2. 自然に起きる、無意識の、3. [植物] 野生の、自生の、4. [動物] 奉納的な、自動的な、5. (動き・文体などが) 自然な、のびのびした), spoof (ちゃかし、ペテン、もじりの), spook (1. (おどけて) 幽霊、おぼけ、2. (貶して) 黒んぼ), spool (1. 糸巻き、(釣り糸・フィルムなどの) 巻き枠、スプール、2. 1巻の量), spoon [「木の小片」が原義] (1. スプーン、匙、2. スプーン一杯分、3. スプーン状のもの), spoony (1. 愚かな、ばかな、2. 感傷的な、~に甘い、でれでれした), sport (〔野獣の〕 足跡、臭跡), sporadic (点在する、ばらばらの、ちりぢりの、時折の、散発的な), spore (1. [生物] 孢子、芽胞、2. [植物] 杯穂、杯、種子), sport [「disport 気晴らし」の語頭消失] (1. スポーツ、運動競技、2. スポーツの、運動用の、3. 競技会、運動会、4. 娯楽、楽しみ、5. 戯れ、からかい、あざけり、冗談、6. 弄ばれるもの、物笑いの種、7. 8. スポーツマンらしい、公明正大な、気さくな人、9. 突然変異、変種), spot [「小さな点」が原義] (1. 地点、場所、現場、箇所、2. 斑点、斑、ぶち、染み、汚れ、吹き出物、にきび、あざ、ほくろ、(太陽の) 黒点、3. (ラジオ・テレビの番組の切れ目に放送される) 短いニュース、(定期的な) 短い出演、4. 少し、少量、1滴、一杯、5. (商取引の) 現物、現品、6. 仕事、職、地位、立場、7. 胸びれに黒い斑点のある魚、8. スポットライト), spout (1. ~を吹き出す、噴出する、2. ~をぺらぺらしゃべる、まくし立てる), sprain ((手首・くるぶしなどを) くじく、捻挫する), sprat (1. [魚] スプラット (ニシンに似た小魚)、2. (おどけて) 子供、小者), sprawl ((しばしば貶して) 1. ぶざまに手足を伸ばす、大の字に寝そべる、腹ばう、2. (文字が) のたくる、3. (植物が) だらしなく延びる、(町が) 不規則に広がる、スプロール化する), spray [「ばら撒く」が原義] (1. 飛沫、水煙、2. スプレー、噴霧器、香水吹き、その液、散布剤), spray (1. (葉・花・実などのついた) 小枝、2. (宝石などの) 小枝飾り (模様)), spread [「広げ伸ばす」が原義] (1. ~を広げる、(人・動物・木などが手・枝などを) 伸ばす、~を~の状態に広げる、2. 薄く塗る、薄く広げる、3. 食卓に料理を並べる、4. (種子・肥料などを) ~に散布する、5. 期間を引き延ばす、~の間隔をあける、6. (釘の先端などをハンマーで) 平に打つ伸ばす), spree (浮かれ騒ぎ、酒盛り), sprig (1. 小枝、若枝、2. 小枝装飾、3. (貶して) ~の出、子孫、若者、青二才、4. (錫製の) ガラス止め), spring [「突然飛び出す」が原義] (1. 春、春期、2. 初期、青春期、3. 泉、水源地、源、起源、根源、原動力、動機、活力、4. ばね、ばね仕掛けの、(足取りの) 軽快さ、5. 跳ぶこと、跳躍、6. (板などの) 反り、歪み、ひび、割れ (避け) 目), springe (小動物用の罟), sprinkle [「斑点をつける」が原義] (1. ~を (一面に) 蒔く、振りかける、散水する、撒く、撒き散らす、2. 散在させる、鏝める), sprint ((短距離を) 全速力で走る), sprit ([海事] 斜桁), sprocket ([機械] スプロケット), sprout (1. 芽、若芽、新芽、若枝、側根、2. 若者、3. 芽キャベツ), spruce (1. エゾマツ、トウヒ、2. トウヒに似た常緑樹の総称), spruce ((男性について言うことが多い) 着こなしがいい、小奇麗な、洒落た), spry ((老人などが) 元気な、活動的な、かくしゃくした), spud (1. スパッド (除草用の小鋤)、2. ジャガイモ), spume ([文語] 泡), spunk (1. 火口、つけ木、2. 勇気、気力), spur [「ひづめで蹴る」が原義] (1. 拍車、2. (比喩的に) ~に対する拍車、刺激、動機、3. (鳥の) 蹴爪、(闘鶏の) 鉄蹴爪、(蹴爪のような) 鋭く突き出たもの), spurge ([植物] タカトウダイ), spurious (1. 偽の、不純な、まがい物、いりか減な、2. 非摘出の、私生児の、3. [植物] (機能・形態上) 擬似の、仮の), spurn (1. ~を跳ねつける、拒絶する、2. [古語] ~を足蹴りにする、踏みつける), spurt (1. ~から迸り出る、噴出する、2. ~を目がけて疾走する、スパートをかける), sputter (1. ~に早口で言う、咳き込んで言う、口ごもる、どもる、2. パチパチ (ブツブツ、ブルブル) という音を発てる、(蝋燭が) パチパチという音を発てて消える、(騒ぎなどが) 徐々に収まる), spy [「隠れたものを」見つける]が原義] (スパイ、密偵、間諜、(市立) 探偵、スパイ行為),

[s p h] = [p h]

【ギリシャ語】

σ φ α γ ι α ζ ω (屠る、犠牲を捧げる), σ φ α δ α ζ ω, σ φ α δ α ι ζ ω (痙攣するようにぴくぴく動く、もがく、苛々して地団太を踏む、ジリジリする、駆り立てられる、躍起となる), σ φ α ι ρ α (①毬、球、球体、②ボクシングの練習用具), σ φ α κ ε λ ι ζ ω (壊直を病む), σ φ α λ ε ρ ο ζ (①躓かせる、誤らせる、危険な、②今にも倒れそう

な、よろめく、不安定な、不確かな), σφασσω ((犠牲獣の) 喉を切る、屠る、殺す), σφενδοναω (投石器を用いる), σφετερίζω (我が物にする、横領する), σφετεροζ (①彼らの、彼ら自身の、②彼の、彼女の), σφεκοω (腰を縛って蜂のように細くする、しっかりと結ぶ), σφηνωω (楔(栓)で塞ぐ、閉じる), σφίγγω (①固く締め付ける、しっかりと閉じる、しっかりと握り締める、②一緒に縛り上げる、一つに束ねる、③縮みあがらせ), σφάδρα (非常に、強く、しっかりと、全く、酷い、大いに、甚だしく、充分に、過度に、正に、性格に、はっきりと、勿論、その通り), σφραγίζω (①封印する、封印して格納する、②確認の印して印を押す、商人する、保証する、③委ねる、手渡す、④印をつける), σφραγαω (①はちきれそうである、張り切っている、②若々しい、血気に満ちている、強壯である、③いきり立つ、思い上がる), σφύρα (槌、ハンマー、鶴嘴), σφύρον (蹀),

【英語】

sphagnum ([植物] ミズゴケ、泥炭ゴケ), sphere [[球] が原義] (1. [幾何学] 球、球形、球体、球面、2. [天体] 天体、惑星、天球、天体儀、3.天、天空、空、4. (活動・勢力などの) 範囲、領域、本分、本領、5.地位、身分), sphincter ([医学] 活動筋), sphinx (スフィンクス),

[s r] => [r]

【ギリシャ語】

[s q] => [q] 【日本語】 こぶし、【漢字】 拳、

【ラテン語】

squaleo (1.でこぼこ(ざらざら)している、鱗状である、2.手入れされていない、汚い、不潔である、3. (土地が) 荒れ果てている、不毛である、4.陰気である、暗い、5.喪服を着ている), squama (1. (魚・蛇などの) 鱗、[詩] 魚、2.こざね鎧の金属板、3.鱗片、薄片、4. [病] 白内障、そこひ、5. (語り口が) ごつごつしている), squatina ([動物] カサザメ),

【英語】

squab (1. (羽根の揃わない) ひな鳥、ひな鳩 (食用)、2.太って背の低い人、ずんぐりした人、3.柔らかいクッション、ソファ), squabble (小競り合い、口げんか、口論), squad (1. [軍隊] 分隊、班、2.チーム、一団、3.体操チーム), squalid (1.不潔な、むさくるしい、2.下劣な), squall (1.突風、疾風、スコール、2. (一時的な) 騒ぎ), squall (金切り声をあげる), squama ([動物] うろこ、[植物] 鱗片), squander ((時・金などを〜に) 浪費する), square [[「四角にする」が原義] (1.正方形、四角、四角いもの、(将棋盤などの) 目、ます、2. (四角い) 広場、3. [数学] 平方、2乗、4.直角定規、曲尺), squash (1. (物を過って〜の上で) 押しつぶす、〜を踏んで〜にする、2.〜を押し(詰め)込む、3. (暴動などを) 抑える、鎮める、(人を威圧的に) 黙らせる、やり込める), squash (瓜の類、カボチャ), squat (1.しゃがむ、蹲る、2.座る、3. (動物が) 身を潜める、地に伏す、4.未開地(公有地・家屋)に不法に居座る、無断で居住する), squaw (1. (北米) インディアン(の妻(女))、2. (貶して) 女々しい男、3.内のかみさん、老夫人), squawk (1. (鳥が) ガーガー啼く、2. (人が) ブーブー不平を言う、やかましく抗議する), squeak [擬声語] (1. (ネズミなどが) チューチュー鳴く、(車輪・楽器・ベッドなどが) キーキー鳴る、軋む、2.密告する、告げ口する、裏切る、3.辛うじて成功する、やっと逃げおおす), squeeze [[「表面に圧力を加えて」押し] が原義] (1. (人が〜を両側から) 圧搾する、締め付ける、〜をこねる、2〜を絞る、〜を〜から搾り出す、3.〜を〜から捻り出す、4.〜を(意味ありげに) 強く握る、〜を抱擁する、5. (銃の引き金を) ぎゅっと引く、6.〜から強要する、搾り取る、7. (〜の中へ無理に) 押し込む、押し進める), squeich [擬声語]

(1.~を押し潰す、ペチャンコにする、2.~を抑える、~をやり込める、黙らせる), squib (1.線香花火、爆竹、かんしゃく玉、2.ピストル、鉄砲、3. (軽い) 嘲笑、皮肉、当てこすり、風刺文、4.短評、駄文、埋め草、5.とるに足りない人・物), squid (〔動物〕ヤリイカ), squiggle (1.のたくる、もがく、2.走り掻きする), squint (1. [医学] 斜視、やぶにらみ、2. (妬み・悪意などの) 横目、流し目、盗み目、3.一瞥、4.~への歪んだ傾向、性癖), squirm (1. (人・虫などが) 身をよじる、もがく、(退屈して) ごそごそする、2.くねりながら進む、なんとか~から逃れる、3. (当惑・心配などで) もじもじする), squirrel (〔暗色の尾の動物〕が原義) (リス), squirt (1.~を~から噴き出させる、吹きかける、~に水を浴びせる、2. ~を注ぎ込む),

[s t] => [t] 【日本語】 立つ、佇む、【漢字】 佇、
(二本足で立つこと)
(二本足で歩行すること)

【ラテン語】

stabilio (1.安定させる、固定させる、2.強固にする、確立する), stabulo (1. (家畜を) 小屋で飼う、2. (家畜・野獣などが) 埒 (巢) にする), stadium [ギリシャ語] (1.スタディオン (ギリシャの長さの単位: 約 190メートル)、2.競走路), stagno (1. (水が) 流れない、澱む、溜まる、2. (場所が) 水浸しになる、水に覆われる、3.氾濫させる、水浸しにする), stagno (1.錫鍍金をする、2.強く (強固に) する), stalagmium [ギリシャ語] (耳飾、耳輪), stamen (1.縦糸、2. (糸巻き棒の) 織り糸、3. (運命の3女神 Parcae が紡ぎ、長さを定め、断ち切る) 人間の寿命の糸、4. (一般に) 糸、(楽器の) 弦、5. (神官の) 神紐、6. [植物] 雄蕊 (ゆうすい)、おしべ), stannatio (煉瓦積みの壁の) 目地塗り), stannum (1.銀と鉛の合金、2.錫), stapes (〔解剖学〕あぶみ骨、鐙骨 (とうこつ)), staphis [ギリシャ語] ([植物] ヒエンソウ属の植物), staphyle [ギリシャ語] ([植物] 白ブリオニア), staphylinus [ギリシャ語] ([植物] 人參の一種), staphylodendron [ギリシャ語] ([植物] ミツバウツギ属の低木), staphylima [ギリシャ語] ([病] (目の) ブドウ腫), stapia [碑] ((馬につける) あぶみ), stasis [ギリシャ語] ([病] 血行停止、鬱血), Stata [ギリシャ語] (スタタ (火事を防ぐ女神)), statarius (1. (兵士が戦列持ち場を) しっかり持ちこたえている、動じない、2. (俳優・弁士が) 落ち着いた、平静な), stater [ギリシャ語] (1.重量単位、2. (ユダヤ人の) 銀貨), statera [ギリシャ語] (1.棹計り、2.値打ち、値段、3. (戦車の) ながえ), statice [ギリシャ語] ([植物] ハマカンザシ、アルメリア), staticulum (1.小像、2.偶像、神像), staticulus (滑稽な身振り), statim (1.断固として、しっかりと、2.定期的に、常に、3.直ちに、その場で、4.当然の帰結として、必然的に), statio (1.立って (静止して) いること、2.定位置、持ち場、3.滞在地、居住地、休憩所、宿泊所、4.停泊地、錨地、5.歩哨に立つこと、哨戒、6.別働 (分遣) 隊、7. (属州の財務官の) 役所、官舎、8.宿駅、9. (キリスト教徒の) 集会 (場)), stativus (1.静止している、(水が) 澱んでいる、2. (陣営・要塞などが) 常設の), stator ((属州総督の) 従者、使者), Stator (スタトル (戦場で敗走しかかった兵士たちを) 食い取める者; Juppiter の呼称の一つ), statua (1.彫像、塑像、2.円柱), statumen (1. (ブドウの蔓の) 支柱、添え木、2. (舟の) 肋板、3. (舗床の) 下地、基層), statuo (1.立たせる、立てる、2.据える、配置 (配備) する、3.建てる、建設 (建立) する、4.確立する、設ける、5.定める、決定する、6.決心する、7.判断する), status (1.立っていること、姿勢、態度、2.背丈、高さ、3. (占めている) 位置、場所、地位、立場、4.状態、状況、(取り巻く) 環境、事情、5.政体、6.論争 (係争) 点、争点、7. [文法] 法), stega [ギリシャ語] ((船の) デッキ、甲板), stela [ギリシャ語] (石板、石柱、墓碑), stelis [ギリシャ語] ([植物] ヤドリギ), stella (1.星、2.星座、3.星形のもの、4. [動物] ヒトデ、5.海の星 (聖母マリア)), stellans (1.星を鏤めた、2. (星のように) きらめく、輝く、3.星の形をした), stellatus (1.星を鏤めた、星で飾った、2.星 (星座) に変えられた、3. (星のように) 輝いている、煌く、4.星状に配列された), stellio (1. [動物] ヤモリ、2. ずる賢い人), stemma (1. (先祖の像にかける) 花輪、2.系図、系譜、血統、3.古い起源、高貴), stenocardia ([医学] 狭心症), Stentor [ギリシャ語] ([伝説] ステントー (50人分に匹敵する大きな声量の持ち主)), stercorarius (糞便の、肥料の), stecoratio (肥料をやること、施肥), stercoreus (1.糞便の、2. (罵りの言葉として) 糞つたれの), stercorosus (1.糞だらけの、不潔な、2.よく施肥された), stercus (1. (家畜の) 糞、2.肥やし、肥料、厩肥、3. (金属の) 浮き滓、ドロス), stergethron [ギリシャ語] ([植物] 惚れ薬 (媚薬に用いられた植物; ベンケイソウ科クモバンダイ属の草本か)), sterileo

(1. (土地が) 不毛になる、やせる、2.生殖力(繁殖力)がなくなる、3.むなしくなる), *sterilis* (1.不妊の、生殖力(繁殖力)がない、2.不毛の、収穫(実り)のない、3.不毛にする、実りをなくさせる、4.収益のない、無駄な、5. (～を) 欠いた、(～に) 乏しい), *sternax* (1. (馬が後足で立って乗り手を) 振り落とす、2.平伏している), *sterno* (1. (地面などに) 広げる、伸ばす、2.横たえる、這い蹲らせる、3. (石・煉瓦・木などを道・床に) 敷く、舗装する、張る、4.撒き散らす、覆う、5.打ち倒す、倒壊させる、うち負かす、6.鎮める、7. (馬に) 鞍を置く), *sternum* (1. [解剖学] 胸骨、2. [動物] (昆虫・甲殻類の) 胸片、胸板、腹板), *sternumentum* (1.くしゃみ、2.くしゃみ誘発薬), *sternuo* (1.くしゃみをする、2. (燈火が) ぱちぱち音を発てる、3. (同意・前兆を) くしゃみをして示す), *sterto* (駢(いびき)をかく), *stibadium* [ギリシャ語] (半円形の食食用臥台), *stibi* [ギリシャ語] (アンチモン(その粉末で女性が睫や眉を黒く染めた; 目薬様の軟膏としても用いられた)), *stigma* [ギリシャ語] (1. (奴隷・罪人に押された) 焼印、烙印、2.汚名、恥辱、3. (下手な床屋がつけた) 顔の切り傷、4. [聖] (喪の印としての) 入墨、5. [病] 小紅斑、出血斑、6. [動物] (昆虫・蜘蛛類などの) 気門、気孔), *stilla* (したたり、雫、一滴), *stillarium* (余禄、おまけ), *stillatio* (したたり落ちること、滴下), *stillicidium* (1.したたり(落ちる液体)、雫、点滴、2.雨だれ、3. (雨水を落とすための) 屋根の傾斜、水取り(勾配)), *stillo* (1.したたる、したたり落ちる、2.したたらせる、3. (感情・考えなどを心に) 染み込ませる), *stilo* ((種子が発芽して) 茎ができる), *stilus* (1.杭(状のもの)、2. (植物の) 茎、3. (蝨版に書くための鉄または骨製の) 尖筆、4.文字書くこと、文章を綴ること、5.筆致、文体), *stimulatio* ((人)を行動に駆り立てること、鼓舞), *stimulo* (1. (突き棒で) 駆り立てる、2.苦しめる、悩ます、3.刺激する、唆す、使喚(しそう)する), *stimulus* (1. (家畜・奴隷などを駆り立てる) 突き棒、2. [軍隊] (地面に埋め込んだ) 先端の尖った杭、3.責め苦、苦痛、苦悩、4.駆り立てるもの、刺激), *stinguo* (消す、消滅させる), *stipamen* (群集、人波), *stipatio* (1. (王・高官などの) 従者、随行員の一同、2.群れ), *stipendialis* (貢物の、貢納の), *stipendior* (1. (兵士が) 俸給を受けて軍務に服している、2. (金銭で) 貢納(納税)する義務のある), *stipes* (1. (樹木の) 幹、切り株、2. [詩] 樹木、枝、3. (棒) 杭、棍棒、4. (罵り言葉で) でのぼう、ばか), *stipo* (1.密集させる、(ぎっしり) 詰め込む、2. (ひっきりと) 取り囲む(巻く)), *stips* (1. (少額の) 貨幣、小銭、2.寄付(金)、喜捨、施し、3. (僅かの) 謝礼、報酬), *stipula* (1. (穀類などの) 茎、藁、2. (穀物などの) 切り株), *stipulatio* (口頭で借り手から弁済の誓約をもとめること、(借り手が誓約したのちに交わされる) 契約、約定), *stiria* (氷滴、つらら、鼻水), *stirpitus* (1.根こそぎに、2.根本的に、完全に), *stirps* (1.茎、幹、株、根、2.若枝、木、3. 起源、根幹、根源、4.家系、血統、5.子孫、後裔), *stiva* ((鋤)の柄), *stlatta* (大型貨物船の一種), *sto* (1.立つ、立っている、2. (経て意・軍勢が) 部署(持ち場)に就く、持ちこたえる、3. (船舶が) 停泊(投錨)している、4. (町・建造物が) 建設される、存立している、5. (槍・矢が) 突き刺さっている、6. (髪が) 逆立つ、7.～で一杯である、たち籠めている、8.留まって(動かないで) いる、9. (考え・気持ちなどが) 変わらない、定まっている、10.～に依存する、～次第である、11. (約束・協定などを) 守る、誇示する、12.～の側に立つ、味方する、13. (芝居などが) 好評である、14. (費用が) かかる、15.ある人のせい(おかげで)で(～でない(ある))), *Stocie* (1.ストア学派のように、2.禁欲的に、平静に), *stola* [ギリシャ語] (1.衣服、2.ストラ(ローマの良家の既婚女性が着用した丈の長い外衣)、3. (ローマの) 良家の既婚女性、4. [カトリック] ストラ(祭服の一部; 首から膝下まで垂らす長い帯ひ状の肩掛け)), *stolide* (愚かしく、無分別に), *stolidus* (1.愚かな、鈍い、2.無骨な、粗野な、3.不活発な、緩慢な), *stolo* ((根株や茎から生じる無駄な) 吸枝、若枝), *stoma* [ギリシャ語] (1. [解剖学] 小口、2. [植物] 気孔), *stomacace* [ギリシャ語] ([医学] (歯肉に症状が現れる) 壊血病), *stomachanter* (怒りっぽく、気難しく), *stomachicus* [ギリシャ語] (胃病の), *stomachor* (1.憤る、不快である、2.言い争う), *stomachus* [ギリシャ語] (1.食道、2.胃、3.趣味、好み、機嫌、4.苛立ち、不機嫌), *stomatice* [ギリシャ語] (口中の腫れ物のための薬、口の薬), *stomatitis* ([病] 口内炎), *stomadaeum* ([動物] 口陥), *storea* (むしろ、蓐座), *strabismus* (斜視、やぶ眺み), *strages* (1.破滅、荒廃、2.殺戮、皆殺し、3.瓦礫(の山)、残骸、4.黒々と続く死骸), *stragula* (1.覆い、カバー、2.棺衣、屍衣、3.馬衣), *stragulum* (1.覆い、敷物、2.馬衣、3.屍衣、棺衣), *stragulus* (広げることの出来る), *stramen* (1.敷き藁、屋根葺き藁、2.藁(草・葉)の寝床), *strangulo* (1.首を絞める、絞め殺す、2.息を詰まらせる、窒息させる、(成長を) 妨げる、3.苦しめる), *stranguria* [ギリシャ語] ([医学] 有痛排尿困難), *strata* (舗装された街路、舗道), *stragema* [ギリシャ語] (1.戦略、軍略、2.策略、はかりごと), *strategus* [ギリシャ語] (1.指揮、指揮官、2. (宴会を) 取り仕切る人), *atiotes* [ギリシャ語] ([植物] 水草の一種(ポタンウキクサか)), *stratioticum* (目薬の一種), *tratioticus* [ギリシャ語] (兵士(軍隊)の), *strator* (1.馬丁、厩番、2. (器を) 傾ける者、3.牢番), *stratum* (1.寝具、夜具、2. 寝床、ベッド、3.鞍敷き(鞍の下に敷く厚手の布)、馬衣、4.舗装、5. [生物] (組織) 層), *stratura* (1.舗装工事、2. 敷石、床貼り材、3.積み重なった厩肥), *stratu*

s (1.広げること、2.寝具、絨毯), *strena* (1.前兆、(特に) 吉兆、2. (新年の) 贈り物、お年玉), *Strenia* ([神話] ストレニア (健康を司る女神)), *strenue* (熱心に、活発に、勢いよく), *strenuus* (1.熱心な、活発な、精力的な、2.騒ぎを起こす、3. (薬・毒が) 速効性の), *strepito* (大きな物音を発てる、騒がしい), *strepo* (1.大きな (騒がしい) 音を発てる、2.喚く、叫ぶ、3.鳴り響く、轟く、4.騒音で満たす), *stria* (1.溝、畦、2. (円柱の) 縦溝、溝彫り、3.衣服の縷、プリーツ、4. [解剖学] 線、線条), *stricte* (1.固く、きつく、2.簡潔に、3.正確に), *strictim* (1. (体に) ぴったりと、きつく、しっかりと、2.ざっと、簡潔に、おざなりに), *strictio* (1.締め付けること、2.厳しさ、厳格), *strideo* (1.キーキー (ぎしぎし) と音を発てる、軋る、軋む、2.ひゅーひゅー (ぶんぶん) と音を発てる、3.じゅーじゅーと音を発てる、4. (人・楽器・鳥が) 甲高い音を出す), *striga* (1.干草の列、2. 縦長の土地、3. [軍隊] 幕舎間の通路), *striga* [ギリシャ語] (子供に危害を加える魔女), *strigilis* (1. (入浴後に使う) 垢摺り器、2. [建築] (円柱の) 縦溝装飾、3. [医学] 点耳薬を敵下する器具), *strigo* (停止する、止まる), *strigosus* (1.痩せた、骨と皮だけの、2. (語り口が) 無味乾燥な、そっけない), *stringo* (1.きつく締める (縛る)、2. (葉・果実などを) むしる、摘む、3. (件などを) 鞆から抜く、鞆を払う、4.掠り傷を負わせる、5.掠める、(軽く) 触れる、接する), *strix* [ギリシャ語] (1. ミミズク的一种 (子供の生き血吸うと考えられた)、2.魔女), *strobila* [ギリシャ語] ([動物] 1. (条虫の) 欠節連体、2.横分体), *strobilus* [ギリシャ語] ([植物] 1.松の実、松かさ、2.球果), *stroma* [ギリシャ語] (1.ベッドの上掛け、2.雑録、3. [医学] 支質、間質), *strophā* [ギリシャ語] (1.コロス (合唱歌舞団) が左方回転しながら歌う一節、2.離れ業、見物、3.ごまかし、言い抜け、口実), *strophium* [ギリシャ語] (1.胸帯 (女性の胸を支えるための帯)、2.頭に巻く布、鉢巻、3.太綱、ロープ), *strophoma* [ギリシャ語] ([医学] 疝痛、腹痛), *strophosus* (策略をめぐる), *structio* (1.建築、建造、2.山積み、3.教化、4.準備), *structura* (1.建築、建物、建築術、2.石 (煉瓦) 造り (の建物)、3. (語の) 配列、(文章などの) 構成、構造), *structus* (1.生前とした様子、威儀、2.堆積、山積み), *strues* (1.積み上げた山、堆積、2.密集、塊り、3. (積み重ねた) 小さな供物菓子), *struma* ([医学] 瘰癧、腺病、甲状腺腫), *strumus* ([植物] 1.キンボウゲ、2.茄子属の植物の一種), *struo* (1.積み、積み上げる、並べる、2.建設する、建てる、作る、3.配置 (配列) する、4.用意す (支度) る、5.企む、企てる、引き起こす、6. (語を) 配列する、(詩文を) 作る、綴る、7. (知識などを) 与える、教える), *strutheus* [ギリシャ語] (雀の), *struthio* [ギリシャ語] (ダチョウ), *struthion* [ギリシャ語] ([植物] シャボン草), *strychnos* [ギリシャ語] ([植物] 茄子科の植物 (イヌホオズキなど)), *studeo* (1.〜に専念 (熱中) する、得ようと努める、熱心に求める、2.〜に味方する、支持する、好意をもつ、3.学問する、研究する), *studium* (1.熱意、熱心、欲求、欲望、2.愛着、愛情、好意、3.支持、党派心、4.関心事、好きな仕事、趣味、5.勉強、研究、学問), *stulte* (愚かに), *stultus* (ばか、まぬけ、愚か者), *stupeo* (1.ぼうっとする、呆然とする、びっくり仰天する、2.動かなくなる、止まる、弱まる), *stupidus* (1.感覚のない、呆然とした、2.愚かな、鈍い), *stuppa* [ギリシャ語] (1.麻くず、トウ (燃り糸・詰め物などに用いられる麻くず)、ぼろ布、2.蠟燭の芯), *stupro* (1.陵辱 (強姦) する、辱める、犯す、密通する、2.けがす、冒瀆する), *stuprum* (1.恥辱、譜面目、2.密通、陵辱), *Stygius* (1. *Styx* (三途の) 川の、冥界 (地獄) の、2.死の、致命的な、不気味な), *styrobates* [ギリシャ語] ([建築] ステュロバテス、土台床 (この上に列柱が建つ)), *styloglossus* ([解剖学] 茎状突起舌の), *stymma* [ギリシャ語] (芳香を保つために添加する軟膏の濃化油), *Stymphalis* (*Stymphalus* の森の鳥 (青銅の翼をもつ猛禽で大群をなして住民を苦しめていたが *Hercules* に退治された)), *stypteria* [ギリシャ語] ([化学] 明礬 (みょうばん)), *stypticus* [ギリシャ語] (収斂性の), *styrax* [ギリシャ語] (1. [植物] エゴノキ、2.エゴノキから採取される芳香性樹脂), *Styx* [ギリシャ語] (1.ステュクス (*Arcadia* の泉、有毒の冷水が湧き出たという)、2.三途の川、黄泉の国の川、3.外科医、黄泉の区荷、冥府),

【ギリシャ語】

σταγών (雫), *σταδίων* (①距離の単位、②競技場、競争、③平坦な開けた場所), *σταζω* (①滴らせる、②〜を〜で滴り濡らす、③ (果実などが熟して) 落ちる), *σταθευω* (焼く、炙る), *σταθμαω* (①計測する、測定する、②商量する、推量する、考慮に入れる、問題とす), *σταθμίων* (秤), *σταθμός* (①家畜小屋、農場、隠れ場所、住居、②宿場、(ペルシャ王の) 王室用宿場、その宿場と宿場との距離、③柱、戸柱、④秤、重さ、目方), *σταμνος* (①澗を沈殿させるための) 酒甕、壺), *στασιαζω* (党派争いをする、争う、党派争いで混乱している、意見を異にする、内乱状態になる、革命騒ぎになる), *στασιμος* (静止している、見ずが淀んだ、安定した、(人などが) しっかりした), *στασις* (1. 置く事。目方を量ること、2. ①経っていること、動かないこと、静止、②立っている場所、立つべき場所、場所、位置、方位、姿勢、格好、③集まったもの、仲間、一群、党派、徒党、④党派争い、内輪もめ、内紛、内乱、争い、(意見などの) 不一致), *σταυρος* (①杭、塞柵、②十字架), *στα*

φύλη (水準器 (の鍾)), σταχύς (①穀物の穂、②若枝、子供、子孫), στεγανός (①すっぽりと覆う、(特に) 水の入らないように覆う、防水性の、②蔽われた、根のある、囲まれた), στειβώ (踏み、踏みつける、踏み行く), στεινοός (①狭い場所、②苦境、窮地), στεινώ (狭める、一杯にする), στειχω (歩く、進む、行く、来る、出かける), στελλω (【P】①準備のできた状態に置く、準備を整えさせる、準備する、②送り出す、派遣する、追い返す、③呼び寄せる、取り寄せる、呼びにやる、連れて行く、④ (帆を) 畳む、【M】①纏う、身に付ける、②抑える、控える、③避ける、【P】手を染める。取り掛かる), στενοός (①狭い、②卑小な), στεργω (①愛する、愛着を感じる、好む、好する、慈しむ、愛おしむ、最良にする、心に向ける、優しくする、大事にする、大切に保つ、多とする、②満足する、耐える、従う、盲従する、黙過する、甘受する、諦める、諦観する、③望む、懇願する), στερεοός (①固い、しっかりとした、丈夫な、固体の、激しい、②難しい、困難な、残酷な、③【数】立体の), στερησιός (①取ってくる、剥奪、奪取、②喪失、欠如), στερνον (胸、心、心情、内心、感情), στευμαί (～しようという意思を表示する、断言する、約束する), στεφανη (①縁、②兜の縁、兜、③飾り冠、髪飾り、冠、④弾劾の縁), στεφανω (①周りを取り巻く、② (冠、花輪などを) 被せる、③栄光で包む、栄誉を与える、褒賞として与える、④灌奠を注いで崇める), σθηθος (①胸、②内心、心、感情、智、思慮), σθηλη (①支の石、石柱、②墓石、③種々の記録を刻んだ石碑、そこに刻まれた碑文、④気迂回を示す標柱、競争馬の折り返しの標柱), σθηριός (①しっかりと支える、固定する、②力づける、励ます), στιός (①刺青をする、焼印を押す、②句読点をつける), στιλω (びかびかに光る、輝く), στιλη (一滴、ほんの僅か), στιχοός (列、線、隊列、(詩の) 行、句), στιγγιός (①入浴時など垢や脂などを削り落とすための道具、②髪飾りの一種), στοα (①屋根のある柱廊、柱廊のある建物、②穀物倉庫), στοιχειον (①日時計の指柱の影、②単音、字母、③基本的構成要素、基本、基礎、④世の諸々の霊の力), στοιχεω (①横列をなして進む、②～にしたがって (跡を追って) 進む), στολιός (身に付けさせる), στομα (①口、②先端、頂上、切っ先、最前線), στομαχοός (咽喉、食道、胃), στρεβλω (①振る、ねじ曲げる、ウィンチのようなもので強く引く、②拷問に乗せて体を引き伸ばす、拷問にかける), στρευομαι (疲れ果てる、萎え衰える、苦悩する), στρεφω (①別の方向に向ける、転ぜしめる、②回す、回転させる、旋回させる、③ひっくり返す、④変える、～となるように変える、⑤捻じ曲げる、曲げ、(苦痛が) 振りあげる、苛む、捻挫させる、⑥編む、⑦心の中で考え巡らす、⑧返却する), τροφη (①回ること、回すこと、旋回、循環、変動、②身を躲すこと、言いぬけ、言葉巧みなこと、③合唱隊が歌う一節), στρυφνοός (① (味が) 刺激的な、酸い、② (気性などが) 激しい、厳しい), στυγεροός (①憎むべき、憎らしい、厭わしい、忌まわしい、呪わしい、呪われた、恐ろしい、おぞましい、②惨めな、酷い), στυποός (幹、切り株), στυραξ (石突き、槍の柄), στυφελιός (①強く打つ、追いやる、②酷い目に合わせる), στυφω (引き寄せる、縮める), στυω (固くする、勃起させる), στωμυλλω (べらべら喋る。饒舌である),

【英語】

stab 「杭を突き刺す」が原義 (1. (尖ったもので) 刺す、(物を～で) 突き刺す、2. (指などを～で) 刺す、3. (比喩的に) ～を鋭く傷つける), stable 「[じつと立つところ] が原義 (1.安定した、びくともしない、2.一定の、不変の、3.堅忍不拔な、断固とした、4. [化学] 変質 (分解) しにくい), stable (1.馬小屋、2. (競馬用) 厩舎、競走馬、3. (目的を同じくする) 一群、一連、集まり、訓練施設、クラブ、～団). stack (1.干草 (麦わら) の山、柴の山、2. (きちんとした) 積み重ね、堆積、～の山、多数、多量、3.スタック (木の軽量単位)、4.又銃 (銃3丁を銃口をそろえてピラミッド型に組み立てること)、5. (図書館の) 主要書庫、書架、6.一群の煙突、7. (空港上空で) 浅海待機中の飛行機群), stadium (1.競技場、野球場、2. (古代ギリシャの、馬蹄形で観客席が周囲にある) 徒歩競技場、3.スタディオン (古代ギリシャの長さの単位)), staff 「[支えるもの] が原義 (1.職員、部員、局員、社員、[軍隊] 参謀、幕僚、2. [古語] 杖、棒、支え、(頼りに) なるもの、棹、3. 測量棒、準尺、4. [音楽] 譜表、五線、5. (単線鉄道の運転手に渡される) 通票), stag (1. [動物] 雄鹿、2.ニワトリの雄、去勢したブタ、3.男だけの), stage 「[立っている場所] 原義 (1.舞台、ステージ、2. [文語] (活動の) 舞台、場所、3. (発達・発展などの) 段階、時期、4. (昔の) 駅馬車、宿場、宿駅、(宿場間の) 旅程、行程、(バスの同一料金の) 区間、5.波止場、棧橋、足場、(顕微鏡の) 載せ物台、(温室の) 植物を置く台、6. (ロケットの) 段、(建物の) 階、層、[地質] (期に対応する) 階、(川の) 水位), stagger 「[押す] が原義 (1. (人などが) よろめく、ふらつく、2.～に躊躇う、躊躇する、動揺する、怯む、たじろぐ), stagnant (1. (水などが) 流れない、澱んだ、(澱んで) 悪臭を放つ、2.停滞 (沈滞) した、不景気な、3.鈍い、ぼんやりした), stain 「[色がつくこと] が原義 (1.～についた汚れ、染み、2. [文語] ～の汚点、きず、3.染料、着色剤), staire 「[登る段] が原義 (1. (階段の) 1段、2. (階と階を結ぶ) 階段、梯子段、3. (比喩的に～への) 階段、道), stake 「[刺すもの] が原義 (1.杭、杵、(トラックなどの荷物を支える) 柵柱、2.火刑柱、火刑、ひあぶりの刑、3. (支柱で固定された) 小銭敷、4.モルモン教の教区、5.賭、掛け金、賞金、賭け競馬、6.物質的援助、7.～への利害関係、関心), stale 「[(酒などが) 熟

成した」が原義] (1. (食物が) 新鮮でない、古くなった、2. (考え・表現などが) 陳腐な、面白味のない、3. (人・馬などが過労・休みすぎで) 生気がない、(運動選手などが練習しすぎで) 不調の、4. [法律] 期限切れで失効した), stalk (1. 大股で(もったいぶってゆっくりと) 歩く、闊歩する、2. 獲物をそっと追う、そっと近づいて仕留める、3. [文語] (疾病などが) 蔓延る、静かに広がり始める), stalk (1. [植物] 茎、幹、花柄、花梗、葉柄、2. [動物] (ザリガニの目などの) 茎状部、肉茎、3. (ワイングラスなどの) 脚、4. 工場の高い煙突), stall [「ある物を置く場所」が原義] (1. ストール、馬房、牛房、2. 露天、(市場・駅などの) 売店、3. (劇場の最前列の1等席の) 部分、4. 大教会の内陣の仕切り席、聖職者(聖歌隊) 席、貴賓席、主席牧師の任期、5. 狭い仕切りの部屋、6. 指サック、7. (飛行機の) 失速、(車の) エンスト、停止), stall (口実、ベテン、方便), stallion ([動物] (成長した) 種馬), stallwart (1. [文語] 頑健な、丈夫な、勇敢な、2. 断固とした、不屈の、愛党心の強い), stamen ([植物] 雄ずい), stamina ((おどけて疲労などに耐える) 根気、気力、スタミナ), stammer [「口ごもる」が本義] ((恐怖・当惑などで) どもる、どもりながら言う), stamp [「足で踏む」が原義] (1. 切手、印紙、証紙、景品引換券、2. 封印機、打ち型、砕鋳機、3. 刻印、(郵便の) 消印、押し型による模様(文字)、4. 痕跡、特質、特徴、5. 種類、型、タイプ、6. 足で踏みつけること(音)), stampe (1. (家畜などが) 驚いて一斉に集団暴走すること、(人が) 右往左往して逃げ惑うこと、2. 殺到、多数の), stance (1. (ゴルフ・野球) 打者の足の位置、スタンス、2. 構え、立場、態度、3. バス停留所), stanch (1. (血を) 止める、(傷口の) 血を止める、2~を止める、抑える.), stanchion (1. 梁柱、支柱、2. (牛舎の) 仕切り棒、3. 交通標識), stand (1. 立っている、立つ、2. 立ち上る、起立する、3. (物が) 立っている、(立てて) 置いてある、4. (建物・町などが) 位置する、ある、5. (人や物が) ~の(状態・関係・立場) である、6. ~の身長であ、(物が) ~の高さである、7. (温度計の針などが) ~を示す、(得点・値段・水準が) ~である、~に達する、8. (賛成・反対の立場を) 取る、主張をする、9. (人・車などが) 立ち止まる、(機械・車などが) 停止している、(車・列車などが) 一時停止する、10. (規則・決心などが) 変わらないでいる、元のままである、有効である、11. (建物などが) 持ちこたえる、12. (水などが) 澱む、流れない、13. [海事] 針路をとる、14. (賭けや投機などで) ~しそうである、15. 立候補する、16. (犬が) 獲物の居場所を示す), standard [「集まる場所を示す旗」が原義] (1. 基準、標準、規範、規格、2. (度量衡の) 基準単位、原器、3. (貨幣制度の) 本位、(硬貨中の) 金の法定成分、4. 旗、王旗、軍旗、団体旗、5. まっすぐな支柱、(物を載せる) 台、真っ直ぐな水道管、6. [植物] 真っ直ぐな立ち木、立ち木作り、旗弁、7. スタンダード(材木の容積単位)), staple (1. U字型の釘、かすがい、2. ステップル), staple (1. 主要産物、特産物、2. 要素、中心話題), staple (1. (羊毛・綿の) 機械、2. スフ、3. 原材料), star (1. 星、[天文学] 恒星、2. (芸能界などの傑出した) スター、花形、(芸術・学問などの) 大家、大立者、3. 星周り、運勢、運命、4. 星形のもの、星章、星形の勲章、5. (馬の額の) 白星、6. [文語] 高嶺の花、7. 重罪の囚人), starch (1. 澱粉、2. 洗濯用海糊、3. 澱粉を多く含んだ料理(食品)、4. (態度などの) 堅苦しさ、形式張ること、5. 活力), stare [「一箇所をじっと見る」が原義] (1. (驚き・恐れで) 大きく眼を見開いてじっと見詰める、じろじろ見る、睨む、2. (ものごとが) 目立つ、けばけばしい), stark (1. (死体が) 硬直した、強張った、2. 真正銘の、(描写などが) ありのままの、剥き出しの、3. 場所などが) 不毛な、荒涼とした、4. 全くの、厳しい、激しい), start [「静止の状態から運動の状態へ移る」が原義] (1. 出発する、動き始める、2. (事が~で) 始まる、3. (人がものごとに) 着手する、取り掛かる、4. (人・物が) 突然動く、~にぎくつとすると、びくつと動く、~から急に出る、飛び出す、5. (物事が) 現れる、生じる、起こる、6. (涙・血などが) 急に出る、7. (材木・機械部品などが) 緩む、はずれる、ずれる、8. (競漕などで) 出場選手である、先発メンバーである), startle [「躓かせる、よめかせる」が原義] (1. (人・物・事が人・動物などを) びっくりさせる、飛び上がらせる、2. (人を) 刺激して~させる), starve (1. 餓死する、飢える、(知識・仲間など) 切望(渴望) する、2. (人が) ひもじい), stash (1. (金銭などを) 秘密の場所に隠す、仕舞っておく、2. 口ひげ), stasis ([医学] 体液流の停止、血流停止、停滞(停止) 状態), state [「立っていること」が原義] (I. (状態) 1. 状態、ありさま、様子、事情、2. 心理状態、極度の緊張(興奮) 状態、3. 威厳、威儀、堂々とした様子、4. 地位、身分、階級、5. [製本] 異刷、II. (国・州) 6. (主権を有する) 国家、国、国政、政府、7. 州), static (1. 静的、身分、2. 高い社会的地位、3. 状態、状況), statute (1. 法令、法規、成文法、2. (法人などが定めた) 規則、定款), staunch (1. (褒めて) 信頼に足る、忠実な、2. 頑強な、3. 水を通さない), stave (1. 桶(樽) 板、2. 棒、棹、門、3. (梯子の) 段、(生簀の脚の) 棧、4. [古語] (詩の) 一節、連、詩句), stay [「立つ」が原義] (1. 留まる、留まっている、いる、2. 滞在する、3. ~の状態のままである、4. 相手に抜かれずに持ちこたえる、5. [古語] (命令文で) 待て、止まれ), stay (1. [海事] スター(マスト・円材を支える鉄製の太索)、支索、維持索、2. (横) 張り綱、(旗ざお用) 支え綱、3. [古語] (精神的な) 支え、4. (昔の) コルセット), stead (1. 代理、助け、利益、2. [古語] 場所、地位), steady [「場所steadについての(y)」] (1. しっかり固定された、安定した、2. 変わらない、一様の、3. 落ちついた、着実な、4. (主義などが) ぐらつかない、確固とした、びくともしない、5. [海事] 針路の変わらない), steak [「串に刺した焼き肉」が原義] (1. ステーキ、ビフテキ、2. 焼肉(料理)、肉や魚の厚い切り身), steal (1. (こっそり) 盗な、固定的な、元氣(活力) のない、2. [無電] 空電の), station [「立っている

ところ」が原義] (1. 駅、停車駅、(待合室のある) バス停留所、停留所、2. 署、局、(サービスをする) 所、3. 場所、位置、持ち場、部署、4. [軍隊] 駐屯地、5. [文語] 社会的地位、身分、6. [測量] 測点、三角点), stationary (1. 動かない、静止した、止まっている、2. 固定された、3. (大きさ・数・活動が) 変わらないも 4 定住の), statue [「立てられたもの」が原義] (像、彫像、塑像), stature [「立っている」が本義] (1. 身長、(人の) 背、2. (知識・道徳的) 資質、能力、(心・身体などの) 発達(程度)、達成(の度合い)、名声), status [「立っている状態」が原義] (1. 地位む、~を盗用する、2. [文語] (覗き見・キス・転寝などを気付かれないように) する、3. (物を~へ) こっそり動かす), steam (1. 水蒸気、蒸気、スチーム、2. 霧、靄、蒸発気、湯気、3. 力、精力、元気、体力), steed [おどけて] (1. 馬 (主に乗馬用)、2. 元気な馬、軍馬), steel [「堅い状態のもの」が原義] (1. 鋼鉄、はがね、2. [詩] 武器、剣、刃、3. (はがねのような) 堅さ、強い力、非情さ、4. (コルセットなどの) 張り輪), steep [「高い」が原義] (1. 険しい、(坂などが) 急な、2. (要求・値段などが) 不法に高い、法外な), steep (1. (物を液に) 浸す、浸かっている、2. (人が、学問などに) 夢中になる、(悪事に) 染まる), steer (1. (車・船・飛行機の) 舵を取る、~を操縦する、2. ~を案内する、導く、~を~に導く、向ける、3. (針路を) 取る、進む), stein [ドイツ語] (1. スタイン (陶器製のビールジョッキ)、2. ジョッキ一杯の量), stela (1. 石柱、石碑、2. (古代ギリシャ・ローマの) 墓石、ステラ), stem (1. (草の) 茎、(木の) 幹、軸、2. 葉柄、花梗、花柄、小花柄、果柄、へた、果房、3. 茎状のもの、(ワイングラスの) 脚、(座視・パイプの) 柄、(きせるの) ラオ、(時計の竜頭の) 心棒、4. 人間の脚), stem (1. (~の流れを) 止める、2. ~に逆らって進む、(時勢などに) 抵抗する), stench (悪臭), stencil (1. 型板、刷り込み型、2. (謄写版の) 原紙), steno・graph (速記(術)), step [「歩いていく」が原義] (1. 歩み、一歩、一歩の距離、(歩いていく) 短い距離、2. 足の運び、足取り、歩き (走り・踊り) 方、3. 足音、4. 足跡、5. (梯子・階段などの) 段、ステップ、踏み段、6. (屋外の) 階段、石段、7. (ある効果を生むべき) 装置、手段、行動、8. (歩いて辿る) 道程、行程、道筋、手本、模範、9. 歩調、足並み、10. ~への一歩、段階、(~における) 前身、進歩、11. (地位などの) 12. 階級、昇給、13. (温度計などの) 目盛), step- (親族名の前で、親の再婚などによる) 義理の、継の), steppe (1. ステップ (樹木のない大草原)、2. (シベリア・アジアの) 大草原地帯), -ster (貶して) ~する人), stere (ステール (体積の単位)), stereo- (固い、立体的), sterile (1. (動物が) 子供ができない、不妊の、(植物が) 繁殖力のない、2. ~を不妊にす、断種する、3. (土地を) 不毛にする), stern [「じつと見つめる」が原義] (1. (人が~について) 厳格な、厳しい、2. (顔つきなどが) いかめしい、怖い、3. 手厳しい、過酷な), stern [「舵をとるところ」が原義] (1. [海事] 船尾、とも、2. [広義] 後部、(おどけて) 人の尻、ケツ), sternutation (くしゃみ), steroid ([医学・生理学] ステロイド), stetho・scope (聴診器), stew (1. とろとろ煮込む、2. (紅茶がポットに置きすぎて) 苦くなる、3. (蒸し) 暑くて参る、4. (酸素不足で) 苦しい、5. ガリ勉する), steward [「ブタ後屋の番人」が原義] (1. (客船・旅客列車・旅客機の) 給仕、ボーイ、スチュワード、2. (晩餐会・舞踏会・競馬などの) 世話人、幹事、3. (クラブ・大学などの) 用度係り、給仕長、4. (大きな家の) 執事、家令、(有給の) 管財人), stick [「刺すもの」が原義] (1. 棒切れ、木切れ、小枝、そだ、2. 棒状のもの、ステッキ、3. 棒状のもの、(野菜の) 茎、じく、4. 棍棒、鞭、5. (家・家具の) 材木、粗末な家具、6. 7. [航空機] 操縦桿、8. でくのぼう、面白くないやつ、9. [海事] (おどけて) マスト、帆桁、10. (飲み物に入れる少量の) 酒、11. 辺地、奥地、(都会から遠く離れた) 田舎、12. [軍隊] (爆撃機からの) 一列投下弾群、降下群), stick [「刺して穴をあける」が原義] (1. (人が鋭いものを~に) 突き刺す、2. (人が物に) 貼り付ける、くっつける、固定する、3. (人が物・身体の一部を) 突っ込む、(身体の一部を) 突き出す、4. (事が人・車などを) 動けなくする、(仕事などを) 行き詰らせる、(人・事などが) 動けなくなる、5. (人・事が人を) 困らせる、当惑させる、6. (人に嫌な仕事・重荷などを) 押し付ける、(人に~の) 代金を払わせる、7. (否定・疑問分で can と共に) が満する、心棒する、8. ~に糊をつける、9. ~から金を騙し取る、~を騙す), stiff [「押し固める」が原義] (1. (紙・布地などが) 堅い、曲がり難い、2. (人に対して) 堅苦しい、よそよそしい、3. 堅めの、堅練りの、4. (筋肉などが) 凝った、(動かすと) 痛い、5. アルコール分の多い、強い、6. やっかいな、骨の折れる、7. (値段・罰などが) 法外な、酷い、8. 酔った), stifle (1. ~の息を止める、窒息させる、~を息苦しくさせる、2. (欠伸・笑い声など) 抑える、殺す、抑制する、3. (火などを) 消す), stigma (1. 汚名、恥辱、不名誉、2. (欠点・異常などを示す) 特質、しるし、徴候、3. (一般的に) 小さなしるし、傷痕、あざ、4. [医学] 斑点、紅斑、出血斑、5. [昆虫などの] 気門、(原生動物の) 眼紋、6. [植物] (花の) 柱頭、7. [キリスト教] 聖痕、8. [古語] (奴隷・罪人などに押した) 焼印、烙印), stile (1. 踏み越え段、2. 回転式木戸、回り木戸), stiletto (1. [文語] 小剣、短剣、2. (刺繍・裁縫用) 穴あけ目打ち), still [「固定された」が原義] (1. 静止した、じつとした、動かない、風のない、2. 静かな、音のしない、しんとした、黙っている、3. (心などが) 平静な、穏やかな、平穏な、4. (声・音などが) 低い、小さい、密かな、5. (葡萄酒などが) 泡立たない、6. スチール写真の), still (蒸留酒製造器(所)), stilt (1. 竹馬、高足、2. (水上・沼地で家・小屋などを支える) 支柱、脚柱、3. [鳥] セイタカシギ), stimulate [「群がる家畜などを突き棒で突く」が原義] (1. ~を刺激する、興奮させる、2. (人を) 元気づける、激励する、(人を励まして) ~させる、(人を刺激して) ~させる), sting [「先の尖った武

器で突き通す」が原義] (1. (人・物を) 針で (棘で) 刺す、2. (煙・味などが) 体をひりひりさせる、～に刺すような痛みを与える、3. (非難・侮辱などで人を) 傷つける、苦しませる、4. (嘲笑・非難などが) 刺激して (～するように) させる、5. (人に) 高値を吹っかける、(人から金額を) 騙し取る), stingo (強いビール), stingy (1. (貶して) けちな、しみつたれた、みみっちい、～を出し惜しみする、2. 乏しい、僅かな、不足の), stink (1. (貶して) 悪臭、いやな臭い、2. 騒動、物議、3. (学科としての) 化学、激しく、強烈に), stint (1. ～を制限する、～を切り詰める、出し惜しむ、2. [古語] やめる、思いとどまる), stipe (1. [植物] 茎、(キノコなどの) 菌柄、2. (シダ類の) 葉柄、3. [動物の] 肉茎、(エビなどの) 眼柄), stipend (1. (牧師などの) 俸給、給料、2. (一般に) 定期的な支払い、奨学金、給費、手当て、年金), stipple (1. ～を点刻 (点描、点彩) する、2. ～に点々 (斑点) をつける), stipulate (1. (契約の字用件として～) 規定する、明記する、(条件として～を) 要求する、2. (契約で～を) 保証する), stir [「心を掻き立てる」が原義] (1. (人・風などが～を) 動かす、揺り動かす、揺する、2. ～を～でかき回す、かき混ぜる、～を液体に入れて混ぜる、(火などを) 掻き立てる、3. (人を) 奮起させる、(人の心を) 掻き立てる、4. [文語] (人を) 感激 (感動・興奮) させる、5. (人を) 扇動する、唆す、扇動して～させる、6. ～を指ささせる、揺り起こす、7. ～の注意を促す、～を議題に乗せる), stir (刑務所), stirps (1. 血統、一族、家系、2. [法律] 先祖、3. [生物] 遺伝単位、遺伝素), stitich [「小さな刺した穴」が原義] (1. (縫い物の) 1針、1縫い、(編み物の) 1編み、(傷口を覆う) 1針、ひと針の糸、針目、縫い目、編み目、編んだ (縫った) 部分、2. かがり方、ステッチ、縫い方、編み方、3. (否定文で) 小さな布きれ、布地、4. ほんの少し、僅か、5. (わき腹などの) 激痛、さしこみ、6. (製本の) 綴じ), stoat ([動物] (特に夏に毛が褐色に変わったときの) テン、ヤマイタチ), stock [「木の幹・基になるもの」が原義] (1. 在庫品、ストック、仕入れ品、2. 貯蔵、蓄え、(知識などの) 蓄積、3. [金融] 株、株式、(株式の) 資本金、4. (木の) 切り株、[植物] 幹、茎、地下茎、[古語] 丸太、木片、5. (農場の) 家畜、6. 血統、家系、人種、民族、[動物・植物] 種族、先祖、祖先、7. [生物] 群体、群落、8. (器具・機械などの) 台、台木、(銃の) 台じり、(無知・鈍などの) 柄、9. (人の) 評価、評判、信用、10. ～の原料、11. (肉・魚などの) 煮出し汁、スープのもと、12. (昔の幅広の) 襟飾り、ストックタイ、13.14.15. 生命のない、無感覚なもの、16. 愚か者、まぬけ、のろま、17. 造船台、18. (接ぎ木の) 台木、19. さらし台、(動物を1頭だけ繋ぎ止める) 檻), stocking (1. 靴下、ストッキング、2. 靴下状のもの、(特に動物の他の部分と異なる毛色の) 足毛), stodge (1. (貶して) こってりした食べ物、2. 想像力のない人・作品), stoep ((屋根つきの) 玄関), stogy (1. 安い葉巻、2. 頑丈な安い靴), stoke (1. (火を) 掻き立てる、(炉・ボイラーなどに) 火を焚く、燃料をくべる、2. (興奮などを) 掻き立てる、煽る), stole (1. ストール (聖職者が肩から膝下まで垂らす带状の布)、2. (女性用の) ストール、肩掛け), stolid (貶して) ((人が) ぼんやりした、無神経な、鈍感な), stoma (1. [解剖・動物] (血管などの) 小穴、口、気門、2. [植物] 気孔), stomach [「物を食べる口・喉」が原義] (1. 胃、2. 腹、腹部、3. ～に対する食欲), stomp (1. ～を踏みつける、2. (力を込めて) 足を踏み鳴らす), srone [「固いもの」が原義] (1. 石、石材、2. 小石、石ころ、3. (特定の目的に用いる) 切り石、4. 石のようなもの、ひょう、あられ、5. 宝石、6. (桃などの) 種、枝、7. [医学] (腎臓などの) 結石), stone- (完全に), stoned ((果物の) 種のない、種を除いた), stooge (1. 喜劇役者の2引き立て役、ぼけ役、2. (貶して) 手下、人の手先、さくら、3. (警察の) スパイ), stook ((小麦などの) 刈り束の山), stool [「立つもの」] (1. (肘掛・背のない一人酔うの) 腰掛、スツール、2. 踏み台、足乗せ台、膝突き台、3. [園芸] 親木、親株、親木から出る芽、4. [狩り] おとりの留り木、おとり、5. [古語] (腰掛式の) 便器、便所、6. 便通、大便、7. [建築] 窓敷居), stoop [「前に傾く」が原義] (1. 屈む、身を屈める、2. (人が) 腰が曲がる、猫背である、3. 前屈みになって歩く (立つ)、4. (木・崖などが) 前傾する、覆い被さる、5. ～に身を落とす、身を落として～する、6. (鷹などが～に) 飛び掛る、襲い掛かる、7. [古語] 屈服する), stoop ((玄関口の) 階段、玄関), stop (1. (動いているものを) 止める、停止させる、2. (進行中の行為を) やめる、中断する、3. 妨害する、中止させる、4. (穴・傷口・割れ目・通路など) を塞ぐ、閉鎖する、(壇などに) 栓をする、5. (銀行が小切手などの) 支払いを停止する), store [「補充する」が原義] (1. 店、商店、小売店、2. ～の蓄え、貯蔵、蓄積、3. 必需品、備品、用品、4. 百貨店、デパート、よろず屋、5. 貯蔵所、倉庫、6. 多数、多量、7. [電算] 記憶装置), stork ([鳥] コウノトリ (欧米ではこの鳥があかちゃんを連れてくるという伝説がある)), storm [「揺り動かす」が原義] (1. 嵐、暴風雨、激しい雨 (あられ・雪・雷)、砂嵐、2. (感情・拍手などの) 嵐、嵐のような～、激発、3. (弾丸・ミサイルなどの) 雨 (あられ)、4. (政治・社会・家庭などの) 激動、動揺、騒動), story [「歴史」が原義] (1. (～についての) 話、物語、2. (小説・劇・叙事詩などの) 筋、プロット、3. 短編小説、4. (文学の一部門としての) 物語、5. (新聞・雑誌などの) 記事の種、6. (事実の) 報告、陳述、説明、噂、風評、7. 逸話、冗談、8. 嘘、作り話、うそつき), stoup (1. [カトリック] 聖水盤、2. [スコットランド] パケツ、手桶、3. [古語] 飲料容器、その一杯分), stout [「誇らしい」が原義] (1. [文語] (作り・構造などが) 強い、頑丈な、丈夫な、2. (人が、) 太った、ずんぐりした、恰幅のよい、3. [文語] 勇敢な、大胆な、断固とした、4. 頑固な、しっかりした、ぐらつかない), stove [「暖められた部屋」が原義] (1. レンジ、こん炉、2. ストープ、暖炉、3. 乾燥室、[園芸] 温室), stow (1. (物などを容器などに) 仕舞いこむ、詰め込む、2. (場所・容器な

どが) 収容できる、入れる余地がある), *stra·bismus* (斜視), *straddle* (1.大股に歩く、股を広げて立つ (座る)、跨ぐ、跨る、2. (両足が) 広がっている、3. 日和見する、賛否を明らかにしない), *strafe* (1. (敵軍などを飛行機から) 機銃掃射する、~を猛爆撃する、2.~を罰する), *straggle* (1. (針路などから) 反れる、(本隊などから) はぐれる、落後する、2.彷徨う、うろつく、だらだらと連なる (進む)、だらしく広がる、(草木が) 蔓延る、3. (家などが) 散在する、散らばる), *straight* [「伸ばされた」が原義] (1.まっ直ぐな、一直線の、曲がっていない、直進する、直行の、2.直立した、垂直な、(位置が) 曲がっていない、3. (人・行為などが~に) 正直な、誠実な、公正な、率直な、(人・行為などが) 正しい、論理的な、感情に左右されない、4.きちんとした、整理した、5.連続した、途切れない、6.完全な、徹底した、7. (ウィスキーなどが) 薄めていない、混ぜていない、生の、ストートの), *strain* (1. (針金・綱などを) ぴんと引っ張る、引っ張る、引き締める、2. (筋肉などを) 最大限に使う、緊張させる、(身体の一部を) 精一杯働かせる、3. (意味・事実・法などを) 曲げる、曲解する、こじつける、4. (体などを) 痛める、弱める、(筋などを) 違える、5. (液体など) 濾し器などで濾す、(滓などを) 濾して取り除く、6. [文語] しっかりと抱きしめる、7. [物理学] ~をひずませる、変形させる), *strain* (1. (人・動物などの) 血統、家系、種族、祖先、2. (家計に伝わる) 素質、気質、傾向、特徴), *strait* (1.海峡、瀬戸、2.苦境、難局、困窮), *strake* (1. [海事] (船首から船尾までの) 外板の条列、2. (車輪の) 輪金), *strand* (船が) 座礁する、(魚などが) 岸に打ちあがる、(人が) 取り残される、立ち往生する), *strand* (1.撚り (ロープや綱などを撚り合わせる糸・紐・針金などの一本)、2. (撚り合わせた) 糸、紐、編んだ髪、3.紐に通したもの (真珠・ビーズなど)、4. (撚り糸のようにあるものを構成する) 要素、成分、(話しなどの) 脈絡), *strange* [「外の」が原義] (1. (人にとって) 奇妙な、変な、不思議な、一風変わった、(変で) 驚くべき、2. (人にとって) 見知らぬ、見たこともない、初めての、未知の、3. (場所・事・物に) 不慣れな、不案内な、経験のない、4. (人が) 体の調子がおかしい、落ち着かない、不愉快な、5. [古語] 外国の、異国の), *strangle* (1.~を絞め殺す、窒息させる、2. (カラーなどが) 首を締め付ける、3. (欠伸・笑いなどを) 抑える、かみ殺す、4. (成長・発展・坑道などを) 阻む、妨げる), *strap* (1. (バス・電車などの) つり革、2.革紐、革帯、肩紐、3.肩章、4. (剃刀を研ぐ) 革砥), *stratagem* (1.戦略、軍略、2. (一般に) 計略、策略), *strategy* (1.兵法、用兵学、2. (大規模な) 戦術、戦略、軍事行動、作戦計画、3. (巧みな) 計略、策略), *stratify* (1.~を層に配列する、層にする、2. (社会などを) 階級化する、階層に分ける、3. [園芸] (種子を土壌の) 層の間において保存する), *strato-* ([気象] 層雲、成層圏), *stratum* (1. (水平に重なった) 層、2. [地理] 地層、岩層、3. (社会的な) 階級、階層), *straw* (1.麦わら、藁、麦わら一本、2.ストロー、3.わらでできたもの、麦わら帽子、4. (否定文) 少しも~ない、無価値な), *stray* (1. (動物などが) 道に迷う、~からはぐれる、迷い込む、彷徨う、2. (考え・話題などが) ~からわき道へ反れる、はずれる、脱線する), *streak* (1.~の筋、線、縞、2. (脂肪などの) 層、3. (眨して) わずかな徴候、気味、4.短期間、一続き、5. [鉱物] 条痕), *stream* (1.小川、流れ、細流、2. (水・潮・空気などの) 流れ、3. (人・物・事などの途絶えない) 流れ、動き、連続、4. (時勢・世論などの) 流れ、動向、趨勢), *street* [「舗装された道」が原義] (1. (町の) 通り、街路、街、2.~街、~通り、3.車道、往来、4.本通り、商業などの中心地), *stress* [「distress 悩み・苦痛の di が消失した語: 重圧・ひずみ」が原義] (1.圧迫、圧力、重圧、2. (精神的・感情的) 緊張、ストレス、3.~に対する強調、力説、重点、4. [音声] 強勢、語勢、アクセント、5. [韻律] (格調の) 強勢、揚音), *stretch* (1. (身体・手足・翼などを) 一杯に伸ばす、広げる、2. (手などを) 差し出す (伸べる)、前に出す、3. (ロープなどを) 張る、渡す、4. (無理に靴などを) 広げる、長くする、5. (筋肉などを) 張り詰める、(弦などを) ぴんと張る、(人が) 力を出し切る、6. (法律・言葉などを) 拡大解釈する、~を曲解する、曲げる、こじつける、7. (筋などを) くじく、たがえる、8. (真実などを) 誇張する、大げさに言う、9.~を打ち倒す、10. [古語] ~を絞首刑にする、~を拷問にかける、11. (食物・持ち金などを) やりくりする、なんとか間に合わせる、12. (訪問などを) 引き伸ばす、長引かせる), *strew* [古語] (1. (砂・穂・花などを) ばら撒く、撒き散らす、敷き詰める、2. [詩] ~の上に散らばっている), *stria* ((細い) 筋、溝、線、縞、[地理] 条線、[生物・解剖学] 線、線条、[建築] (円柱の) 縦溝), *strict* [「強く張った」が原義] (1. (人が規律などに) 厳しい、厳格な、2.厳密な、精密な、正確な、3.完全な、全くの、絶対的、絶対的な), *stride* [「両足を広げる」が原義] (1. (人が) 大股で歩く、大まかで歩き去る、2. (人が) ~を跨ぎ越す、跨ぐ、3. (馬などに) 跨る), *strident* (甲高い、金切り声の、(音などが) 耳障りな、キーキーいう), *strife* [「張り合うこと」が原義] (1.争い、逃走、紛争、2.喧嘩、口論、反目、3.もめ事、不和、4. [古語] 奮闘、努力), *strike* [「(と)ウ具などで 打撃を与える」が原義] (1.~を打つ、叩く、殴る、~を攻撃する、(打撃を) 食らわす、2. (人が刃物などを~に) 突き刺す、(驚き・恐怖などを人に) 起こさせる、3. (人・物が物などに) 突き当たると、ぶつかる、(光・音などが目・耳などに) 達する、(体の一部を物などに) 打ち当てる、ぶつける、4. (嵐・病気・恐怖などが突然人などを) 襲う、(事が人を襲って) ~の状態にする、5. (時計・鐘などが時を打って) 知らせる、(人が鍵を) 打ち鳴らす、(音調) 鳴り出させる、6. (人が) マッチを擦る、(火を) つける、起こす、7. (考えなどが人の) 心に浮かぶ、(事が人に) 印象を与える、8. (人が場所に) 行き当たる、(金鉱などを) 掘り当てる、(名前などを) 偶然見つける、9. (旗・帆などを) 下ろす、(テントを) 畳む、取り外

す、～を記録から削除する、10. (貨幣・メダルを) 鋳造する、11. (契約などを) 取り決める、12. (態度・姿勢を) 取る、13. [園芸] (切り枝などを) 根付かせる、[植物] 根を下ろす、14.～に対してストライキを行う), string [[「固く結ぶ」が原義] (1.紐、糸、2. (物を結ぶ) 結び紐、3. (弦楽器の) 弦、弦楽器、4.紐 (糸) に通したものの、一連、一続き、5. (人などの) 一続き、一列、一隊、6. (嘘・質問などの) 連発、連続、7. (弓の) つる、8. [植物] 繊維、(サヤエンドウなどの) 筋、9.付帯条件、10.11.12.13.14.15.悪ふざけ、かつぐこと、16. [数学・言語・電算] 記号列), strip [[「取り除く」が原義] (1. (人・木などを) 裸にする、(人・木などを) ～の状態にする、2. (人が、～から～を) 剥ぎ取る、取り除く、3. (人が場所から～を) 取り去る、(材損・権利などを) 奪う、4. (乳牛から) 乳を搾り取る、5. [機械] (ねじ山を) すり減らす), strip [[「革紐」が原義] (1. (土地・布・板などの) 細長い一片、切れ、2.滑走路), strip [[「線」が原義] (1.筋、縞、ストライプ、2.縞模様の織物、(特に) 囚人服、3. [軍隊] (階級・勤続年数などを示す) 記章、袖章、4. (人物・見解などの) 型、種類、5.虎、6. [古語] 鞭痕、鞭打ち), strive [[「争う」が原義] (1. (～しようと) 努力する、骨折る、(～を) 目指して励む、2. [古語] (～と～のことで) 争う、抗争する), strobe (ストロボ、閃光灯), stroke [[「叩くこと」が原義] (1.一撃、一打ち、打つこと、打撃、2. (繰り返される動作の) 1回の動作、(水泳・オールなどの) 1かき、(ゴルフなどの) 1打ち、3. (運などの) 訪れ、めぐり合わせ、発生、4. (心臓などの) 鼓動、脈拍、5. (ペン・鉛筆・筆などの) 1筆、筆の運び、筆法、6.1働き、(目的を達成しようとする) 努力、奮闘、7.手腕、手ぎわ、8. (卒中・日射病などの) 発作、9 (時計・鐘など) 打つこと (音)、打つ時間), stroke (1. (人が動物などを) 撫でる、摩る、2. (人を) 宥める、3. (説得したりおだてたりして人に) 影響を及ぼす、～を用心して扱う), stroll [[「外へ出る」が原義] (1.ぶらつく、散歩 (散策) する、2.放浪する、彷徨う、(芸人などが) 巡業する), strong [[「激しい」が原義] (1.力が強い、(人・体が) 丈夫な、健康な、強健 (強壯) な、筋骨の逞しい、太った、2.丈夫な、頑丈な、もちかよい、(握りなどが) しっかりした、(攻撃などに対して) 強力な、3. (意思・信念などが) 強い、強固な、熱心な、熱烈な、4. (ある点・分野に) 強い、有能な、(科学などが) 得意である、長所、5. (手段などが) 強い、強硬な、(作品などが) 力強い、(小度ほか) 激しい、下品な、(事が強く) 受け入れ難い、6. (議論・論拠などが) 説得力のある、納得させる、(劇・場面などが) 感動的な、7. (風・打撃などが) 強い、激しい、(色・光・香りなど) 強烈な、(臭いが) 鼻をつくような、悪臭を放つ、(声が) しっかりと高い、8. (お茶・コーヒーなどが) 濃い、(飲料が) アルコールを含んだ、(特に) 強いアルコール性の、9.勢力 (権力・資力) のある、有力な、多数の、優勢な、(数詞の後で) 総勢～人の、10. (類似・印象などが) はっきりした、著しい、目立った、11. [商] (市場・価格が) 強気の、上昇気味の、12. [文法] 強変化の、不規則変化の、13. [光学] (レンズが) 強力な、高倍率の出る), strop (1. (カミソリなどを研ぐ) 革砥、2. [海事] ストラップ (滑車の帯索 (環索))), strophe (1. [歴史] (古代ギリシャの) 舞踏隊の左方転回: その時の合唱歌、2. [詩] 連、節), strop (1. (人・動物が) もがく、あがく、じたばたする、2. (人が) ～と闘う、取っ組む、(～しようと) 奮闘する、努力する、3. (～の中) 苦勞して進む、苦勞してやっっていく、苦しい生活をする), strum ((楽器・曲) 下手に弾く、かき鳴らす), struma (1. [病理] 瘰癧 (るいれき)、2. [植物] こぶ状突起), strut ((孔雀・七面鳥などが) 尾を立てて誇らしげに歩く、(貶して人が) 気取って (反り返って) 歩く), strut (支柱、筋交い、突っ張り), stub (1. (鉛筆・蠟燭などの) 使い残り、(タバコの) 吸殻、2. (小切手朝・受け取り帳などの) 控え、(切符・入場券などの) 半券、3. (木の) 切り株、(倒木・菌などの) 根、切り残り、4.先が短く太くなったペン), stub born [[「切り株 stub のように堅い」が原義] (1. (人が生まれつき) 頑固な、強情な、方意地な、2. (行動などが) 頑強な、断固とした、(信念などが) 不屈の、3. (動物などが) 扱い難い、(問題などが) 処理し難い、手に負えない、(病氣などが) 直りにくい、(石・木材などが) 堅い、(金属などが) 溶け難い), stucco [イタリア語] (化粧しつくい (細工)), stud (1. 釘、飾り釘 (釘)、2.飾りボタン、カフス (カラー) ボタン、3. (建物の) 間柱、床から天井までの高さ、4. [機械] 植え込みボルト、スタッド), stud (1. (繁殖・狩猟・競馬用などに飼育される) 馬 (群)、2.馬の飼育場、養間場、3.種馬、4. (一般に) 繁殖用の雄の動物、5. [卑俚語] 男盛りの男、(特にセックス面で) 精神的な男), student [[「努力する人」] (1.学生、研究者、学者、研究家), studio [[「努力する所」が原義] (1. (画家・写真家などの) 仕事場、アトリエ、工房、2. (テレビ・ラジオなどの) スタジオ、放送室、3.映画撮影所), study [[「努力する」が原義] (1.勉強、勉学、学習、2.研究、学問、調査、検討、学究、学業、3.研究対象 (題目)、研究論文、論考、学科、4.研究に価するもの、見もの、5.所書斎、勉強室、研究室、6. [美術] 習作、スケッチ、[音楽] 練習曲、エチュード、7. (修飾語を伴って) セリフを覚えるのが～な俳優、8. [古語] 熱心な努力、骨折り), stuff [[「物質」が原義] (I. 1.材料、原料、資料、2. (漠然と) 物、事、もち物、食べもの、飲み物、3. (ものごとの) 要素、(人の) 素質、才能、専門 (分野)、4. [古語] 織物、毛織物、ラシャ、5.ぐたらないもの、がらくた、ばかげたこと (考え・話)、6.金、現金、7.8. (性的対象としての) 女、すけ、ギャル、II. 詰める、塞ぐ、腹いっぱい食べさせる、(皮を) 柔らかくするために脂を塗る、騙す、(投票箱に) 不正票を投じる、(女と) 性交する、～を片付ける、始末する), stuffy (1. (部

屋などが風通しの悪い、(空気などが) ムツとする、2.(鼻が) 詰まった、3.面白くない、つまらない、4.(貶して人が) 堅苦しい、古臭い、思い上った、自惚れた、不機嫌な、むつつりした), *stultify* (1.~を無益(無意味)なものにする、2.~を愚かに見せる 2.恥をさらす、3.[法律](精神鑑定上)無能力を申し立てる(証明する)), *stumble* [「歩行中に滑る」が原義] (1.躓く、よろけ(躓き)ながら歩く、(〜に知らずに)ぶつかる、(〜に)ぎこちなく動く、2.(〜で)とちる、間違える、とちりながら言い終える、3.偶然(〜に)出くわす、(〜を)発見する、(〜に)偶然入り込む、偶然手懸りを掴む、4.[文語](図らずも)悪事をする、〜の罪を犯す), *stump* (1.(木の)切り株、(折れた)歯の根、切れた手(足・尾の)基部、(鉛筆・巻きタバコの)短い使い残り、2.(政治演説をするための)演壇、遊説、3.足、義足、重い足取り(足音)、4.ずんぐりした人、5.(建築物の基礎として打ち込む)杭), *stun* (1.~を気絶させる、失神させる、2.(喜び・驚きなどで~を)動転(当惑)させる、茫然とさせる、3.(耳を)ガーンとさせる、4.~を打ち負かす、圧倒する), *stunt* ((成長などを)妨げる、~の成長を妨げる), *stunt* (1.スタント、曲芸(飛行)、離れ業、妙技、2.扇情的な(人の目を惹く)行為、危険(無謀)な行為), *stupe* ([医学]温湿布), *stupefy* (1.ぼーっとする、意識(感覚)が鈍る、2.驚愕(仰天)する), *stupid* [「驚いてぼんやりした」が原義] (1.(人・動物が)ばかな、愚かな、くだらない、2.(本・話しなどが)面白くない、退屈な、3.(人が疲労などで)ぼーっとした、無感覚の、(酔って)生気を失って、4.いまいましい、むかつく), *sturdy* (1.(人・動植物が)逞しい、屈強な、元気な、2.(物が)丈夫な作りの、頑丈な、3.(勇気などが)不屈の、(考えなどが)しっかりした、健全な), *stutter* ((最初の子音で)つまる、どもる、(習慣的に)どもって喋る、詰まったような音を出す), *sty* (ブタ小屋、薄汚い(いかかわしい)所(家)、売春宿), *sty* ([医学]麦粒腫、ものもらい、めぼ), *style* [「尖った書く道具」が原義] (1.様式、仕方、方法、2.(服・髪などの)型、スタイル、3.文体、話し振り、表現形式、印刷様式、(個人の)流儀、趣向、特徴、個性、4.種類、5.上品さ、気品、品格、風格、6.称号、呼称、肩書き、商号、屋号、7.(罫板に字を書く)尖筆、(日時計・蓄音機の)針、[医学]さぐり針、彫刻等、[植物]花柱、8.暦法), *styptic* ([医学]血止めの、収斂性の), *Styx* ([ギリシャ神話]ステュクス(三途の川)),

[sw] => [w] 【英語】wing,

【英語】

swab (1.(床・甲板用の)モップ、棒雑巾、2.[医学](面貌の)消毒綿、綿球、3.(銃身の)掃除棒、4.細菌検査用標本、5.のろま、不器用なヤツ), *swaddle* (1.[古語](赤ん坊を)細長い布でくるむ(巻く)、2.(おどけて包帯などで)~を巻く(くるむ)、3.~を束縛する、産着、オムツ、包帯), *swag* (1.[古語]盗品、不正利得、2.(放浪者・山師などがもつ)身の回り品の包み、多くの~、3.花綱飾り), *swagger* (1.威張って歩く、ふんぞり返って歩く、2.(〜について)自慢する、ほらを吹く、威張り散らす), *Swahili* (スワヒリ族), *swallow* [「食物を飲み込む」が原義] (1.(食物を)飲み込む、飲み下す、(食べ物を)ごくりと飲む、2.包み込む、3.(話しを)鵜呑みにする、容易く信じる、早合点する、4.(軽蔑などを)我慢する、(怒り・涙などを)抑える、5.(言葉を)取り消す、~をぼそぼそと言う), *swallow* (ツバメ), *swami* (1.[ヒンズー教]スワミ(聖者・導師の尊称)、2.学者に似た人), *swamp* (沼地、湿地), *swan* [「鳴く鳥」が原義] (1.白鳥、2.詩人、歌手、すばらしい人・物、優雅な人・物), *swank* ((貶して)1.高慢、みせびらかし、2.スマートさ、3.気取りや), *swap* (1.交換、2.交換品、夫婦交換), *sward* ([文語]芝生、草地), *swarf* ((金属などの)削り屑), *swarm* [「巣別れしていくハチの群れ」が原義] (1.(群れをなして移動する)昆虫の群れ、巣別れするハチの群れ、2.(人などの)群れ、群集、(移動する)動物の群れ), *swarthy* ((ときに貶して)(皮膚・顔色が)浅黒い、黒ずんだ、日に焼けた), *swash* [擬声語] (1.(水が)バシャバシャ跳ねる、2.[古語]威張って歩く、いびりちらす), *swat* ((蠅などを)ピシャリと打つ), *swatch* ((布地などの)見本、サンプル), *swath* ([古語]1.(大鎌・草刈り機の)一刈りの幅(面積)、刈り跡、2.細長い列), *swathe* (1.~を(包帯・布で)巻く、包む、巻きつける、2.~を包囲する), *sway* [「風に吹かれてあちらこちらへ揺れる」が原義] (1.(木・人などが)揺れる、揺れ動く、2.(揺れて〜)傾く、3.(意見などが〜)ぐらつく), *swear* [「申立てが真実であることを神や神聖なものにかけて厳粛に誓う」が原義] (1.(~することを)誓う、誓約する、2.(人が神・人に)~だと断言する、3.(人に)誓わせる、4.罵って~になる), *sweat* [「汗をかく」が原義] (1.汗、一回の発汗(作用)、汗をかくこと、2.(壁・窓・コップなどの表面に生じる)水滴、湿気、3.骨が折れる(辛い)仕事、一苦労、4.老兵、ベテラン、5.(馬に汗をかかせるための)疾走), *sweep* [「(物の表面を)払う」が原義] (1.~を掃く、掃除する、(床・部屋など)を掃いて~にする、2.掃いて払い除ける、掃いて集める、3.(風・急流・人などが人・物にどを)さっと運び去る、さらう、押し流す、4.~を一掃する、追い払う、取り除く、5.(台風・ニュース・人気・流行病などが場所)をさっと通過する、~を席卷する、~に瞬間に広まる、6.(手足・目・道具などを)さっと動かす(走らせる)、(明り・視線・指先などが場所)をさっと動く、(服の裾など)~にさっと揺れる、引き摺る、7.(選挙区に)圧勝する、(連戦・全ムゲームに)連勝する、完勝

する、8. (賞金を) かき集める), *sweet* [諸感覚で「気持ちよい」が原義] (1. (味が) 甘い、甘口の、砂糖を入れた、2. 甘い香りの、かぐわしい、3. よい声の、美声の、4. (主に女性語) ~に思いやりのある、5. 快い、気持ちのよい、(空気などが) 新鮮な、おいしい、6. (水などが) 塩分を含まない、7. (土地などが) 酸性でない、農業に適した、8. (エンジンなどが) よく動く), *swell* [「(内部からの圧力で) 膨らむ」が本義] (1. (物が) 膨らむ、膨れる、(手足が) 腫れる、2. (数量・程度・強さなどが) 増大する、増加する、[文語] (音・声などが) 高くなる、大きくなる、3. (土地などが) 隆起する、盛り上がる、4. [文語] (感情が) 高まる、(感情で) 胸がいっぱいになる、得意になる), *swelter* ((人が) 蒸し暑さで苦しむ), *swerve* (1. (人・車が急に~から) 反れる、(人が) 車のハンドルを切る、2. ~から外れる), *swift* [「回転する」が原義] (1. 迅速な、素早い、束の間の、2. 即座の、早速の、3. 素早く~する、すぐ~になる), *swig* (ぐいぐい飲むこと、痛飲), *swill* (1. (貶して) ~をがぶがぶ飲む、2. 利こうを水洗いする), *swim* (1. 泳ぐ、水泳する、2. (泳ぐように) すつと行く、すべるように進む、(考えなどが頭に) すつと浮かぶ、3. (液体に) 浸る、つかる、(~で) いっぱいである、(物が液体・感情などで) 溢れる、一杯になる、4. (頭が) ふらふらする、(物が) ぐらぐら回るように見える (感じる)), *swindle* ((人を) 騙して金を取る、(金) を詐取する), *swine* (1 [古語] ブタ、2. 卑劣なヤツ、好色漢、いやなヤツ), *swing* [「固定された部分を軸に前後左右に揺れ動く」が原義] (1. (物を) 揺らす、(繰り返し) 振る、2. (物を弧を描くように) 動かす、ぐるりと回す、(人などが戸などを) さつと~の状態にする、3. (ランプ・バッグなどを) 吊るす、ぶら下げる、4. (仕事・取引などを) 上首尾にやっつてのける、(人・世論などに) 影響力をもつ、(人を) ~の (考えに) 変えさせる、5. [音楽] スイングスタイルで演奏する), *swipe* ((~への) 強打、ずこい一撃、非難の言葉), *swirl* (1. (水・空気などが) 渦巻く、旋回する、2. (頭が) ふらふらする、眩暈がする), *swish* ((鞭・棒などが) ヒュッと音を発てる、(絹・衣服などが) シュッシュュッと音を立てる), *switch* [「鞭 (で打つ)」が原義] (1. (電気回路の) スイッチ、開閉器、2. [鉄道] 転轍機、3. (計画・考え・設備などの突然の) 変更、転換、4. (主に生木からとった) しなやかな小枝、小枝の鞭、(鞭打つような) 鋭い動き、5. (結髪用の) 入れ毛、かもし), *swivel* (1. [機械] 回り継ぎ手、さるかん、自在軸受け、2 (回転椅子・旋回砲の) 台), *swizz* (ごまかし・ペテン), *swoon* [文語] (1. 気絶する、卒倒する、2. (音などが) 衰える、だんだん弱まる (消えていく)), *swoop* ((鳥などが突然上から獲物に) 飛び掛る、(舞い降りて) 襲い掛かる、(軍隊などが) 急襲する、~をががつ食べる), *sword* (1. 剣、刀、2. 武力、権力、司法権、3. 戦争、破壊 (死) を齎すもの), *swot* (~を猛勉強する、~のために本にかじりつく),

【漢字】

【さ行】

(さ) 挫、叉、差、鎖、狭、嗟、娑、查、些、砂、左、佐、唆、沙、瑤、詐、簞、作、紗、茶、早、乍、蓑、磋、嗟、
 犀、最 (<=>拙)、際、才、再、歳、採、祭、債、賽、采、菜、細、蔡、崔、催、災、載、砒、裁、栽、洒、西、殺、斎、濟、哉、塞、妻、宰、彩、砦、財、晒、偲、柴、齊、責、
 切、
 柵、作、策、昨、朔、窄、削、錯、咋、搾、酢、乍、
 三、酸、産、贛、参、山、棧、算、燦、讚、餐、散、惨、珊、纂、傘、撒、蚕、杉、蒜、
 (し) 屍、詩、四、死 (<=>生)、師、紙、市、詞、氏、士、史、芝、砥、誌、梓、資、志、子、刺、至 (<=>始)、私、齒、思、仕、示、自、嗣、支、使、此、伺、施、斯、飼、
 試、茨、柿、祇、匙、仔、旨、司、始 (<=>至)、姉、矢、姿、指、孜、諮、枝、紫 (<=>赤)、止、糸、獅、祉、肢、脂、筈、賜、雌、次、只、弛、漬、之、視、髭、巳、
 舍、社、車、斜、紗、者、写、謝、奢、捨 (<=>拾)、赦、射、卸、沙、砂、煮、遮、娑、寫、洒、
 識、式、鋪、
 酒、手、腫、酒、主 (<=>従)、朱、繻、種、首、株、趣、取、守、殊、狩、珠、諏、撞、

修、集、週、周、衆、秀、州、宗、臭、洲、醜、愁、囚、菟、襲、就、蹴、拾(=>捨)、終(=>初)、習、輯、繡、曾、執、脩、秋(=>春)、穉、鯁、鯁、収、摺、舟、葺、讐、酬、袖、檣、萩、祝、鷺、羞、宿、祝、淑、叔、夙、縮、肅、俊、旬、駿、瞬、俊、峻、舜、春(=>秋)、竣、憊、筍、諸、署、所、書、初(=>終)、緒、暑、諸、庶、岨、処、且、杵、黍、署、渚、薯、新、真、神、苾、臣、心、親(=>疎)、晋、秦、信、清、伸、進、紳、慎、審、震、侵、振、榛、疹、辛、深(=>淺)、身、唇、娠、寢、楨、森、賑、申、薪、診、針、辰、津、矧、請、慎、沁、秦、鍼、

(す) 素、州、

水、粹、推、吹、醉、睡、膝、遂、錘、垂、出、帥、炊、翠、錐、誰、穗、慧、悴、翠、寸、

(せ) 瀬、脊、畝、世、施、

制、精、性、製、生(=>死)、聖、正、姓、成、靜、政、清、斉、星、世、晴、勢、誓、省、征、靖、逝、西、醒、青、淒、甥、井、歳、犀、貫、鏑、鉦、整、棲、牲、栖、情、声、誠、請、瀨、媚、靜、

拙(=>最)、赤(=>紫)、節、接、説、切、撰、設、雪、洩、屑、折、窃、鱈、刹、殺、

千、線、腺、栓、箭、船、戰、扇、選、撰、先、詮、錢、宣、潜、泉、專、煎、箋、賤、尖、鮮、仙、釧、洗、旋、穿、遷、淺(=>深)、川、銑、茜、蟬、占、賤(=>尊)、羨、梅、踐、染、煽、揃、喘、織、專、舛、薦、苜、亘、筧、餞、

(そ) 素、粗、疎(=>親)、措、祖、租、楚、曾(=>孫)、蘇、訴、曾、疏、噌、岨、姐、塑、遡、甦、狙、楚、礎、組、阻、鼠、

巢、双、相、層、艘、走、想、壯、瘦、総、荘、宗、叢、草、僧、送、奏、装、宋、葬、筍、躁、槽、創、聡、曹、搔、、争、惣、曾、爽、漕、贈、挿、綜、遭、操、鯨、扱、竈、鯨、桑、甌、搜、庄、掃、倉、喪、匝、總、早、巢、槍、鎗、燥、窓、糟、蒼、藻、霜、騷、帚、滝、瀧、瀧、爪、葱、蚤、箱、湊、藪、嫂、竈、箒、聰、村、損、孫(=>曾)、遜、尊(=>賤)、嚙、巽、樽、鱒、邨、存、

【ざ行】

(ざ) 座、坐、挫、

材、劑、財、罪、在、

残、算、斬、暫、慘、讖、

(じ) 字、自、地、辞、璽、時、痔、兒、次、路、寺、持、而、慈、示、磁、事、冶、滋、侍、治、餌、似、爾、耳、邇、蒔、迹、除、

従(=>主)、十、銃、獸、住、柔、什、拾、絨、揉、汁、縦、充、戎、洪、廿、

蛇、邪、

純、順、準、淳、准、旬、醇、洵、潤、惇、恂、巡、遵、殉、馴、閏、循、楯、盾、隼、

塾、熟、

叙、徐、序、除、恕、如、女、助、汝、

(ず) 凶、頭、厨、逗、豆、事、

髓、瑞、隨、隋、蕊、藥、

(ぜ) 是、

然、全、善、膳、前、禪、漸、蟬、繕、喘、
(ㄗ) 像、臟、增、藏、造、憎、雜、贈、
損、存、

【日本語】

【さ行】

(争う・親しむ)

(沿う・反る)

(先・底)

(背が高い・座る)

(賢い・醜い)

(指す・照る)

(探す・隠れる)

(尖らせる・固まる)

(削る・)

(真っ直ぐ・曲がっている)

(盛ん・しぼむ)

(浸る・乾く)

(遮る・誘う)

(滑る・障る)

(透き通っている・滲んでいる)

(騒がしい・静か)

(せがむ・供える)

(吸う・吹く (くしゃみ))

(わずか・豊か)

(顰める・笑む)

(柴 (雑)・揃ったもの)

(授ける・授かる)

(更に・去る)

(縛る・)

(健やか・寂しい)

(尊いひと・二番目)

(禁止・強調)

そ・ぞ

(筋・肉)

[古くは [t s a] と発音] : さ [箭] (矢)、さ (そのように)、一さ (形容詞・形容動詞の語幹につき名詞を作る (嬉し・さ))、さ ((名詞に冠して) 若々しい、五月の意)、——さ ((移動を表す動詞の終止形に付いて) ~時・折、(形容詞・形容動詞などに付いて) 状態・程度を表す語を作る「広さ」「哀れさ))、さ (そいつ、それ)、さ [然] (そう、そのよう)、さ (接頭語、小さな「さ枝)、さうざうし (物足りない、飽き足りない、心寂しい)、さうな ([推定] ~のようだ、~らしい)、さあ (人を誘う、驚き・当惑・喜びなどを表す)、苛める (叱る、虐める)、さいわい、さえ (極端な例を挙げて他のものを押し量らせる (犬さえ恩を知る)、さらに付け加わる、強める (この問題さえ解ければ))、遮る、轉る、冴える (冷える、光・音・心などが澄む、鮮やかである、明快である、神経などが昂ぶる)、竿 (竿、三味線の柄の部分、箆などの数)、坂、性 (生まれ持っている運命・性質、慣わし)、祥 (さが) (前触れ、兆し)、境、さかさま、さかしい、探す、魚、肴、さかやき、下がる、盛る、離 (さか) る、先、驚 (さぎ)、咲く、裂く、離 (さ) く、桜、酒、鮭、叫ぶ、避ける、ささ一 (わずかな、細かな)、笹、支える (突っ張る、食い止める)、蜘蛛 (ささがに)、捧げる、ささめく (ひそひそと話す)、さざめく (声をたてて騒ぐ)、ささやか、囁く、さ

さら(竹を細かく割って束ねたもの)、障(ささわ)り、尺(さし・物差し・尺度)、さし(謡曲で拍子にあわせずすらすらと歌う部分)、さし(蛆(うじ))、さし(動作の中止を表す「燃え・さしの木」)、さし(謡曲で拍子にあわせてすらすらと歌う部分・さし声)、さし(滓、おり)、匙、刺す、指す、注す、差す(潮が満ちる、光が照る、色が出る、現れる、咎める)、挿す、さすが(に)(そうは言うものの、優れているだけあっていかにも)、授かる、刺又(さすまた)、さすらう、摩る、さぞ(さだめし、きつと)、誘う、蠍(さそり)、定める、幸、さっぱり、さて、里(人の集まっているところ、田舎)、聡い、諭す、さとぶ(田舎びる)、悟る、蛹(さなぎ)、さね(鎧をつくる鉄皮の小さい板)、種(さね)、さは(多い)、捌く、裁く、寂(古びて赴きのあること)、鏽、寂しい、さふらふ(ある・おるの謙遜語)、さぶらふ(目上の人の傍に仕える)、——様、様(ようす)、方[さま](向き、時、折)、妨げる、さみず(狭いとする、侮る)、寒い、鮫(さめ)、覚める、冷める、褪める、さも、さもしい、莢、鞘、さやか(はつきりして清らか)、白湯(さゆ)、新(さら)、皿、ざら(多くあって珍しくない)、さらう(復習する)、浚う(川や井戸の底の土砂を取る)、攫う(奪い去る)、曝す、更に、猿、去る、笊、戯(ざ)れる、沢、騒ぐ、さわす(柿の実の渋を取る、水にさらす、黒漆を艶が出ないように塗る)、さわやか、鱒(さわら)、榎(さわら)、障る、触る、其(し)、しあわせ(めぐり合わせ、幸運)、椎(しい)、虐(しいた)げる、強いる、誣(し)いる(作り事を言う、こじつける)、塩、潮、しおらしい、萎(しお)れる、鹿、然(しか)(そのように、こういう)、しか(〔限定〕一つ・しか)、如かず(およばない)、しかつめらしい(もっともらしい、真面目くさっている)、確(しか)と、しが(ない)(とるに足りない、貧乏である)、蟹(しか)める、然(しか)も、然(しか)も(そのように)、しがらみ(杭を打ち並べ木や竹を絡みつかせて水の流れを堰き止めるもの)、然り、叱る、頻りに、敷く、如く(〔否定語を伴って〕及ぶ、かなう)、しくじる、時雨(秋から冬にかけてのわか雨)、時化(しけ)(暴風雨のために海が荒れること)、湿気る、茂る、醜(しこ)、扱(しご)く(細長いものを手に握って他のものを引く)、しこたま、しこり(筋肉が凝って固くなること)、しころ(兜・頭巾の左右・後方に垂れて首筋を覆う部分)、しざる(退く)、しし(肉)、しし(猪、鹿、獣)、爺、しじに(草木のおい茂ったようす)、しじま(ものを言わないこと、静まりかえっていること)、蜷(しじみ)、じじむさい、賤(しず)(いやしいこと、身分の低い者、自称)、垂(しず)(垂らす)、しずり(垂：しずり；木の枝などから雪が落ちること、その雪)、静か、雫、沈む(水中に隠れる、静まる、衰える、思い悩む)、下、舌、羊歯、慕う、従う、仕度、しだく(荒らす、躡る、砕く、ひしぐ)、親しい、したたか、認(したた)む(始末する、用意する、食べる、書き記す)、滴る、しだれる(長く垂れる)、しづ(乱れた模様を織り出した織物)、賤(しづ)(卑しいこと、卑しい者)、しっくり(よく合うようす、ぴったり)、じっくり(落ち着いているようす)、しっとり(適度に湿り気があるようす)、じっとり(湿っているようす)、しっぼりと(湿り気を十分に含んでいること)、設える、して(そうして、それで)、して(〔人数〕「二人・して行く」、〔動作の方法・手段・状態〕～を用いて、～に命じて、「人をして言わしむ」、〔前後の意味を接続する〕「空高くして高し」、〔理由〕～であるから「幼くして善悪の弁えなし」)、しどけ(ない)(締りがいい、だらしない)、しとしと、じとじと、しとどに(酷く、甚だしく)、褥(しとね)(敷物、布団、座布団)、品(物、類、地位、性質、人品、あだっばいようす、身振り)、撓う、しなびる(生気が衰えてしぼむ、水分を失ってしおれる)、しなやか(弾力があって曲がるようす、動きの柔らかなようす)、老舗(しにせ)(先祖からの職業を守り栄えてきた店)、しの(篠竹、紡績でまだ糸に撚らない太い紐状に纏めた繊維、篠笛)、しのぎ(刀の刃と背、刀の両刃の間に小高く盛り上がった部分)、凌ぐ(乗り越える、耐え忍ぶ、一定の程度を超える、侮る、卑しめる、犯す)、東雲(しののめ)(明け方、暁、曙)、忍ぶ(人目を避ける、隠れる、我慢する、隠す)、柴(雑木)、芝、芝居、暫し、しばしば、しばたたく、暫く(少しの間、かりそめ)、縛る、鮪(しび)(成長した鮪(まぐろ))、痺れる(感覚がなくなる、電気などでビリビリする、麻酔をかけられた状態になる)、渋い(渋柿のような味がする、ケチ、ひねくれている、地味で落ち着いている、苦りきっている)、飛沫(しぶき)、しぶしぶと、じふとい、渋る(すらすらと事が運ばない、便通がない、躊躇う、嫌がる)、蕊(しべ)(花粉を作る器官、オシベ・メシベ)、しほたる(潮水に濡れる、涙に袖が濡れる、涙を流して泣く、嘆きに沈む)、凋む、絞る、島、縞、仕舞う、締まる(緩みなくなる、閉じる、儉約する、品行がよくなる)、閉る、紙魚、染み、凍み(厳しい寒さ)、しみじみ、染みる(染まる、染透る、影響が及ぶ、深く感じる、体や皮膚に痛みを感じる)、凍みる(氷る、氷るほど冷たい)、標(しめ)(場所を限るため木を立て縄を張り回したりなどしたもの、しめなわ)、示す、湿(しめ)す、しめやか、しめり(湿気、雨の降ること)、占める、下(しも)、霜、しも(〔意味を強める〕「今しも」)、しもと(枝の茂った木立、木の細い枝)、笞(しもと)(刑罰で罪人を打つための細い木の鞭)、しゃがむ、しゃがれる(声がかすれる、しわがれる)、しゃくる(しゃっくりをする)、しゃくる(窪むようら抉る、掬う、顎を前に出して後に引く)、しゃっくり、喋る、洒落る、じゃれる、じゃんけん、しゃんと(正しく整っているようす、体を起こした姿勢をよくするようす、態度や内容がしっかりしているようす、老人の元気なようす)、舅(夫または妻の父)、しょげる、調べる(調査する、吟味する、点検する、探す、音律を整える、奏でる)、虱、尻、退く、汁、知る、著(しるけ)し、印、徴(しるし)、験(しるし)、記す、導(しる)べ、焦れる、白、城、皴、しわい(ケチ)、しわる(曲がる、しなう、たわむ)、巢、酢、簾(すだれ)、為、吸う、末、透かす、賺す(騙す、宥める)、清々しい、すが眼(片目、めっから、藪覗み)、眇(すが)める(片目を細くして見る、狙い見る)、縫る、隙、

鋤、杉、過ぎる、好く、梳く、漉く、剥く、結(す)く、直ぐ(曲がっていないこと、ただちに)、すくすくと(高く真っ直ぐに伸びているさま、勢いよく成長するさま)、掬う、救う、少ない、竦む(縮んで動けなくなる、窮屈である、縮ませつける)、健やか(すくすく育つさま、健康なさま、心がしっかりしているさま)、すぐる(多くの中から選び取る)、優れる(他よりも勝る、気持ちよく晴れ渡る、調子がいい)、助(手伝い)、次(すけ)(第二の官、次官)、挿げる、凄(さい)、少し、すこぶる(たいそうである、ひどい、少しばかり、かなり)、すこむ、すさび(慰み、心を紛らす遊び)、荒ぶ(荒れる、争いが酷くなる、荒れ衰える)、すさまじ(心が進まない、物寂しい、もの凄(さい)、程度が甚(ひど)い、呆れるほどだ)、凄(さい)まじ(ものすごい、恐ろしい、呆れた)、筋、煤、鈴、すすき、漱(すす)ぐ、涼しい、進む、涼む、雀、勧める(誘う)、薦める(褒めて人に紹介する)、啜る、裾、集(すだ)く(群がり集まる)、ずたずた、廃れる、——ずつ、すちやらか(歌舞伎下座音楽のひとつで、阿呆陀羅經(あほうだらきょう)を三味線に乗せたもの。阿呆陀羅經とは、「江戸中期に乞食坊主が唱えた滑稽な俗謡」小さな二つの木魚をたたき、または扇子や杖で調子をとりながら歌い、戸ごとに銭を乞うた)もの)、ずっしり、ずっと、すっぽん、捨てる、砂、すな(魚や貝を獲る)、すなはち(その時、その頃、すぐに、とりもなおさず、言い換えれば、その時は、そこで)、脛、拗ねる(心がひねくれて我意を張る、不平を言っ(つ)て従(したが)わない)、すのこ、すは(それっ、驚いて出す声)、素早い、すばらしい、すばる、ずぶ濡れ、ずぶの(まったくの「ずぶの素人」)、術(すべ)、すべからく、すべて、統(た)べる(一つに纏(まと)める、統一する)、滑(な)る、窄(すぼ)む、すまふ(争(ま)う、相撲をとる)、墨、隅、速(すみ)やか、すみれ、住(す)む、済(す)む、澄(す)む、すめら——(天皇に関する物事につける言葉)、李(すもも)、すやすやと、すら(軽い例を挙げて重いものを推し量(はか)らせる「鳩(と)さえ恩(おん)を知る」)、ずらかる(逃(に)げる)、ずらす、すらりと(細(こ)長く格好(かっこう)のいいようす、差し障(さ)りなくことが進(すす)む)、ずらりと(大勢(おほいせ)が並(なら)ぶようす)、する(行(い)く)、擦(す)る、摺(す)る、掏(す)む(盗(ぬ)す)、播(は)る(すりつぶす)、ずるい、するすみ(少しの蓄(たくわ)えもないこと、独身)、するすると、ずるずると、すると、鋭(と)い、するめ、ずれる、座(ま)る(座(ま)る、ものが落ち着(お)く、地位・場所を占(し)める、じっとして動(う)かない、印(いん)が押(お)される、船(ふね)が水底(みずそこ)について動(う)かなくなる)、背(せ) (背中、背丈)、畝(せ) (土地の面積(めんせき)の単位)、瀬(せ) (川(が)や海(の)の浅(あ)いところ、流れの急(いそ)なところ、時期、場所)、兄(あ) (女(むすめ)が夫(おとこ)や愛人(あいじん)を親(お)しく呼(よ)ぶ語)、せい(しわざ、原因)、せかせか、せがむ、急(いそ)く、堰(せき)、咳(せき)、せしめる、せせらぎ(浅瀬(あせ)などの水(みづ)の音(ね)、その流れ)、せせる(突(つ)っついで掘(ほ)る、いじる、ぐずぐず言(い)う)、せつから、狭(せま)める、せびる、狭(せま)い、迫(せま)る(狭(せま)くなる、近(ちか)づく、困(こ)る、詰(つ)め寄(よ)る)、蟬(せみ)、せむ(近(ちか)づく、押し詰(つ)まる、迫(せま)る、ぴったりと身(み)につける)、せむし、せめぐ(恨(うら)み争(ま)う、内輪(うちわ)もめする、責(せ)め恨(うら)む)、せめて(強(こ)いて、無理(無理)に、甚(ひど)く、酷(こ)く、最小限(せうせうげん)のようす、少なくとも)、責(せ)める、攻(せ)める、競(せ)る、科白(せま)、忙(せま)しい、薇(せんまい)、発条(せんまい)、其(その)、そ(禁止「な〜そ」)、ぞ(意味を強(こ)める「雨が降(ふ)る・ぞ」)、そう(そのよう(よう)に)、添(そ)う、沿(そ)う、殺(ころ)ぐ(滑(すべ)らかに削(け)り落(お)とす、薄(うす)く削(け)り取(と)る、髪(かみ)の末(すえ)を切(き)り落(お)す、減(へ)らす)、ぞくぞくと(震(ふる)える)、底(そこ)、其処(そこ)、——そこそこ(せいぜい「100円(えん)そこそこ」)、そこそこ(急(いそ)いで簡(かん)単(たん)にする)、損(そ)なう、謗(そ)る、注(そ)ぐ、雪(そ)ぐ、そそくさ、そそける(毛羽(け)立(た)つ、乱(みだ)れる)、唆(そ)す、漫(そぞ)ろ(落(お)ち着(お)かないようす、心(こ)がな(な)んとなく進(すす)む、ねやみやたら)、育(そ)つ、其処(そち)、そつ(無駄(むだ)、手拔(て)かり)、そっくり(似(に)ている、全部(ぜんぶ)、ぞつと、袖(そで)、蘇鉄(そご)、外(そと)、そとも(山(やま)の陰(かげ)、北(きた)、後(ご))、供(そ)える、備(そ)える、其方(そなた)、嫉(そね)む、園(そと)、傍(そば)、蕎麦(そば)、そば(山(やま)のきりぎりし、崖(がき)、絶壁(たつたけ)、そば(物(もの)の角(かど)、袴(はかま)のももだち)、そばかす、そばだつ(高(たか)く聳(そ)る)、そばむ(偏(ひと)る、傍(そば)にいる、僻(へん)む、傍(そば)へ向(む)ける、嫌(きら)って遠(とほ)ざける)、聳(そ)る、そびれる(機(き)会(かい)を逃(に)す)、そばたれる(びしょ濡(ぬ)れになる)、そばつ(濡(ぬ)れる、雨(あめ)がしめやかに降(ふ)る)、そばろ(魚肉(ぎょにく)・肉(にく)・卵(たまご)などを蒸(ゆ)したり炒(いた)ったりして細(こ)かくぼろぼろに解(と)けた食(た)べ物(もの)、そま(木(き)を植(う)えつけて材木(ざいぼく)を取(と)る山(やま)、そま山(やま)、そま木(き)、そま人(ひと))、染(そ)まる、背(そ)く、——そめ(初(は)じめ「書(か)き・そめ」)、ぞめく(浮(う)かれ騒(さわ)ぐ)、初(は)める、そもそも、そやす(おだてる)、戦(そ)ぐ、空(そら)、逸(そ)らす(外(そ)す、違(ちが)った方(かた)向(む)へもってい(い)く、逃(に)がす、人(ひと)の機嫌(きげん)を損(そ)なう)、反(そ)らす、そらぞらしい、反(そ)る、剃(そ)る、其(その)れ、反(そ)れる、揃(そろ)う(彩(いろ)や態(たい)度が等(おな)しい、一(いっ)致(ち)する、全部(ぜんぶ)整(ととの)う)、揃(そろ)える、そろそろ、ぞろぞろ、そわそわ、ぞんざい、

【さ行・オノマトペ】

さーさー(静(しず)かに水(みづ)が流(なが)れたり細(こ)かい雨(あめ)が降(ふ)ったりする音(ね)、風(かぜ)で木(き)の葉(は)などが擦(こ)れ合(あ)って発(は)てる軽(かろ)やかな音(ね)・さま)、さーっ(風(かぜ)・雨(あめ)・波(なみ)などが瞬(しゅん)間的(てん)に軽(かろ)く吹(ふ)きつ(つ)ける音(ね)・さま、動作(どうさ)がほんの僅(わずか)かの間(ま)に行(い)われるさま)、さいさい(もの(もの)が揺(ゆ)れ動(う)いた時(とき)などに鳴(な)る音(ね)・さま、さわさわ)、さいりさいり(もの(もの)を食(た)べる時(とき)の軽(かろ)快(かい)で派(は)手(て)囁(ささ)み切(き)る音(ね)、さくさく)、さがさが(落(お)ち着(お)かないさま)、さくさく(もの(もの)を切(き)ったり刻(き)んだり囁(ささ)みたりする時(とき)の連(れん)続(ぞく)する軽(かろ)快(かい)でさわやかな感(かん)じのする音(ね)・さま、柔(な)らかい土(つち)・砂(すな)・雪(ゆき)・霜(しも)柱(むら)などの上(うへ)を踏(ふ)む音(ね)・さま、もの(もの)ごと(ごと)が滞(とど)りなく進(すす)むさま、もの(もの)ごと(ごと)を躊躇(ちゅう)わずに明(あ)確(かく)に言(い)うさま、はきはき、水(みづ)などが滞(とど)りなく軽(かろ)快(かい)に流(なが)れるさま、さらさら)、さくっ(砂(すな)状(じょう)のもの(もの)を混(ま)ぜたり踏(ふ)んだりする音(ね)、手(て)際(ぎわ)よく手(て)軽(かろ)なさま、さっ)、さくり(軽(かろ)く快(かい)手(て)ごたえ感(かん)じながら待(まち)ったり割(わ)ったりするさま・音(ね)、柔(な)らかい土(つち)・砂(すな)・霜(しも)柱(むら)などが踏(ふ)まれて潰(つぶ)れると(と)きの軽(かろ)い音(ね)・さま、動(う)きの素(す)早い

さま)、さくりさくり(柔らかい砂・土などが踏まれて崩れる時の軽い音・さま)、ささ(風が吹く音、さっさっ、水などが勢いよく流れたり掛かったりするさま)、さざ(人々が肥えを発てて笑ったりして騒がしいさま、がやがや、ざわざわ)、ささっ(ほんの僅かの間に行うさま)、さっ(風や雨などが瞬間的に急に吹いたり降ったりするさま、にわか、動作が軽く素早いさま、状態が急に変化するさま)、さっく(勢いのよいさま、手際のよいさま)、さっくり(軽い動作で容易く折れたり切れたり割れたりする音・さま、淡白なさま、率直なさま、料理用語でへらなどで練らないように切り解すようにして混ぜ合わせるさま)、さっぱ(さわやかなさま、すがすがしいさま、後に何も残らないさま)、さっぱさっぱ(連続的で手際のよいさま)、さっぱさぱ(さばけたさま、清潔で乱れないさま)、さっぱり(気持ちや気分が晴れてさわやかになるさま、身形・衣服・人やものの性質・態度・味などがくどくなく清潔なさま、後に何も残らないさま、こだわりや後腐れなどが無いさま、すっきり、きれいさっぱり、まったく振るわないさま、すべてに当てはまるさま、まるで、少しも)、さばさば(油気や湿り気がなく乾いていて気持ちのよいさま、動作や性格などにこだわりのないさま、苦しいこと嫌なことなどが済んで爽快な気分になるさま、気持ちの上で拘らないさま)、さぶさぶ(川を渡ったり風呂の湯を使ったり洗濯したりする時などの水を大きく動かす音・さま、しゃぶしゃぶ、汁物を音を発てて食べるさま)、さぶり(水の中に滑らかに入る際の音・さま)、さぶりさぶり(水を少しずつ時間をかけて掻き分ける音・さま)、さめざめ(頻りに涙を流して静かに身に染みるように泣くさま、深く心に染み入るさま、しみじみ、意識が明瞭で冷静なさま)、さめほろ(涙を流して泣くさま、さめざめ)、さやさや(ものが擦れ合って鳴る音、擦れあうように揺らぐさま)、さやはら(ものが擦れ合って鳴る音)、さやらさやら(ものが軽く擦れ合って発てる音、さやさや)、さやりさやり(ものが軽く擦れ合って発てる音)、さらさら(ものが軽く触れ合って発てる細やかな音・さま、ものごとが速やかに進むさま、ものごとが澁みなく行われるさま、すらすら、湿り気や粘り気がないさま、好ましく感じられる程度に乾燥しているさま、何のわだかまりもないさま、嫌味のないさま)、さらっ(ものが軽く触れ合って発てる短い音・さま、ものに湿り気や粘り気がなくて乾いた手触りがするさま、人の性格・態度・遣り方に気負いやくどさがないさま、ものごとを迷いや躊躇いなく一気にするさま、引っ掛かりのないさま)、さらら(薄く軽いもの同士が軽く触れ合って発てる音、ゆとりがあるさま、ゆっくり、ゆったり)、さらり(ものが擦れあって発てる軽い音・さま、ものに湿り気や粘り気がなくて手触りの滑らかでさわやかなさま、人の態度・性格・遣り方に気負いやくどさがなく滑らかさと軽快さを感じるさま、迷いや躊躇いもなしにものごとを一気にするさま、残るところのないさま、きれいさっぱり、残らず)、さらりさらり(軽いものが何度も擦り合ったり零れそうにして発てる微かな音・さま、液体が澁みなく流れるさま、さらさら、滞りのないさま、すらすら)、さりさり(ものを擦り合わせて出る音、軽いものを噛むような微かな音、しやりしやり)、さわさわ(風が草木をそよがせたり湯が沸いたりする際にかすかに発つ軽く細やかな音・さま、ギ分の晴れ渡るさま、滞るところのないさま、さわやかに、明瞭に、すっきり、さっぱり、手順よく滞りなく事の運ぶさま、すらっ、すらすら、騒々しい音のするさまものなどがぶつかり合って音を発てるさま、ばしゃばしゃ、落ち着かないさま、軽率なさま、そわそわ)、さわっ(薄く軽いものに何かが触れて発てる軽く小さな音・さま)、さわり(軽やかで清潔なさま)、しーおり(萎れるさま、しょんぼり)、しーしー(楊枝で歯の食べ滓をせせる音・さま、放尿する音、小便を言う幼児語、しゃーしゃー)、しーわり(撓み曲がるさまひーわり)、しーん(物音一つ聞こえず静まり返っているさま)、しおしお(気落ちして力が抜けたさま、雨・霧・涙などに濡れるさま、しばしば、態度や様子が物柔らかかでふぜいのあるさま、布などの張りがなく柔らかなさま、しなしな)、しおたら(所帯じみているさま、貧乏生活で苦勞するさま)、しおり(湿り気を含んで張りを失ったさま、しんなり)、しかしか(何度も小さく刺してくるさま、痛みを感じるさま、しくしく、痛いのか痒いのか分からない感じのするさま、ちくちく、光輝くさま、ぴかぴか)、しかほか(毒虫などに刺されて圧っぽく腫れ上がるさま)、しく(悲しげに泣く声・さま、虫などが鋭く刺すさま、刺されて痛むさま、ちくり、しくり)、しくしく(勢いなく哀れげに泣く声・さま、絶えず差し込むように鈍く痛むさま、決断できないで態度気持ちなどを明確にしないさま、ぐずぐず、じくじく、十分に行き届くさま、よくよく、とっくり、嬉しさに堪え切れないで頻りに心の震えるさま)、しくほく(病気などで痛むさま、弱って元気のないさま、しくしく、元気がなく哀れげに泣くさま、しくしく)、しくり(虫などが一度針で刺すさま、針で刺されたような痛みを感じるさま、ちくり、ものごとがほどよく組み合っているさま)、しくりしくり(虫などが何度も針で刺すさま、針で刺されたような痛みを何度も感じるさま、哀れげに泣き続けるさま、しくしく)、しげしげ(注意深くよく見るさま、念入りに観察するさま、つくづく、よくよく、じっ、興味や用事によって進んで同じ相手を訪ねるさま、しきりに、ひんぱんに、だひたび、草や木が茂って枝や葉が隙間なく重なり合うさま、低い声なくさま、しくしく)、しこしこ(弾力があって噛むと歯ごたえのあるさま、無闇にするさま、躊躇わずやたら行うさま、ぬかるんでいるさま)、しこっ(食べ物に心地よい歯ごたえの感じられるさま)、しし(しゃくり上げてなくさま、しくしく)、ししらしん(知らん顔をして平然と澄まし込んでいるさま、つん)、したした(忍びやかな足音や静かに雨の降る音、ひたひた、しとしと、棒などが撓うさま、水などが静かに流れるさま)、しっ(動作を素早く強く行うさま、さっ)、しっか(動作や態度などが固く確実なさま、しっか、ものごとの状態などが立派手で明瞭なさま)、しっか(ものの作りや構造が堅固であったり安定しているさま、固く強いさま、気持ちや意識が強く確かであるさま、堅実で信用がおけるさま、ものが豊富であったり程度が甚だしかったりするさま、十分であるさま)、しっこり(ほどよい粘り気と硬さがあるさ

ま)、しっしっ (手際よく素早いさま)、しったり (しなやかに垂れ下がるさま、雨などに完全に濡れてしまうさま、しっとり)、しったん (鼓の音、しってい)、しっちゃんめっちゃか (ものごとが回復できないぐらい混乱したさま、めちゃくちゃ)、しっちゃんこっちゃ (あれやこれやと慌しいさま)、しってい (砵を打ったり機を織ったりまた馬に鞭を当てたりする時などの音)、しっと (隙間のないさま、強く固着したさま、ぴったり、びしっ、睦まじいさま、情の細やかなさま、しんみり)、しっとり (湿気が軽く全体に行き渡っているさま、濡れ湿っているさま、静かに落ち着いたさま、深く静まり返っているさま、よく整って安定しているさま、女性の静かな中にも潤いや仄かな色っぽさが漂っているさま)、しっぱ (撓うさま、十分に撓むさま、しっぱり、濡れ占めるさま、じっとり)、しっぱり (木の枝などが撓む音・さま、しっぱ、強く身に堪えるさま、深く身に染みるさま、十分に落ち度のないように行うさま、十分にものあるさま、よく、しっかり)、しっぱ (湿気を十分に含んでいるさま、濡れ通っているさま、しっとり、しっぱり、情を含んで静かな落ち着きのあるさま、しっぱり)、しっぱり (十分に濡れるさま、雨などが静かに降るさま、しっとり、しっぱ、静かに落ち着いたさま、しっとり、しんみり、男女間の情愛の親密で細やかなさま、睦まじいさま、熱心なさま)、しってい (鼓を打つ拍子の音、しってい)、しとしと (雨などが細やかで静かに降るさま、まったく濡れるさま、静かに少しずつものごとを行うさま、静かに歩くさま、しずしず、間をおいて続けて強く打つさま)、しとっ (湿気や潤いが軽く全体に行き渡っているさま)、しとど (動作などが勢いよく急であるさま、打ったりぶつかったり切り付けたりするさま、優しく穏やかに打つさま、そっ、動作が急で歯切れのよいさま、ぱっ、ものが密着しているさま動作が同時であるさま、ぴったり)、しとど (雨。露・涙・汗などで酷く濡れるさま)、しどもど (どういう対応をしようか分からないでまごつくさま)、しとら (湿っぽいさま、潤いのあるさま)、しとり (潤いのあるさま、しめやかなさま)、しどろもどろ (言語が首尾一貫せず酷く乱れているさま、足元の定まらないさま)、しなくな (撓みしなうさま、しなしな、くなくな)、しなしな (撓いたわむさま、姿態や動きが弱々しげなさま、くなくな、しなくな、張りのないさま、元気のないさま)、しなっ (柔らかく撓むさま)、しならぐなら (態度や行動に確固としたところがなく掴まえ所のないさま、のらりくらり)、しなりぐなり (手ごたえのないさま、あちらこちらととりとめのないさま、のらりくらり)、しなりしなり (身をしなやかに動かして気取って歩くさま、しゃなりしゃなり)、しねくね (体を柔らかく振らせるさま、態度を明確にしないさま)、しねしね (弾力があって柔らかなさま、しなしな)、しは (幅の細いものをものに強く打ち当てるさま、ばしり)、しばしば (何度もまばたきするさま)、しばしば (目を何度も閉じたり開いたりするさま、水気がないさま)、しびしび (小雨の降るさま、しとしと)、しぶりこぶり (気の進まないさま、しぶらこぶら)、しばしば (雨・露・涙などに濡れるさま、涙で目が潤って瞬きするさま、しょぼしょぼ)、しばしば (雨・露・涙などに濡れ潤うさま)、しめじめ (湿り潤うさま、雨が絶え間なく静かに降るさま、人の心が静かにうち沈んでいるさま、しんみり、深く心を打ち込んでいるさま、つくづく)、しゃー (水などが軽やかに勢いよく流れ落ちるさま・音)、しゃーしゃー (長い間水などが軽やかに勢いよく流れるさま・音、しゃー、放尿する音・さま、クマゼミの鳴く声、厚かましくて恥を恥とも思わないさま、何でもないように澄ましたさま)、しゃかしゃか (マラカスやタンバリンを振ったときに出る小さいものが触れ合った時に発する軽く硬質な音・そのよなりズムの音、小さい物や薄いもの軽いものなどを小刻みに掻き回すさま、小回りを利かせて動き回るさま、ナイロン製の防寒着)、しゃがしゃが (畏縮して元気のなさ)、しゃきしゃき (歯切れ欲ものを噛む音、細かく切り刻む音、規則正しく動く機械の小さな音・さま、ものごとを素早く手際よく処理するさま、てきぱき)、しゃきっ (固くて歯切れのよい感じの音・さま、人の体や気持ちが真っ直ぐに張りのあるさま、しゃっきり)、しゃきり (固くて歯切れのよい感じの音・さま、姿勢や気持ちが真っ直ぐに張るさま)、しゃきん (姿勢や気持ちが真っ直ぐに引き締まるさま、しゃっきり)、しゃくしゃく (金属片などが触れ合って発する音、歯切れのいい食感でものを噛む音・さま)、しゃごしゃご (元気なさま、乱れて不ぞろいなさま)、しゃっ (勢いよく素早く事が行われるさま、さっ、ものごとの状態が正しく整っているさま、きちん)、しゃっき (力強く真っ直ぐ張っているさま、しゃっきり)、しゃっきり (固くて歯切れのよい感じの音・さま、直立するさま、突っ張って硬直するさま、気持ちが張り切っていて力が籠っているさま)、しゃっしゃっ (素早く擦ったり削ったりする時に発する軽く乾いた音・さま、要領よく素早く動作をするさま、さっさっ、ちゃっちゃっ)、しゃっぱり (さわやかなさま、さっぱり)、しゃっぷり (水などを注ぎかける音・さま、刀で簡単に首を切り落とす音・さま、すっぱり、しゃぶり)、しゃでんで (壬生狂言の囃しの音、鰐口締太鼓などの音)、しゃなしゃな (身を柔らかかに動かして気取っているさま、細く弱弱しいさま)、しゃならしゃなら (柔らかな動きして気取っているさま)、しゃなり (柔らかな身のこなしをして気取ったさま)、しゃなりくなり (柔らか身のこなしをして気取ったさま)、しゃなりしゃなり (柔らかな身のこなしをして気取って歩くさま、しゃならしゃなら、しゃなしゃな、)、しゃぶしゃぶ (水が軽く波立つ音・さま、粘り気がないさま、薄切りにした肉を熱湯に素早くぐらぐらさせて軽く煮てたれ汁に浸けて食べる料理)、しゃぶり (刀で切り下げる音・さま、しゃっぷり)、しゃらしゃら (鈴や細い鉄鎖などの触れ合って鳴る軽く高い音・さま、布などのしなやかで薄く軽いものの擦れ合う音、気取って歩くさま)、しゃらり (固いものが一度触れ合って発する軽い音、軽い物音を発しながら歩くさま、滑らかなさま、さらり、すらり、着飾って気取ったさま)、しゃらりしゃらり (固いものが何度も触れ合って発する軽い音、軽い物音を発して歩くさま、しなやかで洗練されいくらか色っぽい感じのあるさま)、しゃりしゃり (張りのある固さで薄ぺらなものや軽いものなどが擦れ合う時に発する微かな音・さま、雪や砂などを踏んで歩く音、シャーベットやリンゴなどのように軽い歯ざわりを感じ

るさま、気取って歩くさま)、しゃりっ (薄っぺらなものや軽いものなどが潰れるなどして発てる微かな音、適度な張りがあつて手触り歯ざわりが心地よいさま)、しゃりりしゃりり (続いて起こる軽くて鋭い乾いた感じの音)、しゃりんしゃりん (小さな鈴や細い鎖などが触れ合ったり布などのしなやかで薄く軽いものが擦れ合う音・さま)、しゃわしゃわ (水が細かく泡立ったり薄いものや軽いものなどが触れ合つて発てる音・さま)、しゃん (鈴や三味線を鳴らす音、ものごとの状態が正しく整っているさま、体を起こして姿勢のいいさま、姿勢に直線的な張りがあるさま、言語・行動・考えなどに一本線が通つて明瞭なさま、たしかに、はっきり、味などに一本筋が通つたような張りが感じられるさま、生憎なさま、残念ながら、運悪く)、しゃんぐしゃんぐ (鈴などの鳴る音、ちゃっちゃつ)、しゃんこしゃんこ (馬の鈴の音、しゃんしゃん)、しゃんしゃん (鈴などが軽やかに鳴り続ける音、蟬などが盛んに鳴く声、大勢で手を打つ音、事の決着が付いた時手を打つて喜ぶさま、湯が盛んに沸き立つ音・さま、しゅんしゅん、元気に立ち働くさま、てきばき、活発で手早いさま)、しゅー (小さい穴や隙間から空気などが抜け出る音、蒸気や煙などが勢いよく噴出す音・さま、雀の鳴く声)、しゅーしゅー (絹物の擦れ合う音、ものの擦れ合う音、小さい穴や隙間から水・蒸気・湯気・空気などが続けて噴出てくる音)、しゅっ (素早く勢いよく擦れる音、気体が勢いよく出る音・さま、勢いよく動くさま)、しゅっくり (たのことに関心を奪われて落ち着かないさま、そぞろ)、しゅっしゅっ (穴や隙間から蒸気や液体などが勢いよく断続的に吹き出る音・さま、布など柔らかいものが擦れ合う音・さま、風を切って走ったり勢いよく動作をするさま)、しゅーふー (息を吹く音)、しゅぼっ (ものが勢いよく一気に抜けたり落ち込んだり被さったりする音・さま)、しゅらくら (湯などが煮え滾る音・さま、怒りや嫉妬のため心や胸中が沸き返るさま)、しゅるしゅる (物体が拘束で進んでいる時などに周囲との摩擦によって出る音・さま、線状のものが伸びたり移動したりする音・さま)、しゅるっ (ものが一瞬滑らかに擦れ合つたり巻きつく音・さま)、しゅわしゅわ (炭酸など液体の泡などが続けて発生するさま、羽や軽いものが何度も風を切る軽い音・さま)、しゅわっ (一気に泡立ったり溶けてなくなる時の軽やかな音・さま)、しゅん (元気をなくうなだれてしまうさま)、しゅんしゅん (菓蓐などの湯が沸き立つ音・さま)、しよきしよき (ものが疎らに立つさま)、しよぎしよぎ (嬉しくて心が軽やかなさま、ぞくぞく、うきうき、気持ちやものが真っ直ぐに立つさま)、しよこしよこ (動作が小刻みで忙し気なさま、ちょこちょこ)、しよっぼり (孤立して寂しそうなさま)、しよならしよなら (身を柔らかく動かして気取って歩くさま、しゃなりしゃなり、しよなりしよなり)、しよぼくさ (人や草木などが雨や露にみすばらしく濡れているさま、じとじと)、しよぼしよぼ (小雨が陰気に降り続くさま、どうしようもないほど雨に濡れるさま、しよぼりしよぼり、元気なくうなだれているさま、惨めなさま、眼を長く見開いたままでいられず頻りと瞬きするさま、草や髪髭などが疎らでみすばらしいさま、ちょぼちょぼ、幼女結う髷の名)、しよぼっ (開いているか分からない眼をしているさま、元気なくうなだれているさま)、しよぼり (元気なくうなだれているさま、意気消沈したさま)、しよぼりしよぼり (降り続く小雨が陰気な気分させさせるさま、元気のないさま、不景気なさま)、しよぼん (気力を失って落ち込んでいるさま、ぼんやり)、しよりしより (細かに砕けて口に当たるさま・音、口当たりがさわやかで軽い歯ごたえのあるさま、髪・髭などを剃る音、短い髭などが肌に当たるさま)、しよりり (歯ざわりのよいさま)、しよろしよろ (水が緩やかにほんの少しづつ流れるさま・音、細々と伸びているさま、ひよろひよろ)、しよんぼ (雨に濡れたりなどして侘しいさま、元気なく寂しげなさま)、しよんぼり (元気なくうなだれているさま、意気消沈したさま、侘しく寂しそうなさま)、しらくら (嫉妬するさま、湯などの沸騰するさま)、しらく (厚かましく感じられるほどなんでもなさそうなさま、しれっ)、しるら (潤っていて豊かなさま)、しれしれ (いかにもとぼけたさま、愚かに見えるさま)、しれっ (厚かましく感じられるほど何事もなかったように振舞うさま)、しるしる (無遠慮にしつこく見詰めるさま、じろじろ)、しるり (平然としているさま、けろり、目玉を動かして鋭く睨むように見るさま、じろり)、しわくしゃ (皺がよって縮んでいるさま)、しわくた (皺だらけのさま、酷い目に合つたり合わされたりするさま)、しわくちゃ (酷く皺がよっているさま、皺ができて縮れているさま、揉め事の起こっているさま、いさかひ)、しわしわ (ものごとが撓つたりへこんだりする音・さま、酷く皺がよるさま・その皺、胸がしめつけられて堪えられない感じになるさま)、しわりしわり (炭火の上に少しづつ水が落ちて鳴る音)、しん (物音一つしないで静まり返っているさま。寒さ・音・声などが身に深く染み透るさま)、しんとんとろり (油などが柔らかく濃いさま、男女の情交や熱愛が濃厚なさま、しんとろとろ、しんとろり)、しんなり (柔らかく弾力を保っているさま)、しんねり (しつこく粘っこいさま、男女が親密にもたれ合っているさま)、しんねりむつつり (性質・態度が陰気だつたり鈍重だつたりして無口なさま、そのような人)、しんぼり (元気なく下を向いているさま、しよんぼり)、しんみり (心が沈んでもの寂しくしめやかなさま、深く心に染み入るさま、遣り取りの情の細やかなさま、心静かに落ち着いているさま)、しんめり (衣服などが湿気を帯びているさま、しっとり、心静かに落ち着いているさま、物寂しくしめやかなさま、しんみり)、すい (ものなどが瞬間的に素早く動いたり変化したりするさま、すっ、周りから飛びぬけて目立つさま、すらっ)、すいすい (気持ちよく軽やかに滞りなく進んでいくさま、細かい枝などが何本ものびのびと出ているさま)、すーすー (息を吸つたり吐いたりする音、隙間から風が吹き通る音、風が通つて薄暗く感じるさま、ものごとが軽く行なわれるさま、すっすっ、必要な限度にどうにか達するさま、精一杯のさま)、すーっ (息を長く静かに吸い込む音、空気などが漏れる音・さま、細長い一本の筋となって真っ直ぐに伸びるさま、すっ、ジスカにものごとが進んだり変化したりするさま、蟠った気持ちが晴れるさま、涼しげでさわやかな味わいを感じるさま)、すーはー (深く息を出し入れするさま、深く息を吸って

臭いを嗅ぐさま)、すーわり (しなやかなさま、しとやかなさま、細く伸びやかなさま、すらり)、すーん (快い臭いが行き渡るさま)、すか (容易く滞りなく事を行なうさま、気持ちよくものを切るさまに言うことが多い、すかつ、矢的を射損なうさま、外れくじ、予想や当てが外れること)、すかすか (あちこちに隙間のあるさま、中身が詰まっていないさま、気になって何度も臭いを嗅いだり呼吸するさま、風や空気の通り抜けるさま、滞りなく事を運ぶさま、思いのままに苦もなく切るさま、矢が狙った対象を外してしまうさま、急ぐことを言う女房詞)、すがすが (気分が伸び伸びして何の心配もないさま、すっきり、未練や躊躇いをもたなしさま、思い切りのよしさま、喪の`個との進行が滞ることのないさま、すらすら)、すかつ (何も遮るものがなく快いさま、鮮やかに気持ちよくものが切れるさま、すばつ、大きな動作などで空を切るさま)、すかり (容易く気持ちよく事が行なわれるさま、矢が狙った対象を射損ねるさま)、すかりすかり (次々に調子よく切っていくさま)、すきすき (何も蟻のものがなく快いさま、気分のよいさま、すっきり、ものごとが支障もなく円滑に運ぶさま)、すきつ (気分が張りがでるさま、少しも残るところがないさま、すかつ、さっぱり、すっきり)、すくすく (何も遮るものがなく元気に育つさま、ひたむきに進むさま、飾らず率直に行なうさま、弱々しげに泣くさま)、すくつ (勢いよく真っ直ぐに立っているさま、すく)、すこすこ (肌寒いさま、隙間風が寒いさま、蓋や服などの寸法が大きすぎるさま、がぼがぼ、だふだふ)、すごすご (元気なくその場を離れるさま、気落ちして元気がないさま、独り侘しそうにしているさま)、すこん (ものがぶつかった時の軽く乾いた音・さま、すべてが軽い調子である状態になるさま、ものなどが簡単に落ちたり嵌ったり抜けたりするさま)、すこんすこん (キツネの鳴く声、何度もものがぶつかったり空回りする時に発する軽く張り合いのない音・さま)、すすつ (汁などを軽く吸い込む音、ものごとが素早く静かに変化するさま、速やかに進めるさま)、すたこら (急ぎ足で歩くさま、大急ぎで逃げるさま)、すたすた (足取りも軽く後も見ずに歩いてゆくさま、水滴などが連続して軽やかに落ちるさま、息遣いが忙しいさま、は一は一)、すたつ (身軽に降り立つさま)、すつ (ものや息を一瞬吸い込む音・さま、細長い一本の筋となって真っ直ぐに伸びるさま、素早く静かにものごとが進行するさま、そのように物事を行なうさま、蟻ったり小混乱した気分が晴れるさま、さっぱり)、すつか (大きな動きで空やものを切るさま)、すっかり (残るところがなくすべてに渡るさま、ことごとく、思い切ってするさま、滞りのないさま、清々しいさま、細身に格好のいいさま、すらり、矢が狙った対象を射損なうさま)、すつき (勢いよく真っ直ぐなさま、すく、少しも残るところがないさま、ある状態に完全になるさま、すっかり、まったく)、すつきり (言動・気持ち・態度に過不足がなく快いさま、洗練されていて見ている気分がいいさま、気分が晴れるさま、ものごとのすべてに渡っていて少しものこるところのないさま、すっかり、その事すべてに渡って否定するさま、まったく、さっぱり)、すつく (勢いよく真っ直ぐ上に伸び上がるさま、すくつ、すくくり)、すくく (真っ直ぐに立つさま、すく)、すくくり (真っ直ぐに立つさま、すく、ものごとの総てに渡るさま、すっかり、全部、すべて、清々しく快く感じられるさま、水を少なくして硬めに飯を焚くさま)、すつすつ (ものが滑らかに静かに擦れ合って出る音・さま、激しく呼吸する音・さま、ものごとが支障なく滑らかに進みゆくさま)、すつたり (少しも残らないさま、すっかり、まるつきり、突然人などに会うさま、ぱったり)、すつてん (急に弾みをつけて転ぶさま、すてん)、すつてんてん (所有していたものや金などが完全になくなるさま、無一文無一物になるさま)、すつとん (ものが何かに打ち当たって調子よく発する音)、すつとんとん (ものがなにかに当たって調子よく発する音、ものごとが調子づくさま)、すつぱ (ものを容易く見事に切るさま)、すつぱすつぱ (タバコを盛んに吸うさま、すばすば、ものごとを次々に手際よく行なうさま、すばすば)、すつぱり (一刀のもとに見事に切り放すさま、ものを真っ二つに切り分けるさま、気分などに滞るところのないさま、思い切りのよいさま、きれいさっぱり、ある状態に完全になりきるさま、完全に、ことごとく、すっきり)、すつぺらぼん (完全に空になってしまうさま、無一物になるさま、残らず全部、すつからかん、弾みがついてもものごとが行なわれるさま)、すつべり (残るところのないさま、まったく、すっきり、凸凹がなく滑らかなさま、さらさら)、すつぽすつぽ (小鼓を調子よく叩く音、すぽぼん、ものを一思いに具合よく抜いたり入れたりするさま)、すつぽり (ものが調子よく嵌ったり外れたりなどするさま、全体を丸ごと包み込むさま、人を罵って言う語、まぬけ、あほう)、すつぽんぼん (丸裸で何も身につけないこと・さま)、すてん (人が急にたわいなく転んだり滑ったりなどするさま、ものが弾みをつけて倒れるさま)、すとん (軽く物が落ちたり打ち当たったり倒れたりする音・さま、弾みをつけて軽く切り落とされたり呆気なく撃たれるさま、ほかと比べてかけ離れているさま)、すなすな (素直なさま、人に逆らわずに従うさま、身を動かすさま、静かに歩むさま)、すならすなら (しなやかに歩くさま、しゃならしゃなら、すなりすなり)、すなりすなり (しなやかに歩くさま)、すねくね (体や言葉の調子などが色っぽくくねりしなうさま、しねくね)、すばすば (ものを大きな音を発して飲んだり吸ったりするさま)、すばすば (盛んにタバコを吸うさま)、すばつ (切れ味よく鮮やかに切る音・さま、躊躇わないで一気にもものごとを行うさま)、すぱり (ものを一度に気持ちよく断ち切るさま、躊躇わずものごとを行なうさま、煙管などを一口吸うさま)、すぱりすぱり (タバコなどを余裕を見せて吸うさま)、すべすべ (手触りや見た目が滑らかで快いさま)、すべすべ、すべつ、すべらすべら (手触りが滑らかで張りのなさま、薄ぺらで安っぽいさま)、すべり (滑らかなさま、つるり)、すべすべ (ものが調子よく一息に抜けたり嵌ったりするさま)、すべつ (ものが勢いよくはまり込んだり大きく膨らんだものが急激に縮むさま)、すべつ (ものが勢いよく一息に抜けたり被さったりするさま)、すべぼん (小鼓を叩く音、すつぽすつぽ)、すべらぼん (調子よくものごとを行なうさま)、すべり (ものが容易く一息に抜けたり嵌ったり外れたりなどするさま、もの

を頭から全身に被るさま)、すぼん (ものがうまい具合に息に抜けたり嵌ったりする軽快な音・さま、すっぽり、簡単に騙されたり逃げられるさま)、すほんすほん (鼻水を吸りながら泣く声、くすんくすん)、すぼんすぼん (ものがうまい具合に調子よく次々と抜けたり嵌ったり当たったりする音・さま、次々と調子よく上手的中するさま)、すやすや (静かに気持ちよく寝入っている寝息の音・さま、肌触りの快く冷たいさま、静かで透き通っているようなさま)、すやり (体つきなどが細く端正なさま)、すらすら (滞りなく滑らかに動作やものごとが進行するさま)、すらっ (姿が細く形よく伸び伸びとしているさま、すらり、軽やかに巧みなさま、滞りないさま、すらり)、すらり (立ち姿が痩せて格好よく見えるさま、背丈が高く伸びやかなさま、ほっそり、刀などを軽やかに息に抜くさま、差し障りなくことが運ぶさま、支えずに進むさま、ある動きが一連のもの総てに渡って素早く及ぶさま、軽快に動くさま)、すらりすらり (滞りなく軽々とものごとが行われるさま)、するする (ものが滑って擦れ合うときの軽やかな音・さま、人や動物などが速やかに滞りなく移り動くさま、棒状・带状のものが勢いよく伸びるさま、ものごとが滞りなく行われるさま、滑らかに進行するさま、女房詞でとくに出産が無事に済むこと)、するっ (軽い力で瞬間的に素早く滑らかに動くさま、引っ掛かりなく滑るように動くさま)、するり (動作が容易く速やかなさま、動き方が滑るように滑らかなさま)、するりするり (動作が速やかに滞らないさま、そうした動作が反復するさま)、すれすれ (触れ合いそうなほど近いさま、もう少しである基準や限界に達しそうなさま、際どいさま、摩擦の多いこと、互いにいがみ合い仲の悪いさま)、すわ (刀を素早く抜くさま)、すわすわ (水などを気持ちよさそうに飲むときの音、滞りなく軽やかにものを切るさま)、すわりすわり (ものを軽く静かに撫で摩ったりまた切ったりするさま)、すん (冷たい態度をとるさま、すげないさま、そっけないさま、つん、内心では関心がありながら表面的に関心のない振りをするさま、つん、しなやかで張りのあるさま、身のこなしが整っていていかにも芸者風であるさま)、すんがり (細く背の高いさま、すらり、清々しいさま、気分が晴れやかなさま)、すんごり (木などが静かに暗く茂っているさま、精気なく立っているさま)、すんずり (涼しく気分の清々しいさま)、すんすん (動作が滞りなく速やかに行われさま、ずんずん、どンドン、間をおかず次々に行われるさま、冷たくすげないさま、つれなく当たるさま、つんつん、不機嫌なさま、無愛想なさま)、すんなり (長細くしなやかなさま、しとやかなさま、穏やかなさま、抵抗感がなく素直なさま、差し障りなくことが運ぶさま)、

せーせー (喉に引っ掛かるような息遣いの忙しい音、喘ぐさま)、せかせか (慌しく動作などの落ち着かないさま、急ぎ立てられるようで気持ちの落ち着かないさま、せせこましいさま、細々としているさま)、せきせき (落ち着かない動作を繰り返すさま)、せぎり (太鼓を叩く音)、せこせこ (細かく動いて落ち着かないさま、細かく小さなことを繰り返すさま)、せせくさ (手で握り潰して皺にすること)、せせくしゃ (細かく乱雑になるさま、しわくちや、もみくしゃ、せせくさ)、せせほしゃ (小声で話すさま、ほしゃほしゃ)、せたせた (慌てて落ち着かないさま、せかせか)、せっせ (休まず一生懸命に行うさま)、せっせくちや (やたらに突付き回すさま、もみくしゃ)、せらせら (喉が渴いて痰などが絡むようなさま、喉がいがらっぽい感じになるさま、喉に痰や唾が詰まって不快なさま)、せりせり (動作などの落ち着かないさま、ものごとを急ぎ立てるさま、せかせか、せせこましいさま、せこせせ、言動などの小五月蠅いさま)、

そいそ (休み泣く歯切れよく静かにものを噛む音)、そーそー (水や涙の流れるさま、ざーざー)、そーっ (相手に気付かれないように行動するさま、注意深く動いたり扱ったりするさま)、そがそが (隙間などがあって寒々としたさま、肌寒いさま、貧乏染みたさま、貧弱なさま)、そくそく (ものを刻んだり土や砂などを踏み際の軽快でさわやかな感じの音、さくさく、静かで進みの緩やかなさま、時間をかけて少しずつ行うさま、ゆっくり、そろそろ)、そげそげ (まとまりがなく調和の取れていない音・さま、いゝ加減で誠実味のないさま、痩せ衰えたさま、やつれているさま)、そごそご (気落ちして元気のないさま、すごすご、乾いたものや強張ったものなどが触れるさま)、そそ (静かに風の吹く音、そよ、静かなさま、軽やかなさま)、そそくさ (態度・行動が落ち着かないさま、慌しいさま、あれよあれよという間に)、そそっ (動作が軽やかなさま、そそ)、そっ (音を立てないように静かにものごとを行うさま、注意深く扱うさま、他人に気付かれないように密かにものごとを行うさま、内々に、隠れて、何も刺激するようなことをせずに放っておくさま)、そっくり (極めてよく似ているさま、全体をそのままにしておくさま、あますところのないさま、そのまま)、そつそつ (風が静かに吹くさま、雨が僅かに降るさま、静かなさま、密かなさま)、そとそと (静かに穏やかに行うさま)、そぶそぶ (水の動く音、ざぶざぶ、口やかましいさま、何のかのとうるさく不平を言ったり噂をしたりするさま、よそよそしくて打ち解けないさま)、そぼそぼ (雨のそぼ降るさま、体全体が濡れるさま、しょぼしょぼ、みずばらしいさま、陰気で活気のないさま、寂しくしめやかであるさま)、そよ (静かに風の流れる音、ものが触れ合って発てる微かな音・さま)、そよそよ (風が静かに吹き続けるさま、優しい風が草木などをそよがす音・さま、さやさや、静かに水の流れる音・さま、薄く軽いものが静かに触れ合って発てる微かな音・さま)、そより (ものが軽く触れ合って一瞬発てる微かな音、風が静かに吹き過ぎるさま)、そよりそより (ものが何度も軽く触れ合って発てる微かな音、風が軽く続けて吹くさま)、そよる (ものが軽く触れ合って発てる微かな音)、そろそろ (動作が静かに緩やかに行われるさま、ある状態に向かって少しずつ時間をかけて進むさま、次第次第に、少しずつ、だんだん、おいおい、定まった時刻や時期になりつつあるさま、おっつけ、まもなく、ぼつぼつ)、そろっ (僅かの動作が時間をかけて注意深く行

われるさま、そろり、瞬間的に滑らかに滑るさま、容易に抜けるさまなど、するっ)、そろりそろり(動作が注意深く少しずつ行われるさま)、そわそわ(気持ちや動作の落ち着かないさま、気がかりなことや期待などで浮き足立つさま)、そんぼり(眼だ立つ地味にしているさま、みすばらしいさま、気分が沈んでいるさま、しょんぼり)、

【ざ行・オノマトペ】

ざーざー、ざかざか(性格が素直で明るいさま)、ざくざく(粗く刻んだり踏んだりする力強い音、粗い粉状のものが多く集まって触れ合う音、=ずきずき)、ざくっ、ざくり(十分な手ごたえを感じながらものを力をこめて粗く切ったり割ったりする音、固いもみの同士が触れ合う音、布地などの手触りが粗いさま、衣服などを無造作に着るさま)、ざぐり(ものを勢いよく割ったり刃物などを差し込んだりするさま、布地などの手触りが粗いさま)、ざざっ(雨・風・波などが激しく瞬間的に打ちつける音、粒状のものが勢いよく移動したりものが崩れるさま、ざーっ)、ざざんざ(松に風が荒く吹きつける音(囃し言葉のように用いる)、酒を飲み騒ぐさま)、ざしざし(砂・塵・土埃などで表面がざらつくさま)、ざっ(風や雨などが突然に勢いよく吹いたり降ったりする音・さま、動作が纏まって勢いよく急なさま、動作が荒々しいさま、おおまかな見当でおこなったり予想したりするさま)、ざっきざっき(雪や霜などが踏みつけられて潰れる音、ざっくざっく)、ざっく(硬い粒状や小さな板状のもの同士がこすれ合って発てる大きく乾いた音、勢いよく切ったり割ったり噛んだりする音・さま、鎧を身につけると金属の板同士が触れ合う音・そのように鎧を身につけるさま、遠慮や分け隔てのないさま・気楽なさま・たやすいさま、ざっくばらん)、ざっくざっく(ものを刻んだり踏みつけたりする力強い音、粗い粉状のものが多く集まって触れ合う音・さま、金銭などが次々にたくさん出てくるさま)、ざっくり(豪快にものを切ったり割ったり突き刺したりする音・さま、細かく硬いものを無造作に掴んだり踏んだりした時にそれらの触れ合う音・さま、切り口や割れ目などが見た目にも無惨に抉られたり割れたりしているさま、衣服などを無造作に着ているさま、布地などの手触りや織り方編み方が粗くて厚みの感じられるさま)、ざっざっ(水や蒸気が勢いよく規則的に流出する音、砂や埃を履き集める音)、ざっぷ(勢いよく水中に飛び込む音、ものが勢いよく水中に投げ込まれる音、ざんぷ、刀などでものを勢いよく断ち切る音・さま)、ざっぷり(水がかかっったり水にもものが投げ込まれたりして飛沫が勢いよく飛び散る音・さま、刀などでものを勢いよく断ち切る音・さま、ざっくり)、ざぶざぶ(大きな水の音、漬物を大きな音を発てて食べるさま)、ざぶっ(水中に勢いよく飛び込んだりものを投げ込んだりする瞬間の音、勢いよく水を浴びる音・さま)、ざぶり(水の中に滑らかに入る際の音、波が激しく打ち寄せたりする時などの音・さま、ざぶん)、ざらざら(粗いものが擦れ合って発てる音、粒状のものが多量に続けて落ちたり動く時の音、手触りや見た目全体に粗さや強い引っ掛かりのあるさま、ものごとがささくれて荒々しいさま、気味悪く鳥肌立つようなさま、周囲に配慮せずものごとを勝手に速やかに進めるさま、さっさ、多くのものが並び繋がるさま、ぞろぞろ)、ざらっ、ざらり(重みのあるものが擦れ合ったり零れたりして発てる音・さま、手触りや見目が粗いさま、そのような気分が生じるさま、多くのものが纏まりなく並び連なるさま、ものごとを一気にするさま、残るところのないさま、すっかり、残らず)、ざらりざらり(粗いもの同士が擦れ合って発てる大きな音・さま、何度も粗く感じるさま、力強く迫力をもつものごとが進むさま)、ざらりん(弦を一度かき鳴らす音、じゃらん)、ざりざり(硬いもの角張ったものなどを噛んだりそれらが擦れ合ったりして発てる音)、ざわざわ(声や音が騒がしく聞こえるさま、大勢が騒ぎ動くさま、不安や嫌な予感などで心が波立つさま、病気の熱などで寒気がするさまや気味が悪く鳥肌が立つようなさま)、ざわっ(静けさ野の中で声や音が全体的に短く収まるさま、寒気などが一瞬起こるさま、ざわり)、ざんぐり(おおらかで垢抜けしているさま、おおまかで茶味のあるさま、茶器を鑑賞するとき用いる表現、煮物や和え物などを柔らかく重ねて盛るさま)、ざんざ(枝や葉を風が激しく鳴らす音・さま、雨や流れや波などが激しく打つ音・さま、ざーざー、滞りなく勢いよく移動するさま、どんだん)、ざんざざんざ(水音が頻りに激しく響くさま、水を激しく掻き分けるさま)、ざんざら(雨や風などが吹きつける騒がしい音・さま)、ざんざん(雨が勢い激しく降るさま)、ざんばら(結っていた髪などが解けて振り乱れているさま)、ざんぷ(勢いよく水に飛び込んだり大きいものが水中に投げ込まれたりしたときの音、大きな波が押し寄せる時の音・さま)、ざんぷこんぷ(水が大きくかき回される音、浮いたり沈んだりするさま、ざぶざぶ、湯水のように浪費するさま)、ざんぶり(水に勢いよく飛び込んだりものが深く広く落ち込んだりするときの余韻の残る水音、波が大きく寄せては返す音・さま)、ざんぶりこ(水や波が大きく打ち付けるときの音)、
じーじー(油蟬などの鳴く音、振動や共鳴の感じられる音、水分が熱に触れて蒸発する音、油が焼け焦げる音、ベルやブザーなどの鳴る音、電気器具などが振動している音、ものが擦れ合って発てる鈍い音、ざーざー)、じーっ(虫の鳴く声、水滴や脂などが一瞬に焼けて弾ける音、目覚まし時計やブザーなどの警報音や機械のノイズなど、体を動かさないうで静か

にしているさま、深く静かに考え込むさま、じっ、視線を反らさないでものをよく見詰めるさま)、じーわり(少しずつ染透ったり圧迫するさま、じんわり)、じーん(絶え間なく細かく強く振動する低い音、体がしびれるさま、痛みや冷たさで感覚が麻痺するさま、眼が涙で染みるさま、感動が体の奥から静かに湧き上がりしみ出てくるさま)、じかじか(腕や腹が痛むさま、皮膚が刺激されて痛むさま、ちくちく、またアセモを言う幼児語)、じかじが(ジガバチの鳴き声)、じくじく(水分が熱せられて煮え立つ音・さま、水分を多く含んでいるさま、絶えず水がしみ出るさま、少しずつものが進んでいくさま、じわじわ、興奮して体など動かすさま、蠢いているさま)、じくりじくり(話方などがいやらしくしつこいさま、ねちねち)、じさじさ(時間をかけて辺りの様子を窺いながら小刻みに後じさるさま)、じじ(ネズミや虫などの鳴く声、ものが焼け焦げる微かな音)、じじくじゃ(動きが鈍くなるさま)、じじむじ(あれこけと躊躇うさま、ぐずぐず、うじうじ、もじもじ)、じたじた(心に強い感動や衝撃を受けて震えるさま、たじたじ、粘りつくような湿り気のあるさま、ひどく濡れるさま、じとじと)、じたばた、じだもだ(あれこれなんだかんだと言うさま)、じたんばたん(激しく身悶えるさま)、じっ、じっくじっく(大勢が賑やかに踊るさま、じっくじく)、じっくり、じっしり(重々しいさま、重いさま)、じっちり(落ち着いて動かないさま)、じっとり(過度に湿気を帯びているさま、じとり、明確になっているさま、落ち着いているさま、)、じとじと(酷く湿気を帯びて不快なさま、じめじめ、じっとり)、じとっ(湿気や水分が過度に感じられるさま、恨めしげまた羨ましげに眼を据えて睨むさま)、じとり(湿気や水分が不快なほどに感じられるさま、じっとり、恨めしげまた羨ましげに見据えるさま)、じなじな(少しずつ次第に力などが加えられるさま、じわじわ)、じなしやな(ふざけあったり品を作ったりして男女が戯れるさま)、じぶじぶ(肉など脂気のあるものを焼いたり煮たりするときに出る音、じゅーじゅー、酷く水気を含んでいるさま、不快不潔な感じがするほど湿っぽいさま、ずぶずぶ)、じみじみ(湿気のあるさま、じめじめ、ものごとが次第に次第に消失していくさま、じわじわ)、じめじめ(ひどく湿気を帯びて不快不潔陰気な感じのするさま、性格や遣り方などが陰気でみすばらしいさま)、じめっ、じゃー、じゅーじゃー(長い間水などが多量に勢いよく流れ落ちる音・さま、放尿する音、小便を言う幼児語)、じゃーん(鐘や銅鑼など大きな金属叩いた時に長く響き渡る音、ものごとが目立って行われるさま、威勢のよいさま)、じゃかじゃか(楽器音楽などを盛大に鳴らす音、ものごとが調子ついて盛んに行われるさま、小さくて硬いもの同士が小刻みに当たって発てる音・さま)、じゃかすか(勢いよくものごとをするさま)、じゃきじゃき(鉄などの刃物でものを切る時の重い音、じょきじょき、迫力があって切れのいいさま)、じゃくや(あれこれと混乱したさま、ごたごた、ごちゃごちゃ)、じゃくり(米砂など粒状のものを掬ったり器に空けたりするときの音・さま、ざくり)、じゃじゃ(液体などの多量に流れ出る音、じゃーじゃー)、じゃじや(痰などが喉に詰まった音、ゼンマイを巻く音やバルなどの機械的な音、蟬などの昆虫のやかましく鳴く声、人が大勢集まった時に生じる騒がしい話声や物音・さま、ざわざわ、物を炒めたり湯などが沸いたり吹き零れたりする音・さま、聞き取り難いほど小さな物音が雑然としているさま)、じゃじゃーん(ものごとが目立って行われるさま、派手に登場したり衝撃を与えたりするさま)、じゃじやちんちん(ゼンマイ仕掛けの時計が時を打って鳴る音)、じゃっ(短く水を掛けたり油で調理するときの音、言葉や様子が明確なさま、きっぱり)、じゃっじゃっ(水などを勢いよく注ぎ掛ける音、引っ掻いたり擦れたりかき回したりする時に発する濁った音・さま、強火で炒めて素早く掻き回す音・さま)、じゃばじゃば(水を大きく跳ね上げる音・さま)、じゃぶじゃぶ(勢いよく水を掻き回したりすすいだりまた水中を力を入れて歩いたりする時の音・さま、沢山のもの勢いよく流しかけるさま、口の中で唱えものなどをなどをするさま、むにやむにや)、じゃぶり(ものが勢いよく水に落ち込むさま、ものに激しく水が掛かるさま、ざぶり)、じゃぶりじゃぶり(水を掻き回したりすすいだりまた水中を力を入れて歩いたりする時の音・さま)、じゃぶん(水中に勢いよく飛び込んだりものを投げ込んだりした時の水音・さま、ざぶん)、じゃぼじゃぼ(勢いよく水を掻き回したり水の中で何かを洗ったりするときの音・さま、じゃぶじゃぶ)、じゃぼん(水中に勢いよく飛び込んだりものを投げ入れた時の水音・さま、じゃぶん)、じゃらくら(だらしなくふざけるさま、じゃらじゃら、じゃらりくらし)、じゃらじゃら(小石硬貨などのように小さく硬いものが沢山触れ合って発てる音、ふざけて戯れ掛かるさま、無駄口をきたり淫らなことを言うさま、じゃらくら、いい加減でふざけたさま、派手に着るさま、小銭のこと)、じゃらり(小石小銭などのような小さい硬いものが一度に落ちたり触れ合ったりして発てる音)、じゃらりくらし(色っぽくふざけたりくだらないことを喋ったりしていやらしいさま、じゃらくら)、じゃらん(金属などが強く触れ合って一瞬発てる重く騒がしい音)、じゃらんじゃらん(重みのある金属が連続してぶつかり合う音、鐘などが鳴り続ける大きな音)、じゃらんぼん(法会や葬儀などで用いる鐃鈸(にようはち)の俗称、その音から言う、またそれを鳴らすことから葬式)、じゃりじゃり(小石砂などが触れ合って軋る音や砂などを噛んだりした時の音、手触りや見た目が粗く引っ掛かりのあるさま、ざらざら)、じゃりっ(小石などの小さくて硬くていくらか重いものが触れ合いながら落ちて発てる音、小石や砂の混じったものなどを急に噛み砕いたりした時の音)、じゃわじゃわ(酷く雑音がしたりして騒がしいさま、忙しく急かたてられるようなさま、ざわざわ)、じゃん(金属を激しく叩いた時の大きく響くさま、競輪で残り一週半になった時に鳴らされる鐘のこころ・打ち鐘、目立つように登場するさま)、じゃんじゃか、じゃんじゃら(こんがらがったり乱雑になったりしてむさくるしいさま)、じゃんじゃん(金属を何度も強く打ち続けて発する大きく響く音、油蟬などの激しく鳴き騒ぐさま、積極的に派手にものごとを進めるさま、怒りなどで興奮するさま、程度が甚だしいさま)、じゃんぷりこ(ものが勢いよく水に入り込んだ音、ものに激しく水が掛かった音・さま)、じゅー(高温

に熱したものを冷たい液体の中に入れた時に出る音、水蒸気のあるものが熱気に当たって瞬間的に蒸発する音、液体が吸い込まれる際の大きく響く音・さま)、じゅーじゅー (水分が高熱のものに接して盛んに蒸発する時などに出る音・さま)、じゅーわり (具合よく適合しながら時間をかけて進行するさま、少しずつ進むさま)、じゅくじゅく (雀の鳴く声、湿気を含んでいるさま、湿気が中から染み出してくるさま、じくじく)、じゅっ (高温に熱したものを急に水の中に入れた時に出る音、水分がいきなり熱に触れて蒸発するさま・音、液体が強い勢いで染み出たり染み込むさま)、じゅっじゅっ (鳥やネズミなどの低い濁ったような鳴き声、水分が高熱に接して蒸発する音、水分が強い勢いで染み出たり染み込むさま)、じゅるじゅる (水分を多く含むさま、粘り気のある水分を吸る音、ずるずる)、じゅるっ (水気の多い食べ物を吸りながら食べる音、唾を飲み込む音・さま)、じゅわじゅわ (食べ物が適度に焼けたり溶けたり泡立つなどする音、そのようにしておいしそうに臭いや味の広がるさま、少しずつ時間をかけてものごとが進んでいくさま)、じゅわっ (食べ物が香りや上手さ感じさせながら適度に焼けたり溶けたり泡立つなどする時の力強い音・さま、一気に広がっていくさま、水分などが一気に滲み出るさま)、じゅんじゅん (湯が沸き立つ音、しゅんしゅん)、じゅんわり (もの静かなさま、落ち着いているさま、穏やかでもの柔らかなさま、器の中にもものを静かに入れるさま)、じょきじょき (鋏などでものを乱雑に切り進める際の重く低い音・さま)、じょぎじょぎ (鋏などで酷く乱雑にものを切り進める際の重く低い音・さま)、じょぎり (鋏などの両刃が一回勢いよく触れ合う音、鋏などで布地などを一思いに断ち切る音・さま)、じょたじょた (服装が締めなくだらしないさま、着物の裾を引き摺るさま)、じょりじょり (髪・髭などを剃る音、表面の粗いものを掻き削る時のざらつく音・さま)、じょりっ (髪や髭を勢いよく剃る音、粒状のものや小石などが擦れ合って発する音・さま)、じょりり (髪髭などを刃物で剃り落とす音)、じょろじょろ (だらしなく乱れたり引き摺ったりするさま)、じらり (強く睨むさま、じろり)、じりっ (一瞬ほんの僅か進んだり退いたりするさま)、じりり (ベルなどの重く鳴り響く音、太陽が焼け付くように照り続けるさま、着実に進むさま、力を込めて徐々に押し迫るさま、落ち着いて時間をかけて十分にものごとをするさま、じっくり)、じりりじりり (間を置きながら少しずつ進んだり退くさま)、じりん (一瞬ベルなどの重く鳴る音・さま)、じれじれ (心が苛立つさま、じりじり)、じろじろ、じろっ、じろり、じろりかん (一瞬見ただけで少しも慌てないさま、落ち着き払っているさま)、じろりじろり、じわじわ (少しずつ時間をかけてものごとが進んでいくさま、だんだん寒さが身に染みてくるさま、汗・涙などが少しずつ滲み出るさま、ものが僅かの幅でしなり揺れるさま、劇場などの客席でおこるざわめき)、じわっ (ものごとが少しずつ確実に進むさま、液体が染み込んだり染み出たりするさま)、じわり (ものが焼けたり溶けたりする音・さま、ほんの少し兆しが見えたり物事が進展するさま)、じわりじわり (少しずつ確実に進行または圧迫するさま)、じん (手足などが重く痺れるさま、あることが強く胸に迫って涙が溢れ出そうになるさま)、じんじ (時間をかけて少しずつ移動するさま、じりじり)、じんじん (ものを叩いて振動させて出す重く震える音、湯の滾る音、虫の鳴く声、・さま、病気や怪我などで患部が絶え間なく響くように痛むさま・痺れるさま)、じんたった (吹奏楽などの楽隊の華やかな音、かつてサーカス・映画館の客寄せや宣伝などをした少人数の楽隊を「ジンタ」と呼んだが「ジンタッタ」という独特の演奏者からの呼び名とともに仁丹の宣伝をしたとも言われる)、じんわり (ものごとが時間をかけて少しずつ進んでいくさま、じわり、汗や涙などが徐々に滲み出してくるさま)、ずい (勢いを込めて一気に進むさま、滞りなく真っ直ぐに動くさま、取り澄まして愛想まないさま、つん、一つも余さず全部に渡るさま)、ずいこー (木を鋸でひく重い音、ずいこん)、ずいこん (木を鋸で調子よくひく音、ずいこー)、ずいざっ (素早く簡略にことを運ぶさま)、ずいずい (勢いよく吸ったり擦ったりする時の重く濁った音、虫などの鳴く声、・さま、目的のものに躊躇いなく進んでいくさま、錐で揉むように痛むさま、刃物が鋭利なさま)、ずーずー (音を発して水気のあるものを吸い込む音・さま、ものを言う時声が鼻に掛かるさま、気道に痰がひっかかったりした時などの呼吸をするたびに出る音、ぜーぜー、ものごとが支障なく進んでいくさま、図太いさま、厚かましいさま)、ずーっ (汁などを吸い込むさま、一思いにものごとを押し進めるさま、真っ直ぐな状態であるさま、性質・距離・時間などについて大きな隔たりや差があるさま、段違いに、ずっと、ある状態が長く続くさま、初めから終りまで、その間中、ずっと、連続した位置を占めるさま、あちらからこちらまで全部、くまなく、ずっと)、ずーん (振動や強い衝撃による身内に響くような音、重く手ごたえのあるさま)、ずきずき (絶え間なく重く響くように痛むさま、ものを勢いよく切るさま)、ずきっ (疼くような激しい痛みが一瞬走るさま、ずきん)、ずきり (疼くような激しい痛みを一度感じるさま、ずきん、言葉が人の心を抉るように鋭く突き刺さるさま、動作を急に止めるさま)、ずきん (疼くような激しい痛みが体を走るさま、急にあるものごとを驚いたり感動したりして激しく動悸が打つさま、どきん、ずきり)、ずきんずきん (傷や腫れ物・頭などが脈打つように絶えず痛むさま)、ずくずく (雨や水に酷く濡れて気持ちの悪いさま、張りを失って崩れ落ちるさま)、ずけずけ (遠慮なく露骨にまたは無愛想に強くものを言うさま、無遠慮にことを運ぶさま)、ずけり (突然に言い難いようなことを口にすること)、ずしずし (体の重いものが重みを籠めて歩く音、周囲が振動するさま)、ずしっ (重いものが落ちたり動いたりする音、重い手ごたえのあるさま)、ずしり (重いものが地響きを発して振動したり落ちるさま、重いものを手に持った時の手ごたえのあるさま、ずしり)、ずしりずしり (音や振動を発して時間をかけて動くさま)、ずしん (重いものが落ちたり重いものを置いたりする音、腹の底に堪えるように重みのあるさま、重々しく威厳のあるさま)、ずしんずしん (力や重みを込めて続けて叩いたり踏んだりする際の重く響く音・さま)、

ずずっ (汁などを勢いよく吸い込む音、ものが激しく擦れあう時の重く濁った音・さま、躊躇わずに前に進むさま)、ずずん (地震や爆発などで振動する重く響く音、重いものが衝突する音・さま)、ずたずた (不ぞろいに切り千切られるさま、酷く心が傷つくさま)、ずだずだ (細かく破り千切るようにするさま)、ずだぼろ (みっともないほど壊れたり破れたりしているさま、徹底的にやつつけられるさま、心身が疲れきるさま、ずたずた、ぼろぼろ)、ずっ (一度ものがずれたり擦れあうときの低い音、強く一息に吸える音・さま、ものごとを一層推し進めて行うさま、その事態がある範囲のすべてに及ぶさま、性質・距離・時間・数量などについて大きな隔たりや差があるさま、ある状態が長い間続くさま、始めから終わりまで)、ずっか (遠慮しないで事を行うさま)、ずっかり (一刀のもとに切りつけるさま、率直に行うさま、思い切り良くするさま、きっぱり、金銭などが重みを感じさせるくらい沢山であるさま、どっさり)、ずっき (少しも残るところがないさま)、ずっきり (遠慮のないさま)、ずっく (勢いよく真っ直ぐに伸び上がるさま)、ずっくり (水気を含んで重みの加わったさま)、ずっけり (遠慮しないでありのままを言うさま、ずけずけ)、ずっこり (背が低く太っているさま、ずんぐり)、ずっし (重い手ごたえのあるさま、ずっしり)、ずっしり (いかにも重みを感じるさま、重々しく威厳のあるさま、どっしり、重いものを置いたり音したりした時に響く音・さま、ずしり、ずしん)、ずっず (躊躇わないで強くものごとをするさま)、ずっずっ (何度も物と物が擦れて出る重く鈍い音、物事を力強く推し進めるさま、ずんずん)、ずっば (勢いよく切り込んだり貫いたりするさま、もの多いさま)、ずっぼり (水・湯などの中にももの全体が重く沈みこむさま、雨などに全身が濡れるさま、ずっぷり)、ずでいどー (激しい勢いで倒れたり倒れたりするさま)、ずでん (人やものが勢いよく音を発して落ちたり倒れたりする音・さま)、ずでんどー (太鼓が響き渡る音、激しい勢いで転倒または転落するさま、ずでいどー)、ずどん (鉄砲や大砲などを撃ち放つ時の重く鳴り響く音・さま)、ずばずば (思ったことを無遠慮に言うさま、ものごとを思い切りよく続けて行うさま、刃物などで容赦なく切り込むさま、次々に狙った通りに当ててゆくさま)、ずばっ (素早く躊躇わないでものごとを行うさま、矢や槍などがものに厳しく突き刺さるさま、ずぶっ、ずぼっ、狙ったところへ間違いなく当てたり投げ込むさま、器などに一杯になっているさま)、ずばらずば (憚ることなくものを言うさま、ずばずば)、ずばり (躊躇わないで一度に断ち切る音・さま、ものごとの急所・核心などを鋭く正確に突くさま)、ずばりずばり (勢いよく鋭く何度も未練なく突いたり切ったりするさま、ものごとの急所・核心などを鋭く畳み掛けて突くさま)、ずぶずぶ (水や泥などに沈み込んでいく音・さま、体全体が濡れるさま、柔らかいものを刺し貫いたり切ったり崩したりするさま、酔い潰れるさま、泥酔したさま)、ずぶっ (水や泥の中に急に沈み込む音・さま、ものの全体を水に漬け込むさま、頭から水に濡れるさま、柔らかいものを刺し貫くさま、水や泥に足を突っ込んだ時の音・さま)、ずぶり (水や泥に沈み込むさま、刀・針・槍などを一度強く柔らかい物に突き刺すさま)、ずべずべ (滑らかで勢いのあるさま)、ずべらずべら (遠慮することもなくよく喋るさま、べらべら)、ずぼすぼ (水や泥などに沈み込んでゆくさま)、ずぼっ (勢いよく一息に突き抜けたたり嵌り込む鈍い音)、ずぼっ (勢いよく嵌り込んだり抜けたりする時の音・さま)、ずぼり (勢いよく嵌り込むさま)、ずぼん (ものが重々しく抜けたり落ち込んだり外れたりするさま)、ずらずら (次から次へと並んでいるさま、ぞろぞろ、続けて勢いよくものごとが行われるさま、一連のものすべてに及ぶさま、一面に、ひととおり)、ずらっ (人やものが迫力をもって並び連なるさま、ずらり、同じ状態が続くさま、常に、いつも)、ずらり (人やものなどが迫力をもって多く並び連なるさま、滞りなくことが運ぶさま、ある動きが一連のものすべてに及ぶさま)、ずらりずらり (前進するさま)、ずるずる (締めまりなく引き摺ったり徐々に滑り動くさま・音、ものを品なく吸ったり吸ったりする音、そのように食べるさま、留まるところを知らずにずれ落ちたり剥けたりするさま、態度・様子・気持ちなどが締めまりのないさま、けじめのつかない状態が続くさま、火が盛んに燃えるさま)、ずるずるべったり (ある状態を惰性や成り行きに任せて続けるさま、人間関係を馴れ合いで続けるさま、相手に甘えて頼ったり絡み付いて離れなくなったりするさま、連れ立って締めまりなく動作を行うさま)、ずるっ (液体や汁気の多い食べ物や鼻水などを一息に吸える音・さま、力強く一気に滑り動くさま、滑るように剥けたり剥がれたりするさま)、ずるり (動作が僅かに引っ掛かりをもちながらも滑るように行われるさま、重いものを引き摺るさま、重いものが滑るさま)、ずるりずるり (重いものを少しずつ引き摺るさま、重いものが少しずつ滑るさま、動作が滞らないで速やかに行われるさま)、ずわ (瞬間的に力強くものごとが行われるさま)、ずわずわ (思ったことを無遠慮に言うさま)、ずわらずわら (憚ることなくものを言うさま)、ずわりずわり (遠慮なく言ったり行動したりするさま、ずばずば)、ずん (重々しく響く音、太鼓の音や重いものが落ちた時の音・さま、動作が勢いよく行われるさま、容易く行われるさま、程度の隔たたって甚だしいさま、ずっと、はるか、抜きん出て)、ずんぐり (肉付きが良く太りすぎなさま、ものが太くて短かいさま、声が低く野太いさま)、ずんぐりむっくり (肥え太って臃れているさま)、ずんず (滞りなく力強く進むさま、ずんずん)、ずんずん (心地よく響く重く低い音、傷などが派打つように痛むさま、物音や寒気などが体に響くさま、わき目も振らず遠慮なく力強く進んで行くさま、ものごとが遅滞なく次から次へと進むさま)、ずんでんどー (勢いよく大きく転ぶさま、ずでんどー)、ずんば (器などに一杯になっているさま、ずば、突然にまたは躊躇わないでものごとを行うさま、勢いよく切るさま、ずわ)、ずんばら (水やぬかるみに足を取られて滑り込むさま)、ずんぶり (水中などにももの全体が沈みこむさま、水・雨などに体全体が濡れるさま、ずっぷり、夕陽が山の端に沈んで完全に日が暮れるさま、とっぷり、風呂・浴場また湯に入ることの隠語)、ずんべらぼー (凸凹や出っ張りの部分がなく締りのないさま・人)、ずんべり (滑らかに滑るさま、どこといって掴まえ所のないさま)、ずんやり (長い間続くさま、じっく

り)、ぜーぜー (激しい息遣いの音・さま)、ぜらぜら (動作の鈍いさま、ぐずぐず)、ぜりぜり (痰などが喉に絡まって音を発てて息をするさま、ぜーぜー)、ぜろぜろ (上気道に痰などが引っ掛かって気管が狭くなった時に起こる呼吸音、そのような音を発てて息をするさま、喘鳴 (ぜんめい))、
ぞーぞー (寒さや恐ろしさなどのため全身が鳥肌立って身震いするさま、ぞくぞく)、ぞーっ (寒さや恐ろしさで体が震え上がるような感じのするさま)、ぞきり (ものを一刀に刻み切る音、じょきり、急激に動悸などが激しく打つ音、どくり)、ぞくぞく (寒さで身の震えるさま、病気などで悪寒の走るさま、感情の昂ぶりや緊張・期待・恐怖などで身の震えを覚えるさま、ものを力を込めて刻み切る音、・さま、ざくざく)、ぞくっ (寒さや恐ろしさで一瞬身の震えるさま、ぶるっ、嬉しさや感動で一瞬身の震えるさま)、ぞくり (急に激しく寒気や怖気を感じるさま、ものを一度力を込めて切ったり割ったりするさま、ざくり)、ぞごぞご (寒さや恐怖不快などのため体の震えるさま)、ぞぞっ (不快な寒気を感じるさま)、ぞっ (恐ろしさや寒さで一瞬体が震え上がるさま、強い感動が身内を走りぬけるさま、特に驚いたり感心したりするほどではないさま、いい気持ちがしないさま)、ぞっきり (刀や鋏に手ごたえを感じながら切り揃える音、そうやって切り揃えたさま、ぞきり)、ぞっくり (あますところのないさま、残らず、そっくり、不快であるさま、いい気持ちがしないさま、小さな植物などが群がって生え出るさま、同じものが沢山揃って並んでいるさま)、ぞっこん (心の底から思っているさま、惚れてまったく心を奪われるさま)、ぞっふい (酷く水に濡れるさま)、ぞっぺり (纏めて一塊になったさま、そっくり、ずっぱり)、ぞぶ (水のな蚊などに落ちる音、ざんぶ)、ぞべぞべ (長い着物などを着て動作が不活発なさま、派手な着物で着飾っているさま、行動にめりはりがなくだらしないさま)、ぞべらぞべら (身の丈に合わずだらしない感じがするさま、身を持ち崩してだらしないさま)、ぞべりぞべり (着物の長い裾を引き摺るように着るさま)、ぞよぞよ (小さな虫などが多く群がり集まったり集まってくるさま、小虫などが肌を這うような不快な感触、ものが触れ合って発てる騒がしい音、・さま、ざわざわ)、ぞらぞら (縮りがなくだらしないさま)、ぞりぞり (髭などを剃る騒がしい音、幼児語で髪の毛、散髪すること)、ぞりっ (勢いよく髭などを剃る音・さま)、ぞろぞろ (小さな虫などが這い回って不快なさま、ぞよぞよ、多くのものが連れ立って次々と現れたり移動したりするさま、衣服などをだらしく引き摺るように着ているさま、派手な着物で着飾るさま)、ぞろっ (多くのものが一繋がりになっているさま、ぞろり、衣服などをだらしく引き摺るように着ているさま、派手な衣服で通ぶって崩れた感じに着飾っているさま、ぞろっ)、ぞろりぞろり (大勢が一繋がりになって時間をかけて続いていくさま)、ぞわぞわ (騒がしく音を発てるさま、ざわざわ)、ぞわり (一瞬寒気や恐怖を感じるさま)、ぞんぐり (恐ろしい目に合せて肝を冷やすさま、ぞんぐら)、ぞんぞ (寒気を感じたり恐ろしさで震え上がったりするさま、ぞくぞく、ぞっ、悪寒や寒気がするさま)、ぞんぞん (際限なく流れるさま)、ぞんぶり (音を発てて水中に飛び込んだり水を吸い込んだりする音・さま)、ぞんべり (艶やかなさま、ぞべぞべ、長い着物をだらしく引き摺って着るさまだらしないさま、ぞべぞべ)、